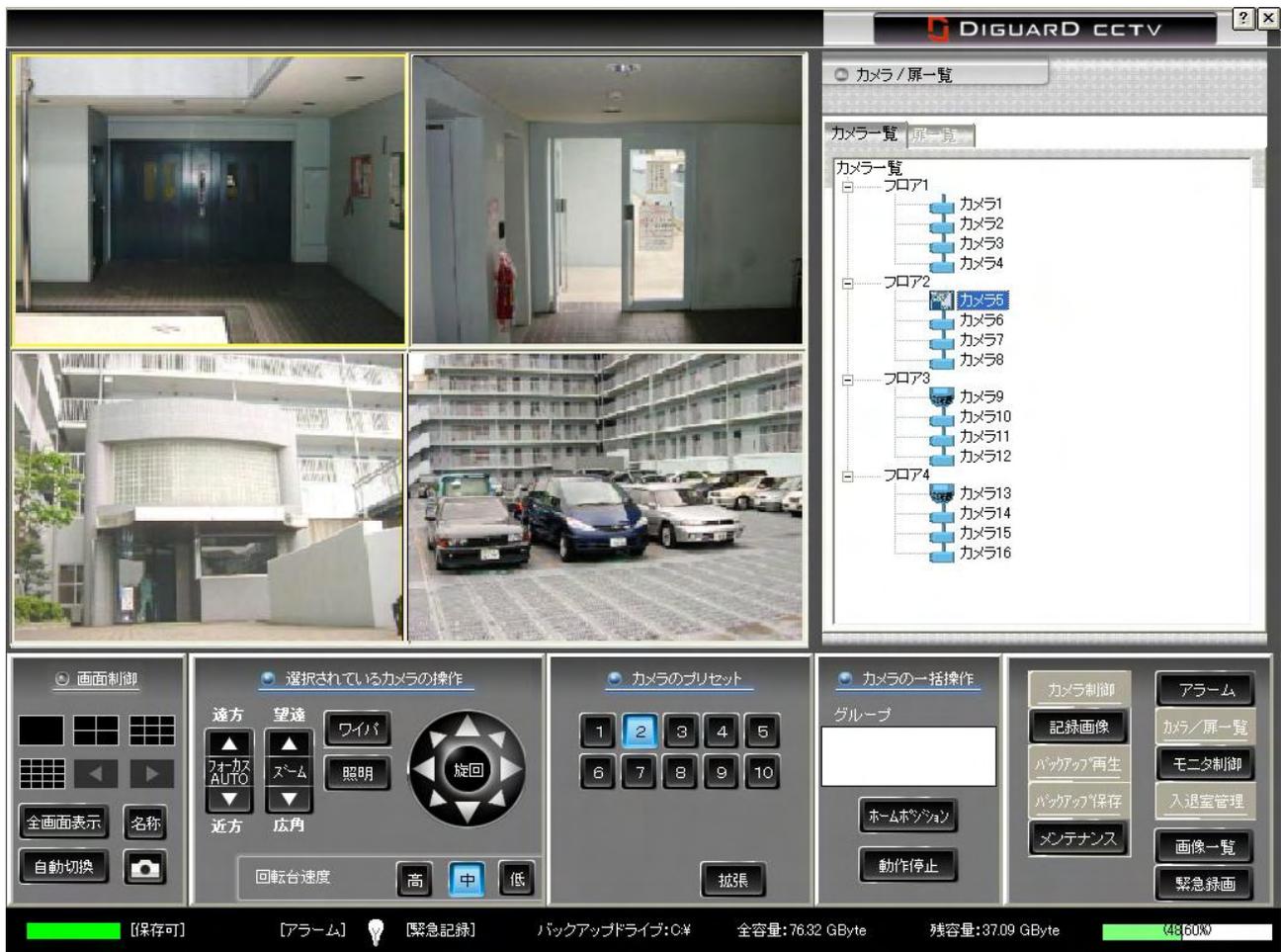


# MITSUBISHI

ネットワークビューワ  
形名

## NR-SW8000DG

### 取扱説明書



このたびは三菱ネットワークビューワをお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用になる前に、正しく安全にお使い頂くため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、  
必要なときにお読みください。

本製品に関する保証書は、本書最終ページにあります。印刷してご利用ください。

SM-Y7894B

## もくじ

1. 必ずお守りください	6
1.1. 図記号の意味	6
1.2. 注意	6
2. 特長	7
2.1. 概要	7
2.2. システム構成例	8
3. 構成	9
4. コンピュータ要件	9
5. 使用許諾	10
6. 準備	11
7. インストール CD の内容と権限	11
8. ソフトウェア・インストール	12
8.1. インストールを始める前に	12
8.2. セットアップ	12
8.2.1. WindowsInstaller3.1 のインストール	12
8.2.2. Microsoft .NET Framework2.0 のインストール	14
8.2.3. SQLServer のインストール	16
8.2.4. SQLServer バッチファイルの実行	26
8.2.5. 本製品(NR-SW8000DG)のインストール	27
8.3. コンピュータの設定	30
8.4. ディレクトリ構成(参考)	31
8.5. 再セットアップ	31
8.6. インストールに失敗した場合	32
9. ソフトウェアの起動	33
9.1. SNTP サーバ自動起動の設定	33
9.2. ネットワークビューワの起動	35
10. ソフトウェア概要	37
10.1. 機能一覧	37
10.2. 画面の説明	40
10.2.1. 制御切換えパネル	40
10.2.2. 画像表示パネル	42
10.2.2.1. 単画面表示	43
10.2.2.2. 4画面表示	44
10.2.2.3. 9画面表示	45
10.2.2.4. 16画面表示	46
10.2.3. カメラ／扉選択パネル	47
10.2.3.1. カメラ一覧	48
10.2.3.2. 扉一覧	49
10.2.3.3. カメラアイコン、扉アイコン選択	50
10.2.4. 画面制御パネル	51
10.2.5. カメラ制御パネル	52
10.2.6. プリセットパネル	53
10.2.7. 一括操作パネル	54
10.2.8. 記録画像再生	55
10.2.9. 記録画像再生パネル	56
10.2.10. 表示画像パネル	57
10.2.11. アラームパネル	58
10.2.11.1. アラームリスト	58
10.2.11.2. 扉警報リスト	60
10.2.12. 警報情報詳細表示パネル	62
10.2.13. 入退室管理パネル	63
10.2.13.1. 通行操作履歴リスト	63
10.2.13.2. 扉状態リスト	65
10.2.13.3. 在室管理情報リスト	66
10.2.14. 入退室情報詳細表示パネル	67
10.2.15. 部屋情報詳細表示パネル	68
10.2.16. 在室管理情報詳細表示パネル	69
10.2.17. モニタ制御パネル	70

10.2.17.1.	4画面～全画面切り換え	70
10.2.17.2.	自動切換	71
10.2.18.	ステータスバー	72
10.2.18.1.	緊急録画	72
10.2.19.	バージョン表示	73
10.2.20.	終了	73
11.	操作方法概要	74
11.1.	カメラ映像を画像表示パネルに表示する	74
11.1.1.	分割表示にする	75
11.1.2.	全画面表示にする	76
11.1.3.	カメラ名称を表示する	76
11.1.4.	カメラ映像を自動でスキャンさせる	77
11.1.5.	静止画をキャプチャする	77
11.2.	回転台付きカメラを操作する	78
11.3.	受信音声の音量を調整する	79
11.4.	プリセット機能を使う	80
11.5.	ホームポジションへ移動する	81
11.6.	記録画像を再生する	83
11.6.1.	タイムデートサーチ	83
11.6.2.	アラーム(扉警報)リストサーチ	84
11.6.3.	通行操作履歴リストサーチ	85
11.6.4.	再生画像を拡大して表示する	85
11.7.	記録画像をバックアップする	86
11.8.	バックアップ画像を再生する	89
11.9.	外部保存(保存したバックアップデータを外部メディアに保存する)	90
11.10.	バックアップ画像を削除する	90
11.11.	キャプチャした静止画像を表示、印刷する	91
12.	メンテナンスパネル	93
12.1.	起動	93
12.2.	履歴データ整合	94
12.3.	プリセット登録	95
12.4.	カメラ設定	96
12.4.1.	カメラ名称の設定	96
12.4.2.	オートパン旋回位置の設定	96
12.4.3.	カメラメニュー設定	97
12.4.4.	カメラ電源操作	97
12.5.	キャプチャ設定	98
12.6.	画面分割設定	99
12.7.	自動スキャン設定	102
12.8.	スケジュール	103
12.8.1.	曜日データ	104
12.8.2.	特定日データ	105
12.9.	ホームポジション	106
12.10.	アラーム設定	107
12.10.1.	センサ設定	107
12.10.1.1.	実行するセンサ設定	107
12.10.1.2.	センサグループ登録	108
12.10.1.3.	センサ運用時間設定	108
12.11.	故障通知	109
12.12.	音声遅延	110
13.	ネットワークビューワの設定	111
13.1.	設定の流れ	111
13.2.	設定	112
13.2.1.	設定ツールの起動	112
13.2.2.	初期設定ファイル指定	113
13.2.3.	初期設定ファイルの読み込み	116
13.2.4.	ネットワークレコーダ追加登録	117
13.2.5.	ネットワークレコーダの削除	118
13.2.6.	ネットワークレコーダの設定の修正	118
13.2.7.	フロア構成の追加登録	119
13.2.8.	フロア構成の削除	120

13. 2. 9.	フロア構成の設定・修正	121
13. 2. 10.	カメラの登録	122
13. 2. 11.	カメラの削除	123
13. 2. 12.	カメラのネットワークレコーダへの割付	124
13. 2. 13.	カメラのネットワークレコーダへの割付解除	125
13. 2. 14.	カメラ設定の修正	126
13. 2. 15.	ネットワークマルチビューワ(NV-4400)の登録	128
13. 2. 16.	ネットワークマルチビューワ(NV-4400)の削除	129
13. 2. 17.	ネットワークマルチビューワ(NV-4400)の設定の修正	129
13. 2. 18.	ネットワークマルチビューワ(NV-4400) チャネル登録	130
13. 2. 19.	ネットワークマルチビューワ(NV-4400) チャネルの削除	131
13. 2. 20.	ネットワークマルチビューワ(NV-4400) チャネルの修正	131
13. 2. 21.	外部アラーム接点登録	132
13. 2. 22.	外部アラーム入力装置の削除	133
13. 2. 23.	外部アラーム入力装置の修正	133
13. 2. 24.	外部アラーム連動カメラ登録	134
13. 2. 25.	外部アラーム接点単位の修正	135
13. 2. 26.	外部アラーム連動カメラの設定、修正	137
13. 2. 26. 1.	アラーム解除時の設定	138
13. 2. 26. 2.	アラーム発生時	139
13. 2. 27.	外部アラーム連動カメラ削除	140
13. 2. 28.	モーションディテクト登録	141
13. 2. 29.	モーションディテクト入力装置の削除	142
13. 2. 30.	モーションディテクト入力装置の修正	142
13. 2. 31.	モーションディテクト連動カメラ登録	143
13. 2. 32.	モーションディテクトプリセット番号の修正	144
13. 2. 33.	モーションディテクト連動カメラの設定、修正	146
13. 2. 33. 1.	アラーム解除時の設定	147
13. 2. 33. 2.	アラーム発生時	148
13. 2. 34.	モーションディテクト連動カメラ削除	149
13. 2. 35.	外部操作器登録	150
13. 2. 36.	入退室管理システム 装置設定	152
13. 2. 36. 1.	入退室管理システム 装置登録	152
13. 2. 36. 2.	入退室管理システム 装置の修正	153
13. 2. 36. 3.	入退室管理システム 扉登録	154
13. 2. 36. 4.	入退室管理システム 扉の修正	155
13. 2. 36. 5.	入退室管理装置と扉の削除	156
13. 2. 37.	入退室管理システム 部屋設定	157
13. 2. 37. 1.	入退室管理システム 部屋登録	157
13. 2. 37. 2.	入退室管理システム 部屋の修正	158
13. 2. 37. 3.	入退室管理システム 部屋の削除	159
13. 2. 38.	入退室管理システム 部屋～扉設定	160
13. 2. 38. 1.	扉の部屋設定	160
13. 2. 38. 2.	入退室管理装置の部屋設定	162
13. 2. 38. 3.	扉の部屋設定削除	163
13. 2. 38. 4.	入退室管理システム 連動カメラ登録	164
13. 2. 38. 5.	入退室管理システム 扉単位の修正	165
13. 2. 38. 6.	入退室管理システム 連動カメラの設定、修正	167
13. 2. 38. 7.	アラーム解除時の設定	168
13. 2. 38. 8.	アラーム発生時	169
13. 2. 38. 9.	入退室管理システム 連動カメラ削除	170
13. 2. 39.	機器故障監視設定	171
13. 2. 40.	ネットワークビューワシステム設定	172
13. 2. 41.	書込確認	173
13. 2. 42.	設定の一時保存	174
13. 3.	各種ツール	175
13. 3. 1.	カメラタイプ作成(カメラ種別設定ツール)	175
13. 3. 1. 1.	カメラタイプ設定ツール起動	175
13. 3. 1. 2.	カメラタイプ変更	175
13. 3. 1. 3.	カメラタイプ追加	176
13. 3. 1. 4.	カメラタイプ設定ツール終了	176
13. 3. 2.	ドアタイプ作成(ドア種別設定ツール)	177

13.3.2.1.	ドアタイプ設定ツール起動	177
13.3.2.2.	在室者管理情報アイコン設定変更	177
13.3.2.3.	ドアタイプ変更	177
13.3.3.	地図設定(カメラ・ドア位置設定ツール)	178
13.3.3.1.	地図設定ツール起動	178
13.3.3.2.	カメラアイコン、扉アイコン、在室アイコン位置の調整	178
13.3.3.3.	グリッド、スナップの設定	179
13.3.3.4.	保存	179
13.3.3.5.	地図設定ツール終了	179
13.3.4.	顔画像設定(画像画像設定ツール)	180
13.3.4.1.	顔画像スケジュール設定ツール起動	180
13.3.4.2.	顔画像スケジュール設定ツール設定	180
13.3.5.	スケジュール設定(スケジュール設定ツール)	182
13.3.5.1.	スケジュール設定ツール起動	182
13.3.5.2.	スケジュール設定(一括設定)	182
13.3.5.3.	スケジュール設定ツール終了	182
13.3.6.	パスワードの変更(パスワード変更ツール)	183
13.3.6.1.	パスワード変更ツール起動	183
13.3.6.2.	パスワード変更	183
13.3.6.3.	パスワード変更ツール終了	183
14.	高度な設定	184
14.1.	ネットワークマルチビューワ NV-4400 の自動ボタンを表示する	184
14.2.	最大記録レートを変更する	185
14.2.1.	最大記録レートを変更する(NR-7110/7116)	186
14.3.	自分の IP アドレスを登録する(ネットワークカードを2枚使用する場合)	187
14.4.	WAV ファイル	188
14.5.	アプリケーションタイトルの変更	188
14.6.	設定ファイルのバックアップ	188
15.	初期値	188
16.	おかしいな?と思ったら	189
17.	エラーメッセージ	190

## 1. 必ずお守りください

---

### 1.1. 図記号の意味

---

- 本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。
- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

	禁止		指示を守る
	分解禁止		電源プラグを抜く
	水場での使用禁止		

### 1.2. 注意

---

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載した内容は、商品性や特定の目的に対する適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書の配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

本書の内容は、著作権によって保護されています。本書の一部または全部を書面により事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。

お買い求めいただいた機種と本書に記載されているイラストが異なる場合がありますので、ご了承ください。

ActiveThreeD Plus、ActivTreeView は米国 Sheridan Software Systems 社の商標です。

LEADTOOLS は米国 LEAD Technologies 社の登録商標です。

Microsoft、MS、MS-DOS、Microsoft Windows95、Microsoft Windows98、Microsoft WindowsNT、Microsoft Windows2000 および Microsoft WindowsXP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Pentium は、Intel Corporation の商標または登録商標です。

その他引用された会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

ActivTreeView

Copyright (C) 1999 Sheridan Software Systems, Inc

ActiveThreeD Plus

Copyright (C) 1999 Sheridan Software Systems, Inc

LEADTOOLS

Copyright (C) 1991-2005 LEAD Technologies, Inc.

## 2. 特長

---

### 2.1. 概要

- (1) 本製品は三菱ネットワークカメラ NC-4085<sup>1</sup>や、ネットワークアダプタ X-1150 を同時に最大 512 台まで接続し、画像を表示することができる Windows ソフトウェアです。
- (2) 本製品は DIGUARD-NET<sup>2</sup>対応です。
- (3) 回転台・レンズを搭載したネットワークカメラ NC-4085 やネットワークアダプタ X-1150 に接続した複合一体型カメラ(CIT-7300、CIT-7700、CIT-7500<sup>1</sup>)の回転台・レンズ操作も可能です。
- (4) ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116<sup>3</sup>の記録・再生制御およびネットワークマルチビューワ NV-4400<sup>3</sup>のモニタ制御(表示カメラ切替)が可能です。
- (5) 本製品は、デュアルモニタを用いることで一方のモニタにフロア平面図を表示し、配置したアイコンからカメラ選択が可能です。
- (6) 外部操作器として、リモートコントローラ R-2450 を接続して回転台付きカメラのカメラ制御<sup>4</sup>が可能です。
- (7) 当社入退室管理システム MELSAFETY-P<sup>5</sup>システムと連携動作させることが可能です。

---

<sup>1</sup> 2008 年 10 月現在、接続可能なカメラは以下のとおりです。NC-5000、NC-4010、NC-4700、NC-4075、NC-4085、NC-4510、X-1150/X-1160 経由(CIT-6000、CIT-6600、CIT-7010、CIT-7300、CIT-743、CIT-7500、CIT-7510、CIT-7550、CIT-7700、CIT-8500、CIT-8700、CIT-9500、CIT-7410)

<sup>2</sup> DIGUARD とは、システム・保守・サービスの一体展開により、お客様のニーズに合わせた、当社セキュリティソリューションです。

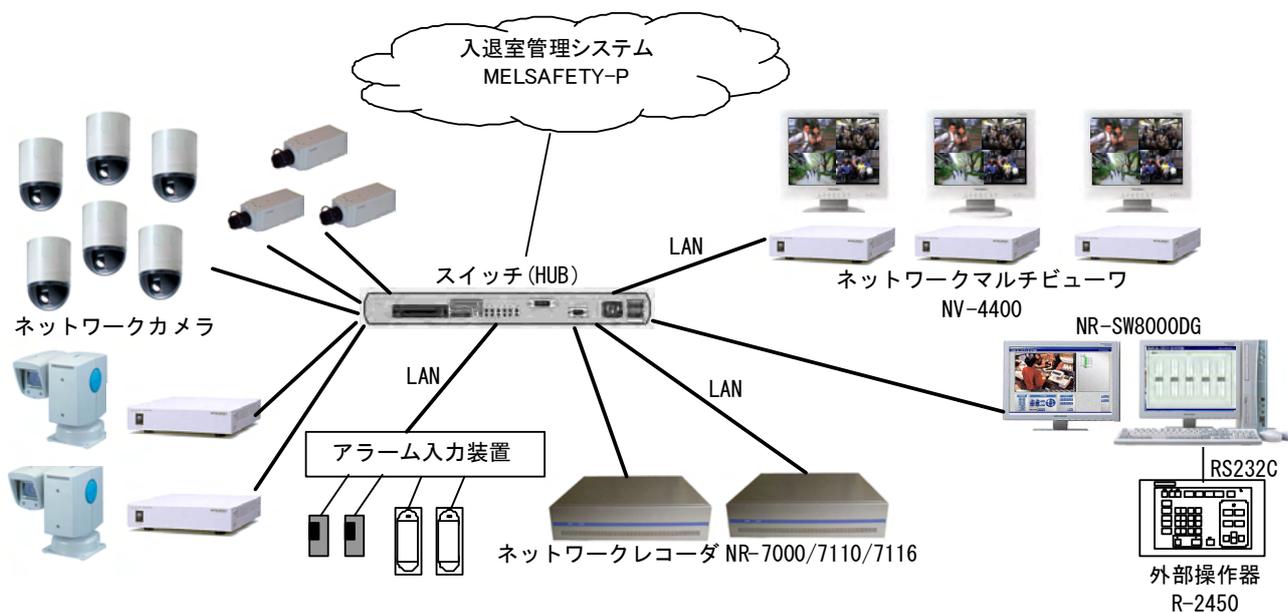
<sup>3</sup> ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 は最大 255 台まで接続できます。ネットワークマルチビューワ NV-4400 は最大 64 台まで接続できます。

<sup>4</sup> 回転台制御、レンズ制御、プリセット制御、プリセットシーケンス制御、ワイパ制御、照明制御、オートパン、カメラ設定(Mode/Up/Down)など。カメラに機能が無いものは制御できません。

<sup>5</sup> サポートする入退室管理システム MELSAFETY-P のバージョンは YCB33-D 以降になります。

## 2.2. システム構成例

(1) システム構成の一例を下図に示します。



! 同一システム内でカメラの映像配信レートは同一としてください。

! NR-SW8000DG をインストールした PC は同一システム内で1台のみです。NR-SW8000DG を同一システム内に複数共存させないでください。

! 入退室管理システム MELSAFETY-P の取扱いについては、MELSAFETY-P の取扱説明書を参照ください。

! NR-SW8000DG 動作中に、MELSAFETY-P の設定を変更しないでください。

! カメラ増設等制御機器数の変更若しくは IP 等の変更(122 ページ)を実施した場合は、NR-SW8000DG の動作設定を変更し、NR-SW8000DG の再起動が必要です。NR-SW8000DG 再起動中は、ライブ映像監視、アラーム入力等はできなくなります。ご注意ください。

### 3. 構成

---

・セットアップ CD	1枚
・プロダクトキー(CD ケース貼り付け済)	1部
・ソフトウェア使用許諾契約書	1部

### 4. コンピュータ要件

---

・円滑な画像表示を行うために、下記の要件を満足するコンピュータを使用してください。

- (1) OS           Microsoft Windows XP Professional SP2
- (2) CPU           Intel 社製 Core2Duo 2.4GHz 以上
- (3) HDD           10GB 以上
- (3) メインメモリ   2GB 以上
- (4) ビデオ        1024×768dot 32bit 以上   VGA 出力端子(DSub) x2(デュアル・モニタ対応)
- (5) ネットワーク   1000BASE-T x1 以上



本製品(NR-SW8000DG)はデュアルモニタを使用してください。



ディスプレイアダプタの設定は 1024x768dot(1024x768dot の2面)で使用してください。<sup>1</sup>



Intel 社製 Core2Duo、Xeon 以外の CPU を搭載したコンピュータ上では、正常に映像表示されないことがあります。

---

<sup>1</sup> 指定以外のディスプレイアダプタの解像度では、正常に動作しません。

## 5. 使用許諾

この「ソフトウェア使用許諾契約書」(以下、「本契約書」という。)は、使用者と三菱電機株式会社(以下、「三菱電機」という。)との間において、三菱電機が提供する三菱デジタルCCTVシステム(以下、「本システム」という)の制御を行う三菱デジタルCCTVソフトウェア製品(プログラムと仕様書その他の関連資料を含み、以下「本ソフトウェア製品」という。)の使用権の許諾に関して適用されます。下記使用許諾契約書の条項に同意されない場合、本ソフトウェア製品のインストール、使用または複製のいずれも許諾できません。そのような場合は未使用の本製品を直ちに購入店にご返品いただければ、お支払いいただいた金額を全額払い戻しいたします。

### 第1条(使用権)

- (1) 三菱電機は、使用者に対し、本契約の何れの条項にも違反しない限り、本ソフトウェア製品の使用を許諾するものである。
- (2) 使用者は、本システムを運用する目的のためにのみ、本ソフトウェア製品を使用することができる。
- (3) 使用者は、三菱電機の書面による事前の承諾がない限り、本契約に基づく使用権につき、一部または全部の再使用権を設定もしくは第三者に譲渡し、または本ソフトウェア製品及び／又はその複製物を第三者に譲渡転貸もしくは占有の移転をしてはならず、また使用者は、本契約上の地位を第三者に譲渡してはならない。
- (4) 本契約書に基づき使用者に対して許諾される権利は、非独占的な権利である。

### 第2条(複製)

- (1) 使用者は、本契約により1台を限度として特定のコンピュータに本ソフトウェア製品のプログラム(以下、「本ソフトウェア」と称す)をインストールすることができる。たとえ、コンピュータにインストールされた本ソフトウェアが同時に使用されない場合であっても、使用者は1台を超えてインストールすることはできない。
- (2) 使用者は、本ソフトウェア製品について、バックアップの目的のためにのみ、1部の複製をすることができる。

### 第3条(変更)

- (1) 使用者は、三菱電機の文書による事前の承諾がない限り、本ソフトウェアの変更、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、及び／又は逆アセンブルをしてはならない。
- (2) 三菱電機は、使用者によって改変された本ソフトウェアに関しては、一切の責任を負わない。

### 第4条(保証および免責)

- (1) 三菱電機は、仕様書に定めた指定環境にて使用された本ソフトウェアが、仕様どおりに動作することを保証する。
- (2) 三菱電機は、本ソフトウェア製品が、使用者の特定の使用目的に適合すること及び／又は有用であることについての保証はしない。
- (3) 三菱電機は、使用者が本契約に基づき許諾された権利を行使することにより生じた使用者及び／又は第三者の損害及び／又は第三者から使用者に対する請求に対して、法律上の請求原因の如何を問わず、一切の責任を負わない。
- (4) 三菱電機は、上記に加え、法律上の請求原因如何に拘わらず、本ソフトウェア製品に関連する及び／又は起因する一切の直接、間接、特別損害その他一切の損害に関し、三菱電機の予見の有無を問わず、一切の責任を負わない。
- (5) 三菱電機は、本契約書第4条規定が適法に認められることを前提として、使用者に使用権を許諾する。従って、本契約書第4条規定の全部又は一部が認められない場合(例えば、ある国又は地域において法律によって三菱電機が保証範囲を制限することが認められない場合。但し、これに限定されません。)においては直ちに且つ自動的に本契約書は終了し、使用者に許諾された一切の権利は自動的に消滅する。この場合、本契約は締結時に遡り解除され、三菱電機はいかなる責任も負わず、また、かかる条件の下でのみ本契約終了までの期間に限り三菱電機が所有する著作権の使用者による侵害行為は免責される。

### 第5条(権利関係)

- (1) 使用者は、本契約に基づき本ソフトウェア製品及び／又は第2条2項に規定する複製物の使用権のみを取得し、本ソフトウェア製品及び／又はその複製物の著作権、所有権その他のいかなる権利も取得しない。
- (2) 本契約書に明示的に使用者に与えられていない権利は、すべて三菱電機に留保される。

### 第6条(秘密保持)

- (1) 使用者は、三菱電機より秘密と指定された事項及び本ソフトウェア製品並びに本ソフトウェア製品の使用を通じて知り得た本ソフトウェア製品に関する全ての情報を、秘密として保持するものとし、三菱電機の書面による事前の承諾なしに、これらを使用者以外の者に利用させたり提供させたりしてはならない。本条は、契約が終了した後も使用者の義務として存続する。

### 第7条(期間)

- (1) 本契約は、使用者が本ソフトウェア製品のパッケージを開封したときから有効となり、使用者が本契約書の規定の一つにでも違反した場合、直ちに且つ自動的に本契約は終了し、使用者に許諾された一切の権利は自動的に消滅する。
- (2) 本契約終了の場合には、使用者は直ちにそれら全てを三菱電機に返還するものである。返還が適当でない場合は、三菱電機の了解と確認の下に、本ソフトウェア製品の原本及びその複製物を使用者が滅却し、使用者は滅却証明書を三菱電機に提出する。

### 第8条(雑則)

- (1) 本契約書の準拠法は日本法である。
- (2) 使用者は、三菱電機の書面による事前の承諾がない限り、本ソフトウェア製品及び／又はその複製物を日本国外に持ち出し、あるいは送付してはならないものである。

## 6. 準備

本ソフトウェアをインストールする前にネットワークカメラ、ネットワークアダプタを以下の設定を行い、正常動作していることを確認して下さい。

- |            |                              |
|------------|------------------------------|
| (1)ヘルスチェック | OFF(ウェークアップ配信)               |
| (2)解像度     | 640x480 dot <sup>1</sup>     |
| (3)配信方法    | マルチキャスト                      |
| (4)圧縮率     | 1/20 を推奨(1/25、1/30、1/40 でも可) |
| (5)送信枚数    | 30fps を推奨                    |



カメラに正しく設定されていることを確認してください。

## 7. インストール CD の内容と権限

(1) CD の内容は以下の通りです。

```
DCCTV_Main. CAB
License. txt
Readme. txt
Setup. exe
SETUP. LST
取扱説明書. pdf
Microsoft .NET Framework Version 2.0
Microsoft SQL Server 2005 Express Edition Service Pack 1
NETWORK VIEWER (STANDARD)
REMOTEMAINTE (NR-7000) INSTALLER
REMOTEMAINTE (NR-7100) INSTALLER
Windows Installer 3.1
```

- (2) WindowsXP のコンピュータにセットアップを行うには、Administrator 権限でセットアップを行ってください。  
Power User、User 等の権限ではセットアップが正常に行えません。
- (3) 本製品は1ライセンスです。



正しい権限でセットアップしてください。



遠隔監視機能を使用する場合は、コンピュータのユーザアカウントにパスワード(半角英数字)を設定してください。

<sup>1</sup> 320x240(QVGA)はサポートしていません。

## 8. ソフトウェア・インストール

### 8.1. インストールを始める前に

- (1) SQLServer がインストールされている PC<sup>1</sup>にインストールしないでください。インストールする必要がある場合は、アンインストール後に本製品のセットアップを開始してください。

### 8.2. セットアップ

- (1) セットアップ CD をコンピュータの CD-ROM ドライブ等にセットします。
- (2) 本製品 (NR-SW8000DG) のインストールの前に、セットアップ CD 内の複数のファイルを順番にインストールして頂く必要があります。次章より順に説明致します。

#### 8.2.1. WindowsInstaller3.1 のインストール

- (1) WindowsInstaller3.1 のインストールを行います。既に WindowsInstaller3.1 がインストール済みであるか、新しいバージョンのものがインストール済みである場合<sup>2</sup>は、本章の作業は不要です。
- (2) 下図の WindowsInstaller-KB893803-v2-x86.exe ファイルを実行して下さい。



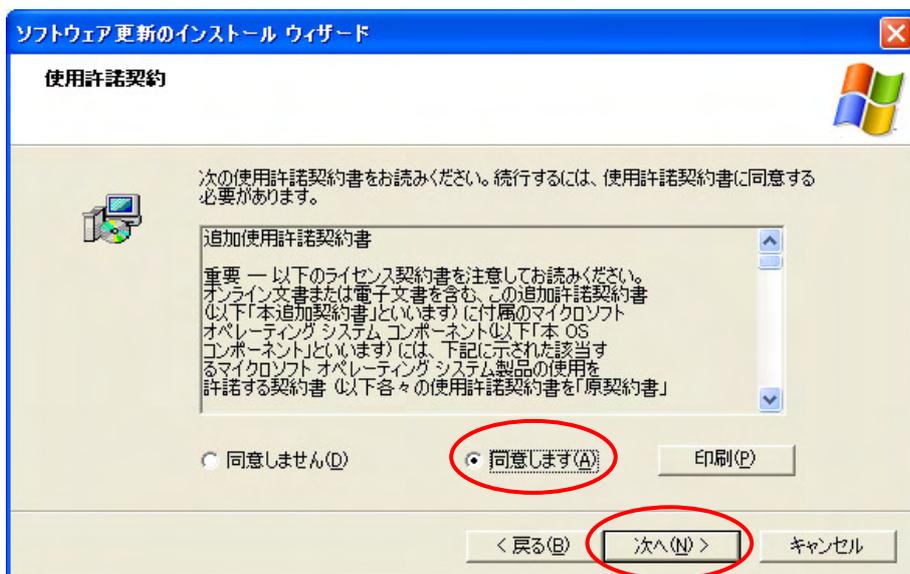
- (3) セットアップウィザード画面が表示されます。「次へ」を押して下さい。



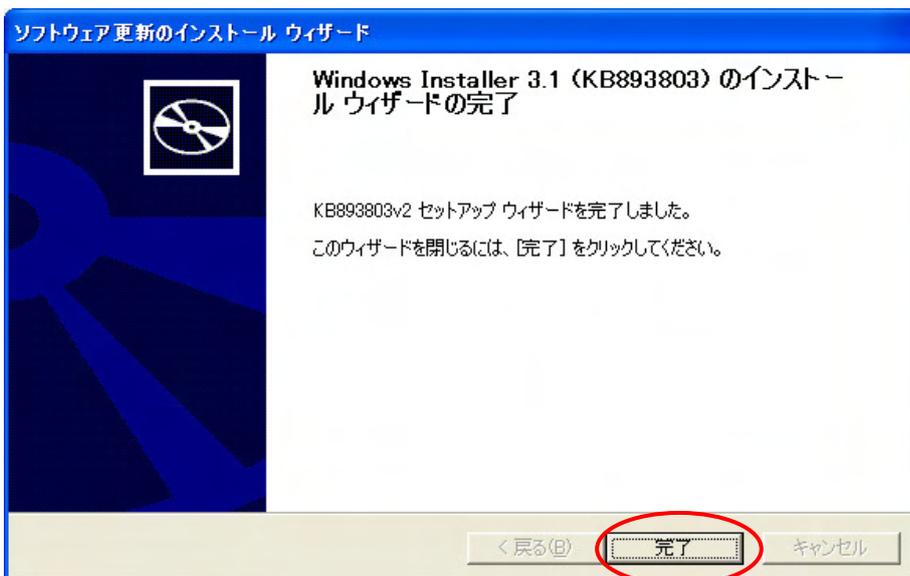
<sup>1</sup> コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」にて確認できます。

<sup>2</sup> コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」にて確認できます。

(4) WindowsInstaller3.1 の使用許諾契約書が表示されます。使用許諾契約書の内容をよくお読みになり、同意頂ける場合は、「同意します」にチェックを入れて「次へ」ボタンを押してください。



(5) 以下のメッセージが表示されると WindowsInstaller3.1 のインストールは完了です。完了ボタンを押すと、セットアップを終了します。

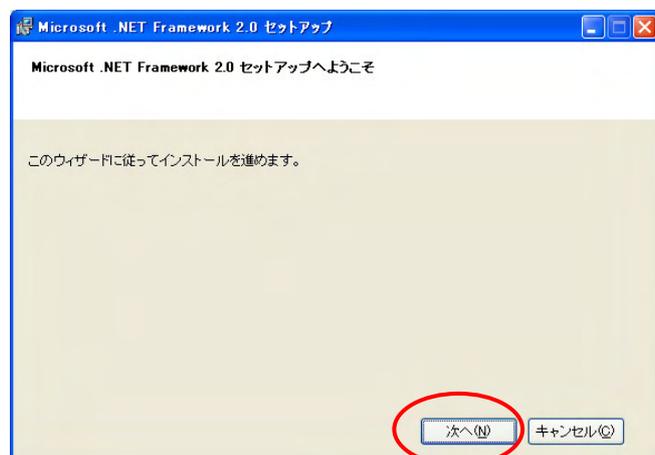


## 8. 2. 2. Microsoft .NET Framework2.0 のインストール

- (1) Microsoft .NET Framework2.0 のインストールを行います。既に Microsoft .NET Framework2.0 がインストール済みの場合<sup>1</sup>は、本章の作業は不要です。
- (2) 下図の dotnetfx.exe ファイルを実行して下さい。

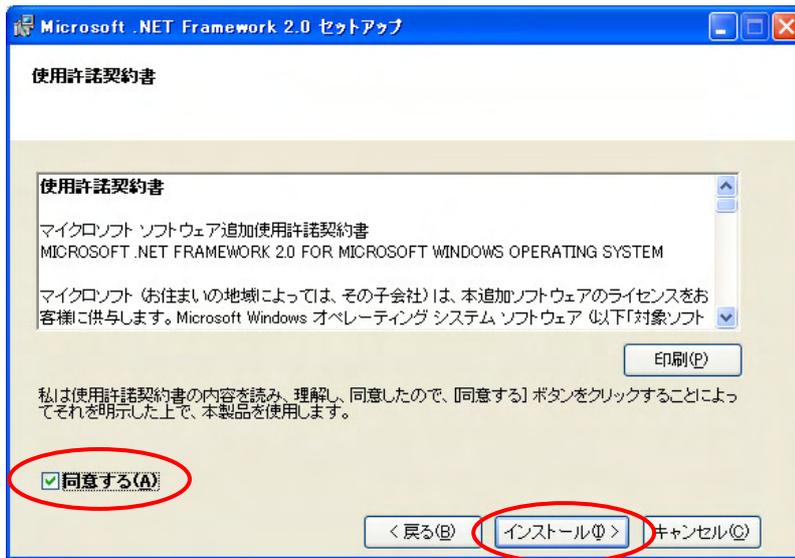


- (3) セットアップウィザード画面が表示されます。「次へ」を押して下さい。

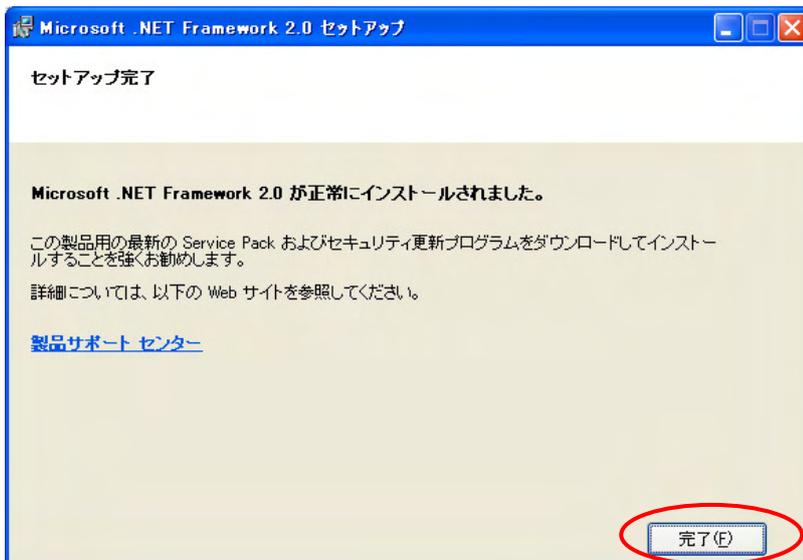


<sup>1</sup> コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」にて確認できます。

(4) Microsoft .NET Framework2.0 の使用許諾契約書が表示されます。使用許諾契約書の内容をよくお読みになり、同意頂ける場合は、「同意します」にチェックを入れて「インストール」ボタンを押してください。

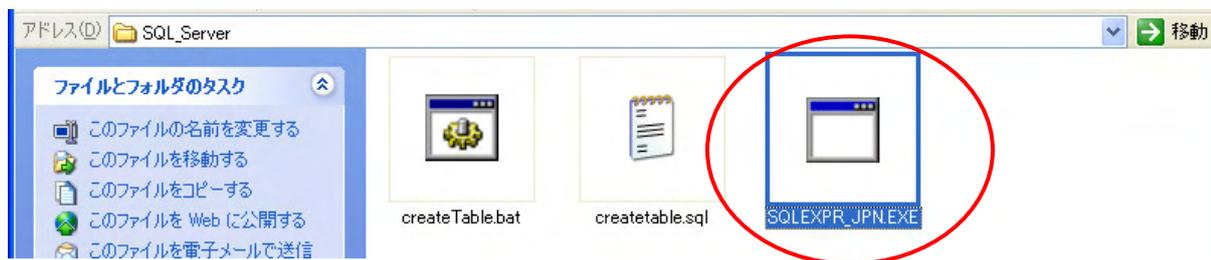


(5) 以下のメッセージが表示されると Microsoft .NET Framework2.0 のインストールは完了です。完了ボタンを押すと、セットアップを終了します。

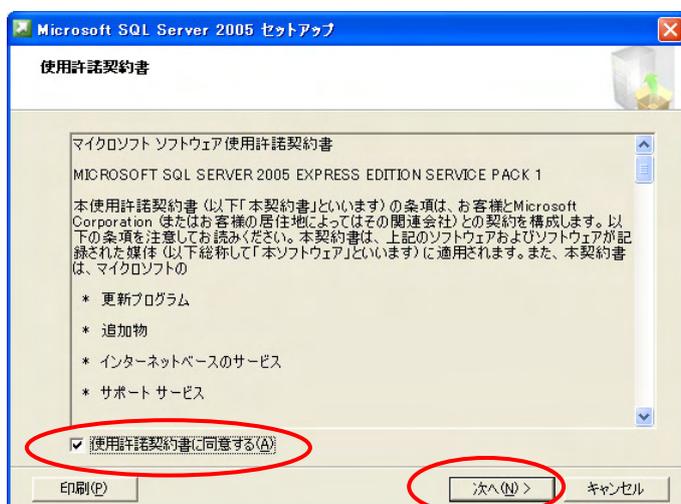


### 8. 2. 3. SQLServer のインストール

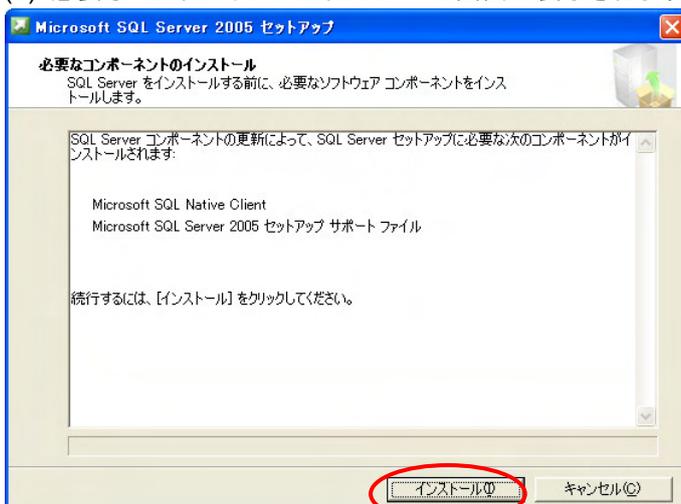
- (1) 次に SQLSever のインストールを行います。
- (2) 下図の SQLEXPJRN.EXE ファイルを実行して下さい。



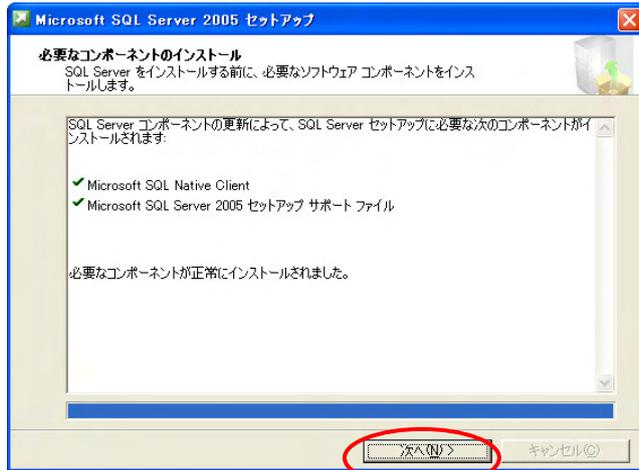
- (3) SQL Server 2005 の使用許諾契約書が表示されます。使用許諾契約書の内容をよくお読みになり、同意頂ける場合は、「使用許諾契約書に同意する」にチェックを入れて「次へ」を押して下さい。



- (4) 必要なコンポーネントのインストール画面が表示されます。「インストール」を押して下さい。



(5) コンポーネントのインストールが完了したら、「次へ」を押してください。



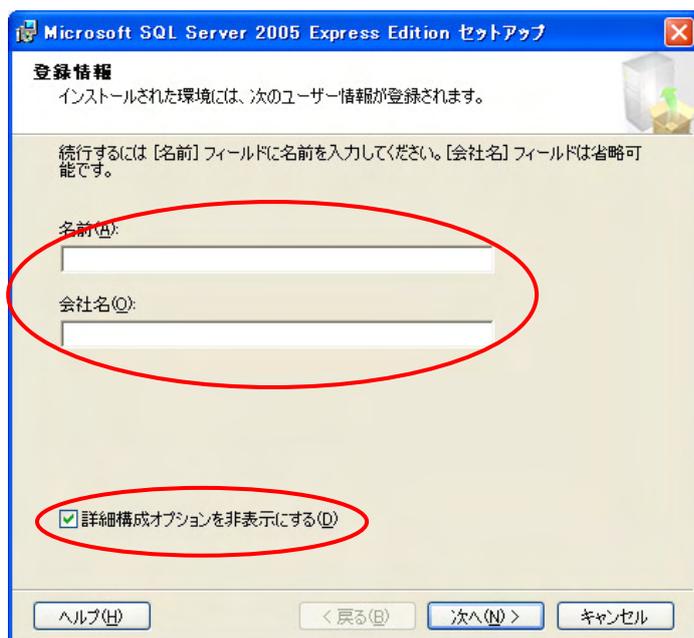
(6) SQL Server 2005 のセットアップウィザードが表示されます。「次へ」を押してください。



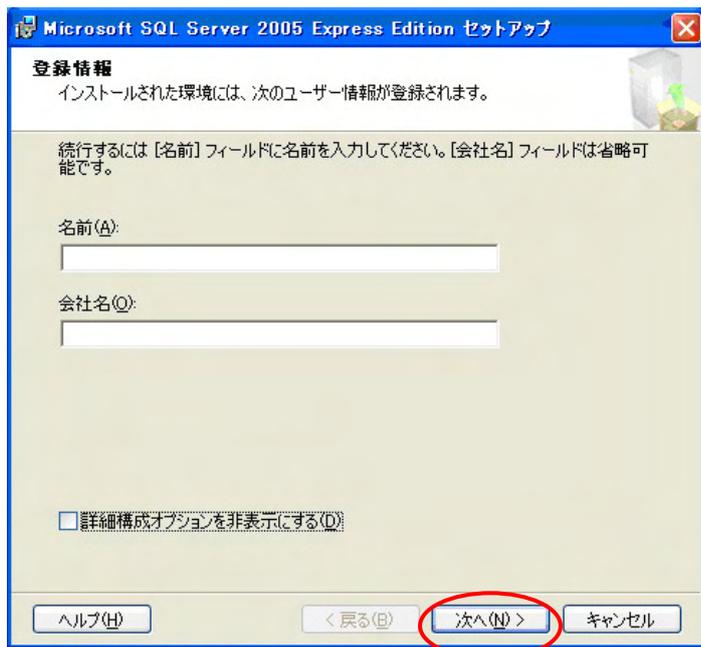
(7) システム構成チェックが表示されます。「次へ」を押してください。



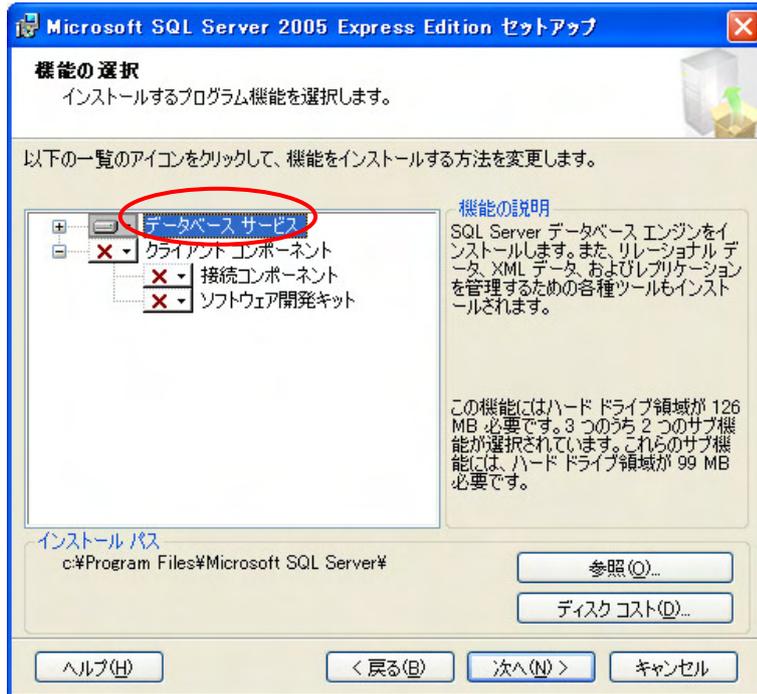
(8) 登録情報が表示されます。名前、会社名には何も記入せず、「詳細構成オプションを非表示にする」のチェックを外してください。



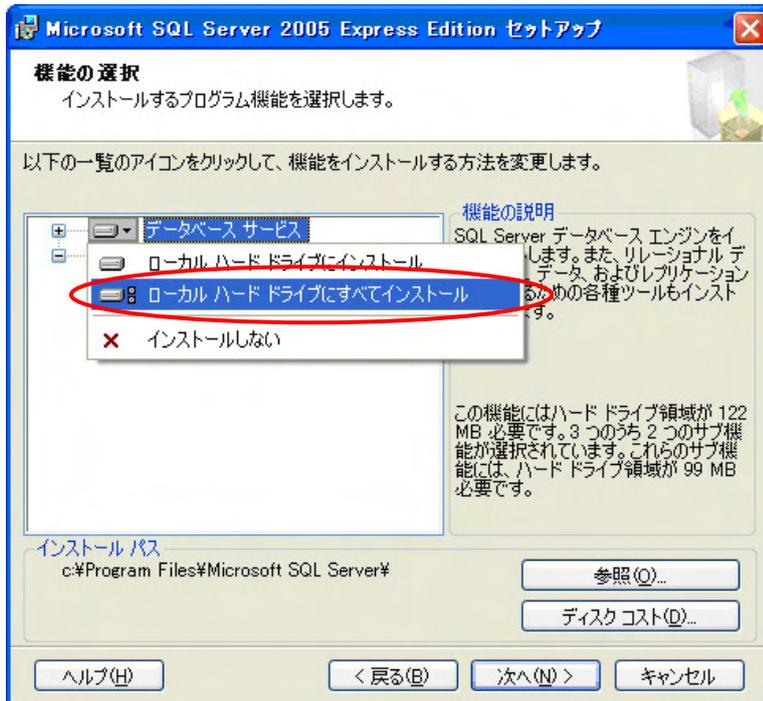
(9) 「次へ」を押してください。



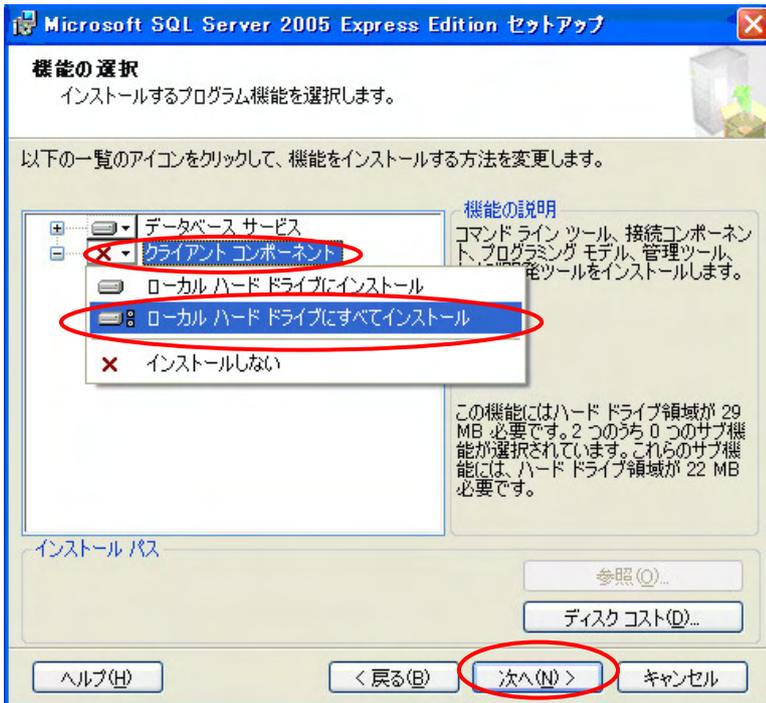
(10) 機能の選択が表示されます。「データベース サービス」を選択して下さい。



(11) 「ローカルハードドライブにすべてインストール」を選択してください。



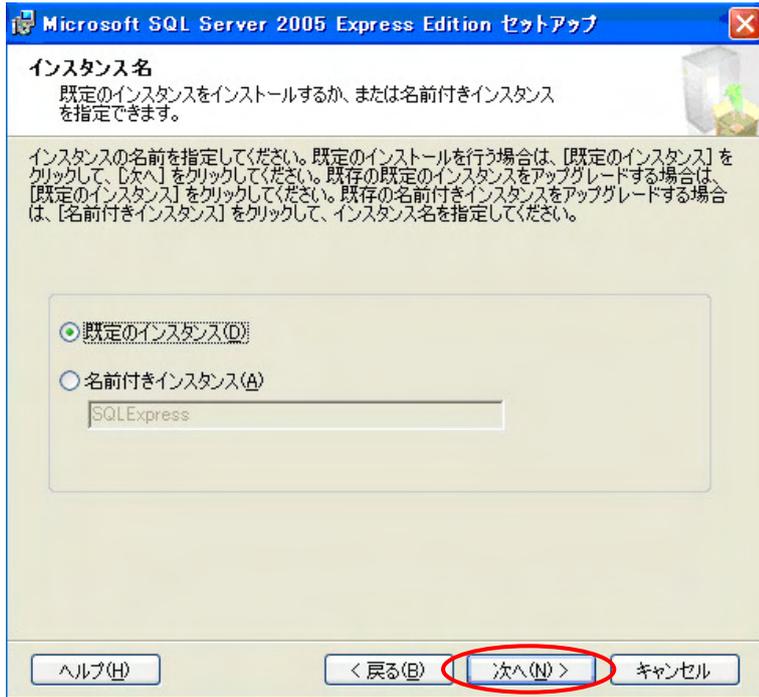
- (12) 「クライアント コンポーネント」を選択し、「ローカルハードドライブにすべてインストール」を選択してください。  
(13) 「次へ」を押してください。



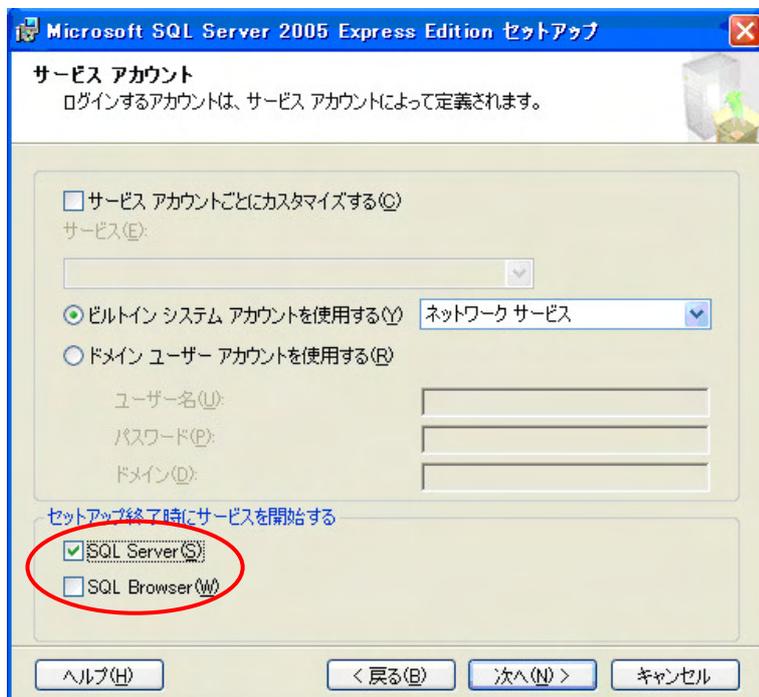
- (14) インスタンス名が表示されます。「既存のインスタンス」を選択してください。



(15) 「次へ」を押してください。



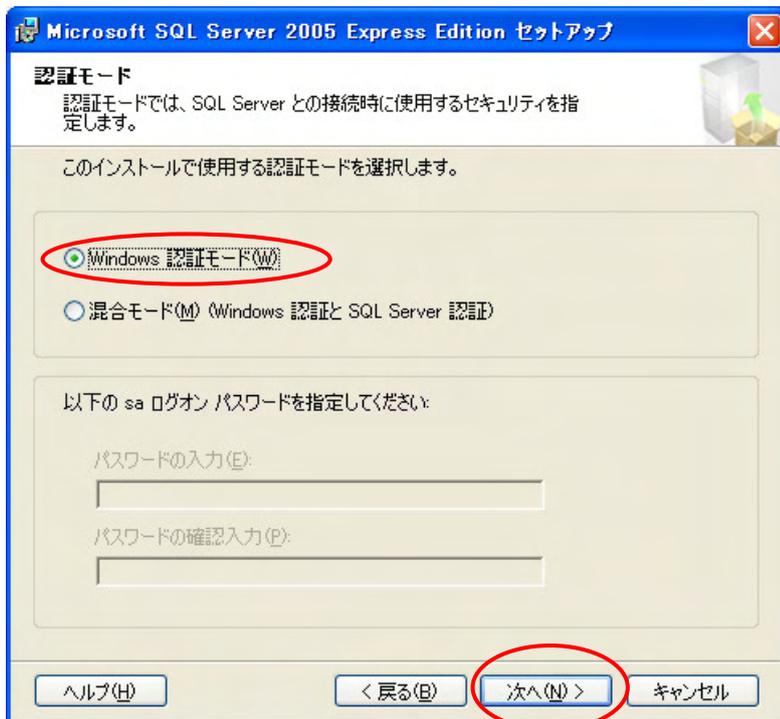
(16) サービスアカウントが表示されます。「セットアップ終了時にサービスを開始する」で、「SQL Server」と「SQL Browser」の両方にチェックしてください。



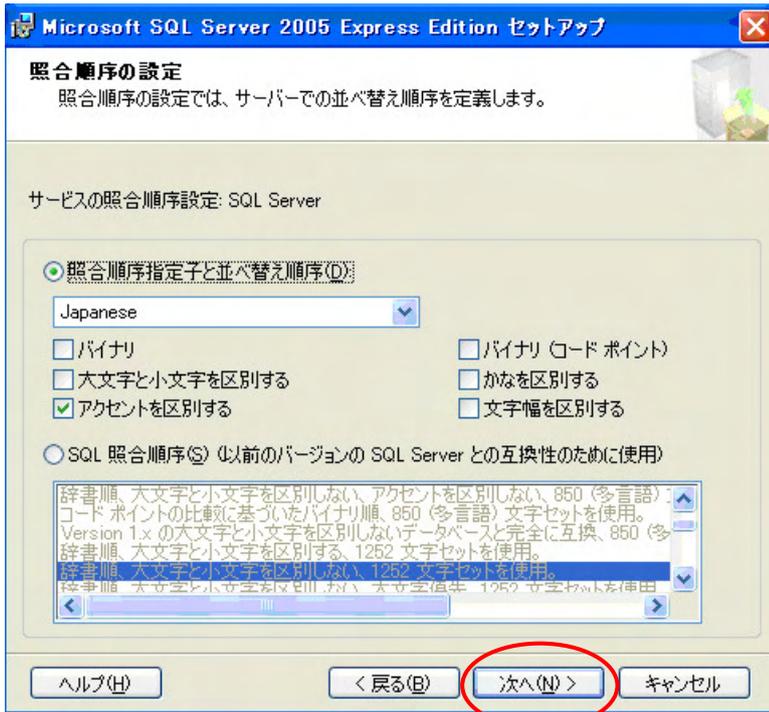
(17) 「次へ」を押してください。



(18) 認証モードが表示されます。「Windows 認証モード」を選択し、「次へ」を押してください。



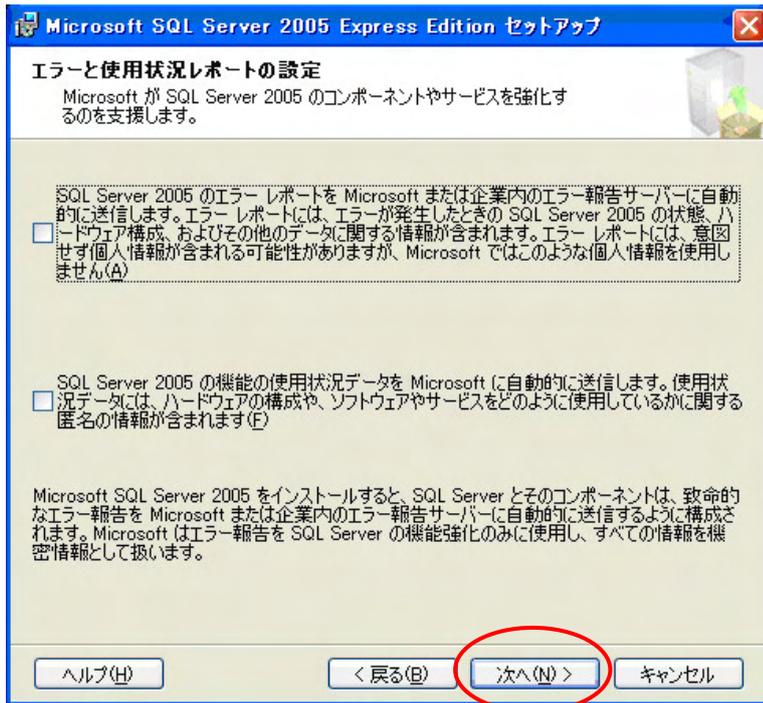
(19) 照合順序の設定が表示されます。「次へ」を押してください。



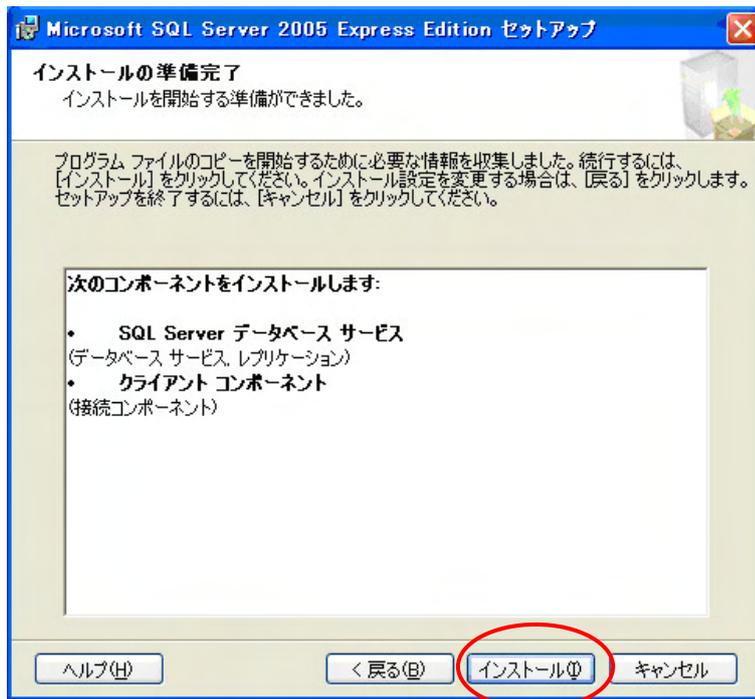
(20) ユーザーインスタンスが表示されます。「次へ」を押してください。



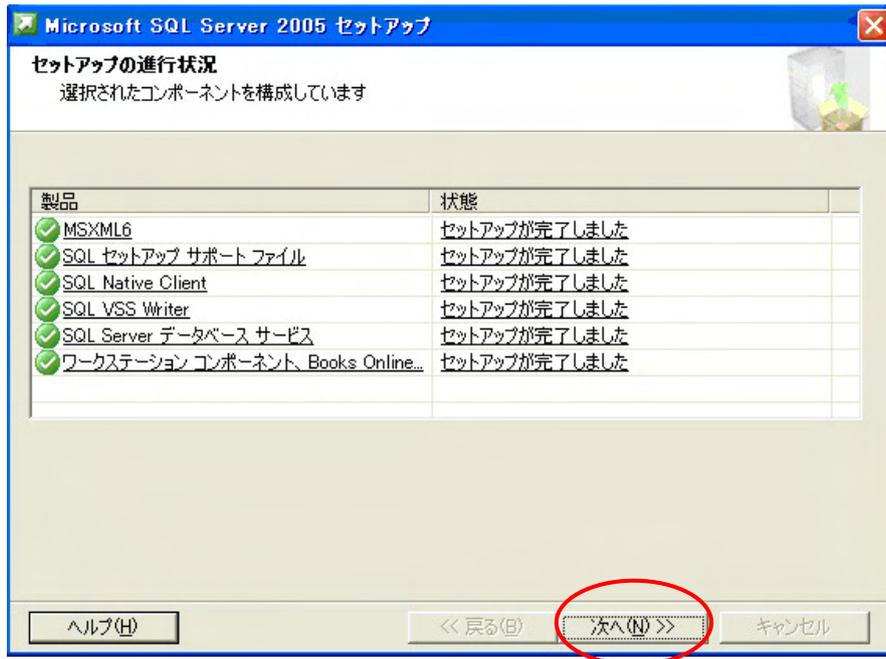
(21) エラーと使用状況レポートの設定が表示されます。「次へ」を押してください。



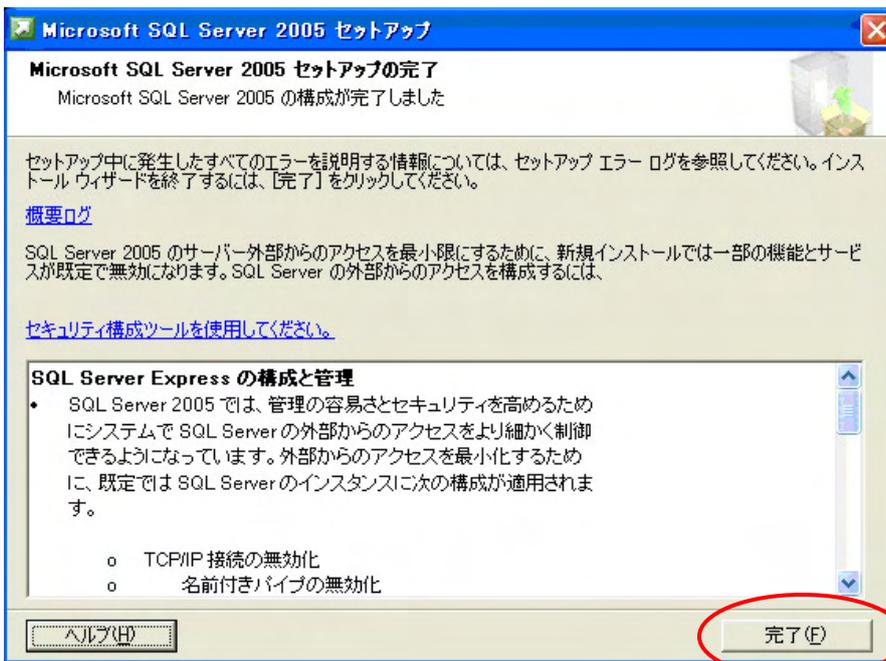
(22) インストールの準備完了が表示されます。「インストール」を押してください。



(23) セットアップの進行状況が表示されます。全てのセットアップが完了したら「次へ」を押してください。

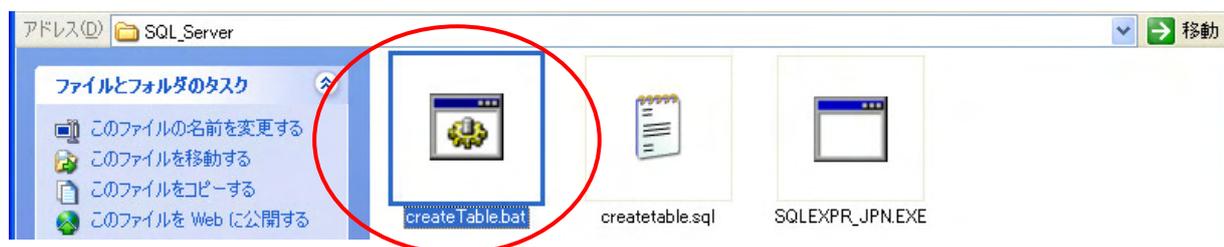


(24) 以上で SQL Server2005 のセットアップは完了です。「完了」を押してください。



## 8.2.4. SQLServer バッチファイルの実行

- (1) 次に SQLServer バッチファイルを実行します。
- (2) 下図の createTable.bat ファイルを実行して下さい。



- (3) 下図のウィンドウが表示されます。

```
C:\ C:\WINDOWS\system32\cmd.exe

D:\20080910(再)_Ver0.0.0.5\SQL_Server>set DB_SOURCE="(local)"

D:\20080910(再)_Ver0.0.0.5\SQL_Server>set DB_NAME=master

D:\20080910(再)_Ver0.0.0.5\SQL_Server>set DB_UID="sa"

D:\20080910(再)_Ver0.0.0.5\SQL_Server>set DB_PWD="mypassword"

D:\20080910(再)_Ver0.0.0.5\SQL_Server>set OSQL="C:\Program Files\Microsoft SQL Server\90\Tools\Binn\OSQL.EXE"

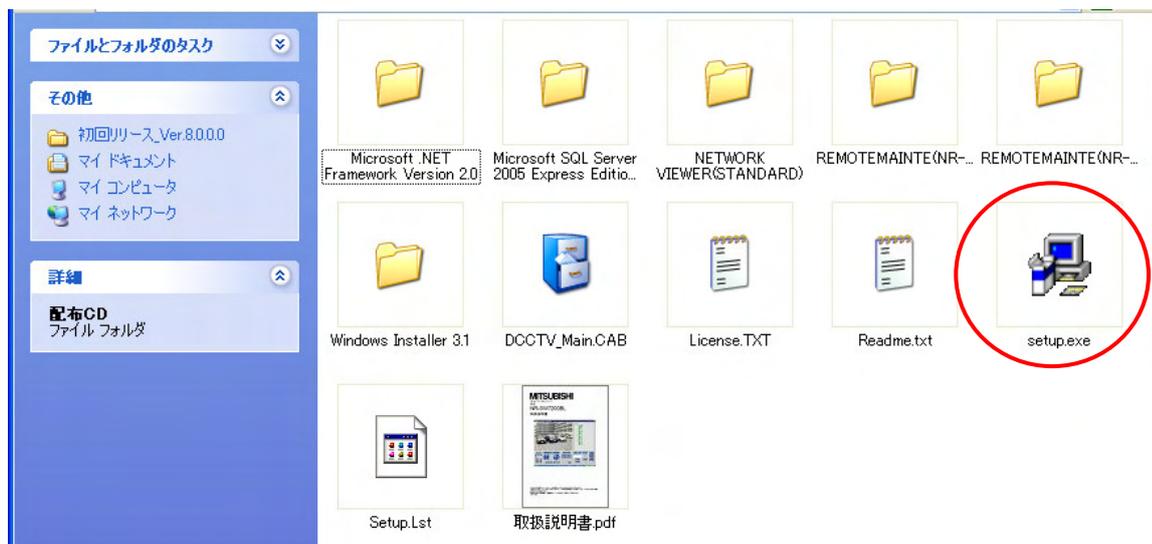
D:\20080910(再)_Ver0.0.0.5\SQL_Server>set DB_SCRIPT=".\\createtable.sql"

D:\20080910(再)_Ver0.0.0.5\SQL_Server>rem "C:\Program Files\Microsoft SQL Server\90\Tools\Binn\OSQL.EXE" -S"(local)" -U"sa" -P"mypassword" -dmaster -i".\\createtable.sql"

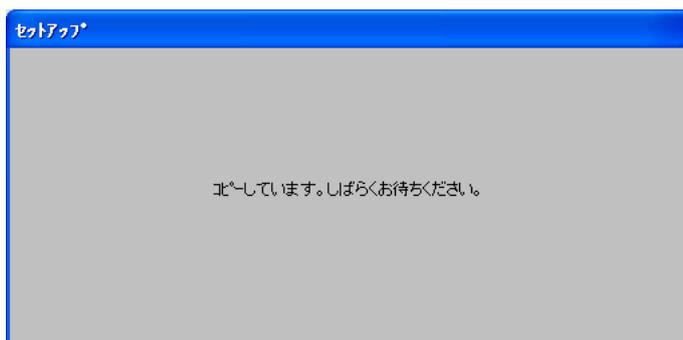
D:\20080910(再)_Ver0.0.0.5\SQL_Server>"C:\Program Files\Microsoft SQL Server\90\Tools\Binn\OSQL.EXE" -S"(local)" -E -dmaster -i".\\createtable.sql"
```

## 8.2.5. 本製品(NR-SW8000DG)のインストール

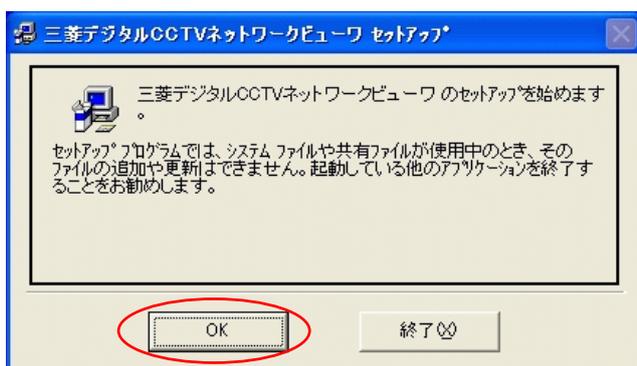
- (1) 最後に本製品(NR-SW8000DG)のインストールを行います。
- (2) 下図の setup.exe を実行してください。



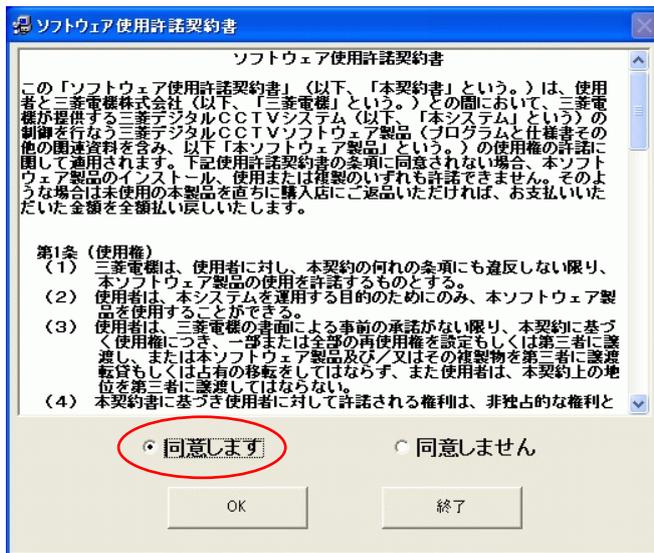
- (3) 実行すると、下記の表示状態になり、しばらくすると(4)の状態になります。



- (4) OK のボタンを押して、セットアップを実行します。終了を押すと、セットアップを行わずに終了します。

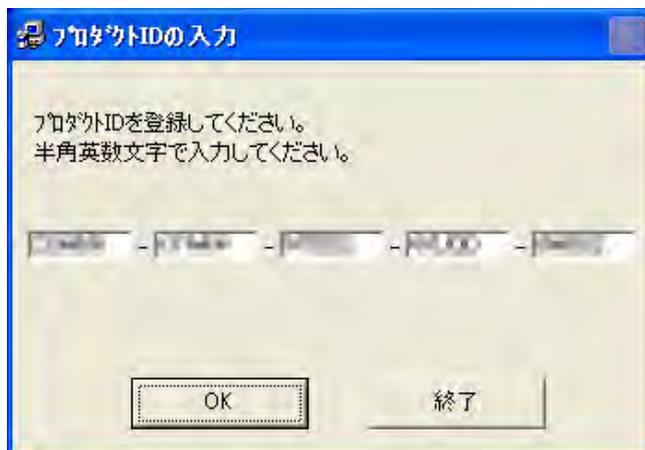


- (5) ソフトウェア使用許諾契約書の内容をよくお読みになり、同意頂ける場合は、「同意します」にチェックを入れて OK ボタンを押してください。「同意しません」にチェックを入れて OK ボタンを押すと、インストールは終了します。



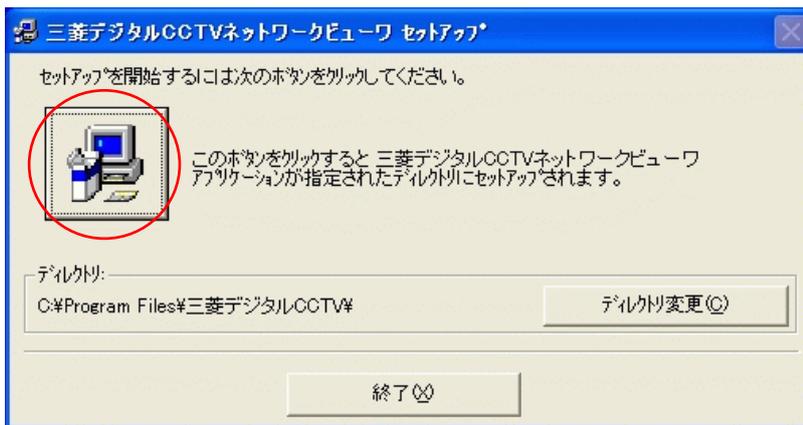
ソフトウェア使用許諾契約書をよくお読みください。

- (6) 付属のプロダクト ID 番号(CD ケースに貼り付けてあります)を入力して OK ボタンを押してください。



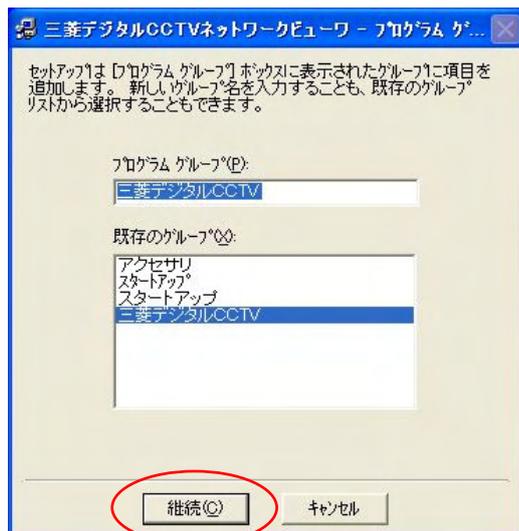
1つの ID でインストールできるコンピュータは2台のみです。

- (7) セットアップ先のディレクトリを確認してセットアップを続行します。セットアップを続けるには、円内のアイコン・ボタンを押します。

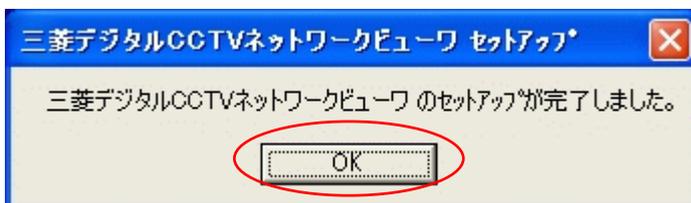


ディレクトリの変更は行わないでください。正しく動作しません。

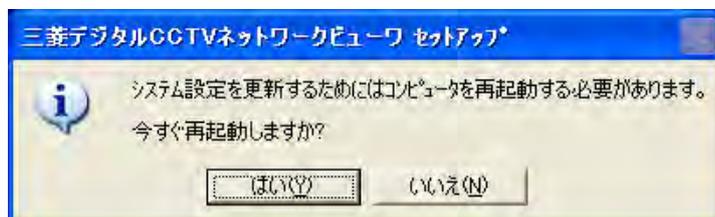
- (8) プログラムグループの選択画面が表示されます。(変更しないことを推奨します。) 継続のボタンを押すと、セットアップを続行します。



- (9) 以下のメッセージが表示されるとインストールは完了です。OK ボタンを押すと、セットアップを終了します。



- (10) インストールが終了すると、下記メッセージが表示されますので、「はい」を押して、コンピュータを再起動します。

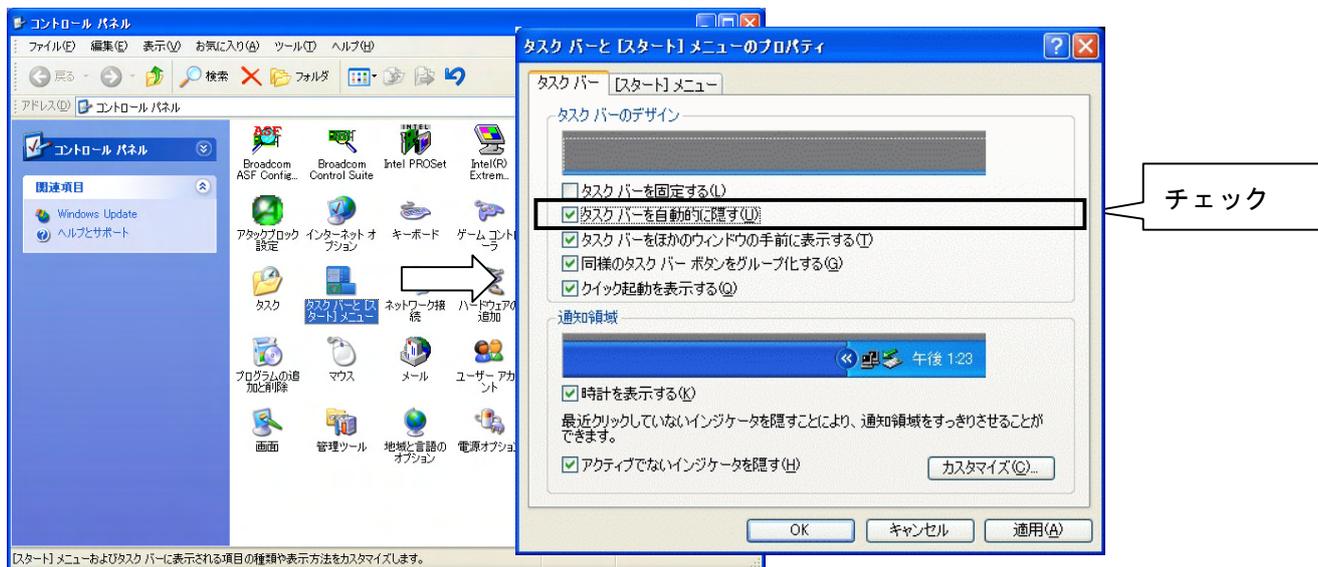


### 8.3. コンピュータの設定

(1) ソフトウェア起動の前に、コンピュータの設定を以下のようにしてください。

タスクバー表示:	自動的に隠す
スクリーンセーバー:	OFF
省電力モード:	OFF

(2) コントロールパネルから、「タスクバーと[スタート]メニュー」を開いて、「タスクバーを自動的に隠す」をチェックします。



(3) コントロールパネルから、「画面」を開いて、スクリーンセーバーをなし、電源...でシステムスタンバイ。システム休止状態をなしにします。



**!** コンピュータは、デジタルCCTV標準ソフトウェア専用で使用するようにしてください。<sup>1</sup>

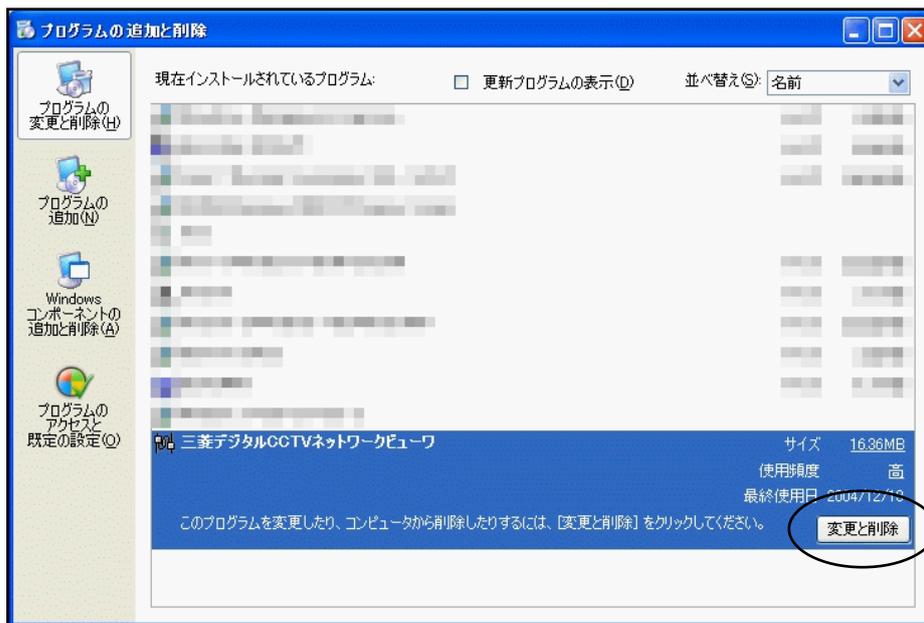
<sup>1</sup> 他のアプリケーションを同時に動作させている場合、CPU 処理負荷などの関係で期待通りの動作ができない場合があります。

## 8. 4. ディレクトリ構成 (参考)



## 8. 5. 再セットアップ

- (1) 本ソフトウェアのセットアップを行ったコンピュータに、再度セットアップを行う場合は、必ず「プログラムの追加と削除」にて、ソフトウェアを削除してから行ってください。
- (2) アプリケーションの追加と削除を起動し、「三菱デジタルCCTVネットワークビューワ」を選択して、「変更と削除」ボタンを押します(下図参照)。



- (3) 削除後、「8.2.セットアップ」(12 ページ)を参照して、再度セットアップ作業を行ってください。<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 再セットアップを行うと、設定データは初期値に上書きされます。上書きしたくない場合、ソフトウェア削除の前に「14.6.設定ファイルのバックアップ」(188 ページ)を参照して設定ファイル類をバックアップするようにしてください。

## 8. 6. インストールに失敗した場合

---

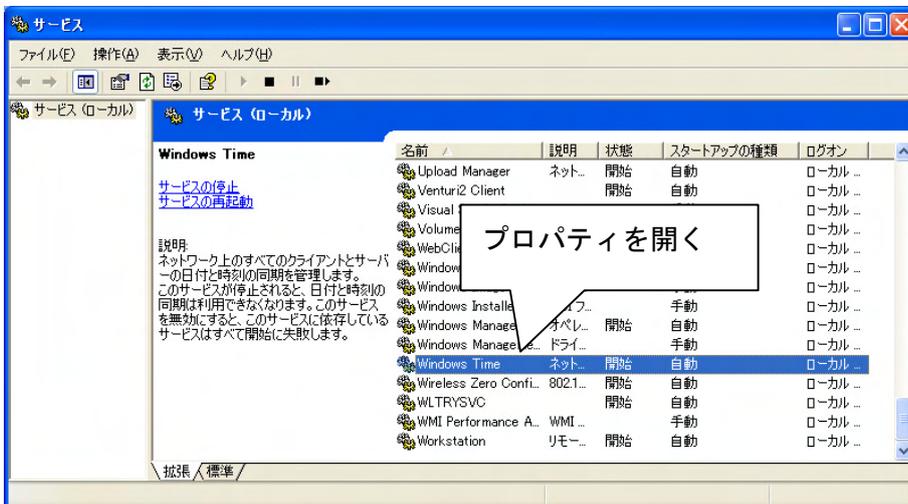
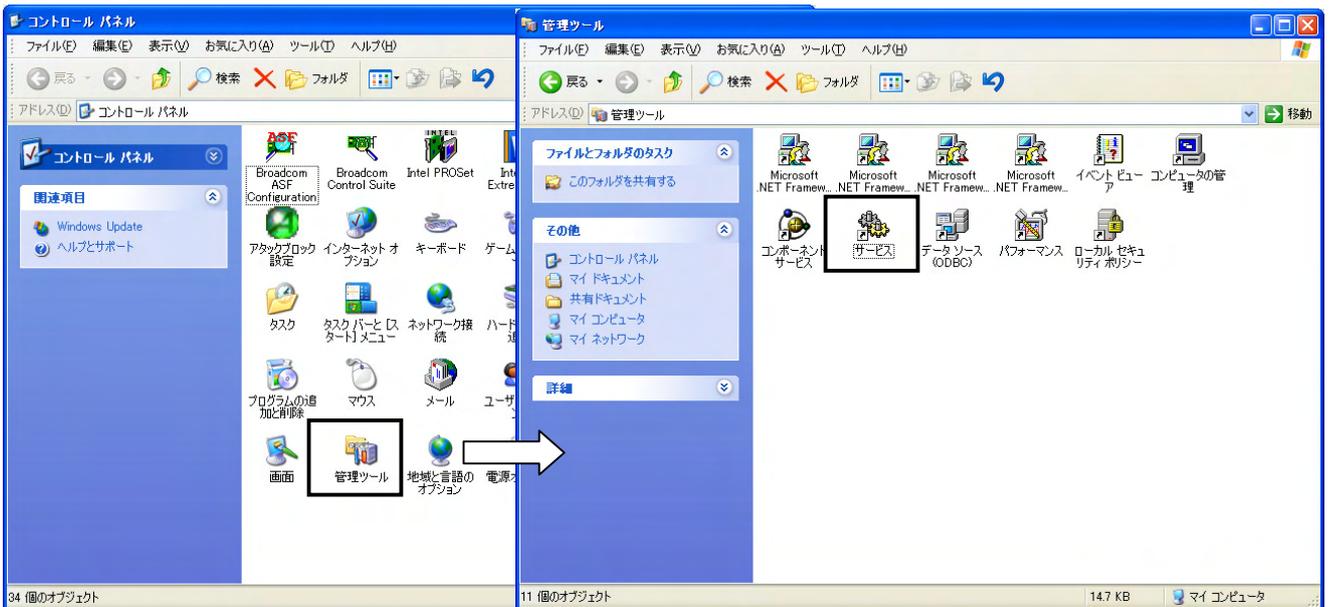
(1) インストールに失敗した場合は次の手順①～⑤を順に実施してください。

- ①本製品 (NR-SW8000DG) のアンインストールを実施してください。
- ②SQLSever のアンインストールを実施してください。
- ③Microsoft .NET Framework2.0 のアンインストールを実施してください。
- ④WindowsInstaller3.1 をアンインストールしてください。
- ⑤「8.2.セットアップ」(12 ページ)を参照して、再度セットアップ作業を行ってください。

## 9. ソフトウェアの起動

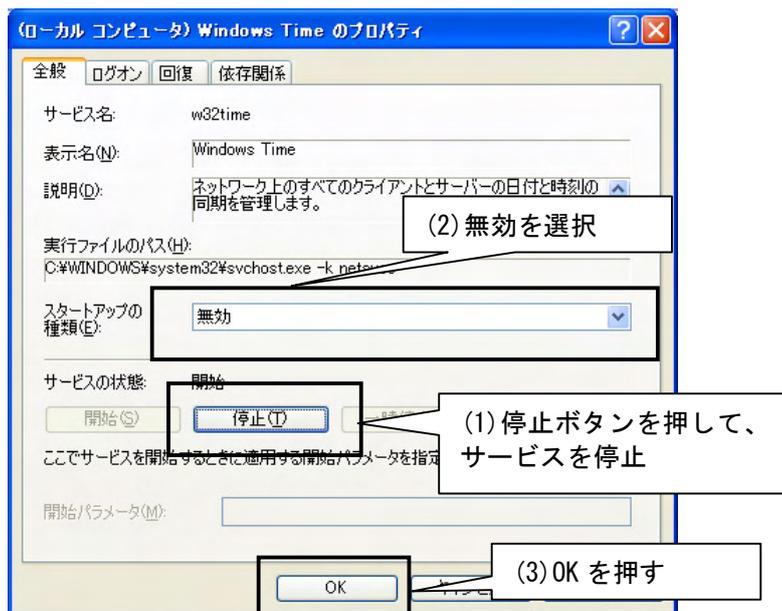
### 9.1. SNTP サーバ自動起動の設定<sup>1</sup>

- (1) 本ソフトウェアをインストールしてあるコンピュータとネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の時刻情報が合致していないと、記録画像の再生が正常に行えない場合があります。
- (2) ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 は、SNTP クライアント機能がインストールされており、SNTP サーバの時刻情報に合わせるようになっています。
- (3) SNTP サーバ自動起動に設定する前に、Windows Time サービスを停止しておく必要があります。
- (4) コントロールパネル→管理ツール でサービスを開きます。サービスの中から Windows Time サービスを選択し、マウス右ボタンでプロパティを開きます。

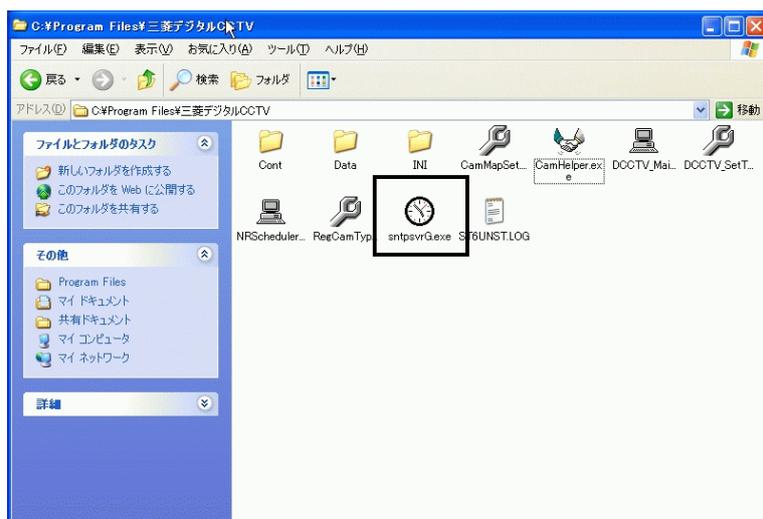


<sup>1</sup> 本書ではコンピュータ内で SNTP サーバを動作させるように書かれていますが、SNTP サーバがある(または接続できる状態)場合には、そちら側を使用することを推奨します。

(5) プロパティで、「サービスを停止」、「スタートアップを無効」にして OK ボタンを押します。



(6) スタートアップに SNTP サーバソフト「sntpvrG.exe」を登録します。<sup>1 2</sup>



(7) コンピュータを再起動します。



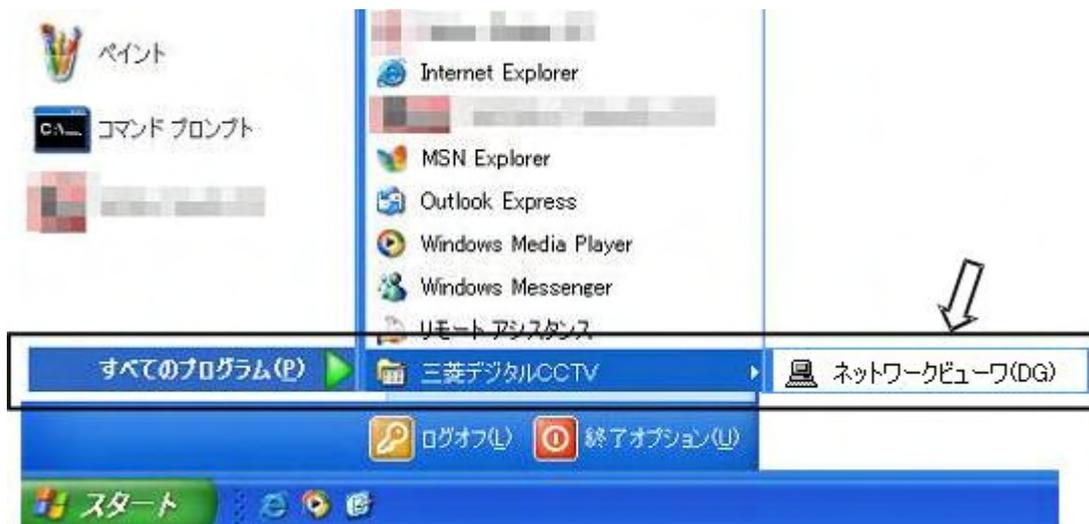
この作業は一度だけ実施します。毎回作業する必要はありません。

<sup>1</sup> C:\Program Files\三菱デジタル CCTV フォルダの下に格納されています。(デフォルトでインストールした場合。)

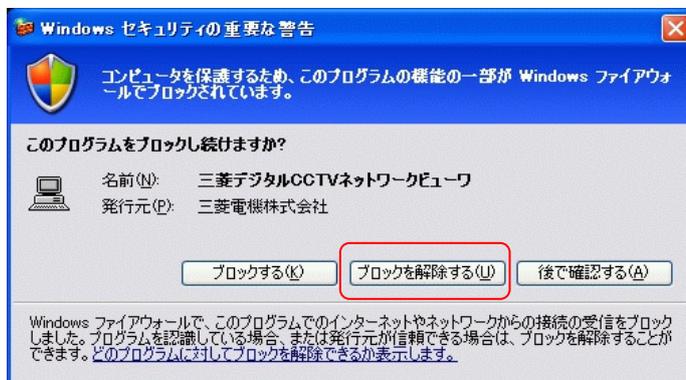
<sup>2</sup> スタートアップへの登録のしかたは、Windows ヘルプ等を参照してください。(キーワード: Windows を起動するたびにプログラムを起動するには)

## 9.2. ネットワークビューワの起動

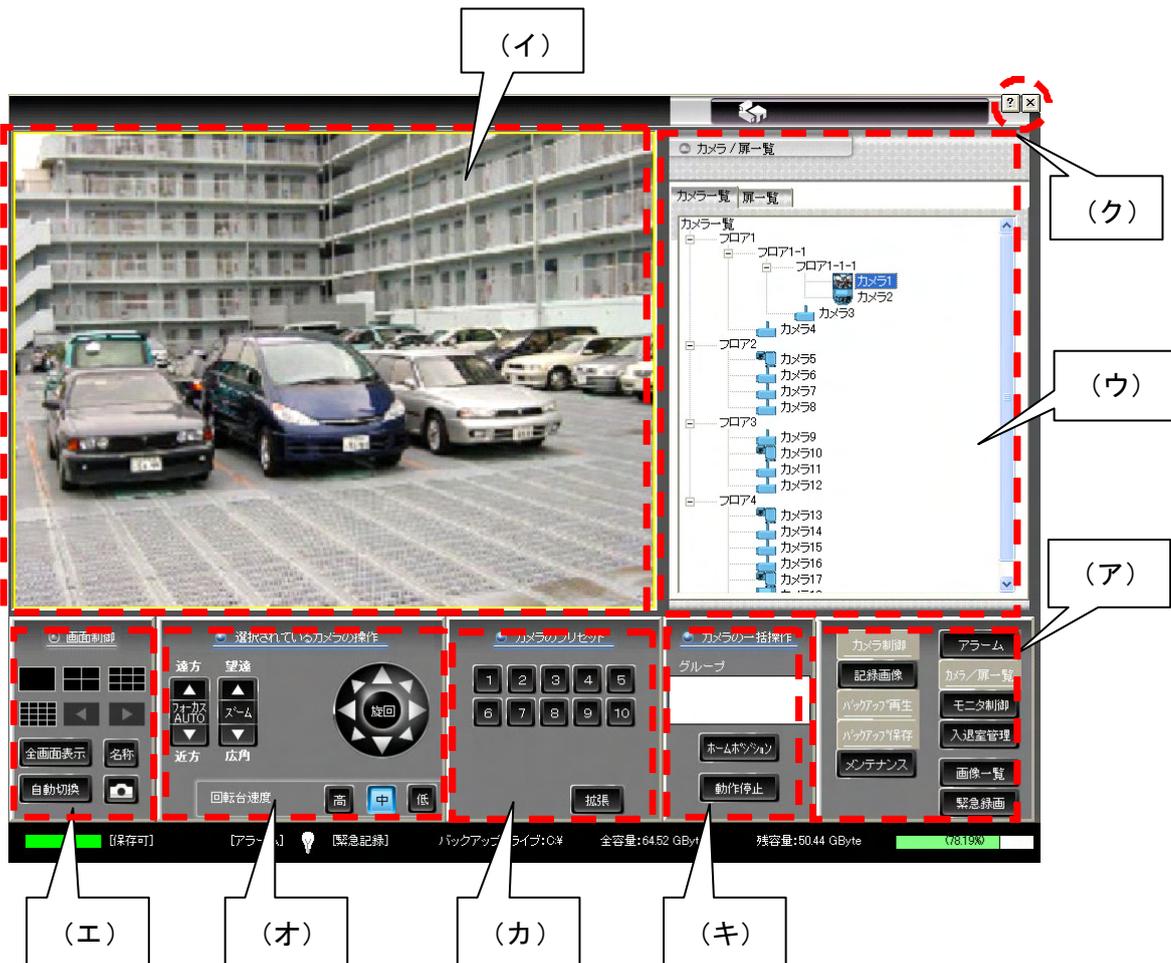
(1) スタートメニューで「三菱デジタルCCTV」のフォルダを選択し、「ネットワークビューワ(DG)」を選択します。



初回起動時のみ「Windows セキュリティの重要な警告」が表示される場合があります。  
「ブロックを解除する」を押してソフトウェアを起動してください(下図参照)。



(2) ソフトウェアのメイン画面<sup>1</sup>を表示します。



記号	名称	概要	参照ページ
(ア)	制御切換えパネル	制御種別により制御ボタンを切り換えて表示します。 緊急録画ボタンで、記録レートを上げて記録します。	40
(イ)	画像表示パネル	カメラ映像や再生映像などが表示されます。	42
(ウ)	カメラ／扉選択パネル	カメラ制御時：映像表示・制御を行うカメラの選択をします。 扉制御時：制御を行う扉の選択をします。	47
(エ)	画面制御パネル	画像表示画面の選択及び静止画の記録を行います。	51
(オ)	カメラ制御パネル	回転台付きカメラの回転台、レンズ等の制御を行います。	52
(カ)	プリセットパネル	プリセット制御を行います。	53
(キ)	一括操作パネル	グループ設定された全てのカメラを一括で制御します。	54
(ク)	バージョン表示	ソフトウェアのバージョンが表示されます。	73
(ク)	終了ボタン	アプリケーションを終了させます。	73

<sup>1</sup> 実際の画面とは多少異なる場合があります。

## 10. ソフトウェア概要

### 10.1. 機能一覧

・本ソフトウェアの主要な機能について以下に示します。

大項目	項目	概要	参照ページ
カメラ選択	カメラツリー選択	カメラをツリー形式でアイコン表示でき、アイコンを選択することでカメラを指定できます。	47
	カメラアイコン選択	平面図上にカメラアイコンを配置し、アイコン選択することでカメラを指定できます。	50
扉選択	扉ツリー選択	扉をツリー形式でアイコン表示でき、アイコンを選択することでカメラを指定できます。	47
	扉アイコン選択	平面図上に扉アイコンを配置し、アイコン選択することで扉を指定できます。	50
カメラ制御 (ライブ映像表示)	回転台制御	パン・チルト・回転台速度(高/中/低)制御 <sup>2</sup>	52
	レンズ制御	ズーム(望遠/広角)・フォーカス(遠/近/ワンプッシュAF)制御 <sup>2</sup>	52
	プリセット制御	プリセット制御(最大255点 <sup>1)</sup> <sup>2</sup>	53
	プリセットシーケンス制御	プリセットシーケンス制御(5点 <sup>2</sup> )	53
	ワイパ制御	ワイパ制御 <sup>2</sup>	52
	照明制御	照明制御 <sup>2</sup> (ON/OFF)	52
	オートパン	オートパン制御・登録 <sup>2</sup>	53
	ダイレクトポジション	カメラ映像上をマウスでクリックすることでクリックした位置が中心になるように回転台を旋回させることができます。 <sup>2</sup>	78
	ホームポジション	カメラをグループ単位で登録してあるホームポジション <sup>3</sup> に移動することができます。 <sup>2</sup>	54
	分割画面表示	単画・4分割・9分割・16分割表示。	51
	全画面表示	画面全体にカメラ(ライブ)映像を表示します。	51
	自動スキャン	あらかじめ登録したスキャンパターンで映像切換を行います。	51
	カメラ名称表示	カメラ映像にカメラ名称を表示できます。	51
	キャプチャ	表示中の画像を1枚のJPEGファイルとしてファイル保存できます。	51
	記録画像再生・検索	再生制御	コマ送り・コマ戻し・手動記録・停止・一時停止・再生・逆再生・早送り・早戻し
拡大表示		画像上をマウスクリックすることでクリックした位置が画像表示の中心に来るように記録映像を拡大表示できます。VGA から XGA までを4段階で拡大表示します。	42
全画面表示		画面全体に記録画像を表示します。	55
記録時刻表示		描画画像の記録時刻の表示及び該当カメラの最古記録時刻を表示します。	56
カメラ名称表示		記録映像にカメラ名称及び記録時刻を表示します。	55
キャプチャ		再生表示中の画像を1枚のJPEGファイルとしてファイル保存できます。	55
スケジュール記録		あらかじめ登録したスケジュールによって記録レートを可変し、記録できます。	103
タイムデートサーチ		指定日時情報で検索します。	56
アラームリストサーチ		アラームリストから検索します。	84
扉警報リストサーチ		扉警報リストから検索します。	84
通行操作履歴リストサーチ		通行操作履歴リストから検索します。	85

<sup>1</sup> カメラ機能により、255 点以下の場合があります。カメラ仕様をご確認ください。

<sup>2</sup> カメラが機能を保有していない場合は、使用できません。

<sup>3</sup> ホームポジションの登録は、「12.9.ホームポジション」(106 ページ)を参照してください。

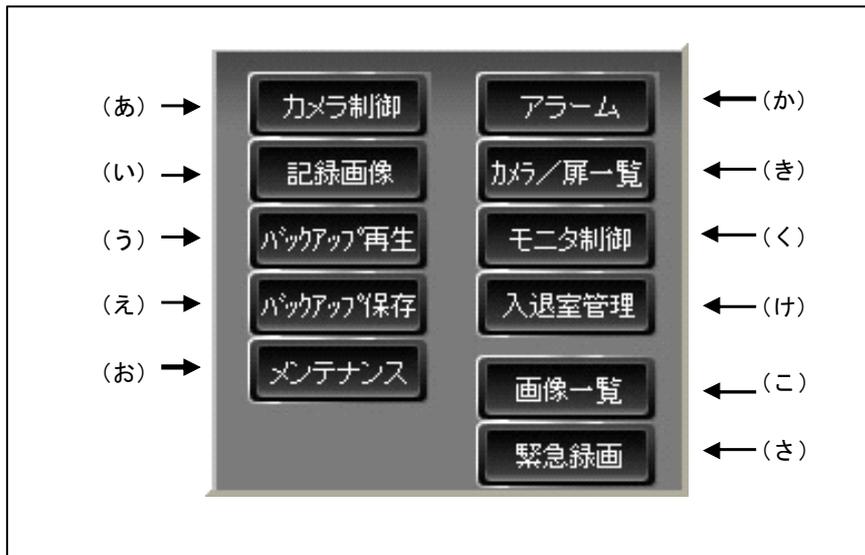
大項目	項目	概要	参照 ページ
	バックグラウンドバックアップ保存	バックアップ保存ボタンを押すことによりバックアップを開始し、再度ボタンを押すことによりバックアップを停止します。	86
	簡易プリアラーム再生	アラームリスト又は入退室リストから再生を開始した場合、該時刻よりも過去の時刻から再生を開始します。	84
外部保存	外部保存	バックアップ保存したデータを外部メディアにコピーします。	90
モニタ制御	起動時動作指定	ソフトウェア起動時、アラーム解除時等のデフォルト状態を設定できます。	128
	映像選択	平面上から任意のカメラを Drag&Drop することで映像表示させることができます。	70
	画面切替	単画／4分割を切替えて映像表示することができます。	70
	自動スキャン	ネットワークマルチビューに予め登録されているシングルシーケンス 1、又は、マルチシーケンス 1 を起動します。	70
	カメラ名称表示	カメラの名称をモニタ上に表示します。	70
静止画	サムネイル表示	キャプチャした静止画を一覧表示します。	91
	拡大表示	キャプチャした静止画を拡大表示します (x2,x3,x4)。	91
	部分拡大表示	キャプチャした静止画を部分拡大表示します (x2,x3,x4)。	91
	静止画印刷	キャプチャした静止画を印刷します。	91
	静止画コピー	キャプチャした静止画を指定フォルダにコピーします。	91
アラーム連動	カメラ切替	発生したアラームに対応して表示映像を切り換えます。	139、169
	アラーム記録	発生したアラームに対応したカメラの映像の記録レートを上げて記録するように NR-7000/7110/7116 へ指示します。	139、169
	モニタ切替	発生したアラームに対応したカメラの映像を指定のネットワークマルチビューに出力します。	139、169
	アラーム履歴	発生したアラームのリスト表示及びログファイルへの記録を行います。	84
	アラームホールド	アラーム発生による映像表示切替を実施しない設定ができません。	107
	センサ設定	各種アラーム(外部センサ等)機能の ON/OFF 及びセンサ有効期間等の設定を行います。	107
扉警報連動	カメラ切替	発生した扉警報に対応して表示映像を切り換えます。	139、169
	扉警報記録	発生した扉警報に対応したカメラの映像の記録レートを上げて記録するように NR-7000/7110/7116 へ指示します。	139、169
	モニタ切替	発生した扉警報に対応したカメラの映像を指定のネットワークマルチビューに出力します。	139、169
	扉警報履歴	発生した扉警報のリスト表示及びログファイルへの記録を行います。	84
	扉警報ホールド	扉警報発生による映像表示切替を実施しない設定ができません。	107
	履歴データ整合	入退室管理システムから扉警報履歴データを取得します。	94
通行操作連動	通行操作履歴	発生した通行操作のリスト表示及びログファイルへの記録を行います。	63
	通行操作履歴詳細表示	通行操作のリストの項目を選択すると、該当する通行操作履歴の詳細を表示します。	67
	履歴データ整合	入退室管理システムから通行操作履歴データを取得します。	94
扉状態連動	扉状態表示	扉状態のリスト表示を行います。	65
	扉状態詳細表示	扉状態のリストの項目を選択すると、該当する扉状態の詳細を表示します。	68
	扉遠隔制御	扉状態の詳細画面にて、扉の遠隔制御ができます。	68
在室管理	在室管理情報表示	在室管理情報のリスト表示を行います。	66
	在室管理情報詳細表示	在室管理情報のリストの項目を選択すると、該当する在室者の詳細を表示します。	69

大項目	項目	概要	参照 ページ
登録	プリセット登録	プリセット登録します。	95
	オートパン登録	オートパンの左端位置、右端位置を登録します。	96
	プリセットシーケンス登録	プリセットシーケンスを登録します。(5点)	97
	ホームポジション登録	カメラ毎にデフォルト状態を登録します。	106
	スキャンパターン登録	自動スキャンパターンを登録します。	102
	アラーム連動登録	外部アラーム入力機器からのアラーム情報をネットワーク経由で受信し、アラーム動作します。	132、133、 134、135
	キャプチャ設定	デフォルトファイル名の使用有無を設定します。	98
	画面分割設定	分割画面のカメラ割付を設定します。	99
	故障通知	故障履歴の表示や故障通知の有無を設定します。	109
	音声遅延	受信音声の遅延量を設定します。	110
	カメラアイコン配置	フロア図上にカメラアイコンを配置します。	178
	扉アイコン配置	フロア図上に扉アイコンを配置します。	178
	在室者アイコン配置	フロア図上に在室者アイコンを配置します。	178
その他	時刻同期	コンピュータ側で SNTP サーバを起動します。	33
		コンピュータ側から入退室管理システムに対し、定期的に時刻同期を実施します。	63

## 10.2. 画面の説明

### 10.2.1. 制御切換えパネル

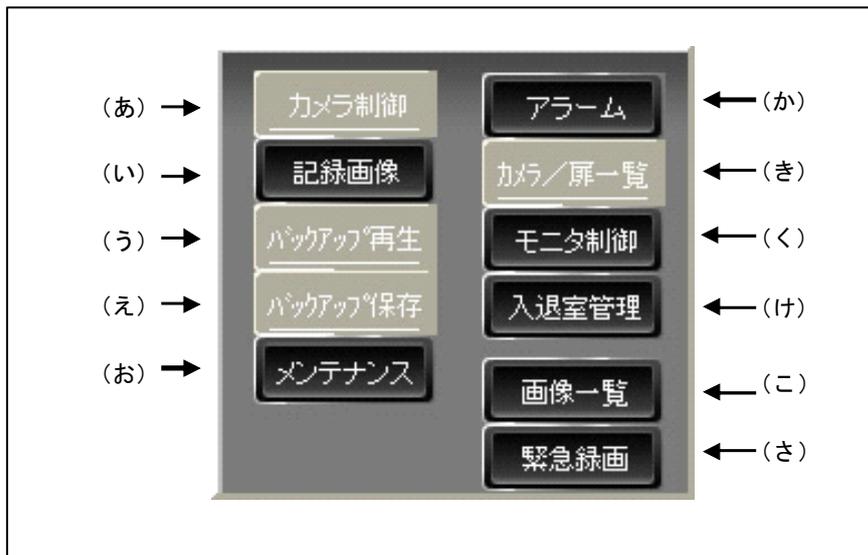
(1) 制御切換えパネルでは、制御種別により制御パネル、選択パネルの切換えを行います。



記号	ボタン名称	概要	参照
(あ)	カメラ制御	制御パネルをカメラ制御パネルに切り換えます。	カメラ制御パネル(52 ページ)
(い)	記録画像	このボタンを押下すると、制御パネルが表示画像パネルと記録画像再生パネルに切り換わります。	記録画像再生(55 ページ)
(う)	バックアップ再生	バックアップ画像選択画面を表示します。	11.8 バックアップ画像を再生する(89 ページ)
(え)	バックアップ保存	バックグラウンドバックアップ保存画面を表示します。	11.7 記録画像をバックアップする(86 ページ)
(お)	メンテナンス	制御パネルをメンテナンスパネルに切り換えます <sup>1</sup> 。	12.メンテナンスパネル(93 ページ)
(か)	アラーム	このボタンを押下すると、アラームパネルが表示されます。	アラームパネル(58 ページ)
(き)	カメラ/扉一覧	このボタンを押下すると、カメラ/扉選択パネルが表示されます。	カメラ/扉選択パネル(47 ページ)
(く)	モニタ制御	このボタンを押下すると、カメラ選択パネルが、外部モニタパネルに切り換わります。	モニタ制御パネル(70 ページ)
(け)	入退室管理	このボタンを押下すると、入退室管理パネルが表示されます。	入退室管理パネル(63 ページ)
(こ)	画像一覧	キャプチャ画像のサムネイル表示を行います。	11.11.キャプチャした静止画像を表示、印刷する(91 ページ)
(さ)	緊急録画	緊急録画を実施する。	緊急録画(72 ページ)ステータスバー

<sup>1</sup> パスワード入力画面が表示されます。パスワード照合に成功した場合のみメンテナンスパネルに切り換ります。

(2) 無効なボタンはグレイアウト表示されます。下図の場合では(あ)(う)(え)(き)の4つのボタンが無効なボタンとなります。

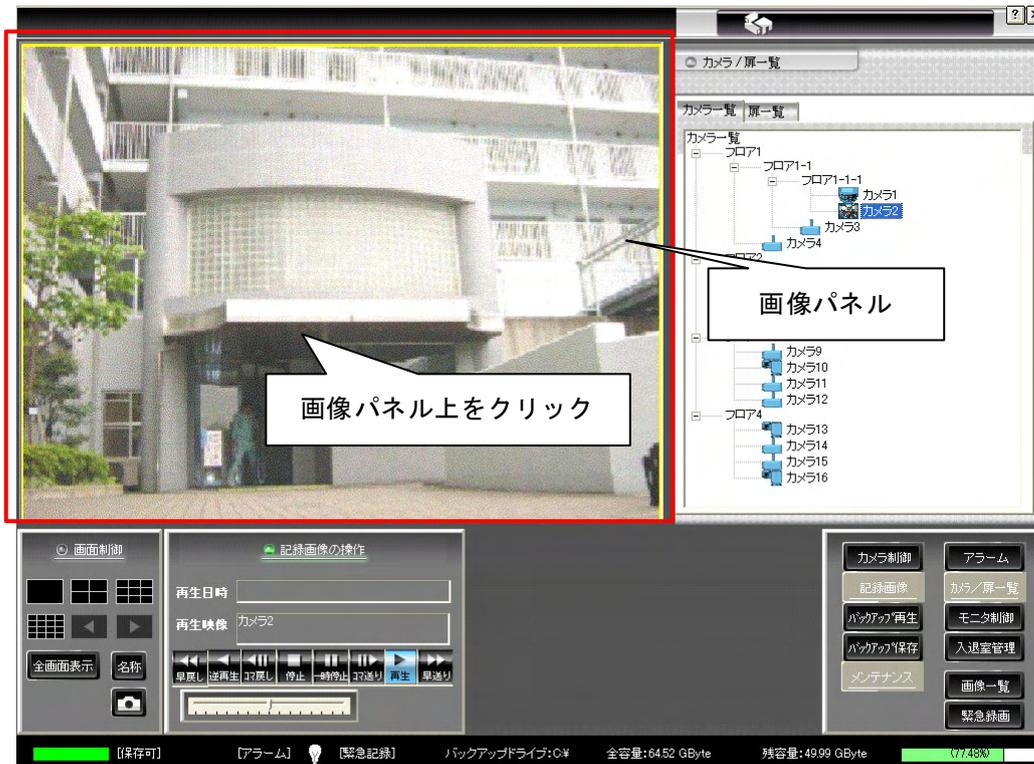


## 10.2.2. 画像表示パネル

- (1) カメラ映像表示中に、画像パネル部をマウスでクリックすると、クリック位置が中心になるようにカメラが動作します。詳細は、「11.2.回転台付きカメラを操作する」(78 ページ)を参照してください。



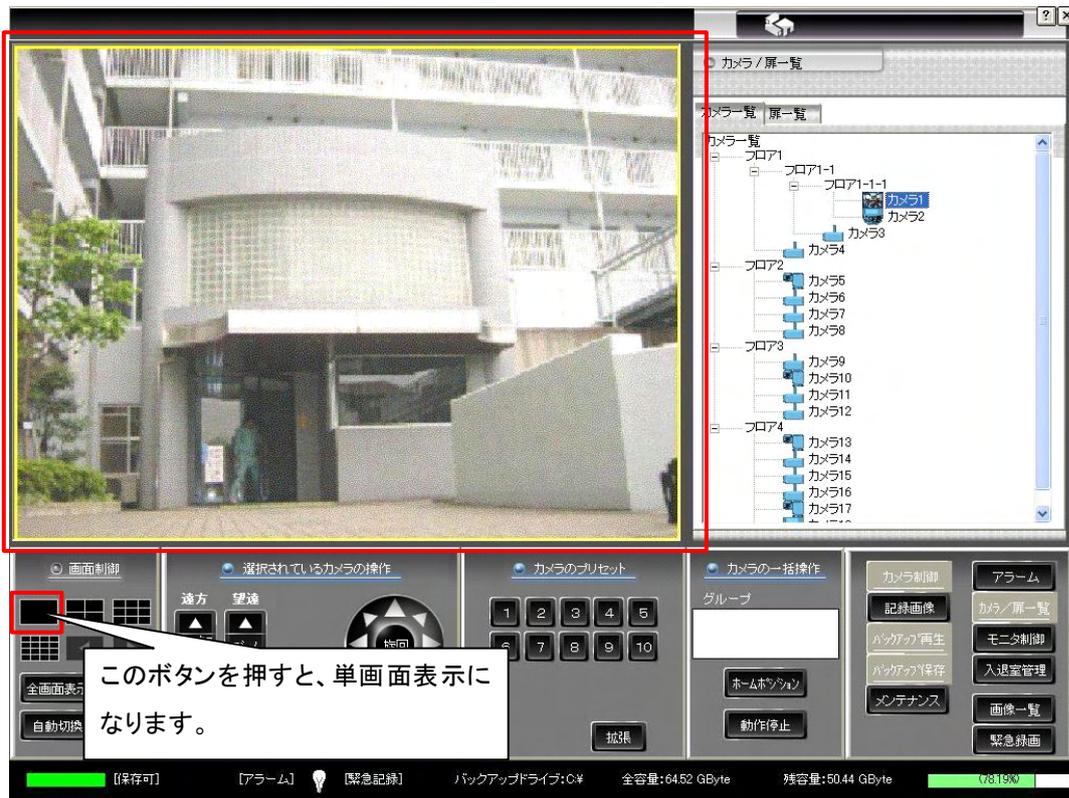
- (2) 記録画像再生中に、画像パネル部をマウスで左クリックすると、クリック位置を中心に再生画像が拡大表示します。<sup>1</sup>  
(3) 拡大表示中に、マウスを右クリックすると、縮小表示することができます。



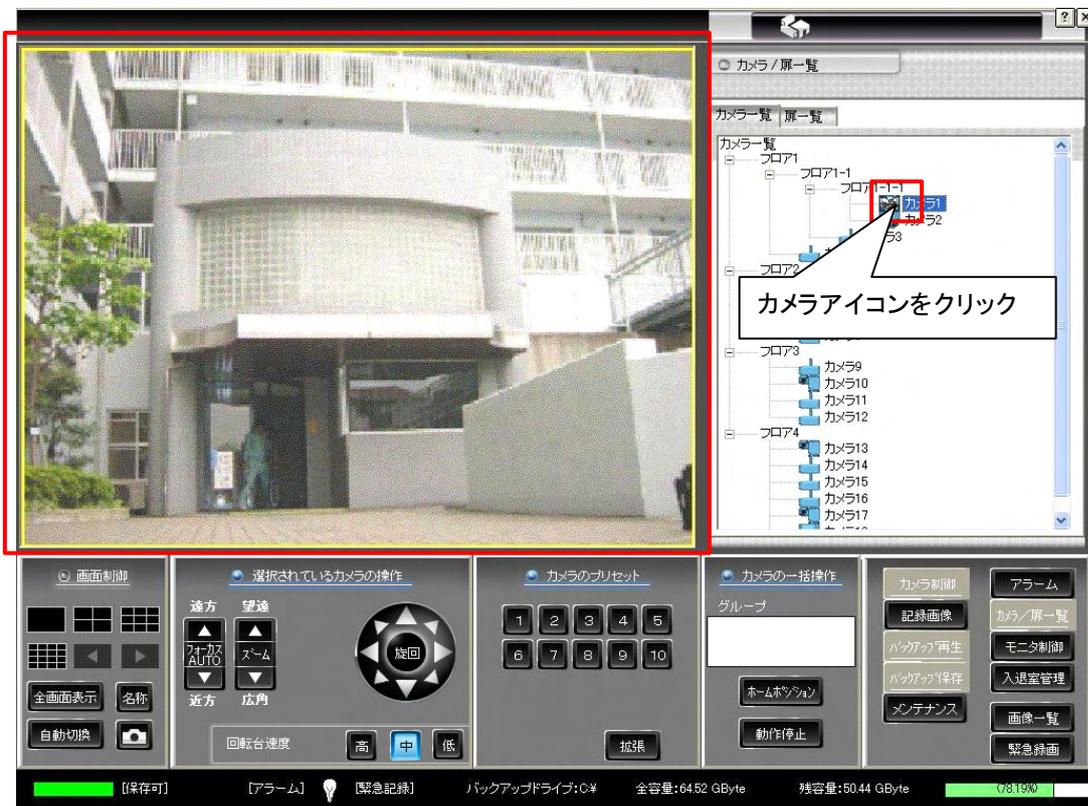
<sup>1</sup> 640x480 dot~1024×768dotの間、3段階で拡大表示します。

### 10.2.2.1. 単画面表示

(1) 画面制御パネルの「単」ボタンを押すと、単画面表示に切り換わります。



(2) カメラ／扉選択パネルのカメラアイコンをマウスでクリックしても、単画面表示にすることができます。<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 4、9、16分割で表示されているカメラを選択した場合は、カメラ制御対象のカメラが切り換わるだけで、単画面表示にはなりません。

### 10.2.2.2. 4画面表示

(1) 画面制御パネルパネルの「4」ボタンを押すと、4画面表示に切り換わります。

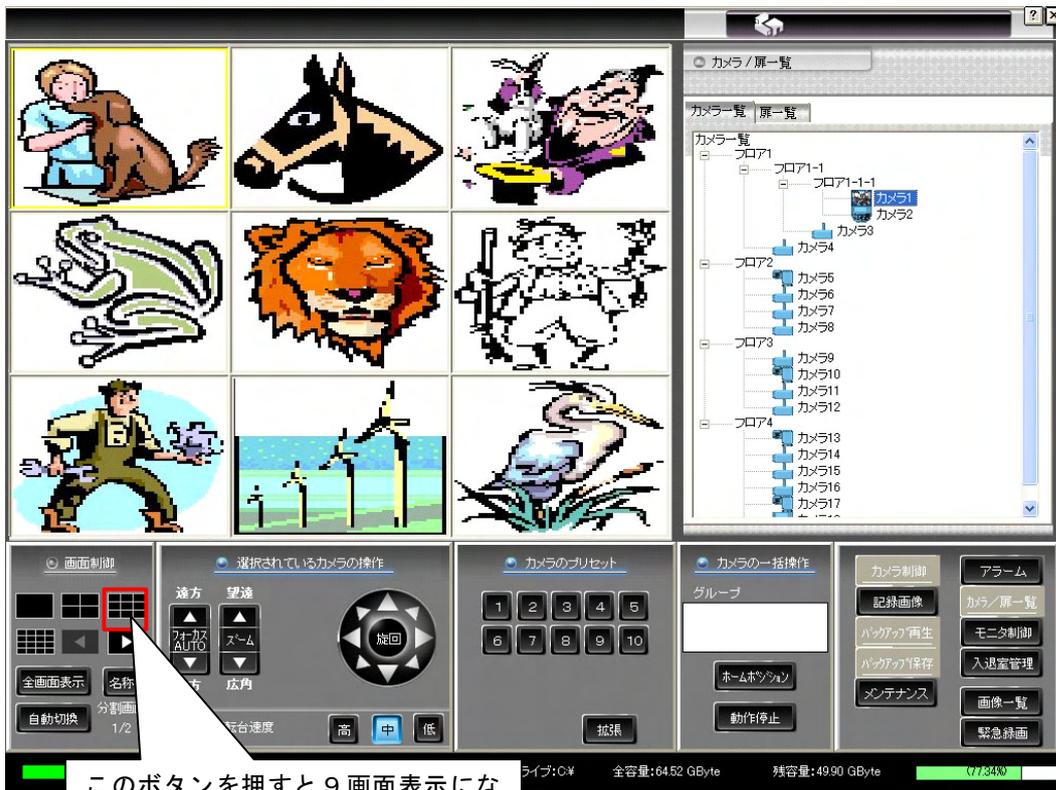


(2) 下図のボタンを押すと、次の4画面表示に切り換わります。



### 10.2.2.3. 9画面表示

(1) 画面制御パネルの「9」ボタンを押すと、9画面表示に切り換わります。



(2) 下図のボタンを押すと、次の9画面表示に切り換わります。



#### 10.2.2.4. 16画面表示

(1) 画面制御パネルの「16」ボタンを押すと、16画面表示に切り換わります。



(2) 下図のボタンを押すと、次の16画面表示に切り換わります。

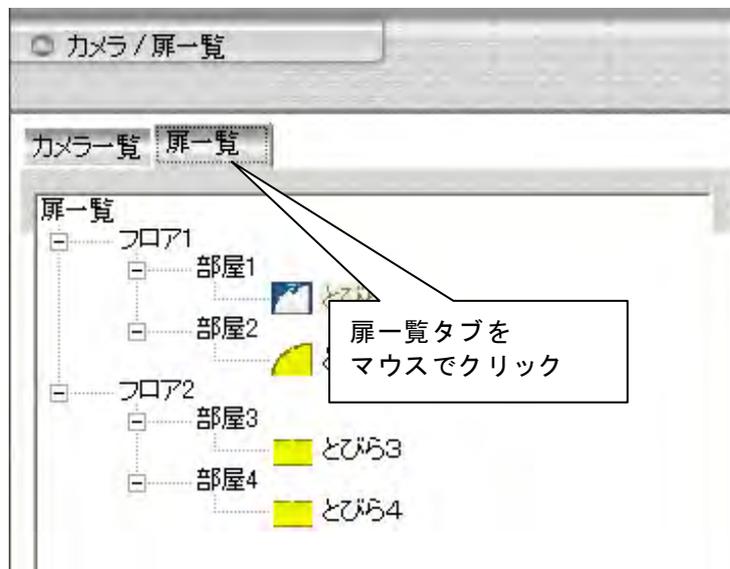


### 10.2.3. カメラ／扉選択パネル

- (1)カメラ／扉選択パネルでは、カメラ一覧と扉一覧が表示できます。  
(2)カメラ「カメラ一覧」タブを押すと、カメラ一覧が表示されます。

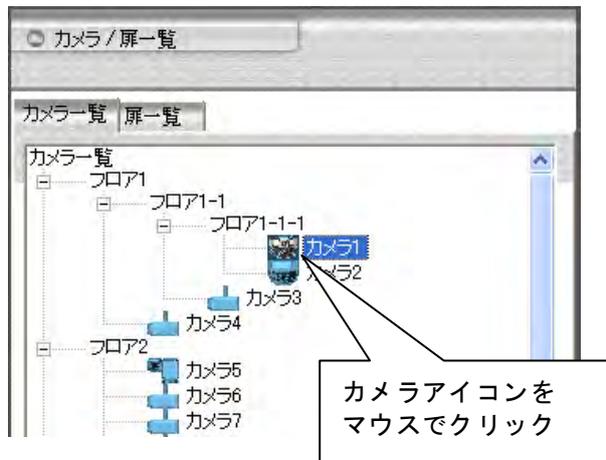


- (3)「扉一覧」タブを押すと、扉一覧が表示されます。



### 10.2.3.1. カメラ一覧

(1) 画像表示パネルに表示させたいカメラをマウスでクリックして選択を行います。



(2) 選択されたカメラに対して、回転台・レンズなどの制御を行うことができます。

(3) カメラ選択が行われている表示ウィンドウは黄色枠表示されています。



### 10.2.3.2. 扉一覧

(1) 扉をマウスでクリックして選択を行います。



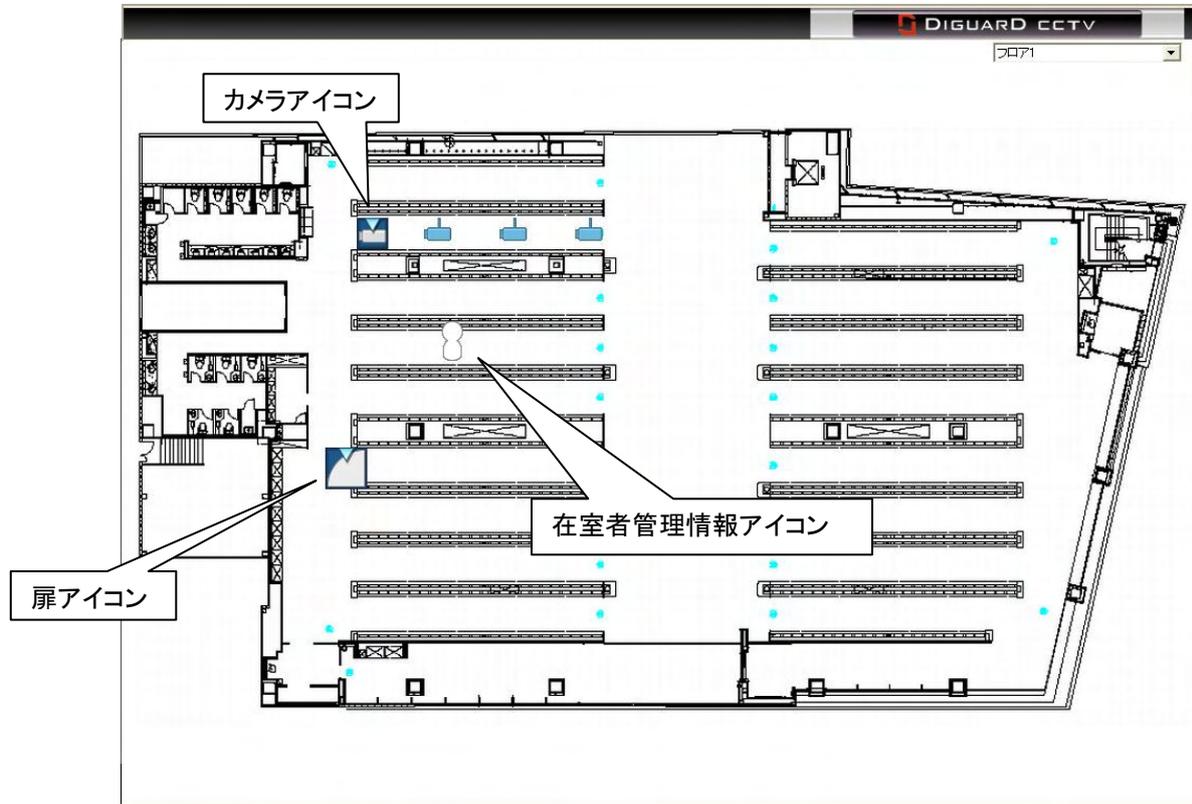
(2) 選択した扉にカメラが関連付け(入退室管理システム 連動カメラ登録 164 ページ)、されている場合、関連付けされたカメラ<sup>1</sup>に対して、回転台・レンズなどの制御を行うことができます。



<sup>1</sup> カメラが複数台割付されている場合は、カメラ一覧で先頭のカメラが選択された状態となります。

### 10.2.3.3. カメラアイコン、扉アイコン選択

- (1) 平面図上に表示されているカメラアイコンをクリックすると、選択したカメラ映像が画像表示パネルに表示されます。
- (2) 平面図上に表示されている扉アイコンをクリックすると、選択した扉にカメラが関連付けられている場合(入退室管理システム 連動カメラ登録 164 ページ)、関連付けされたカメラ<sup>1</sup>映像が画像表示パネルに表示されます。

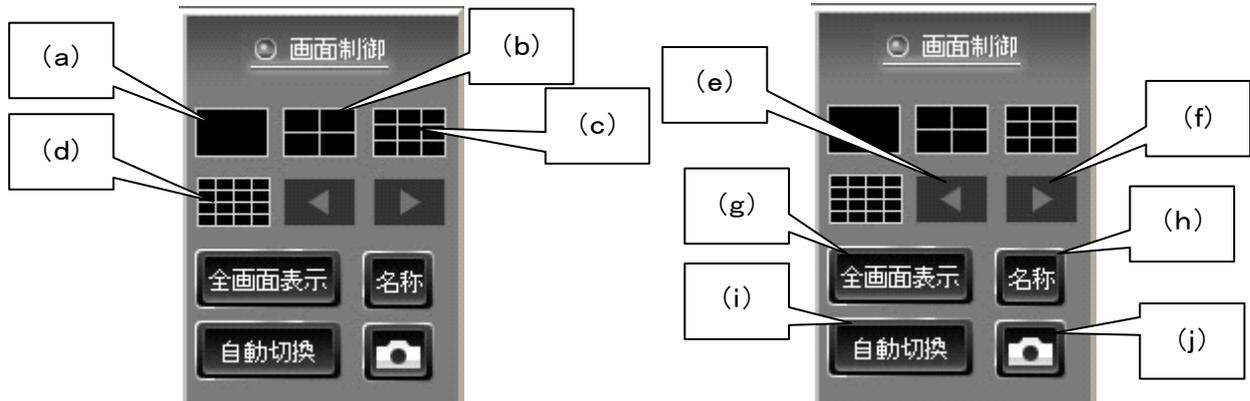


- (3) カメラアイコンと扉アイコンの登録は、「地図設定」(178 ページ)を参照してください。

<sup>1</sup> カメラが複数台割付されている場合は、カメラ一覧で先頭のカメラが選択された状態となります。

## 10.2.4. 画面制御パネル

- (1) 画像表示パネルの表示形態を変更することができます。  
 (2) ボタンと機能を下表に示します。



記号	名称	機能
(a)	単画面表示ボタン	単画面表示になります。 最大 30fps で表示されます。画像表示サイズは 640×480dot です。
(b)	4画面表示ボタン	4画面表示になります。 各画面約 30fps で表示されます。画像表示サイズは 320×240dot です。
(c)	9画面表示ボタン	9画面表示になります。 各画面約 15fps で表示されます。画像表示サイズは 213×160dot です。
(d)	16画面表示ボタン	16画面表示になります。 各画面約 7.5fps で表示されます。画像表示サイズは 160×120dot です。
(e)	ページ戻るボタン	映像表示のページを戻します。
(f)	ページ進むボタン	映像表示のページを進めます。
(g)	全画面ボタン	映像画面を全画面で表示します。 <sup>1</sup>
(h)	カメラ名称表示ボタン	表示されているカメラ名称表示／非表示を切り換えます。 記録映像表示中は、名称及び記録時刻の表示／非表示を切り換えます。
(i)	自動ボタン <sup>2</sup>	あらかじめ登録した設定内容で順次自動スキャン表示を行います。 単画表示、4／9／16画面表示で可能です。
(j)	キャプチャボタン	表示中映像をキャプチャし、1枚のJPEGファイルとして保存します。ライブ映像表示中及び記録映像表示中共に実行可能です。単画表示時のみ有効です。 <sup>3</sup>

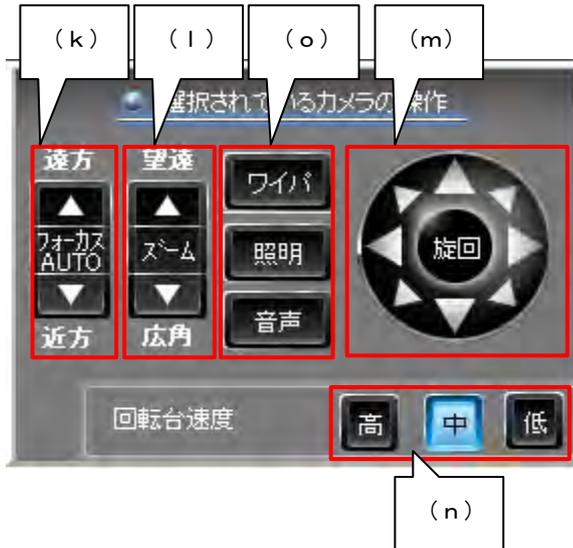
<sup>1</sup> 通常表示より、描画更新枚数が低下する場合があります。

<sup>2</sup> 記録映像表示中は、表示されません。

<sup>3</sup> 4、9、16画面表示時はボタンが表示されません。

## 10.2.5. カメラ制御パネル

- (1) カメラが保有している制御機能が表示されます。制御機能を持たないカメラを選択した場合は、カメラ制御パネルは表示されません。



- (2) 各ボタンの役割は、下記のようにになっています。

記号	機能
(k)	レンズフォーカスの制御が行えます。△印の箇所をマウスクリックしている間だけ、レンズがフォーカス動作します。AUTO 部を押すと、カメラの AF 機能が起動します。 <sup>1 4</sup>
(l)	レンズズームの制御が行えます。△印の箇所をマウスクリックしている間だけ、レンズがズーム動作します。 <sup>4</sup>
(m)	△印 の8方向のボタンを押下している間だけ、回転台が動作します。このときの回転台の速度は、(n)で選択したものになります。 <sup>4</sup>
(n)	高速/中速/低速の3段階が選択できます。 <sup>2 4</sup>
(o)	ワイパ、照明、音声 <sup>3</sup> の制御を行います。 <sup>4</sup>

<sup>1</sup> AFは起動のみで、停止は行えません。被写体によっては、フォーカスが合うまでに時間がかかる場合、またはフォーカスが合わない場合があります。

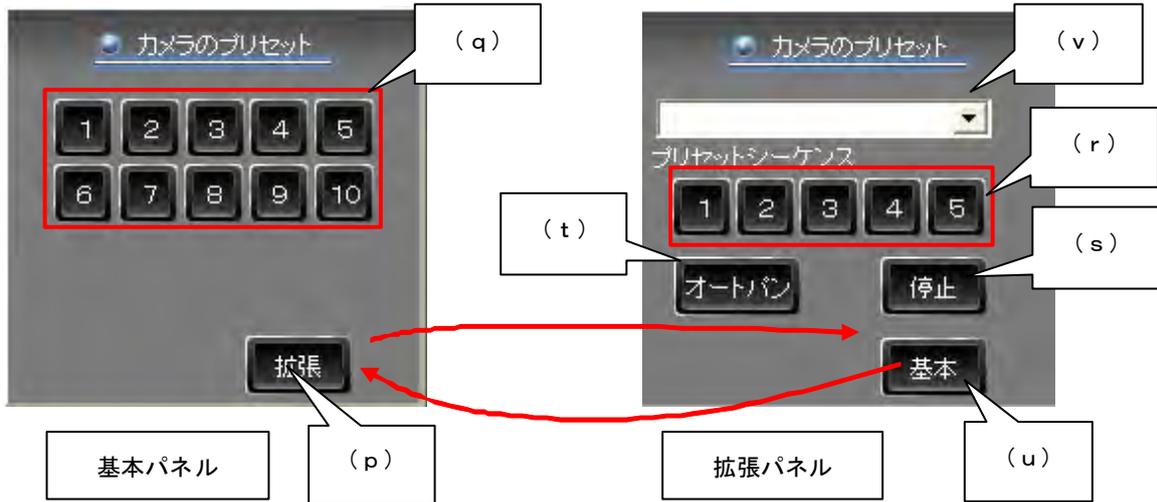
<sup>2</sup> パン、チルト共通の速度です。

<sup>3</sup> 音声配信機能を持つカメラの場合に表示されます。2008/10/1 現在、サポートしているカメラは NC-4510 になります。

<sup>4</sup> カメラ側に機能が無いボタンは表示されません。

## 10.2.6. プリセットパネル

- (1) 回転台付きカメラを選択したときに表示されます。
- (2) プリセットパネルには、「基本パネル」と「拡張パネル」があります。
- (3) 基本パネル時に拡張ボタン(下図中p)を押すと拡張パネルに、拡張パネル時に基本ボタン(下図中u)を押すと基本パネルが表示されます。



- (4) 各ボタンの機能は以下のとおりです。

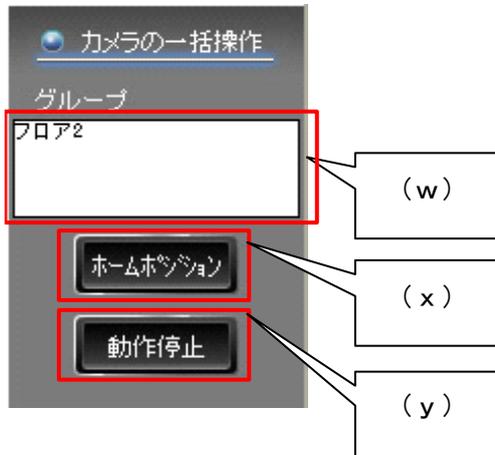
記号	機能
(p)	このボタンを押すと、基本パネル→拡張パネルに切り換わります。
(q)	1～10のボタンを個別に押すことにより、プリセット1～10へ移動します。
(r)	1～5のボタンを個別に押すことにより、プリセットシーケンス1～5が起動します。プリセットシーケンス中は、(q)、(v)に移動中のポジションが表示(選択)されます。 <sup>1</sup>
(s)	このボタンを押すと、起動しているプリセットシーケンス又は、オートパンを停止させることができます。
(t)	このボタンを押すと、オートパンが起動・停止します。
(u)	このボタンを押すと、拡張パネル→基本パネルに切り換わります。
(v)	プリセットポジションをリストから選択すると、プリセットポジション移動を行います。 <sup>2</sup>

<sup>1</sup> 実際のポジション位置と表示(選択)されているポジションに、遅れが生じる場合があります。

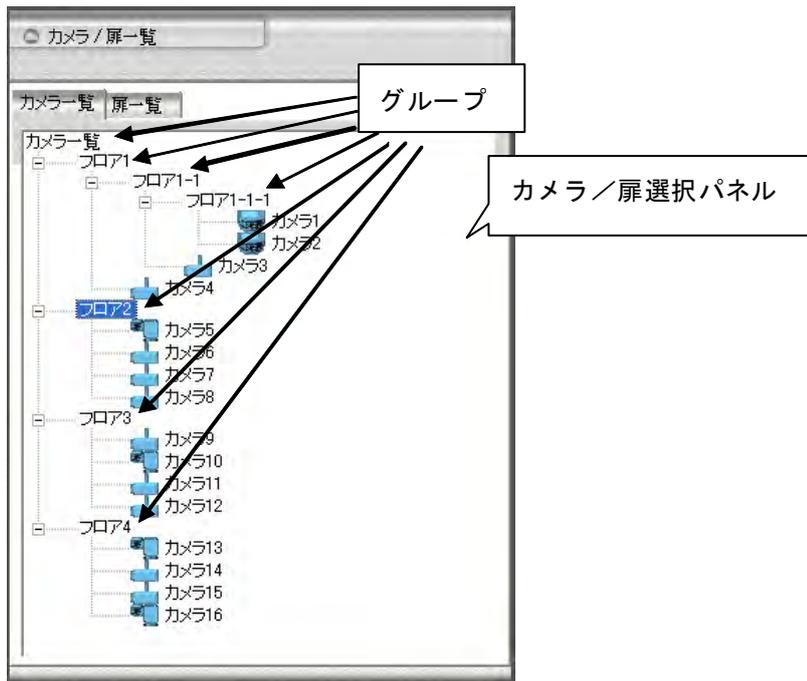
<sup>2</sup> 拡張パネルを開いたときには、プリセットポジションは表示(選択)されていません。

### 10.2.7. 一括操作パネル

- (1) カメラ／扉選択パネルにてカメラ制御を選択した場合に表示される操作パネルです。<sup>1</sup>
- (2) カメラ／扉選択パネルにてグループを選択した選択したグループ名が、下図中(w)に表示されます。
- (3) ホームポジション(x)を押すことにより、登録されている内容でホームポジション動作します。
- (4) 動作停止ボタン(y)を押すことにより、動作中のホームポジション動作が停止します。



- (5) グループとは、カメラ／扉選択パネルのツリー表示の名称を指します。
- (6) 下図例では、「カメラ一覧」<sup>2</sup>「フロア1」「フロア1-1」「フロア1-1-1」「フロア2」がグループです。



<sup>1</sup> メンテナンス時も表示されます。記録画像を選択した場合は、表示されません。

<sup>2</sup> カメラ一覧は、全カメラをグループとします。

## 10.2.8. 記録画像再生

(1) 制御切換えパネルで記録画像ボタンを押下すると、カメラ制御パネルから以下のパネルに切り換わります。

記録画像ボタンを押下すると

記録再生系に遷移します。

カメラ制御パネル、プリセット、一括操作パネルが表示されます。

カメラ制御系に遷移します。

カメラ制御ボタンを押下すると

表示画像パネル、蓄積画像再生パネルが表示されます。

(2) 全画面表示を押すと再生画像が全画面表示されます。名称ボタンを押すと、「カメラ名称」及び「記録時刻」が表示されます。カメラアイコンを押すと、再生画像を静止画(JPEG)でキャプチャします。



## 10.2.9. 記録画像再生パネル

- (1) 記録されている画像を再生する場合に使用します。
- (2) 再生を開始したい日にち情報を下図(あ)で入力します。
- (3) 同様に再生開始時刻を下図(い)で入力します。
- (4) 下図(う)の部分の記録されている最古日時情報が表示されていますので、再生開始時刻を設定する際に参考にしてください。<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 4、9、16分割表示時は、画面左上の再生画像の最古データ時刻が表示されます。

## 10.2.10. 表示画像パネル

- (1) 記録画像再生パネルで、再生開始日時情報を設定した後に、表示画像パネルで再生を開始します。
- (2) 下図(え)のボタン群を使用して、再生、早送りなどを制御することができます。



- (3) (え) ボタン群の役割は下表になっています。<sup>1</sup>

早戻し	逆再生	コマ戻し	停止	一時停止	コマ送り	再生	早送り
ボタン名称	機能						備考
早戻し	過去方向に早送りします。						表示速度はx2です。 <sup>2</sup>
逆再生	過去方向に再生します。						
コマ戻し	ボタンを押す度に、過去方向に1コマ表示します。						
停止	再生を停止します。						記録画像再生パネルが表示され、再生開始日時を指定することができます。
一時停止	再生を一時停止します。						
コマ送り	ボタンを押す度に、順方向に1コマ表示します。						
再生	順方向に再生します。						
早送り	順方向に早送ります。						表示速度はx2です。 <sup>2</sup>

- (4) (お)のスライダーを使用することで、再生速度を変更することができます。<sup>2 3</sup>

速度(倍)	100	80	40	20	10	4	2	1	初期	1	2	4	10	20	40	80	100
方向	逆(過去)方向									順方向							

- (5) (か)には、再生しているカメラの情報が表示されます。<sup>4</sup>

<sup>1</sup> 最大記録レートの設定値および再生画面形態(4, 9, 16画面)により、早送り/早戻しボタン、スライダーが表示されない場合があります。詳細は、「最大記録レートを変更する」(185 ページ)を参照してください。

<sup>2</sup> 異なる記録レートで記録された映像を4, 9, 16画面で表示して、早送り/早戻しなどを行っていると、複数画の再生時刻の同期が合わなくなる場合があります。その場合は、停止ボタンを押して再生を停止し、再度再生開始日時を指定しなおしてから、再生を開始してください。

<sup>3</sup> 最大記録レートの設定値および再生画面形態(4, 9, 16画面)により最大再生速度が変わります。詳細は、「最大記録レートを変更する」(185 ページ)を参照してください。

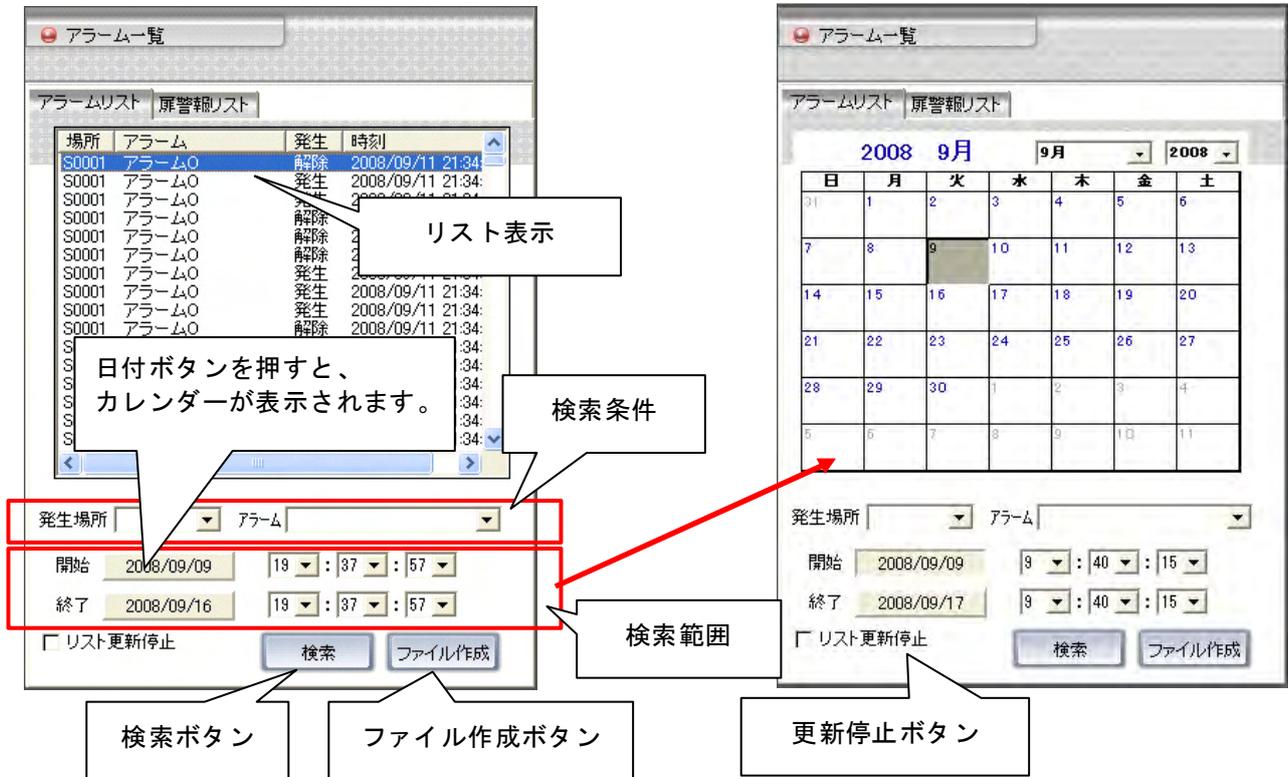
<sup>4</sup> 分割画面で再生している場合は、左上のカメラ映像の情報が表示されます。

## 10.2.11. アラームパネル

(1) 制御切換えパネルで「アラーム」を押すと、カメラ／扉選択パネルが本画面に切り換わります。<sup>1</sup>

### 10.2.11.1. アラームリスト

(1) アラームが発生した場合、アラーム情報が表示されます。



- (2) 検索条件として、「発生場所」「アラーム」をリストから選択します。「発生場所」と「アラーム」は AND 条件<sup>2</sup>となります。<sup>3</sup>
- (3) 検索範囲を「開始日時」「終了日時」を指定します。日付ボタンを押すと、上図右側のようにカレンダーが表示されます。
- (4) 検索条件、検索範囲を設定したら、「検索ボタン」を押して、アラーム検索を実行します。検索結果は上部にリスト表示されます。<sup>4</sup>
- (5) 発生場所の記号の意味は以下のとおりです。

発生場所の記号	意味
Smmm	センサ入力連動によるアラームです。mmm はアラーム通し番号です。 アラーム通し番号は、「13.2.21.外部アラーム接点登録」(132 ページ)で登録した外部アラーム入力装置 <sup>5</sup> 接点入力の通し番号です。外部アラーム入力装置は、1装置あたり8点の接点入力を持っていますので、S009 は外部入力装置2番目の接点入力1となります。

- (6) アラームリストの更新を停止したい場合は、「更新停止」ボタンをクリックし、チェック有りにします<sup>6</sup>。アラームリストの更新を再開したい場合は、再度、「更新停止」ボタンをクリックし、チェックを無しにしてください。

<sup>1</sup> アラーム発生時は、自動で表示されます。

<sup>2</sup> AND=論理積。発生場所 かつ アラーム での検索条件となります。

<sup>3</sup> 「発生場所」、「アラーム」のリストから「空白」を選択すると、検索条件が外され、すべての「発生場所」「アラーム」が検索対象となります。

<sup>4</sup> アラームリストは最大 10,000 件記録され、リストに表示される件数は 1,000 件です。リストが 10,000 件を超えると最古データから上書きされます。

<sup>5</sup> アイネットデバイス社製の CommAssist-io に対応しています。

<sup>6</sup> チェック有り中は、アラームが発生してもリストにアラーム情報は表示されません。但し、その間のデータは検索表示で参照することができます。

(7) 「ファイル作成」ボタンを押すと、下図ダイアログが表示されます<sup>1</sup>。



(8) 保存ボタンを押して、イベントの内容を CSV ファイル<sup>2</sup>に保存します。

<CSV ファイル内容例>

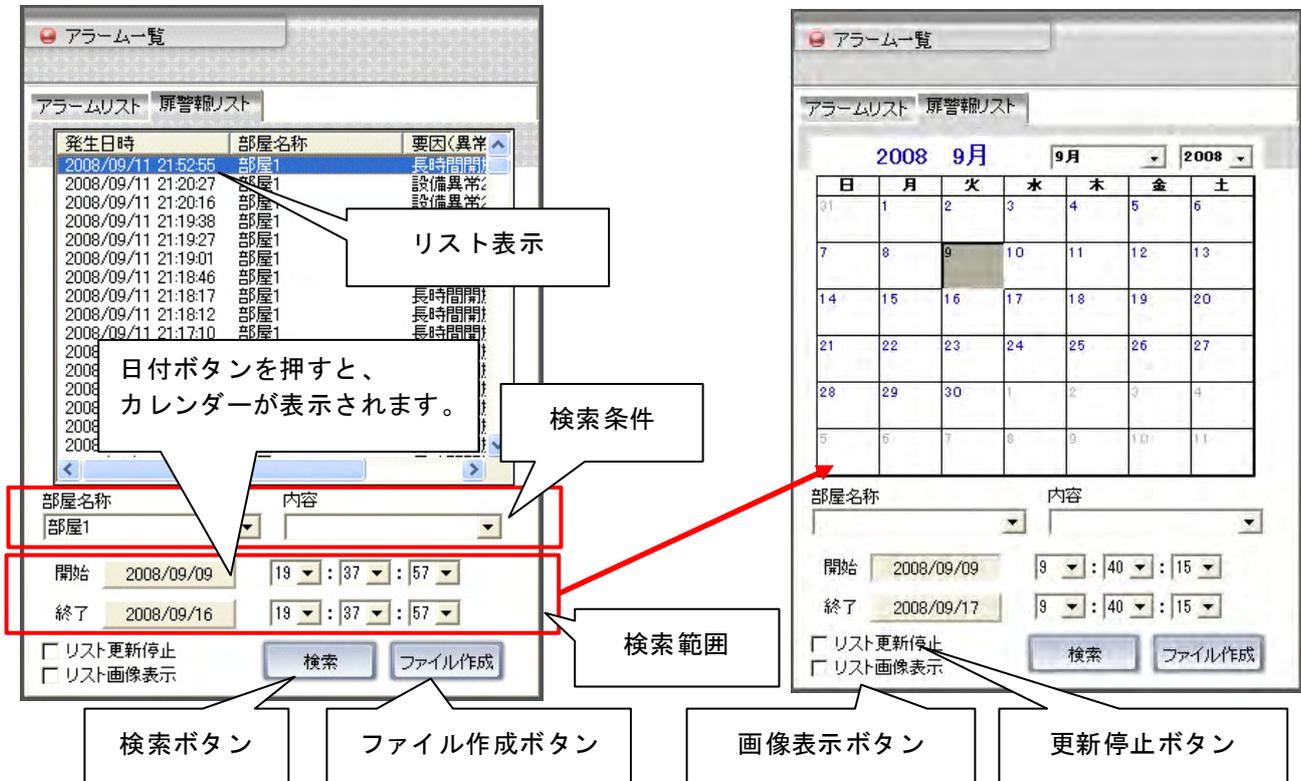
```
S0001,アラーム0,解除,2008/09/13 9:56:20  
S0001,アラーム0,発生,2008/09/13 9:56:10  
S0001,アラーム0,解除,2008/09/13 9:56:00  
S0001,アラーム0,発生,2008/09/13 9:55:50  
S0001,アラーム0,解除,2008/09/13 9:55:41  
S0001,アラーム0,発生,2008/09/13 9:55:31  
S0001,アラーム0,解除,2008/09/13 9:55:22
```

<sup>1</sup> ダイアログ表示中に、保存先とする USB メモリ等を接続した場合は、一度ダイアログをキャンセルし、ダイアログを再表示させてください。

<sup>2</sup> Comma Separated Value. カンマで区切られたテキスト形式のデータファイル。

## 10.2.11.2. 扉警報リスト

- (1) アラームが発生した場合、アラーム情報が表示されます。
- (2) リストの項目をクリックすると、警報情報詳細表示パネルが表示され、通行操作履歴の詳細を確認できます。
- (3) リストの項目をダブルクリック<sup>1</sup>すると、扉警報発生時の記録画像を再生します。



- (4) 検索条件として、「部屋名称」「内容」をリストから選択します。「部屋名称」と「内容」は AND 条件<sup>2</sup>となります。<sup>3</sup>
- (5) 内容には要因(異常内容)がプルダウンで表示されます。
- (6) 検索範囲を「開始日時」「終了日時」を指定します。日付ボタンを押すと、上図右側のようにカレンダーが表示されます。
- (7) 検索条件、検索範囲を設定したら、「検索履歴ボタン」を押して、アラーム検索を実行します。検索結果は上部にリスト表示されます。<sup>4</sup>
- (8) 扉警報リストの更新を停止したい場合は、「更新停止」ボタンをクリックし、チェック有りにします<sup>5</sup>。扉警報リストの更新を再開したい場合は、再度「更新停止」ボタンをクリックし、チェックを無しにしてください。
- (9) 扉警報が発生時の画像を表示する場合は、「画面表示」ボタンをクリックし、チェック有りにします。

<sup>1</sup> ダブルクリックとはマウスボタンを素早く2回クリックすることです。

<sup>2</sup> AND=論理積。部屋名称 かつ 内容 での検索条件となります。

<sup>3</sup> 「部屋名称」、「内容」のリストから「空白」を選択すると、検索条件が外され、すべての「部屋名称」「内容」が検索対象となります。

<sup>4</sup> 扉警報リストは最大 10,000 件記録され、リストに表示される件数は 1,000 件です。リストが 10,000 件を超えると最古データから上書きされます。

<sup>5</sup> チェック有り中は、扉警報が発生してもリストに扉警報情報は表示されません。但し、その間のデータは検索表示で参照することができます。

(8) 「ファイル作成」ボタンを押すと、下図ダイアログが表示されます<sup>1</sup>。



(9) 保存ボタンを押して、イベントの内容を CSV ファイル<sup>2</sup>に保存します。

<CSV ファイル内容例>

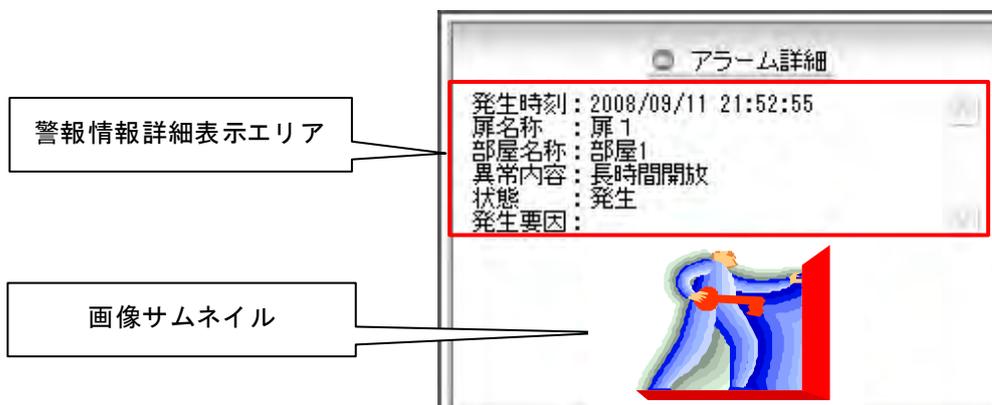
```
2008/09/11 21:52:55,部屋 1,長時間開放,発生  
2008/09/11 21:20:27,部屋 1,設備異常2,解除  
2008/09/11 21:20:16,部屋 1,設備異常2,発生  
2008/09/11 21:19:38,部屋 1,設備異常1,解除  
2008/09/11 21:19:27,部屋 1,設備異常1,発生  
2008/09/11 21:19:01,部屋 1,設備異常1,解除  
2008/09/11 21:18:46,部屋 1,設備異常1,発生  
2008/09/11 21:18:17,部屋 1,長時間開放,解除
```

<sup>1</sup> ダイアログ表示中に、保存先とする USB メモリ等を接続した場合は、一度ダイアログをキャンセルし、ダイアログを再表示させてください。

<sup>2</sup> Comma Separated Value. カンマで区切られたテキスト形式のデータファイル。

## 10.2.12. 警報情報詳細表示パネル

(1) 扉警報リストでリストの項目をクリックすると、カメラ制御パネルが本画面に切り換わります。



(2) 警報情報詳細表示エリアに表示される情報は下表のとおりです。

名称	詳細
発生時刻	扉警報の発生日時を表示します。
扉名称	扉警報が発生した扉名称を表示します。
部屋名称	扉警報が発生した部屋名称を表示します。
異常内容	警報の内容を表示します。表示内容としては次のものがあります。 (長時間開放/電気錠異常/こじ開け/未操作通行/設備異常 1/設備異常 2/端末故障/端末故障(出)/タンパ°-異常/タンパ°-異常(出)/ヒューズ°切れ/停電/内臓 UPS 外れ/内臓 UPS 温度異常/Wis 通信異常/IDC 通信異常)
状態	警報が発生中か、解除されたかを表示します。
発生要因	警報の発生要因を表示します。表示内容としては次のものがあります。 (通信異常/メモリ故障/タンキー°故障/R/W 異常)

(3)画像サムネイルには、扉警報が発生した時点の、扉に割り付けられたカメラ<sup>1</sup>のサムネイル画像を表示します。

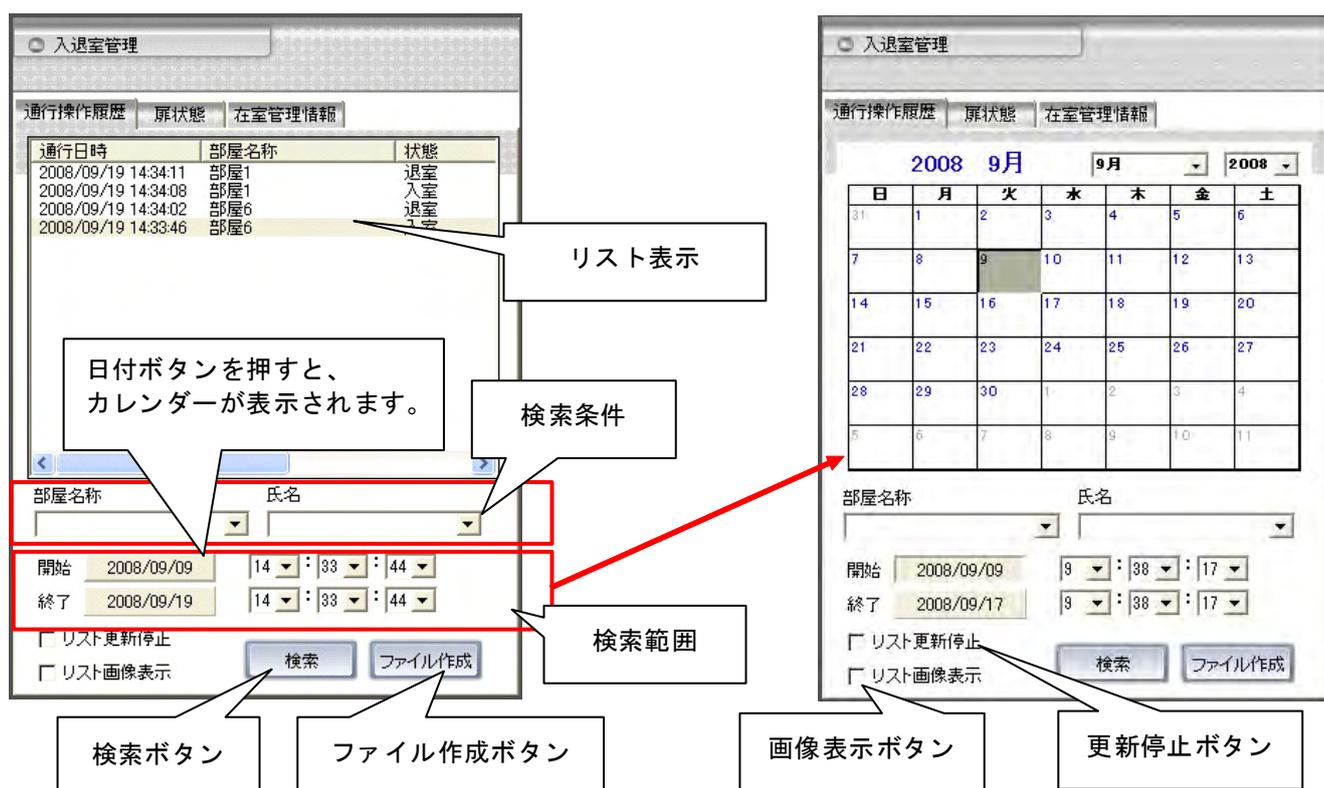
<sup>1</sup> 扉にカメラが複数台割付されている場合は、カメラ一覧で先頭のカメラのサムネイル画像を表示します。

### 10. 2. 13. 入退室管理パネル

- (1) 制御切換えパネルで「入退室管理」を押すと、カメラ／扉選択パネルが本画面に切り換わります。<sup>1</sup>
- (2) 入退室管理パネルは、入退室管理システム MELSAFETY-P 連携時のみ有効となります。
- (3) 入退室管理パネルは、タブ切替により通行操作履歴リスト、扉状態リスト、在室管理情報リストが表示できます。
- (4) 本製品 (NR-SW8000DG) と入退室管理システム MELSAFETY-P は定期的に時刻を合わせています (自動時刻補正)。その為、本製品と入退室管理システムの時刻が違っていた場合、時刻補正により、新しい履歴情報がリストの先頭にならない時があります。

#### 10. 2. 13. 1. 通行操作履歴リスト

- (1) 入退室管理システムからの通行操作履歴情報が表示されます。
- (2) リストの項目をクリックすると、入退室情報詳細表示パネルが表示され、通行操作履歴の詳細を確認できます。
- (3) リストの項目をダブルクリックすると、通行操作時の記録画像を再生します。



- (4) 検索条件として、「部屋名称」「氏名」をリストから選択します。「部屋名称」と「氏名」は AND 条件<sup>2</sup>となります。<sup>3</sup>
- (5) 検索範囲を「開始日時」「終了日時」を指定します。日付ボタンを押すと、上図右側のようにカレンダーが表示されます。
- (6) 検索条件、検索範囲を設定したら、「検索ボタン」を押して、通行操作履歴検索を実行します。検索結果は上部にリスト表示されます。<sup>4</sup>
- (7) 通行操作履歴リストの更新を停止したい場合は、「更新停止」ボタンをクリックし、チェック有りにします<sup>5</sup>。通行操作履歴リストの更新を再開したい場合は、再度「更新停止」ボタンをクリックし、チェックを無しにしてください。
- (8) 顔画像を表示する場合は、「画面表示」ボタンをクリックし、チェック有りにします。

<sup>1</sup> 入退室発生時に自動で表示されることはありません。

<sup>2</sup> AND=論理積。発生場所 かつ 個人番号 での検索条件となります。

<sup>3</sup> 「部屋名称」、「氏名」のリストから「空白」を選択すると、検索条件が外され、すべての「部屋名称」「氏名」が検索対象となります。

<sup>4</sup> 通行操作履歴リストは最大 200,000 件記録され、リストに表示される件数は 1,000 件です。リストが 200,000 件を超えると最古データから上書きされます。

<sup>5</sup> チェック有り中は、通行操作が発生してもリストに通行操作履歴情報は表示されません。但し、その間のデータは検索表示で参照することができます。

(9) 「ファイル作成」ボタンを押すと、下図ダイアログが表示されます<sup>1</sup>。



(10) 保存ボタンを押して、イベントの内容を CSV ファイル<sup>2</sup>に保存します。

<CSV ファイル内容例>

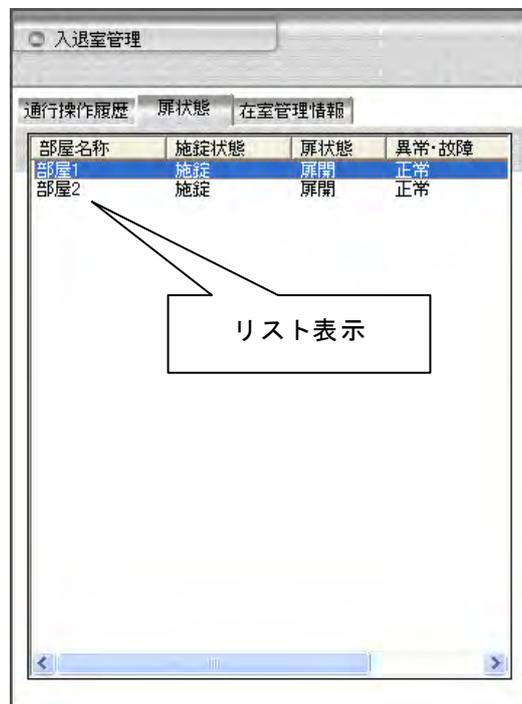
```
2008/09/16 19:33:38,部屋 2,山田 一郎  
2008/09/16 19:28:54,部屋 1,鈴木 洋子  
2008/09/16 19:27:32,部屋 2,山田 一郎  
2008/09/16 19:27:27,部屋 1,中田 綾  
2008/09/16 19:27:09,部屋 2,三菱 太郎  
2008/09/16 19:27:01,部屋 2,三菱 太郎
```

<sup>1</sup> ダイアログ表示中に、保存先とする USB メモリ等を接続した場合は、一度ダイアログをキャンセルし、ダイアログを再表示させてください。

<sup>2</sup> Comma Separated Value. カンマで区切られたテキスト形式のデータファイル。

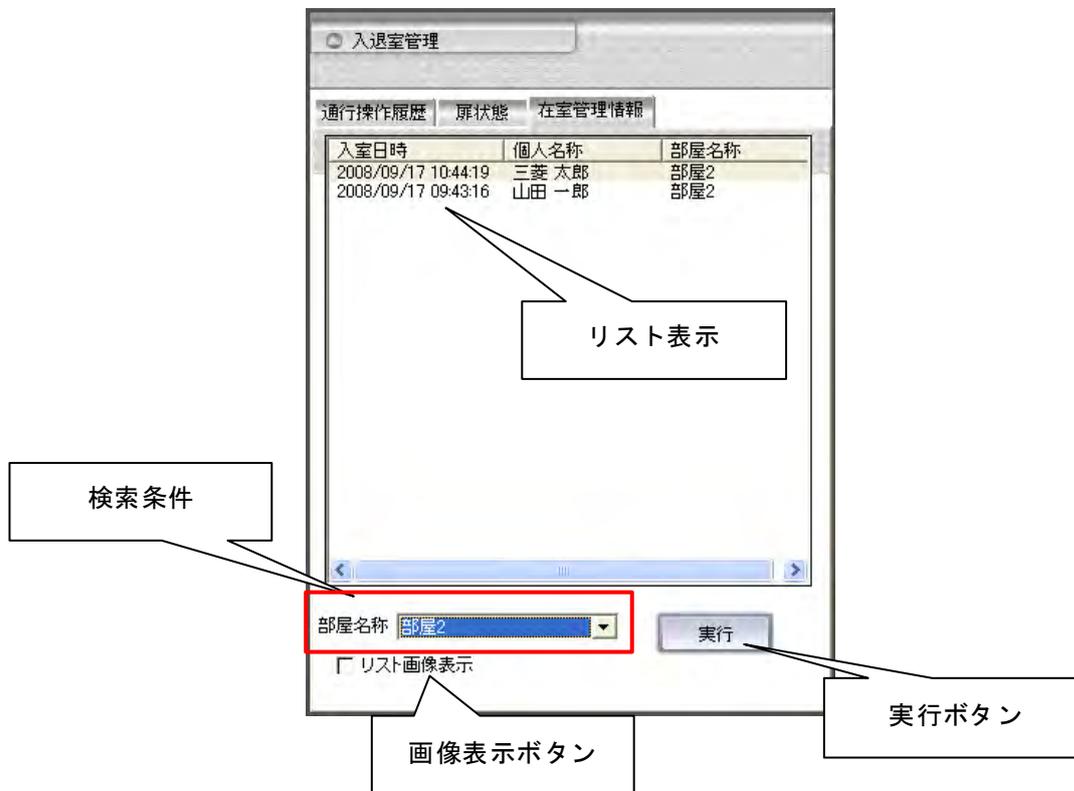
### 10.2.13.2. 扉状態リスト

- (1) 入退室管理システムからの扉状態情報が表示されます。
- (2) リストの項目をクリックすると、部屋情報詳細表示パネル(68 ページ)が表示され、扉状態の詳細を確認できます。



### 10.2.13.3. 在室管理情報リスト

- (1) 入退室管理システムからの在室管理情報が表示されます<sup>1</sup>。
- (2) リストの項目をクリックすると、在室管理情報詳細表示パネル(69 ページ)が表示され、在室管理情報の詳細を確認できます。



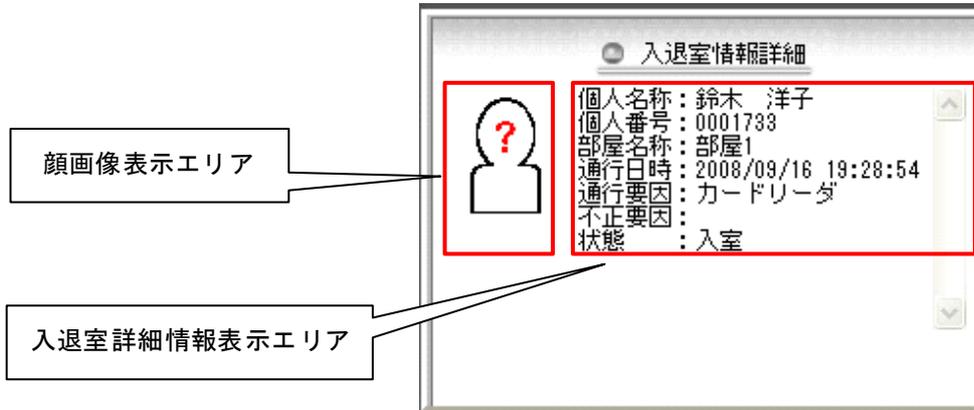
- (3) 検索条件として、「部屋名称」をリストから選択します。
- (4) 検索条件を設定したら、「実行ボタン」を押して、在室管理情報検索を実行します。検索結果は上部にリスト表示されます。<sup>2</sup>
- (5) 顔画像を表示する場合は、「画面表示」ボタンをクリックし、チェック有りにします。

<sup>1</sup> 在室管理は、管理WEBシステムから入退室管理システム MELSAFETY-P に対し適切な設定がされていることが前提で動作致します。詳細は MELSAFETY-P の取扱説明書を参照してください。

<sup>2</sup> 在室者リストは1部屋あたり最大 3000 人記録され、リストに表示される件数は 3,000 人です。最新データから 3000 人分リストに表示されます。

## 10.2.14. 入退室情報詳細表示パネル

(1) 通行操作履歴リストでリストの項目をクリックすると、カメラ制御パネルが本画面に切り換わります。



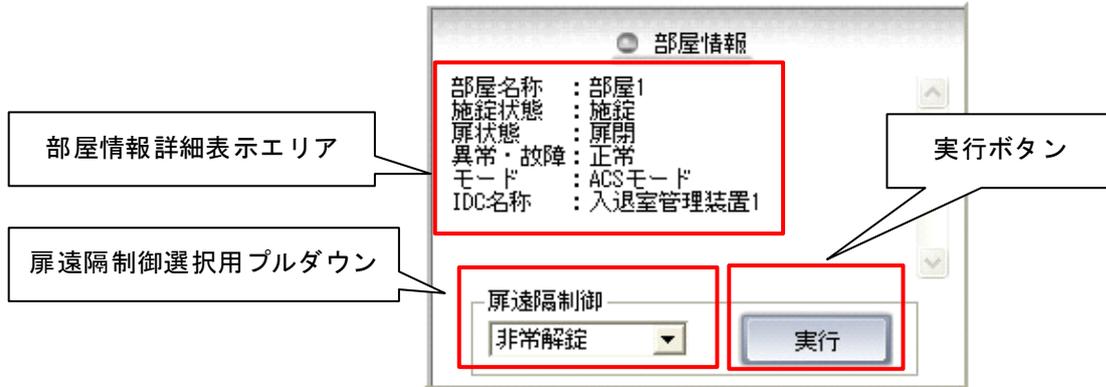
(2) 入退室詳細情報詳細表示エリアに表示される情報は下表のとおりです。

名称	詳細
個人名称	通行した個人の名前を表示します。
個人番号	通行した個人の個人番号を表示します。
部屋名称	通行した部屋の名称を表示します。
通行日時	扉を通行した日時を表示します。
通行要因	通行した時の要因を表示します。表示内容としては次のものがあります。 (接点入力/スケジュール制御/連動制御/PC 制御/WEB 制御/システム/カードリーダー/指端末/MIC/テンキー/その他)
不正要因	通行時に不正を検出した場合、不正要因を表示します。表示内容としては次のものがあります。 (暗証番号エラー/扉暗証番号エラー/個人情報未登録エラー/有効期限エラー/通行期限エラー/指照合エラー/複合照合未登録エラー)
状態	通行状態(入室/退室)を表示します。

(3) 顔画像表示エリアには通行操作履歴リストで選択された通行履歴に該当する個人情報(顔画像)を表示します。

### 10.2.15. 部屋情報詳細表示パネル

(1) 扉状態リストでリストの項目をクリックすると、カメラ制御パネルが本画面に切り換わります。



(2) 部屋情報詳細表示エリアに表示される情報は下表の通りです。

名称	詳細
部屋名称	選択している部屋名称を表示します。
施錠状態	選択している扉の施錠状態(施錠/解錠)を表示します。
扉状態	選択している扉の状態(扉閉/扉開)を表示します。
異常・故障	選択している扉の異常状態を表示します。
モード	選択している扉の通行モード(ACSモード/キーレスモード)を表示します。
IDC名称	選択している扉を割付しているIDC名称(入退室管理装置の名称)を表示します。

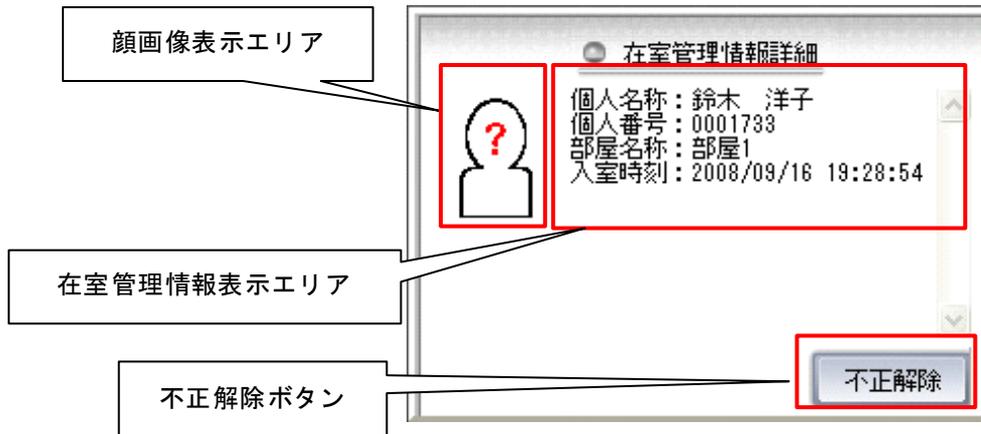
(3) 扉遠隔制御選択用プルダウンでは、選択された扉に対する遠隔操作を選択します。選択できる項目は下表の通りです。

概要	選択項目
警戒	警戒/解除
施解錠	施錠/解錠
非常解錠	非常解錠/非常復旧
一時解錠	一時解錠
通行モード	ACSモード/キーレスモード
操作禁止	操作禁止/操作許可
照合切替	暗証操作なし/あり

(4) 扉遠隔制御選択用プルダウンで選択した遠隔操作を実行する場合は、実行ボタンをクリックしてください。

## 10.2.16. 在室管理情報詳細表示パネル

(1) 在室管理情報リストでリストの項目をクリックすると、カメラ制御パネルが本画面に切り換わります。



(2) 在室管理情報詳細表示エリアに表示される情報は下表のとおりです。

名称	詳細
個人名称	在室している人の名前を表示します。
個人番号	在室している人の個人番号を表示します。
部屋名称	在室している部屋名称を表示します。
入室時刻	部屋へ入室した時刻を表示します。

(3) 顔画像表示エリアには在室管理情報リストで選択された在室管理情報に該当する個人情報(顔画像)を表示します。

(4) 不正解除ボタンを押すと、選択された在室管理情報に該当する在室者を「不在」に解除します<sup>1</sup>。

<sup>1</sup> 在室者として扱われている情報をクリアし、不在とすることができます。

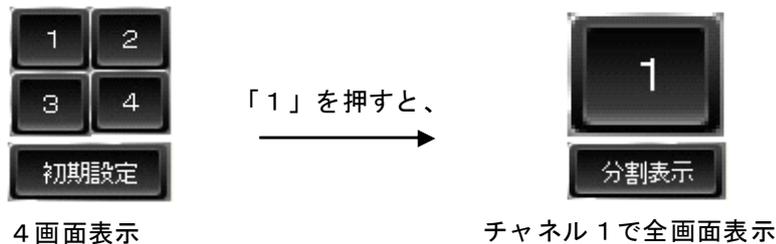
### 10.2.17. モニタ制御パネル<sup>1</sup>

- (1) 制御切換えパネルで「モニタ制御」を押すと、下図のようにモニタ制御パネルを表示します。
- (2) パネル上のボタンを押すと、ネットワーク上に接続されているネットワークマルチビューワ NV-4400 の画面を切り換えることができます<sup>2</sup>。

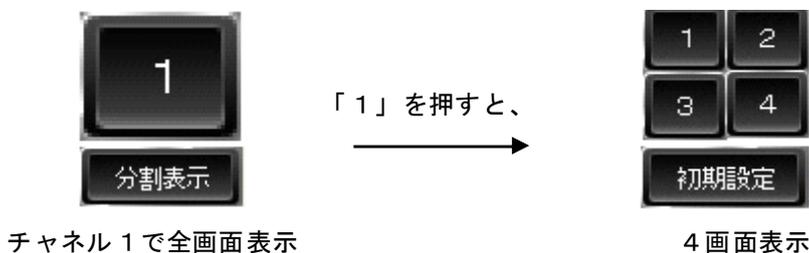


#### 10.2.17.1. 4画面～全画面切り換え

- (1) 「1～4」のボタンを押すと、ネットワークマルチビューワ NV-4400 に接続されているモニタ表示が4画面→全画面に切り換わります。<sup>3</sup>



- (2) 1ボタンを押すと、ネットワークマルチビューワ NV-4400 に接続されているモニタ表示が全画面→4画面に切り換わります。<sup>3</sup>



- (3) 「初期設定」ボタンを押すと、起動シーケンス設定(4画面固定表示/シングルシーケンス/マルチシーケンス)

<sup>1</sup> 制御対象モニタ台数が7台以上になるとスクロールバーが表示されます。スクロールバーを操作することでスクロールバーが点滅(フォーカスが当たっている状態になります)しますが、異常な状態ではありません。

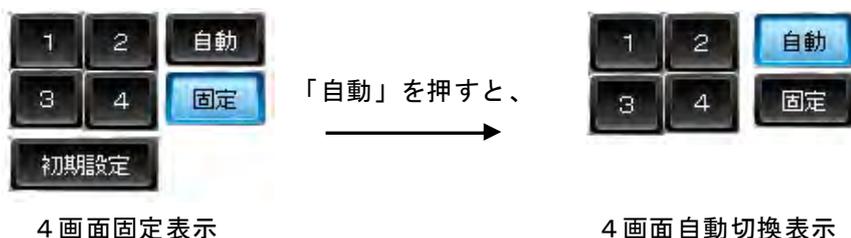
<sup>2</sup> デュアルモニタ構成時は、地図画面からカメラアイコンを Drag し、任意のボタン上へ Drop することによって指定カメラの映像をネットワークマルチビューワの画面に表示させることができます。ただし、再起動後は、初期登録されているカメラの映像を表示します。

<sup>3</sup> モニタの特性により、4画面←→全画面への切り換え後に表示されるまでに時間がかかる場合があります。

に登録された動作に切替ります<sup>1</sup>。

#### 10.2.17.2. 自動切替

- (1) 自動ボタンを押すと、ネットワークマルチビューワ NV-4400 に登録されている内容で自動切替表示を開始します<sup>2</sup>。



- (2) このとき、ネットワークマルチビューワ NV-4400 表示形態により自動切替表示の内容が異なります。<sup>3</sup>

NV-4400 表示形態	自動切替内容
全画面	シングルシーケンス1
4画面	マルチシーケンス1

- (3) 自動切替中に固定ボタンを押すと、表示されている画面で停止します。元に戻す場合は、初期設定ボタンを押してください。再度自動ボタンを押すと、登録されているシーケンスの最初から自動切替を開始します。
- (4) 自動ボタンはデフォルトでは表示されません。表示・運用する場合は、「14.1.ネットワークマルチビューワ NV-4400 の自動ボタンを表示する」(184 ページ)を参照して設定してください。

<sup>1</sup> 詳細は、「13.2.15 ネットワークマルチビューワ(NV-4400)の登録」(128 ページ)を参照してください。

<sup>2</sup> シーケンス中に固定表示に切り替えた場合、表示が正常に切り替わらない場合が稀に発生します。この場合は再度固定表示操作を行ってください。

<sup>3</sup> 自動切り換えパターン(シングルシーケンス、マルチシーケンス)は、ネットワークマルチビューワ NV-4400 の設定画面にて設定します。詳細は、ネットワークマルチビューワ NV-4400 の取扱説明書を参照してください。

## 10. 2. 18. ステータスバー

(1) 画面最下部ステータスバーに各種情報が表示されています。



(2) 各部の詳細は、下表のとおりです。

記号	詳細
(さ)	バックアップ保存状態を表示します。[保存可]／[保存中] <sup>1</sup>
(し)	アラーム入力があるとアラーム状態表示アイコンが点滅します。
(す)	緊急録画状態時に緊急録画状態表示アイコンを表示します。
(せ)	バックアップ画像を格納するドライブ名を表示します。
(そ)	バックアップ画像を格納するドライブの全容量を表示します。
(た)	バックアップ画像を格納するドライブの残容量を表示します。
(ち)	バックアップ画像を格納するドライブの使用状況を表示します。

### 10. 2. 18. 1. 緊急録画

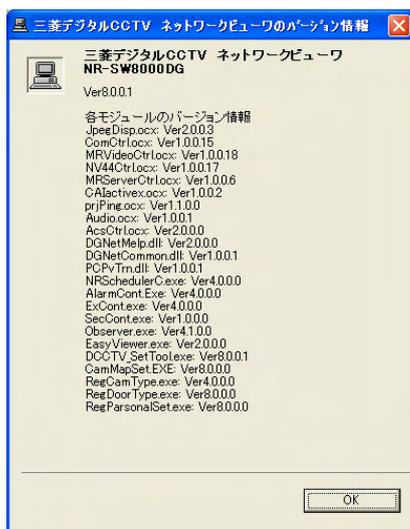
- (1) 制御切換えパネルで緊急録画ボタンを押すと、緊急録画状態表示アイコン表示され、登録済みのすべてのカメラ映像を最大記録レート<sup>2</sup>で記録開始します。
- (2) 再度緊急録画ボタンを押すと、下図(z)が非表示になり、緊急録画状態は終了し、元の状態で記録します。
- (3) 記録レートは、変更することが可能です。詳細は、「14.2.最大記録レートを変更する」(185 ページ)を参照してください。

<sup>1</sup> 赤色は、保存中状態を示します。緑色は、保存可状態を示します。保存開始後、赤色に変化し、保存が進む度に緑色に変わっていきます。全て緑色になったら保存完了です。但し、サイズ無制限、終了時刻未設定で保存を開始した場合は、保存を中止するまで赤色のままとまります。

<sup>2</sup> ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 で記録するレートの最大値です。この値を超えての記録操作は行えません。初期値、値の変更のしかたは、「14.2.最大記録レートを変更する」(185 ページ)を参照ください。

## 10.2.19. バージョン表示

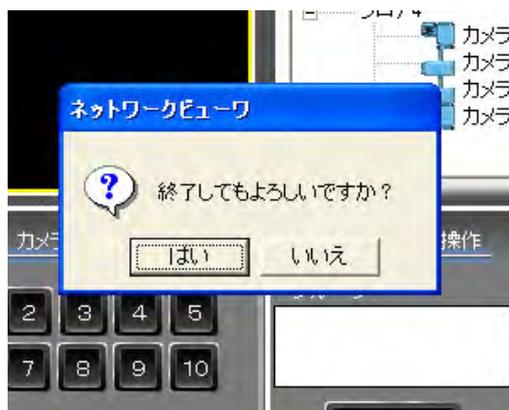
- (1) ウィンドウ右上の「？」ボタンを押すと、ソフトウェア(モジュール)のバージョンを表示します<sup>1</sup>。



- (2) 「OK」ボタンを押すと、バージョンダイアログが閉じます。

## 10.2.20. 終了

- (1) ウィンドウ右上の「x」ボタンを押すと、ソフトウェアを終了します。  
(2) 画面中央に確認ダイアログが表示されますので、終了してよい場合は、「はい」を押します<sup>2</sup>。



緊急録画中又はアラーム連動中に本ソフトウェアを強制終了するとネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 への記録レートを元に戻すことができなくなります。この場合、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 への記録期間が短くなる場合がありますので、本ソフトウェアを終了する場合は、必ず、緊急録画を解除した後及びアラームが解除された後に実施するようにしてください。万が一、緊急録画中又はアラーム連動中に本ソフトウェアを強制終了してしまった場合は、本ソフトウェアを再起動することでネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 への記録レートを元に戻すことができます。

<sup>1</sup> NR-SW7200PA の画面イメージを使用しています。NR-SW7200BL の場合、若干異なります。

<sup>2</sup> 緊急録画中又はアラーム連動中に本ソフトウェアを終了するとネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の記録レート設定を元に戻そうするため、終了するまでに数十秒から数分間かかることがあります。本ソフトウェアの終了は、緊急録画を解除した後及びアラームが解除された後に実施するようにしてください。

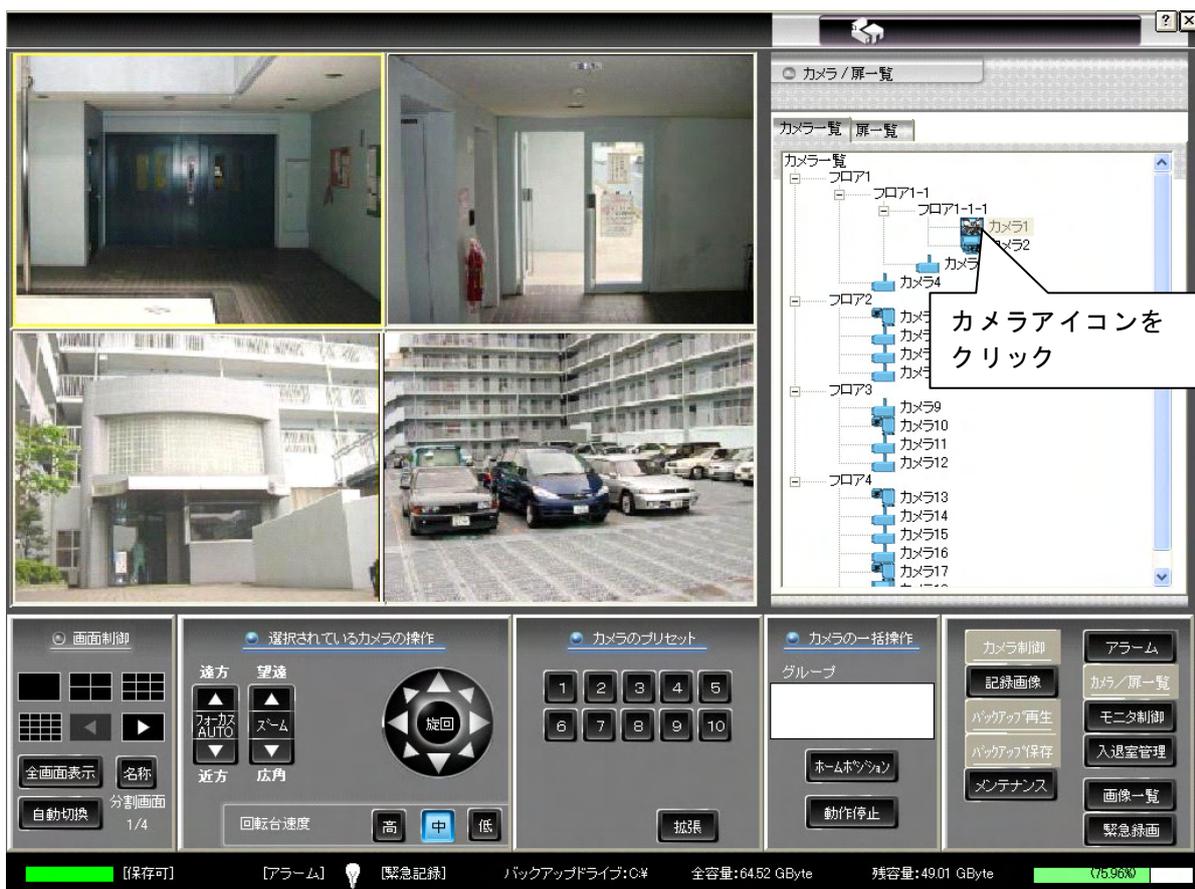
## 11. 操作方法概要

- (1) コンピュータ起動後に、スタートメニューから「三菱デジタル CCTV」⇒「ネットワークビューワ(P)」の順にアイコンを押してソフトウェアを起動してください。



### 11.1. カメラ映像を画像表示パネルに表示する

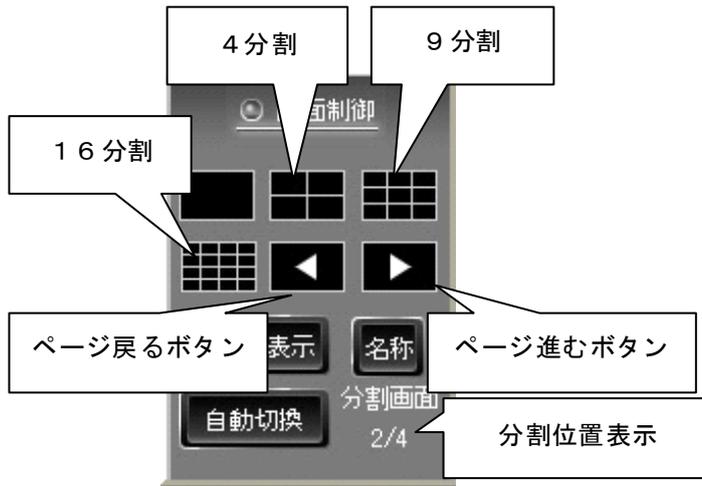
- (1) カメラ／扉選択パネルより、表示したいカメラアイコンをクリックします。<sup>1</sup>



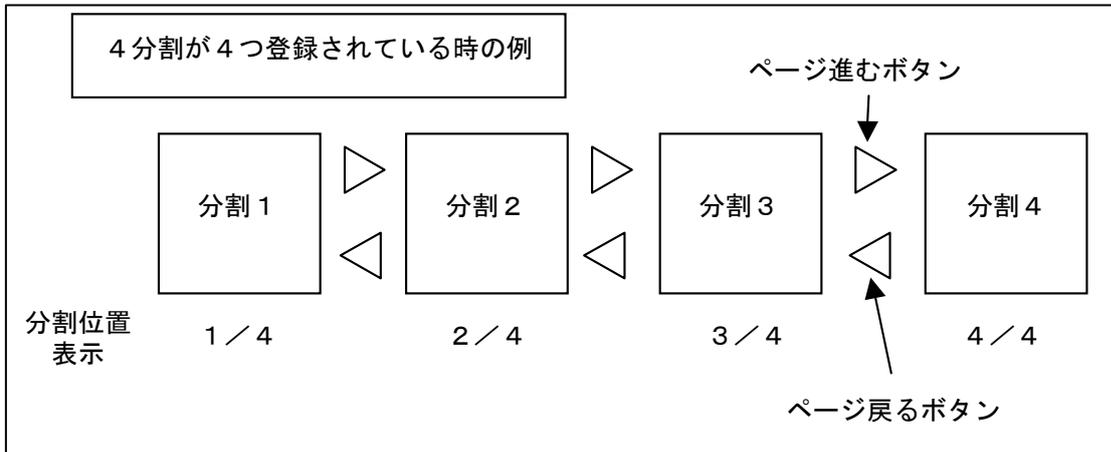
<sup>1</sup> 本ソフトウェアを立ち上げた状態では、カメラ／扉選択パネルの最上に配置されているカメラ映像が単画表示されます(デフォルト)。起動時の状態を変更したい場合は、13.2.40 ネットワークビューワシステム設定(172 ページ)を参照ください。

### 11.1.1. 分割表示にする

(1) カメラ表示を分割表示にする場合は、画像表示パネルの「4」「9」「16」ボタンを押します。



(2) 「ページ進むボタン」「ページ戻るボタン」を押すことにより、あらかじめ画面分割設定で設定された内容で画面が切り換わります。また、名称ボタンの下部に分割位置の表示がされます。



(3) 分割画面の登録のしかたは、「12.6.画面分割設定」(99 ページ)を参照してください。

### 11.1.2. 全画面表示にする

(1) 「全画面」ボタンを押すことによって、表示画面がフルスクリーンで表示されます。



(2) 通常の画面に戻す場合は、フルスクリーン表示状態の画面上で任意の場所をダブルクリックします。

### 11.1.3. カメラ名称を表示する

(1) 「名称」ボタンを押す毎に、カメラ映像表示画面の下部にカメラ名称が表示／非表示されます。

(2) カメラ名称の設定は、「12.4.1.カメラ名称の設定」(96 ページ)を参照してください。



#### 11.1.4. カメラ映像を自動でスキャンさせる

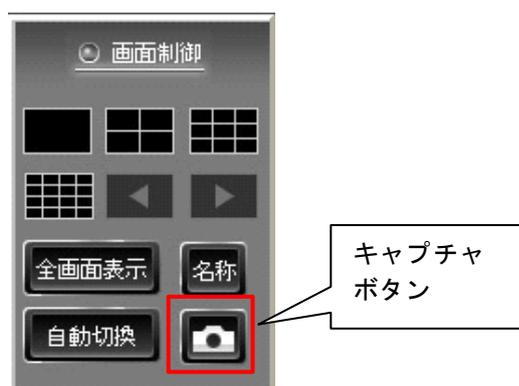
---

- (1) 「自動」ボタンを押すと、登録内容に従い自動スキャンを行います。
- (2) 自動スキャンを停止する場合は、再度自動ボタンを押します。<sup>1</sup>
- (3) 自動スキャンの詳細は、「12.7.自動スキャン設定」(102 ページ)を参照してください。

#### 11.1.5. 静止画をキャプチャする

---

- (1) 下図のキャプチャボタンを押すと、画像表示パネルに表示されている映像を静止画(JPEG ファイル)として保存します。<sup>2</sup>



- (2) 保存先、保存枚数などの詳細は、「12.5.キャプチャ設定」(98 ページ)を参照してください。

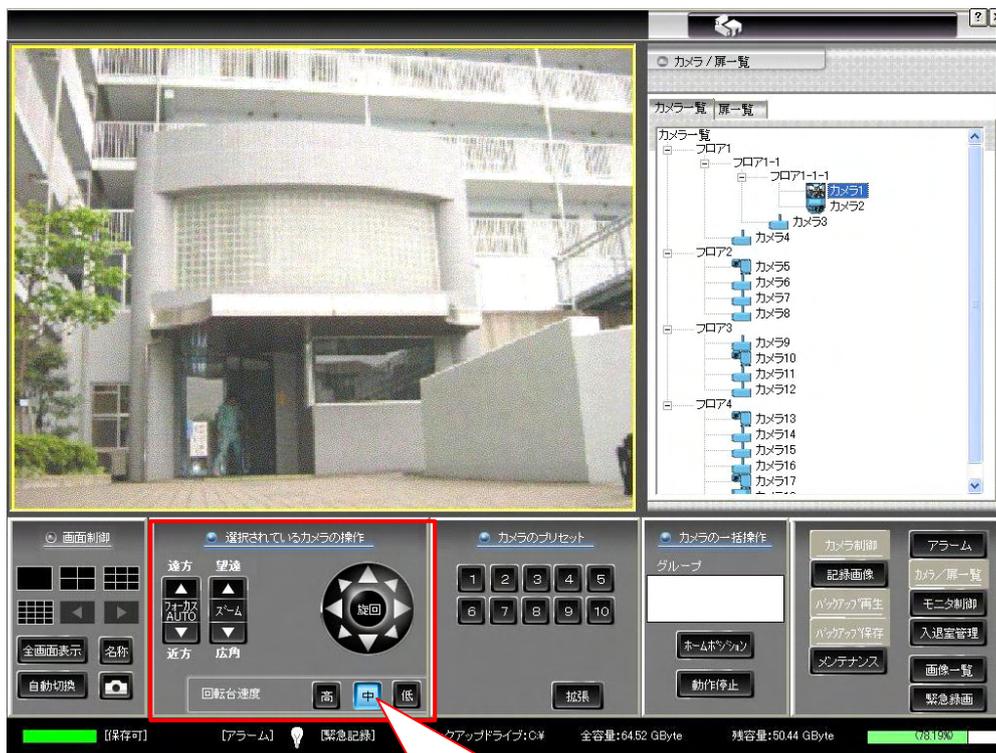
---

<sup>1</sup> 画面表示形態を変更(ex.4画面→9画面等)しても自動スキャンを停止させることができます。

<sup>2</sup> 表示形態が単画面の時しか使用できません。(キャプチャボタンも表示されません。)

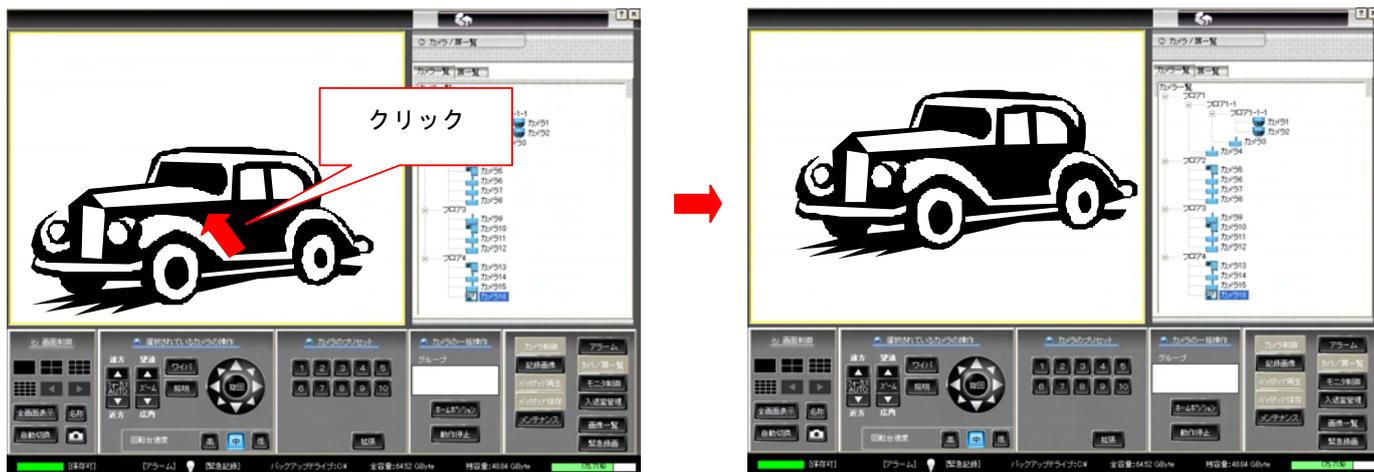
## 11.2. 回転台付きカメラを操作する

(1) 回転台付きカメラを選択した場合、カメラ制御パネルが自動で表示されます。<sup>1</sup>



カメラ制御パネル

- (2) カメラ制御パネルを使用しての回転台等の制御方法は、「10.2.5.カメラ制御パネル」(52 ページ)を参照してください。
- (3) また、映像表示パネルに表示されている映像上をマウスでクリックすると、マウスクリック位置が映像表示のほぼ中心に来るように回転台付きカメラが移動します。(ダイレクトポジション機能)<sup>2</sup>

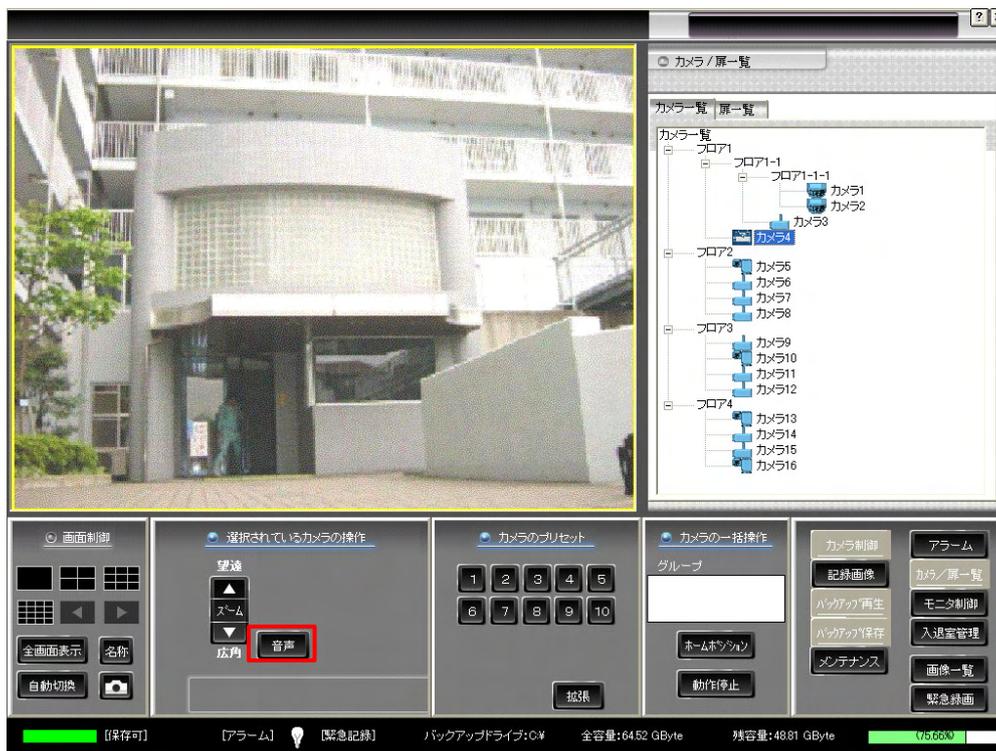


<sup>1</sup> 固定型カメラを選択した場合は、カメラ制御パネルは表示されません。回転台型カメラを選択しても表示されない場合は、カメラ種別が正しく登録されていない可能性があります。カメラ登録の詳細は、「カメラの登録」(122 ページ)を参照してください。

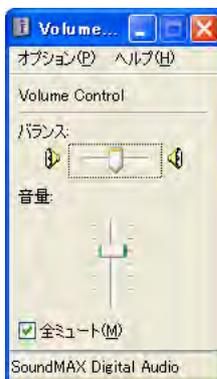
<sup>2</sup> カメラの種別 (CIT-7300 等) や画角、回転台精度等によっては、マウスクリック位置が画面中心位置に来ない場合があります。

### 11.3. 受信音声の音量を調整する

(1) 音声機能付きカメラを選択した場合、「音声」ボタンが表示されます。<sup>1 2 3 4</sup>



(2) 音量を調整する場合、本ボタンを押してください。音量調整用の画面が表示されます (Windows 標準のボリュームコントロールです)。また、必要に応じてミュート(スピーカ)することができます。



<sup>1</sup> 音声機能有りカメラを選択しても表示されない場合は、カメラ種別が正しく登録されていない可能性があります。カメラ登録の詳細は、「カメラの登録」(122 ページ)を参照してください。

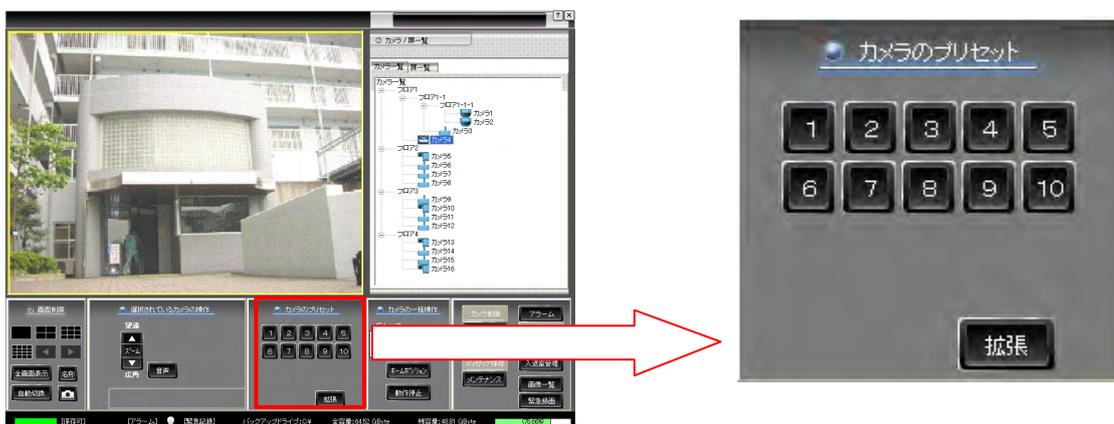
<sup>2</sup> 選択中カメラのライブ音声のみ再生します。複数カメラの同時再生は出来ません。また、音声の記録は出来ません。

<sup>3</sup> 音声出力装置(スピーカ)については、別途、お客様にてご準備願います。

<sup>4</sup> 音声ボタンが表示されていない(メンテナンス画面での画面分割設定時、自動スキャン設定時、記録画像再生画面)状態では、音声の出力は行いません。

## 11. 4. プリセット機能を使う

(1) プリセットパネルを使用して、プリセット1～10のプリセットポジション移動ができます。<sup>1</sup>



(2) 上図「拡張ボタン」を押すと、拡張パネルに切り換わります。拡張パネルの「基本ボタン」を押すと、基本パネルに切り換わります。

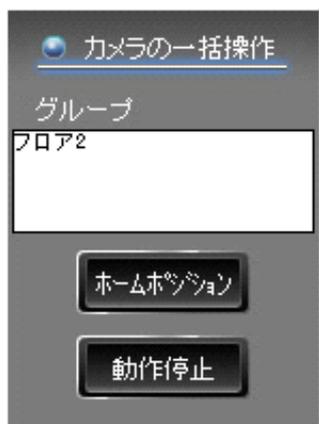


(3) 基本パネル、拡張パネルの使い方の詳細は、「10.2.6.プリセットパネル」(53 ページ)を参照してください。

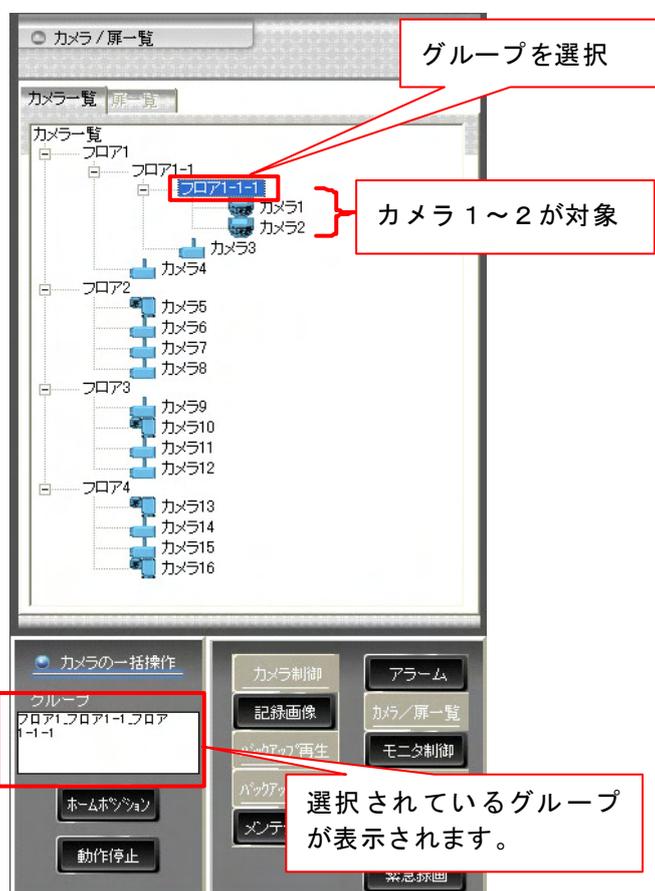
<sup>1</sup> プリセットポジション 11 以降を操作する場合は、「拡張ボタン」を押して拡張パネルに切り換えます。

## 11.5. ホームポジションへ移動する

- (1) 一括操作パネルのホームポジションボタンを押すと、対象のカメラをホームポジションへ移動させることができます。



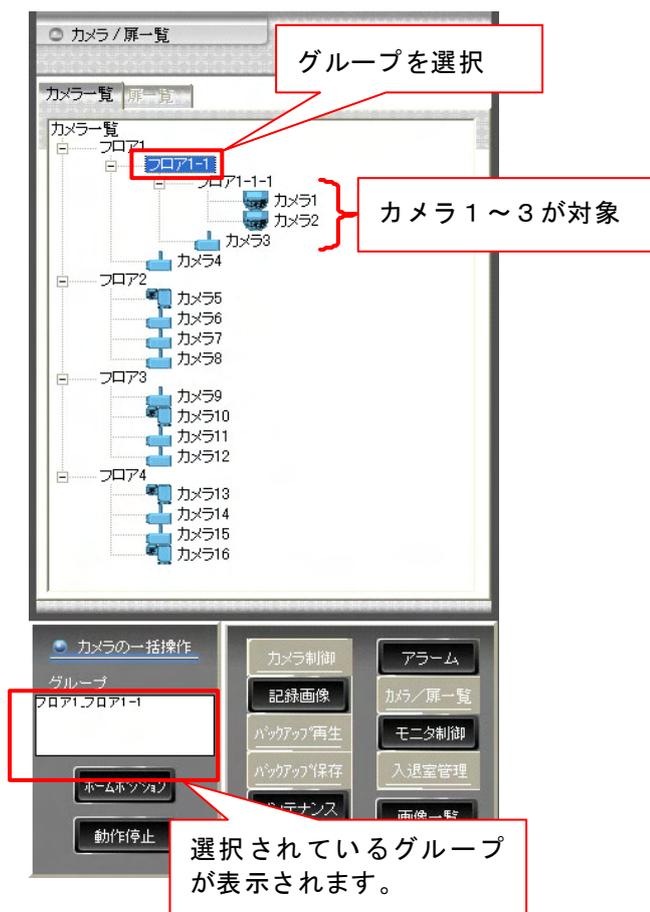
- (2) グループを選択しておく、グループ単位で一斉にホームポジション動作を行うことができます。<sup>1</sup>  
(3) 下図のように、カメラ／扉選択パネルでグループを選択します。(下図例では「フロア1-1-1」です。)



- (4) この状態でホームポジションボタンを押すと、グループ単位でホームポジション動作を行います。(上図例ではカメラ1～カメラ2が対象になります。)

<sup>1</sup> ホームポジション動作は、カメラ毎にあらかじめ登録しておきます。登録のしかたは、「12.9.ホームポジション」(106 ページ)を参照してください。

(5) 下図例は、「フロア1-1」を選択した場合です。この場合、「1-1」グループのカメラ1～3が対象になります。



(6) カメラ一覧を選択した場合、全カメラが対象になります。

## 11. 6. 記録画像を再生する

(1) ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 に記録されている画像を再生する方法は、下記の2種類あります。

再生方法	内容	参照ページ
タイムデートサーチ	日時情報をもとにして検索、して再生する方法です。	83
アラーム(扉警報)リストサーチ	アラーム情報をもとにして検索、再生する方法	84

### 11. 6. 1. タイムデートサーチ

- (1) 日時を指定して、記録画像を再生する方法です。
- (2) 制御切換えパネルで記録画像ボタンを押して、記録画像再生パネルを表示させます。
- (3) 次に再生したいカメラのアイコンをクリックします。



- (4) 記録画像再生パネルを操作して、日時を設定して再生を開始します。詳細は、「記録画像再生パネル」(56 ページ)を参照してください。
- (5) 指定した日時が、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 で記録されている最古映像より過去の場合は、下図のダイアログが表示されます。最古日時情報を参照して、正しい日時を指定してください。



- (6) 同様に、指定した日時が現在の日時より未来を指定した場合は、下図のダイアログが表示されます。正しい日時を指定してください。



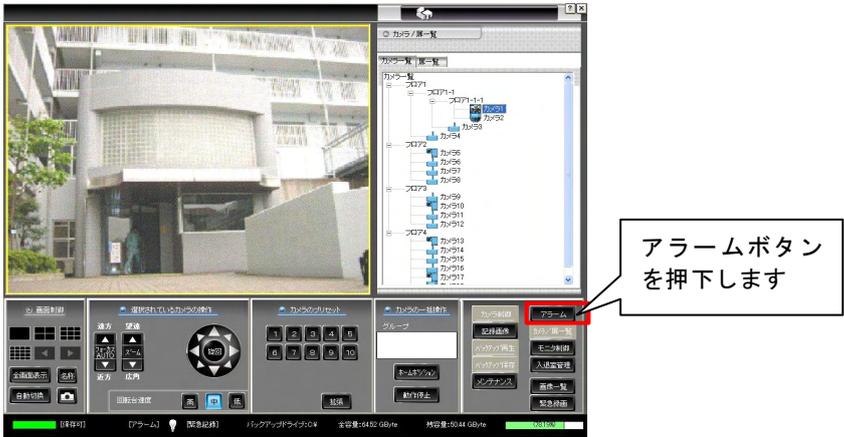
- (7) 分割画面<sup>1</sup>時のカメラ再生表示位置は、「12.6.画面分割設定」(99 ページ)で設定した内容にしたがいます。<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 分割画面で同時複数再生時、再生時刻が合わない場合があります。特に早送り等特殊再生を実施した場合、ずれが大きくなる可能性があります。これは、レコーダの記録レートによるもので、異常ではありません。

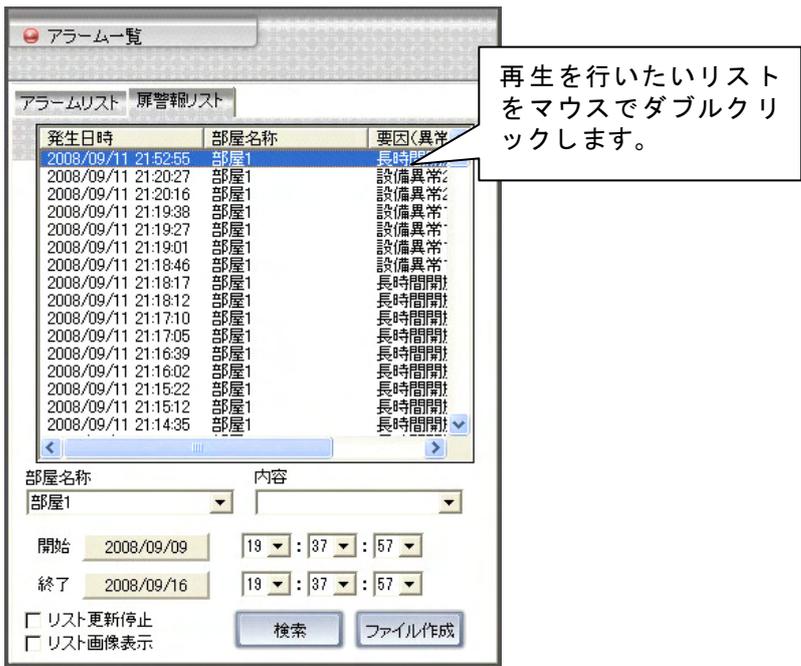
<sup>2</sup> 再生中に表示画面形態を変更しても(4画→9画等)、再生は継続します。但し、ネットワークレコーダに対して再制御を行うため、一旦、再生が停止されますが、異常ではありません。

### 11. 6. 2. アラーム(扉警報)リストサーチ

- (1) アラームパネルに表示されるアラーム(扉警報)リスト情報をもとに再生を行う方法です。
- (2) 制御切換えパネルの「アラームボタン」を押してアラームパネルを表示させます。



- (3) アラームパネルに表示されるアラームリスト又は、扉警報リストをマウスでダブルクリックすることで該当位置から再生を開始することができます<sup>12</sup>。

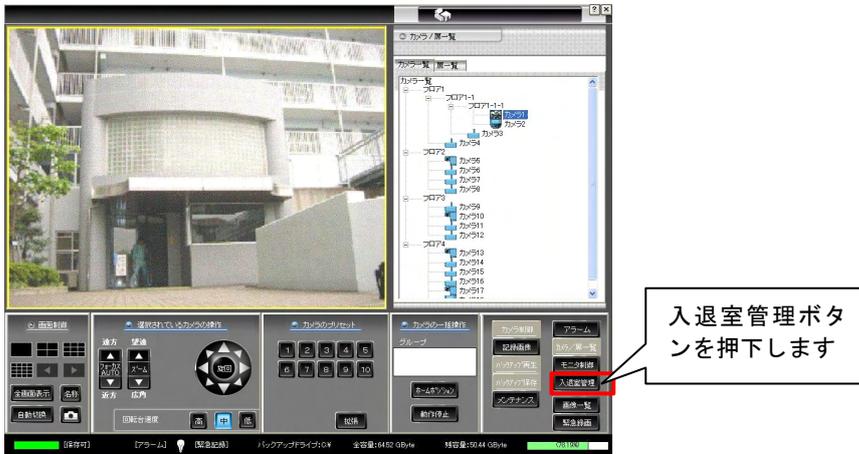


<sup>1</sup> プリアラーム再生機能が有効な場合、指定時間分過去から再生が開始されます。プリアラーム再生時間の設定については、「12.10 アラーム設定」(107 ページ)を参照ください。

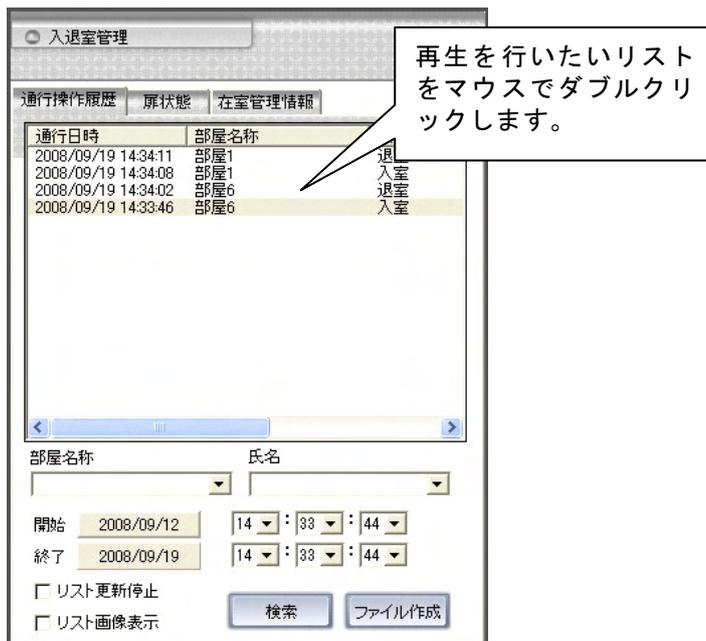
<sup>2</sup> 扉警報リストには、入退室管理システム本体に関する警報も表示されます。入退室管理システム本体に関する警報についてはリストでダブルクリックしても記録画像の再生は行われません。

### 11.6.3. 通行操作履歴リストサーチ

- (1) 入退室管理パネルに表示される通行操作履歴リスト情報をもとに再生を行う方法です。
- (2) 制御切換えパネルの「入退室管理ボタン」を押して入退室管理パネルを表示させます。



- (3) 入退室管理パネルに表示される通行操作履歴リストをマウスでダブルクリックすることで該当位置から再生を開始することができます。

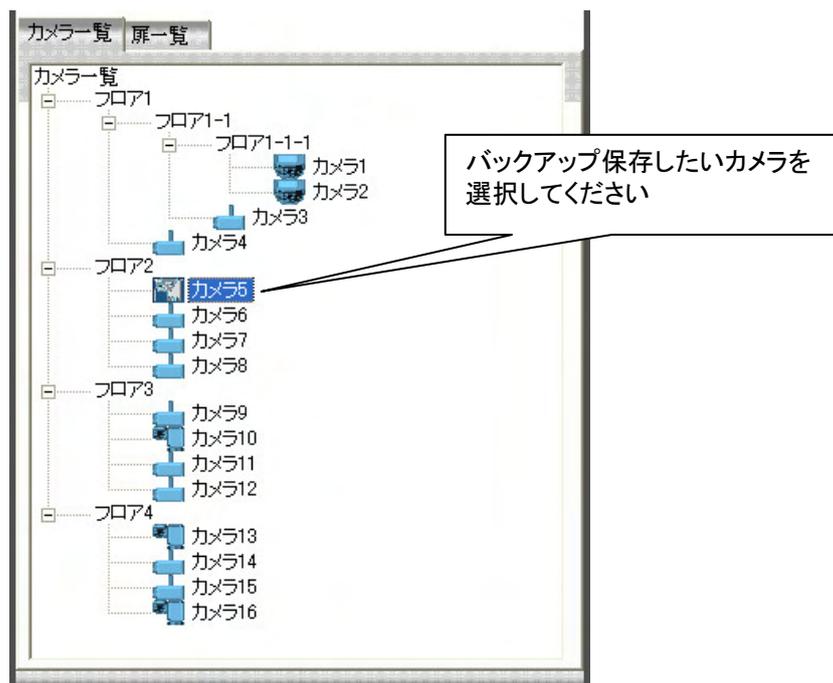


### 11.6.4. 再生画像を拡大して表示する

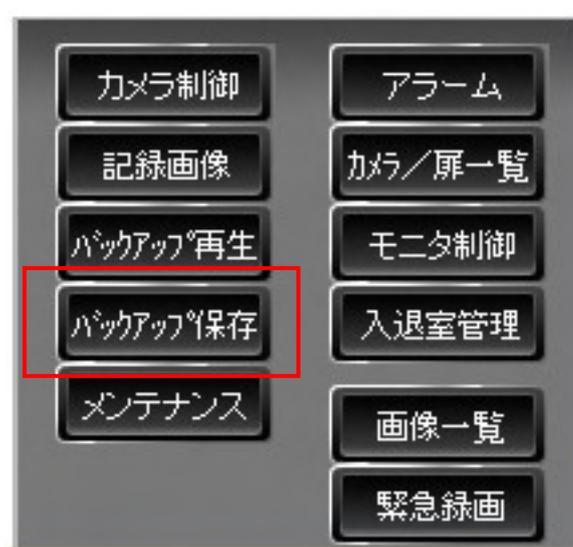
- (1) 画像表示パネルに表示されている再生画像上をマウスで左クリックすると、拡大表示することができます。
- (2) 拡大表示を元に戻す場合は、マウスで右クリックします。
- (3) 「画像表示パネル」(42 ページ)も参照してください。

## 11.7. 記録画像をバックアップする

(1) バックアップ保存するカメラを選択してください。

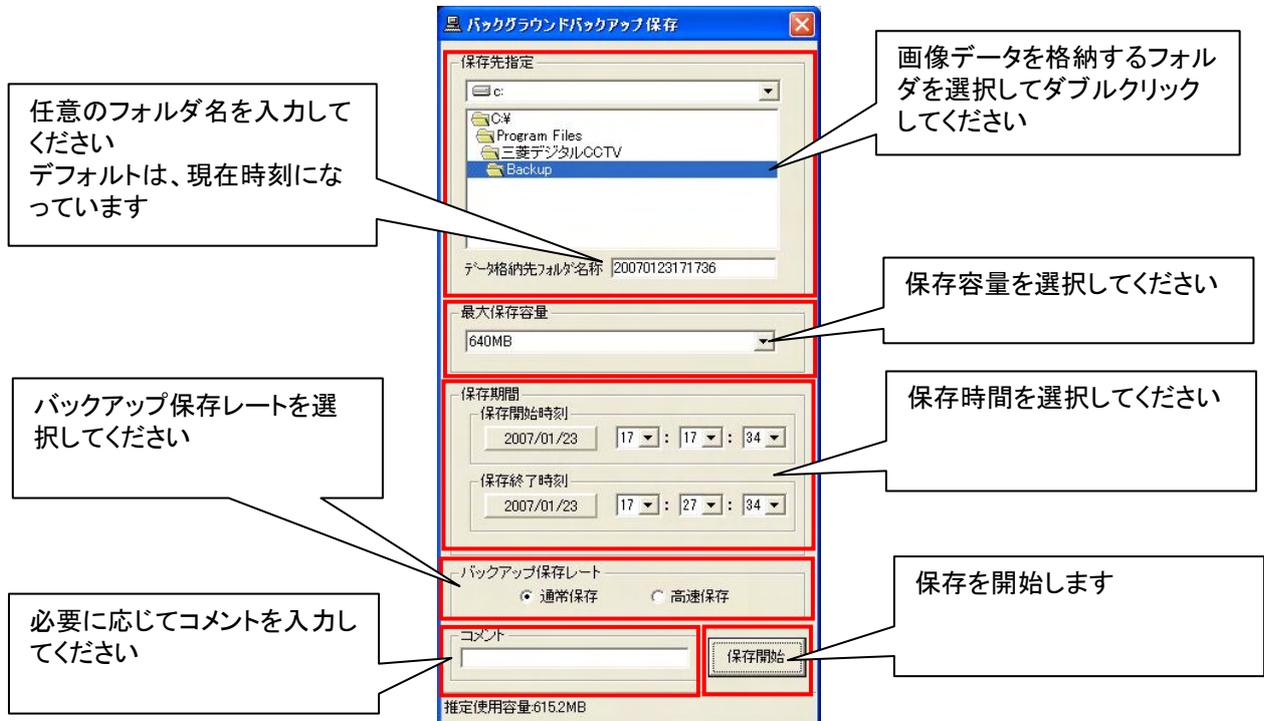


(2) 下図のバックアップ保存ボタンを押すと、バックグラウンドバックアップ保存画面を表示します<sup>1</sup>。



<sup>1</sup> バックアップ保存中は、バックアップ再生はできません。また、バックアップ再生中は、バックアップ保存はできません。

- (3) データ格納フォルダを設定してください<sup>1</sup>。
- (4) 最大保存容量を選択してください<sup>2</sup>。
- (5) 保存開始時刻と終了時刻を設定してください。保存開始時刻は必須です。保存終了時刻は、空白を選択するとバックアップ保存を停止するか最大保存容量に達するまで記録を続けます<sup>3</sup>。
- (6) バックアップ保存レートを選択してください。高速保存を選択した場合、記録レートには無関係に 30fps でのバックアップ保存を行います。<sup>4 5</sup>
- (6) 必要に応じてコメントを入力してください。
- (7) 設定内容が正しければ、保存開始ボタンを押してください。保存を開始します<sup>6</sup>。



- (8) バックアップ保存中は、バックアップ保存ボタンが下図のようになります。バックアップ保存を停止したい場合は、再度、バックアップ保存ボタンを押してください。



- (9) 保存中は、ステータスバーの表示が以下のようになり、保存の進捗状況を示します<sup>7</sup>。



<sup>1</sup> バックアップしたデータを直接書き込む為、書き込み手順のないメディア（ハードディスク等）を指定してください。CD-R、DVD-R 等への保存はできません。メディアの性能によっては、本アプリケーションの動作に支障をきたす場合があります。コマ抜け防止も含めてハードディスクを使用することをお勧めします。

<sup>2</sup> ここで設定されている値よりも約 10MB より少ないサイズで記録を停止します。

<sup>3</sup> 長時間記録すると再生時の読み込みに時間がかかります。長くとも 1 時間程度の記録にすることをお勧めします。

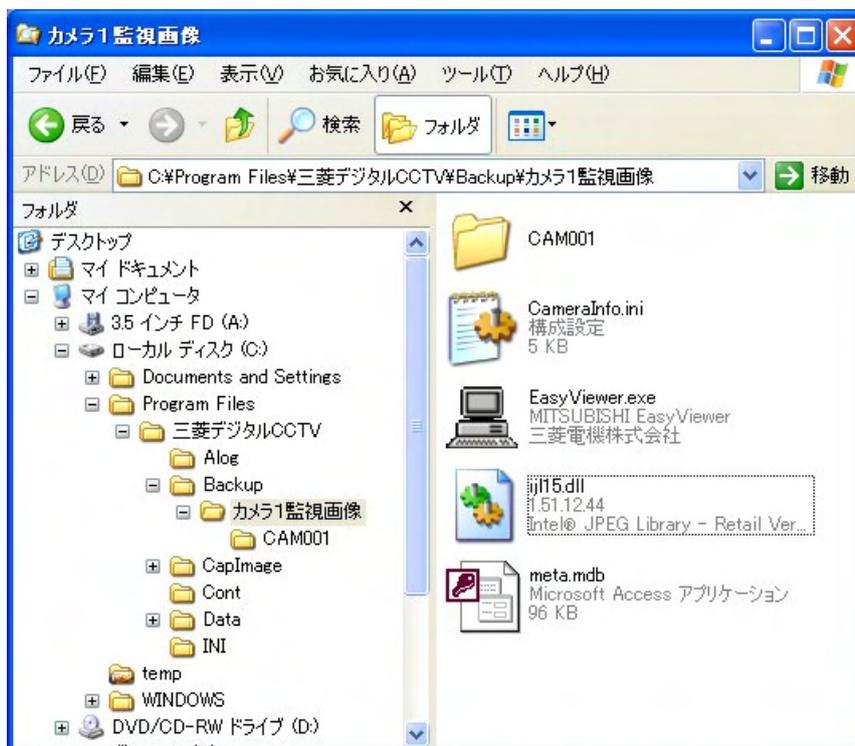
<sup>4</sup> 高速保存は、ネットワークレコーダ NR-7110/7116 のみサポートしています。

<sup>5</sup> ネットワークレコーダの負荷状況（複数地点への映像配信中等）によっては、高速保存できない場合があります。通常保存に切換えて使用いただくか、しばらくしてから再度、実行してください。

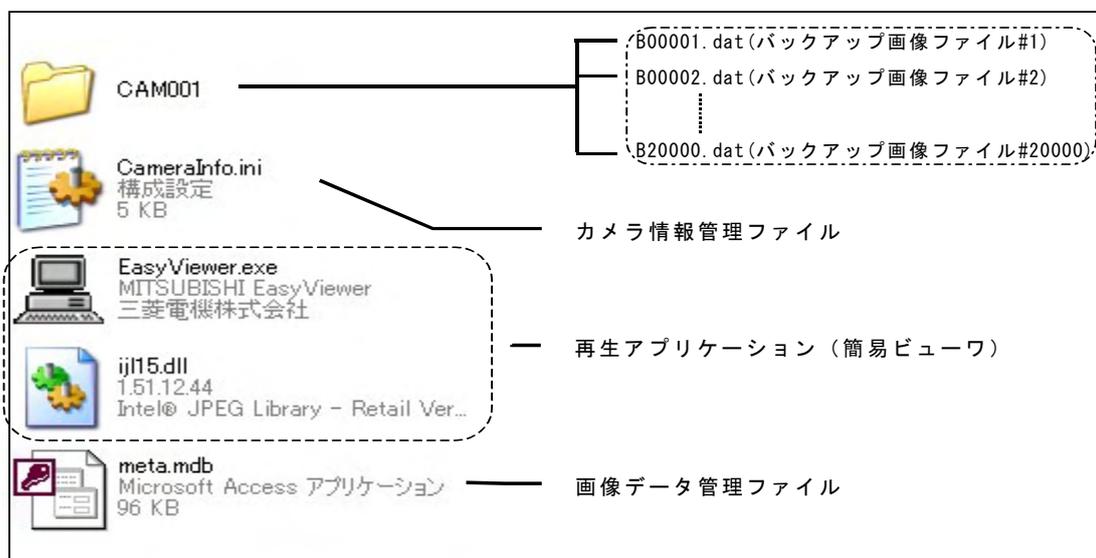
<sup>6</sup> PC の性能や格納先ドライブの性能によっては、コマ抜けが発生する可能性があります。

<sup>7</sup> 最大保存容量が「無制限」で保存終了時刻が未設定の場合、進捗状況は表示されず、保存が終了するまで赤色表示となります。また、最大保存容量と保存終了時刻がともに指定された場合、終了時刻を基準に進捗状況を表します。

- (10) バックアップ画像ファイルサイズは最大約 50MB/1File、1カメラ当り保存可能なファイル数は最大 20,000 個です。<sup>1</sup>
- (11) バックアップ先フォルダには、下記のファイルが作成されます。



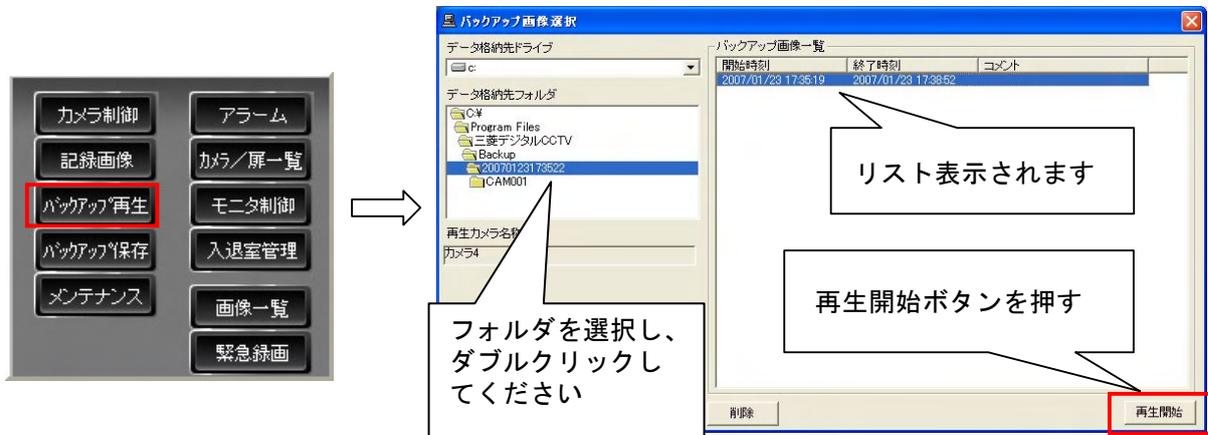
バックアップ画像格納ディレクトリ構成



<sup>1</sup>バックアップ画像は独自フォーマットの“dat ファイル”に保存されます。

## 11. 8. バックアップ画像を再生する

- (1) 「11.7 記録画像をバックアップする」(86 ページ)でバックアップした画像を再生することができます。<sup>1 23</sup>
- (2) 制御切換えパネルで、下図のバックアップ再生ボタンを押すと、バックアップ画像選択ダイアログが表示されます。



- (3) データ格納フォルダ選択エリアよりバックアップ画像格納フォルダを選択するとバックアップ画像一覧表示エリアにリストが表示されます。
- (4) バックアップ画像一覧表示エリアより画像を選んで再生開始ボタンを押します。
- (5) バックアップ画像再生中は、再生映像のカメラ名称の後に「(バックアップ再生)」が表示されます<sup>4</sup>。



<sup>1</sup> バックアップ再生時の再送速度を調整することが出来ます。調整範囲は、1fps～30fps で1fps 単位で設定できます(本設定値は目安であり動作保証するものではありません)。また、早送り/早戻しは4フレームずつスキップして再生されます。

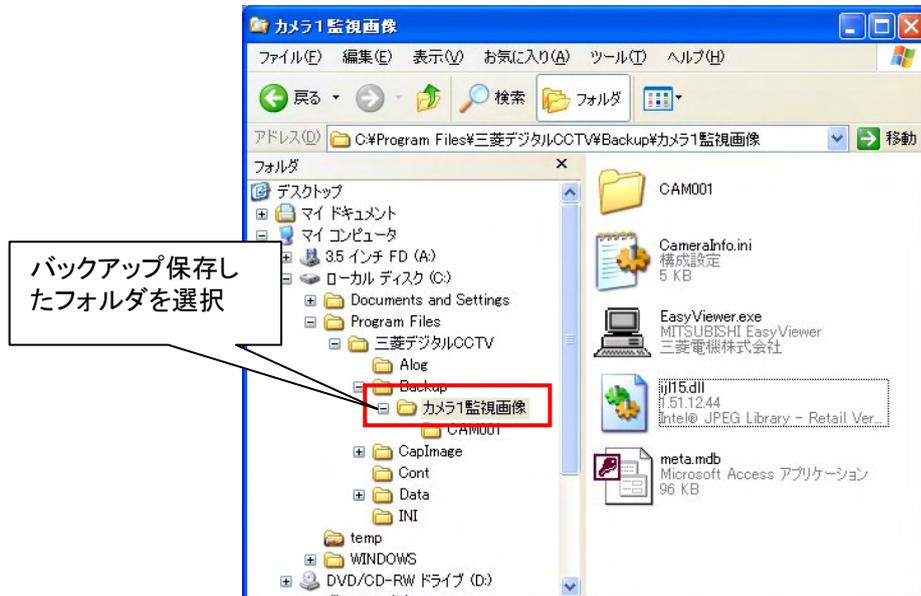
<sup>2</sup> お使いの PC によっては期待通りの速度で再生できないことがあります。

<sup>3</sup> バックアップ再生中に、単画表示から分割画面に切り替えた場合、マウスカーソルが砂時計から通常状態に戻るまでに数十秒かかりますが異常ではありません。通常状態に戻るのを確認してから操作を開始して頂くか、バックアップ再生停止後に分割画面に切り替えて下さい。

<sup>4</sup> バックアップ再生中は、バックアップ保存はできません。

### 11. 9. 外部保存(保存したバックアップデータを外部メディアに保存する)

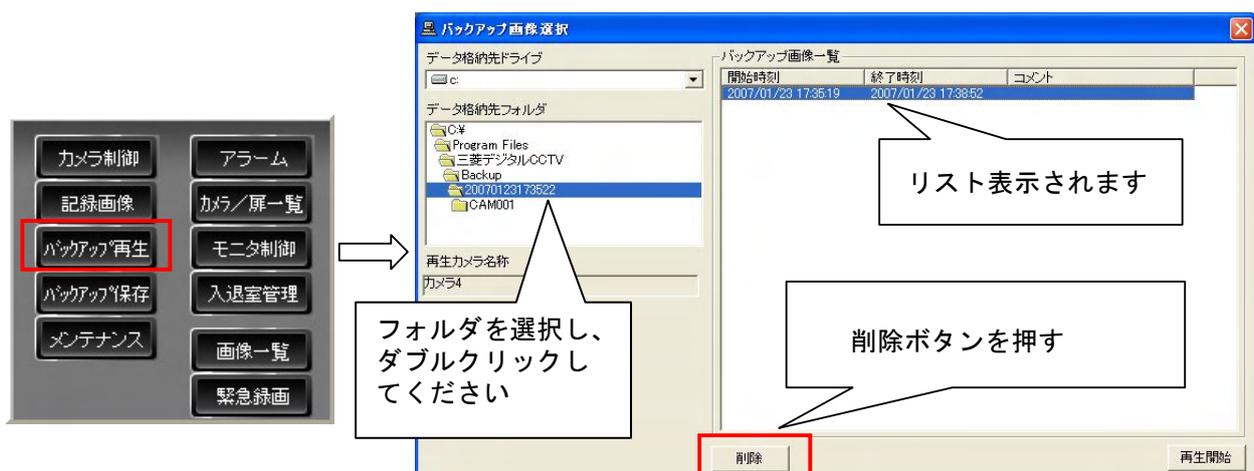
- (1) 「11.7.記録画像をバックアップする」(86 ページ)でバックアップしたファイルを外部メディアへ保存し、専用の再生アプリケーションで再生表示することができます。
- (2) エクスプローラを起動して、外部保存したいデータが格納されたフォルダに移動してください。



- (3) バックアップ保存データが格納されたフォルダ毎、外部メディアにコピーもしくは、移動してください。CD-R や DVD-R 等へ書き込みを行う場合は、市販の書き込み用のアプリケーションを使用してください。
- (4) バックアップ保存データ格納フォルダには、バックアップ画像を再生するための専用のアプリケーション(簡易ビューワ(EasyViewer.exe))が入っています。再生する場合は、本アプリケーションを起動して再生してください。簡易ビューワの使用方法は、本アプリケーションが格納されているフォルダにある取扱説明書"簡易ビューワ取扱説明書.pdf"を参照してください。

### 11. 10. バックアップ画像を削除する

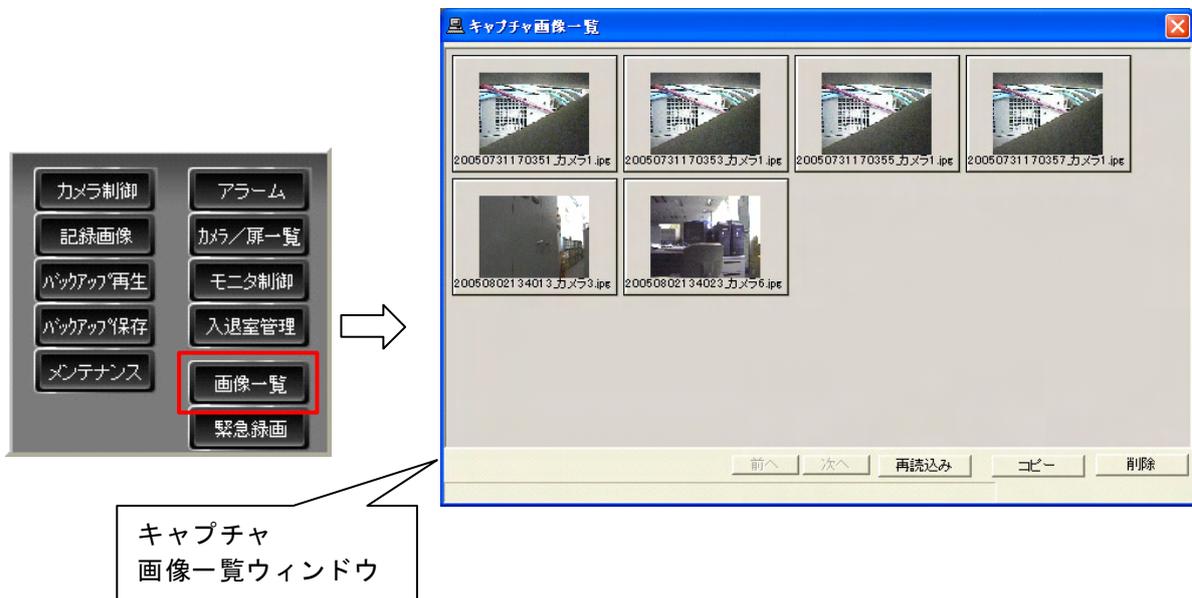
- (1) 「11.7 記録画像をバックアップする」(86 ページ)でバックアップした画像を削除することができます。
- (2) 制御切換えパネルで、下図のバックアップ再生ボタンを押すと、バックアップ画像選択ダイアログが表示されます。



- (3) データ格納フォルダ選択エリアより削除するバックアップ画像格納フォルダを選択します。
- (4) 「削除」ボタンを押します。

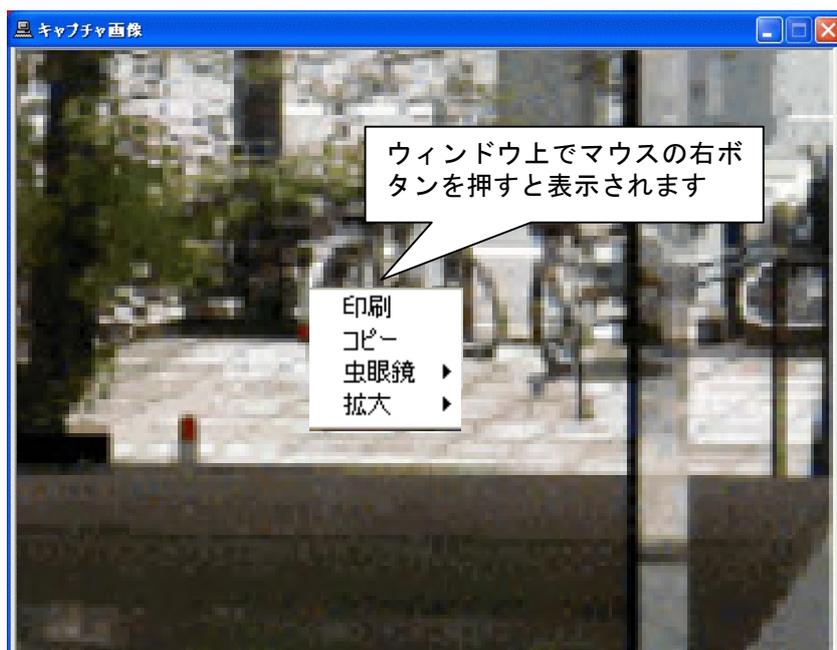
## 11. 11. キャプチャした静止画像を表示、印刷する<sup>1</sup>

- (1) 「静止画をキャプチャする」(77 ページ)でキャプチャした画像の表示、印刷を行います。
- (2) 制御切換えパネルで「画像一覧ボタン」を押すと、キャプチャ画像一覧ウィンドウが表示されます。



- (3) キャプチャ画像一覧から表示、印刷したい画像を選択してダブルクリックすると、別ウィンドウで画像が表示されます。(下図参照)
- (4) 画像が表示されたウィンドウ上でマウスの右ボタンを押すと、メニューが表示されます。

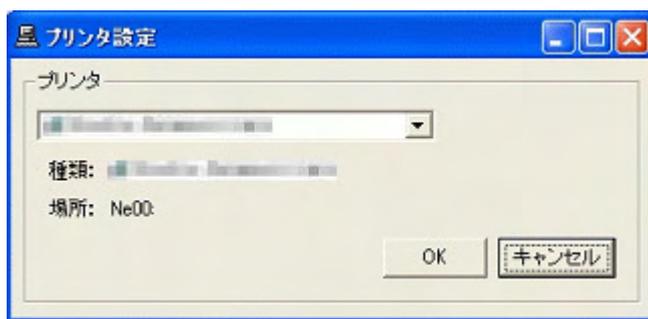
メニュー	詳細
印刷	画像を印刷します。
コピー	画像を指定フォルダにコピーします。
虫眼鏡	サブメニューの 100%、200%、300%、400%から選択します。マウスをクリックすると、選択した拡大率で部分拡大表示を行います。
拡大	サブメニューの 100%、200%、300%、400%から選択すると、画像全体が選択した拡大率で表示されます。 <sup>2</sup>



<sup>1</sup> 画像ファイルをコピーする場合、コピー先フォルダ選択ダイアログが表示されます。コピー先フォルダをダブルクリックして選択してください。

<sup>2</sup> さらに虫眼鏡機能を併用することができます。

- (5) 印刷を選択すると、プリンタ設定のダイアログが表示されますので、プリンタを選択して「OK」ボタンを押すと印刷が開始します。



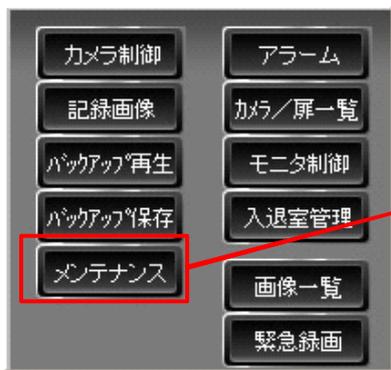
## 12. メンテナンスパネル

(1) メンテナンスパネルでは、プリセット登録、オートパン設定、キャプチャ設定など各種設定を行います。

### 12.1. 起動

(1) 制御切換えパネルの「メンテナンス」を押すと、パスワード入力のダイアログが表示されますので、パスワードを入力し「OK」ボタンを押します。

(2) パスワードは、2種類あります。CCTV(英大文字半角)と、MKDIGITAL(英大文字半角)です。<sup>1</sup>



パスワード1:CCTV(半角大文字)

パスワード2:MKDIGITAL(半角大文字)

(3) 入力するパスワードによって、設定できる項目が違います。

パスワード	カメラ電源	MODE/UP/DOWN
CCTV	× <sup>2</sup>	×
MKDIGITAL	○	○

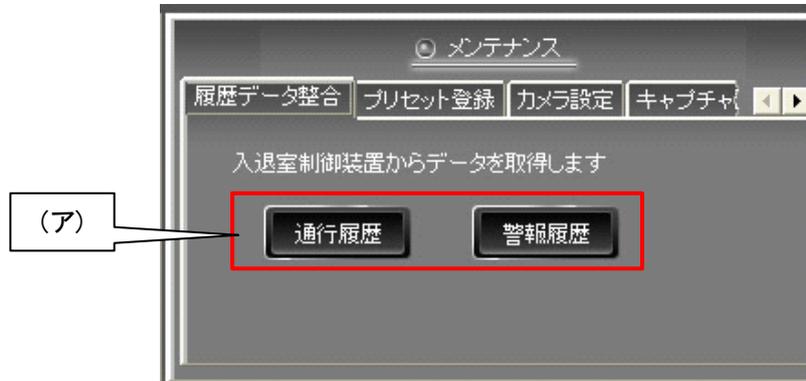
(4) 上記以外の設定項目の差異はありません。

<sup>1</sup> パスワードを変更する場合は、「13.3.6 パスワードの変更(パスワード変更ツール)」(183 ページ)を参照して下さい。

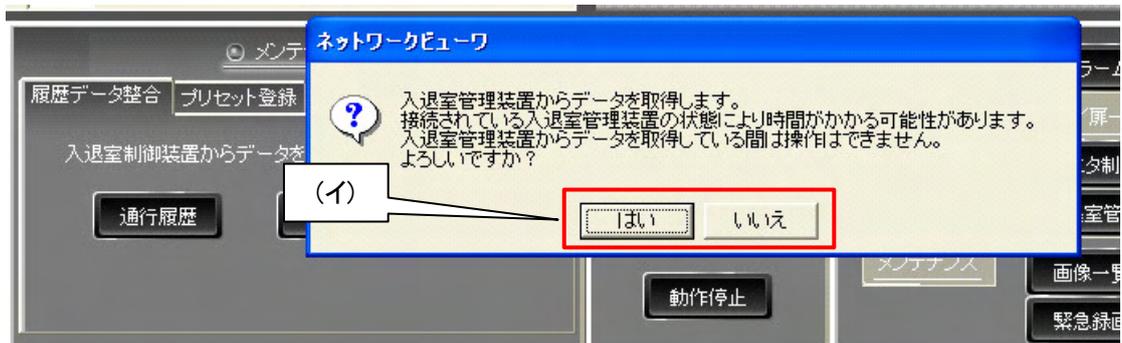
<sup>2</sup> 「12.4.カメラ設定」(96 ページ)で、該当ボタンが表示されません。

## 12.2. 履歴データ整合

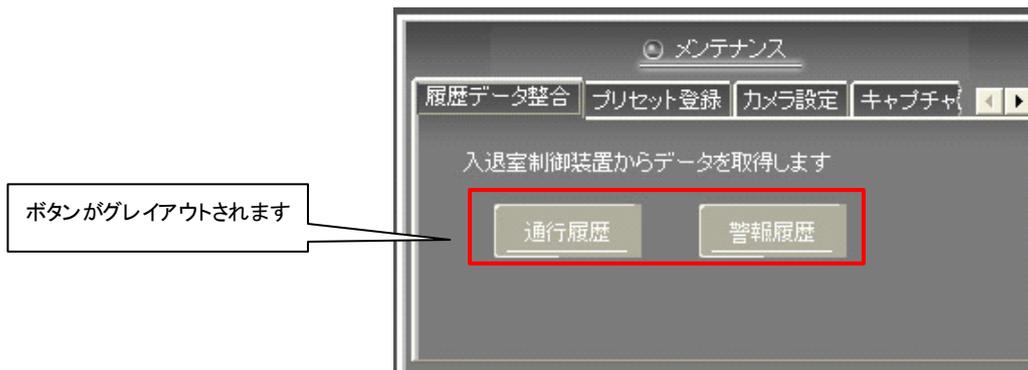
- (1) 接続されている入退室管理システム(MELSAFETY-P)に保存されている通行操作履歴情報または扉警報履歴データを取得します。本製品(NR-SW8000DG)が停止中でも、動作中の入退室管理システムには履歴データが保存されます。本製品を再起動後、本製品が停止中の入退室管理システムの履歴データを取得したい場合に履歴データ整合を実行してください<sup>1</sup>。
- (2) 取得したい情報を下図(ア)から選択します。



- (3) 選択すると、確認ダイアログが表示されます(下図)。取得を行う場合は、(イ)で「はい」を選択してください。



- (4) 「はい」を選択すると、入退室管理システムから情報を取得します。取得中は下図の状態となり、他の操作ができなくなります。

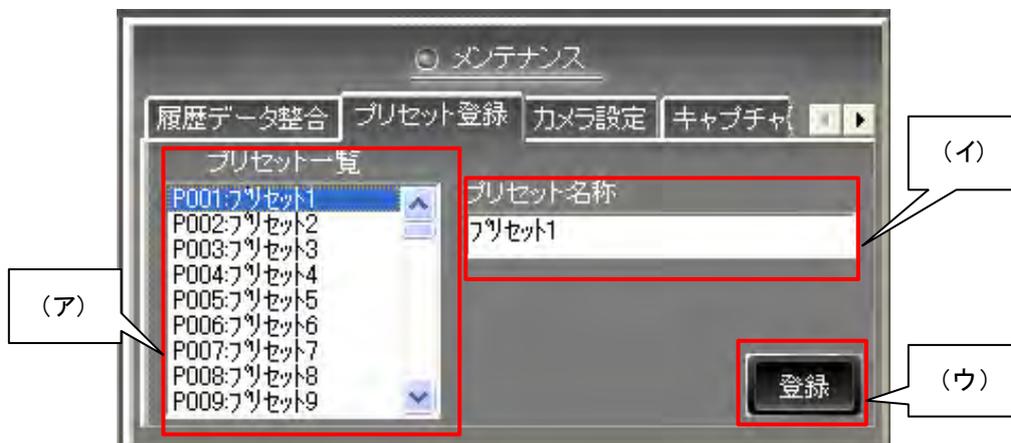


**!** 本製品(NR-SW8000DG)を初回起動した時点から入退室の管理を開始します。よって本製品を導入前の情報に関しては取得できません。

<sup>1</sup> 本製品(NR-SW8000DG)が入退室管理システムから履歴データを自動取得するのは、本製品動作中に入退室管理システムの履歴データが更新された時です。

### 12.3. プリセット登録

- (1) プリセットポジションの登録と、名称を登録することが可能です。<sup>1</sup>
- (2) 登録したいプリセット番号を下図(ア)から選択します。<sup>2</sup>
- (3) 現在のプリセットポジションの名称が(イ)のエリアに表示されますので、新しく登録したい名称を(イ)のエリアに入力してください。
- (4) プリセットポジション位置を確認し<sup>3</sup>、入力が終了したら(ウ)の登録ボタンを押して登録します。



- (5) プリセット名称には、全角/半角が入力でき、最大全角 15 文字(半角 30 文字)まで入力できます。
- (6) インストール直後の名称は、プリセット 1、プリセット 2、...が入力されています。<sup>4</sup>

<sup>1</sup> プリセット登録機能は、カメラに機能がある場合のみ有効です。

<sup>2</sup> 既にプリセットポジションが登録されている場合、プリセットポジション移動を行います。

<sup>3</sup> 回転台、ズーム、フォーカス位置の調整は、「10.2.5.カメラ制御パネル」(52 ページ)で行います。

<sup>4</sup> プリセット 11～255 の名称は未登録になっています。

## 12. 4. カメラ設定

(1) カメラ名称の編集と、オートパンの登録およびカメラ設定をすることができます。

### 12. 4. 1. カメラ名称の設定

- (1) 現在選択されているカメラのカメラ名称が下図(エ)に表示されますので、新しく登録したいカメラ名称を(エ)に入力してください。
- (2) カメラ名称には全角/半角文字が使用でき、文字数は最大全角 15 文字(半角 30 文字)です。



(3) 変更が終了したら、登録ボタン(オ)を押して登録します。

### 12. 4. 2. オートパン旋回位置の設定

- (1) オートパン機能を使用する場合、下図(カ)の「P1」「P2」でオートパンの旋回位置を登録します。<sup>1</sup>
- (2) オートパン機能は、プリセットポジション15、16を使用します。下図中「P1」「P2」はそれぞれプリセットポジション15、16に対応します。



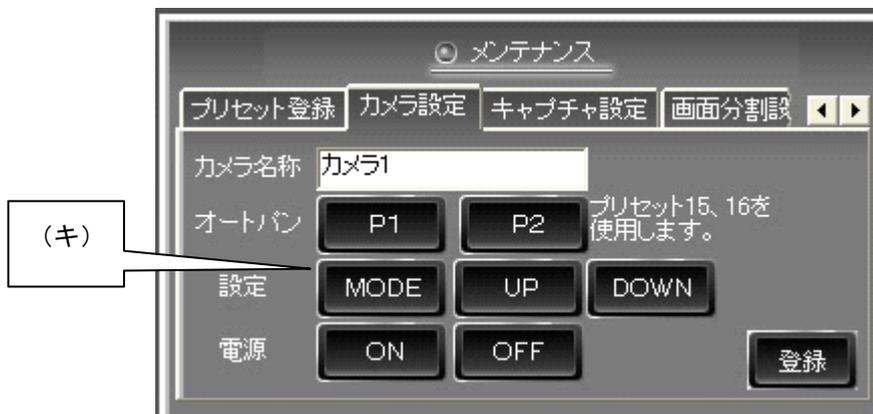
記号(オ)	カメラ側プリセットポジション
P1	15
P2	16

(3) カメラ制御パネルを使用して回転台位置を調整して、「P1」「P2」のボタンを押してオートパンの位置を登録します。

<sup>1</sup> オートパン登録機能は、カメラに機能がある場合のみ有効です。

### 12. 4. 3. カメラメニュー設定

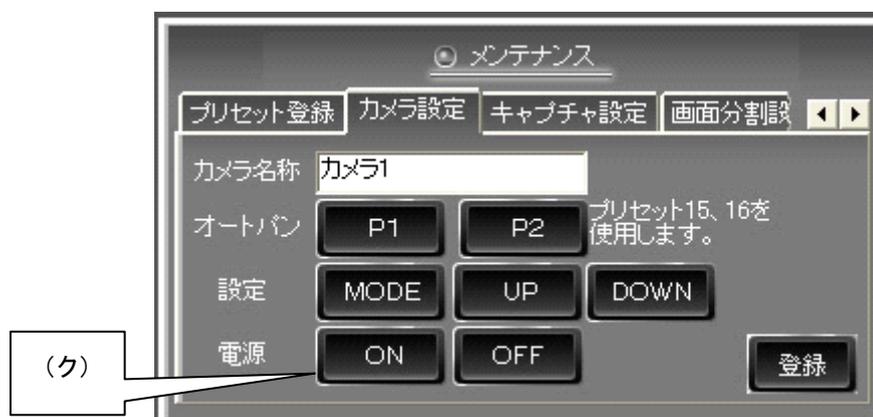
- (1) 下図中(キ)の MODE、UP、DOWN のボタンを使用して、カメラメニューを操作しカメラ側の設定を行います。<sup>1</sup>
- (2) 下図中(キ)のボタンは、メンテナンスで「MKDIGITAL」のパスワードを入力した場合に、表示されます。「CCTV」のパスワードを入力した場合、(キ)のボタンは表示されません。
- (3) 本機能は、十分理解した上で操作してください。



プリセットシーケンスの登録は、MODE、UP、DOWN のボタンを使用してカメラメニュー上で行います。

### 12. 4. 4. カメラ電源操作

- (1) 下図中(ク)のボタンを操作して、カメラ側の電源 ON/OFF を行えます。<sup>2</sup>
- (2) 下図中(ク)のボタンは、メンテナンスで「MKDIGITAL」のパスワードを入力した場合に、表示されます。「CCTV」のパスワードを入力した場合、(ク)のボタンは表示されません。
- (3) 本機能は、十分理解した上で操作してください。



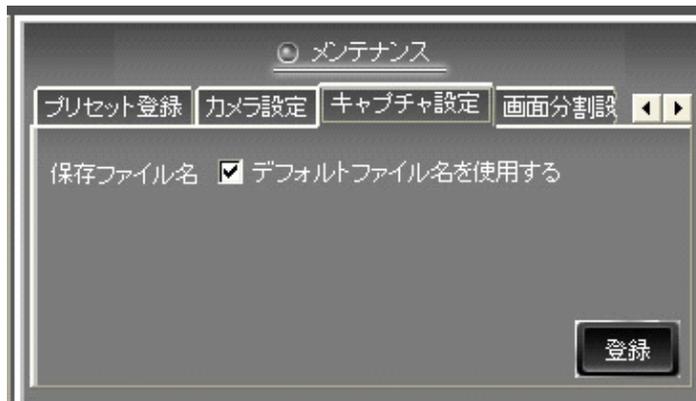
<sup>1</sup> カメラ側にメニュー機能がないカメラの場合は、本機能は使用できません。その他詳細は、カメラの取扱説明書を参照ください。

<sup>2</sup> 実際のカメラ電源は OFF できません。OFF→ON を行うことにより、カメラ側が初期化動作を開始します。詳細はカメラの取扱説明書を参照してください。

## 12.5. キャプチャ設定

- (1) キャプチャ画面のファイル保存名をデフォルト設定にする・しないを登録します。チェックボックスをチェックすると、デフォルト設定が使用されます。
- (2) デフォルト設定は、下記のようにになっています。

保存フォルダ	C:\Program Files\三菱デジタル CCTV\CapImage\*\*	※は 0～9 が入ります。 <sup>1</sup>
ファイル名称	日時_カメラ名称.jpg	例:20041201123005_カメラ1.jpg <sup>2</sup>



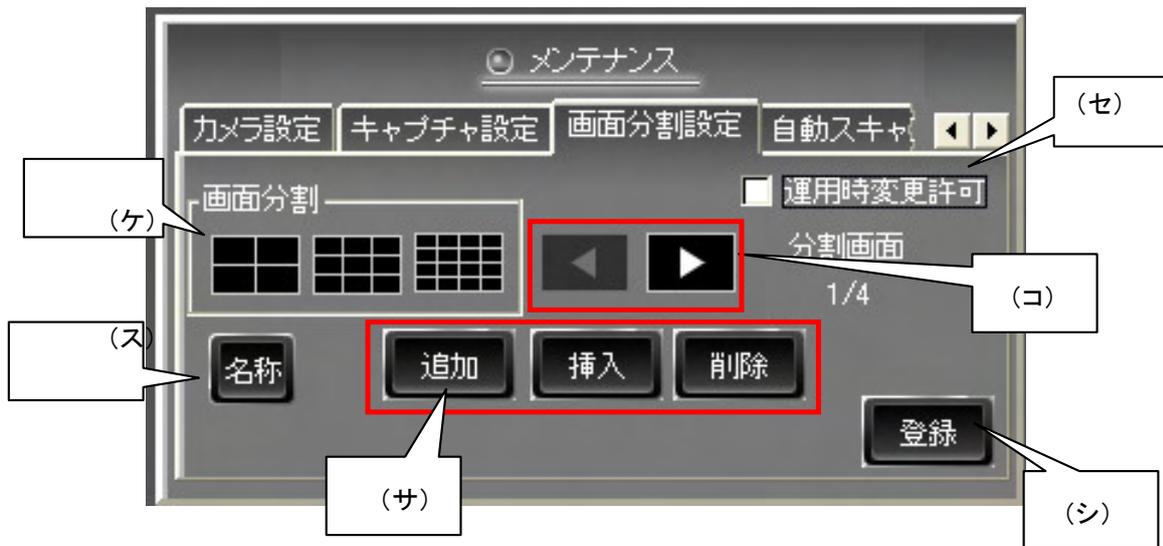
- (3) チェックボックスをチェックしないと、キャプチャボタンを押す度に、ファイル名を入力するダイアログが表示されます。
- (4) 設定を変更したら、登録ボタンを押して登録します。

<sup>1</sup> 保存ファイルが 1,000 個になると、サブフォルダが作成されます。最大 0～9 の合計 10 個のサブフォルダが作成され、それぞれ最大 1,000 枚の JPEG ファイルが保存されます。合計 10,000 枚まで保存されます。10,000 枚以上になるとエラーメッセージが表示されますので、保存ファイルを移動するか、削除してください。

<sup>2</sup> ライブ映像をキャプチャした場合は、キャプチャした日時の秒までがファイル名に反映されます。記録映像をキャプチャした場合は、1/1000 秒までがファイル名に反映されます。

## 12.6. 画面分割設定

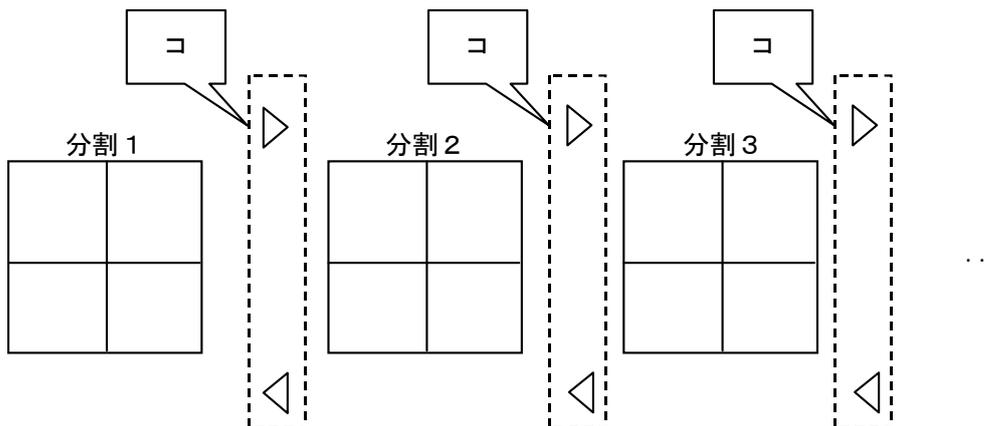
(1) 4画面、9画面、16画面表示時に、どのカメラを表示するかを設定することができます。



(2) 上図中、「ケ」のボタンを押して、登録する分割画面表示にします。

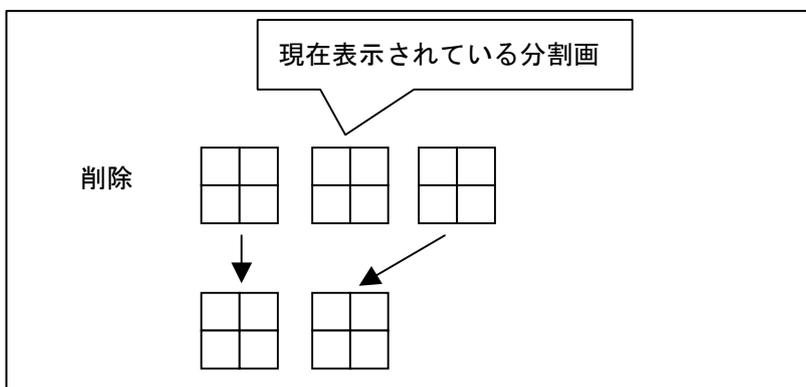
(3) (ス)の名称ボタンを押すと、カメラ名称が表示されます。カメラ名称の登録・変更は、「12.4.カメラ設定」(96ページ)で行います。

(4) 分割画面の移動は、(コ)のボタンを操作して行います。<sup>1</sup>



(5) (コ)のボタンで、分割画面の追加、挿入、削除が行えます。

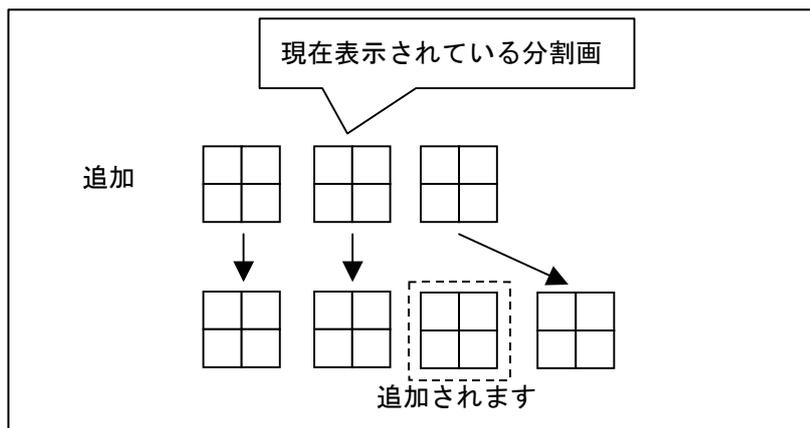
(6) 削除ボタンを押すと、現在表示されている分割画が削除されます。<sup>2</sup>



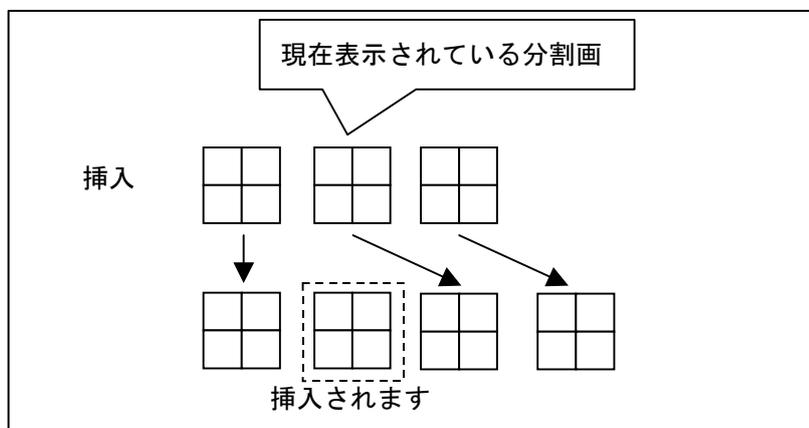
<sup>1</sup> 分割画面の変更を行った場合は、(コ)ボタンで移動する前に登録ボタン(シ)を押して登録してください。

<sup>2</sup> 登録ボタン(シ)を押して登録しないと、削除操作は反映されません。

(7) 追加ボタンを押すと、現在表示されている分割画の次に空白頁が追加されます。<sup>1</sup>



(8) 挿入ボタンを押すと、現在表示されている分割画の前に空白頁が挿入されます。<sup>2</sup>



<sup>1</sup> 登録ボタン(シ)を押して登録しないと、追加操作は反映されません。

<sup>2</sup> 登録ボタン(シ)を押して登録しないと、挿入操作は反映されません。

(9) 次に、カメラ一覧からカメラアイコンを分割画面上にドラッグ&ドロップ<sup>1</sup>でドロップして登録します。

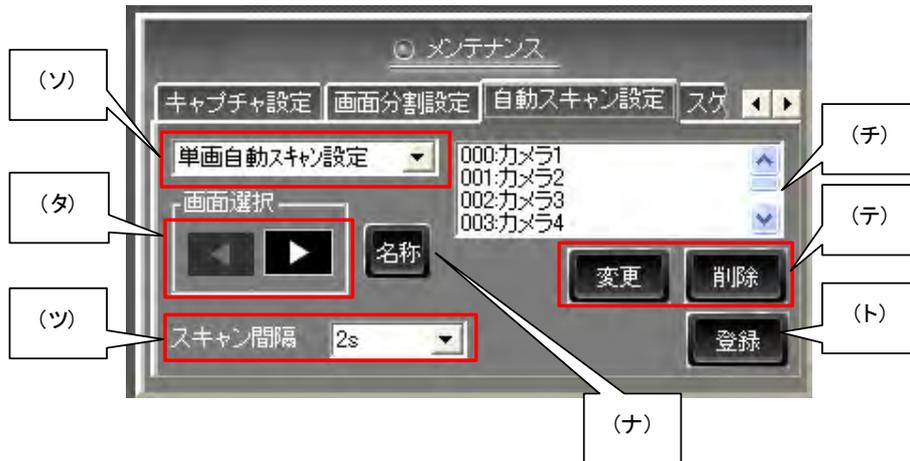


(10) (セ)のボタンをチェックすると、通常運用時にもドラッグ&ドロップで分割画の構成を変更することができます。チェックを外すと、通常運用時に分割画の構成を変更することはできません。

<sup>1</sup> マウス右クリックで選択して、ドラッグ&ドロップします。

## 12.7. 自動スキャン設定<sup>1</sup>

(1) 画像表示パネルに自動で切り換え表示を行う際に、スキャンパターン及びスキャン間隔を設定することができます。<sup>2 3</sup>



(2) 各ボタンの詳細は以下のとおりです。

記号	機能	備考
(ソ)	「単画自動スキャン設定」「4分割自動スキャン設定」「9分割自動スキャン設定」「16分割自動スキャン設定」を選択します。	
(タ)	スキャンパターンを移動します。	右ボタンで進み、左ボタンで戻ります。
(チ)	登録されているスキャンパターンが表示されます。単画自動スキャン設定は、登録されているカメラ番号が表示されます。分割自動スキャン設定時は、分割番号が表示されます。変更、登録したいリストを選択して(テ)の変更を押すと、変更できます。	000→001→...とスキャンを行います。
(ツ)	自動スキャン間隔をリストから選んで選択します。2、5、10、30、60sから選択できます。	4画面、9画面、16画面表示時は、すべてのカメラ映像が表示されてから <sup>4</sup> 、選択した切り換え間隔の時間分が表示され、次の画面に切り換わります。
(テ)	登録済みの内容を変更する場合は「変更」ボタン、削除する場合は「削除」ボタンを押します。	変更、削除したいリストを(チ)で選択して行います。
(ト)	設定を変更した場合、最後に登録ボタンを押して変更内容を登録します。	登録ボタンを押さない場合、変更内容は反映されません。
(ナ)	カメラ名称の表示/非表示を切り換えます。	カメラ映像の確認用です。 <sup>5</sup>

(3) 下図は、9分割自動スキャンの設定状態です。分割1、分割2が登録されており、002以降は登録されていないことを示します。<sup>6</sup>



<sup>1</sup> 工場出荷時、デフォルトで16台のカメラを均等に割り付けています。導入のシステム構成に合わせて再設定してください。

<sup>2</sup> 分割画面の登録は行えません。分割画面の登録は、「12.6.画面分割設定」(99ページ)を参照して行ってください。

<sup>3</sup> 分割画面の登録は行えません。分割画面の登録は、「12.6.画面分割設定」(99ページ)を参照して行ってください。

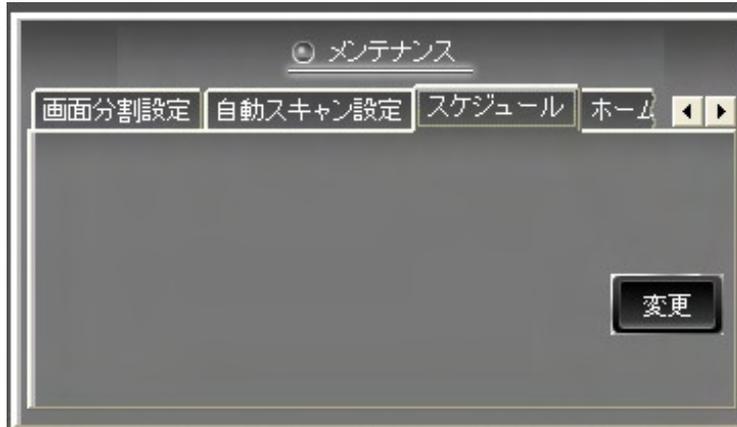
<sup>4</sup> 複数のカメラ映像が切り換わる時間は、4画面表示時は約0.5秒、9画面表示時は約1秒、16画面表示時は約2秒かかります。

<sup>5</sup> ここでのカメラ名称の表示/非表示は登録されません。

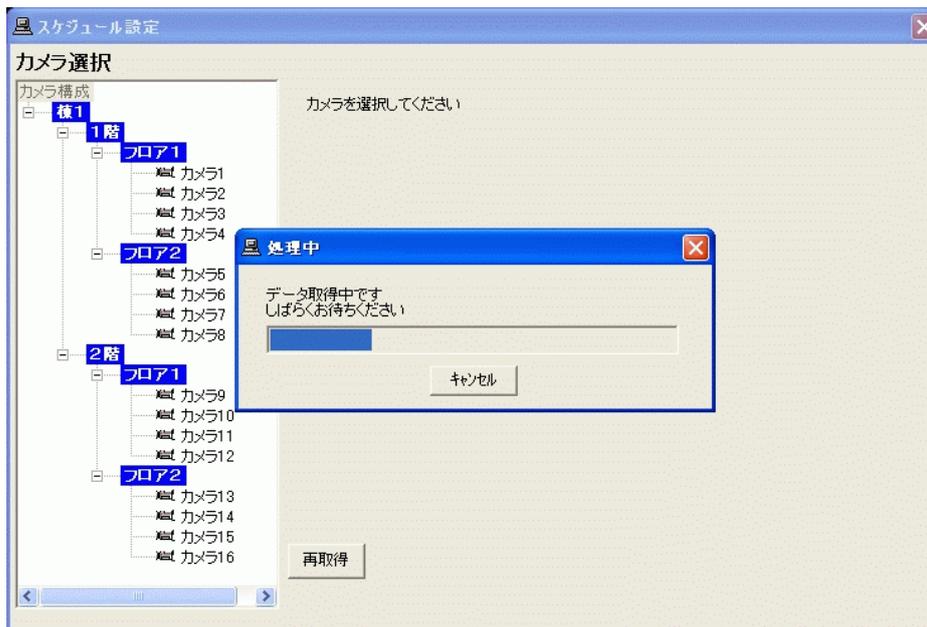
<sup>6</sup> =1は9分割画面1、=2は9分割画面2、=0は登録されていないことを意味します。追加登録する場合は、登録したい表示にし、=0の場合変更ボタンを押します。

## 12.8. スケジュール

- (1) あらかじめ登録したスケジュール内容にしたがい、ネットワーク接続されているNR-7000/7110/7116を制御して記録を行います。<sup>1</sup>



- (2) 「変更」ボタンを押すとスケジュール設定ツールが起動し、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 より現在のスケジュールデータをアップロードします。



<sup>1</sup> スケジュール機能は、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 が保有しています。NR-7000/7110/7116 のスケジュールの内容をネットワークビューワ側にダウンロードした後に編集し、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 側へデータをアップロードすることでを行います。

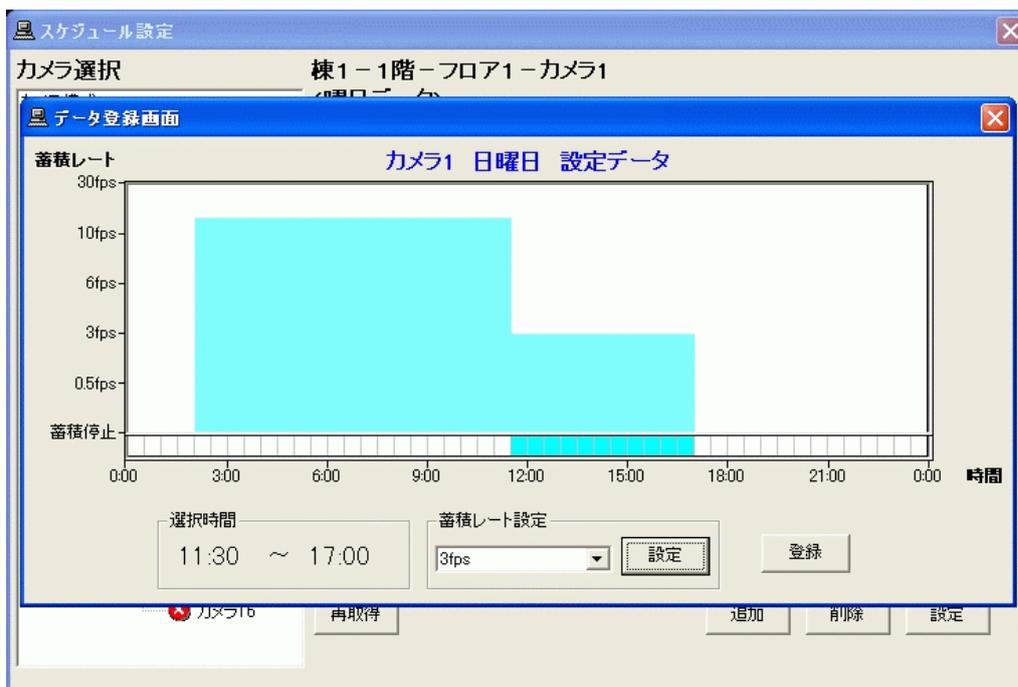
- (3) アップロードが終了し、カメラを選択すると下図のようにカメラ毎の「曜日データ」「特定日データ」が表示されます。



- (4) 曜日データ、特定日データで「設定」を押すと、それぞれの設定ウィンドウが開きます。

### 12.8.1. 曜日データ

- (1) 曜日単位でスケジュールを設定することができます。
- (2) 最小設定単位は、30分です。
- (3) ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の記録レートが設定できます。



- (4) 時間帯をマウスでクリックし、記録レートを選択して「設定」ボタンを押すと、ウィンドウ上に反映されます。
- (5) 設定が終了したら、「登録」ボタンを押してネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 へ設定します。

## 12.8.2. 特定日データ

(1) 曜日運用以外に、合計30日分の特定日での設定が可能です。



(2) 特定日(年月日指定)、毎年(月日指定)、毎月(日にち指定)の3種類での設定が行えます。

(3) 曜日データとの関係は以下ようになります。

特定日(年月日指定) > 毎年(月日指定) > 毎月(日にち指定) > 曜日データ

(4) また、特定日と曜日データの重複した日は特定日データの24時間分の内容が使用され、曜日データの内容は使用されません。

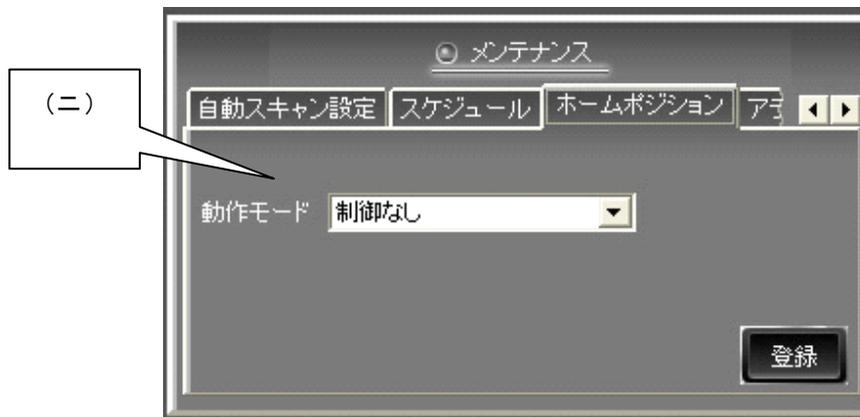


(5) 時間帯をマウスでクリックし、記録レートを選択して「設定」ボタンを押すと、ウィンドウ上に反映されます。

(6) 設定が終了したら、「登録」ボタンを押してネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 へ設定します。

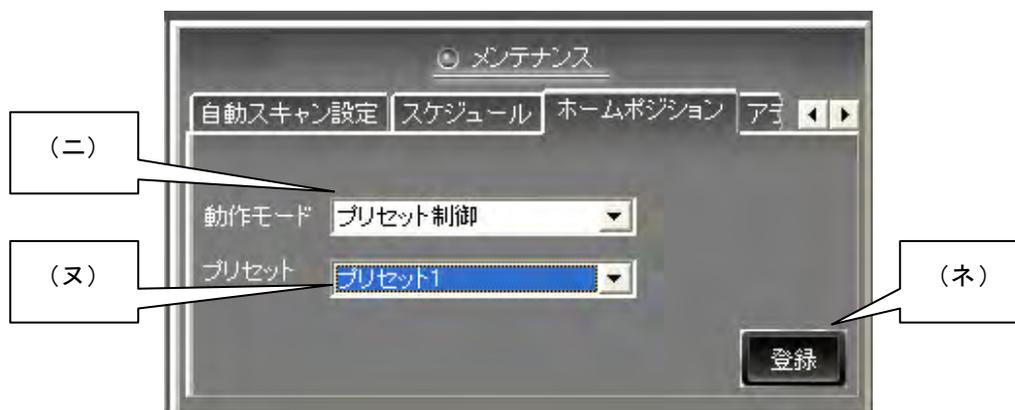
## 12.9. ホームポジション

- (1) あらかじめ、カメラ毎にホームポジションを設定することができます。
- (2) ホームポジションを登録しておく、アラーム動作、手動回転台操作などを行ったあとに、いつも決まった位置（ホームポジション）へ素早く戻すことができます。
- (3) 下図中(ニ)の動作モードで所望のホームポジション内容を登録します。



- (4) 動作モードは、以下の4種類が選択できます。

動作モード	機能	備考
制御なし	ホームポジションを設定しない場合に選択します。	ホームポジションボタンを押しても、何も変化しません。
オートパン制御	ホームポジションをオートパン動作に設定する場合に選択します。 <sup>1</sup>	
プリセット制御	プリセットポジション制御を選択します。移動先は、(ヌ)のプリセットのリストで選択します。	プリセットポジションは、1～255が指定可能です。 <sup>2</sup>
プリセットシーケンス制御	ホームポジションをプリセットシーケンス動作に設定する場合に選択します。	プリセットシーケンスは、1～5が指定可能です。 <sup>3</sup>



- (5) 「一括操作パネル」(54 ページ)のホームポジションボタンを押すと、本登録内容で選択中のグループのカメラがホームポジションへ移動します。<sup>4</sup>
- (6) 設定を変更したら、登録ボタン(ネ)を押して登録します。

<sup>1</sup> オートパン機能を有しているカメラに対してのみ、有効です。

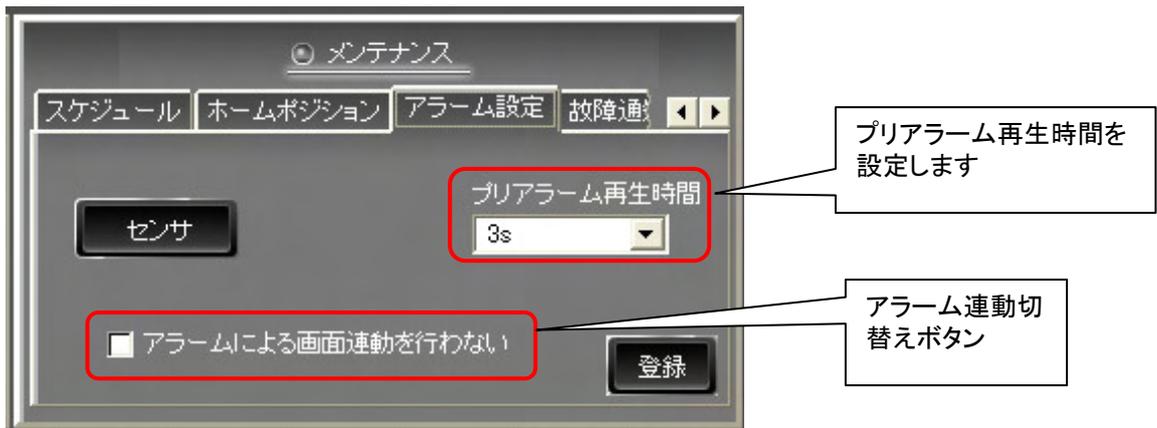
<sup>2</sup> プリセット移動機能を有しているカメラに対してのみ、有効です。

<sup>3</sup> プリセットシーケンス機能を有しているカメラに対してのみ、有効です。

<sup>4</sup> 操作の詳細は、「11.5.ホームポジションへ移動する」(81 ページ)を参照してください。

## 12. 10. アラーム設定

(1) アラーム設定には、「センサ」と「ホールコンピュータ」の2種類があります。併用で運用することも可能です。

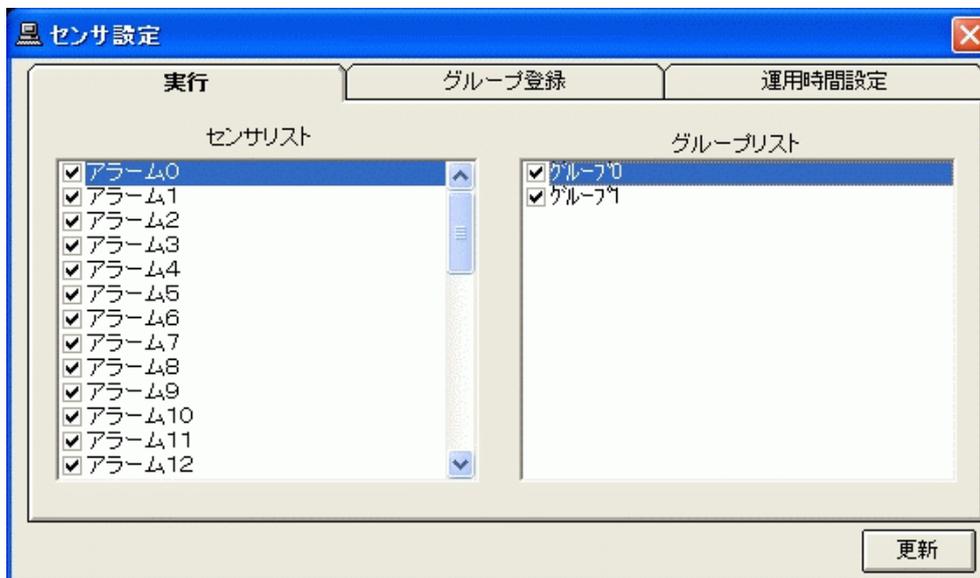


- (2) センサは、アイネットデバイス株式会社製の CommAssist-io に対応しています。<sup>1</sup>
- (3) アラーム発生によって画面切換えを行いたくない場合、「アラーム連動切換え」ボタンをクリックし、チェック有りにします。逆にアラーム発生により画面を切換えたい場合は、チェック無しにします。設定後、「登録」ボタンをクリックすることで設定が有効になります。<sup>2</sup>
- (4) プリアラーム再生時間は、アラームリスト／入退室リストから再生を開始した場合、記録されている時刻よりも指定時間分過去から再生を開始する為の機能です。0s を指定した場合は、プリアラーム再生機能は、動作しません。

### 12. 10. 1. センサ設定

#### 12. 10. 1. 1. 実行するセンサ設定

- (1) アラーム設定でセンサを選択すると、下図のダイアログが表示されます。
- (2) 左側のセンサリストおよび右側のグループリストから運用するアラーム情報をチェックします。
- (3) チェックされていないアラームは、入力が通知されても無視されます。



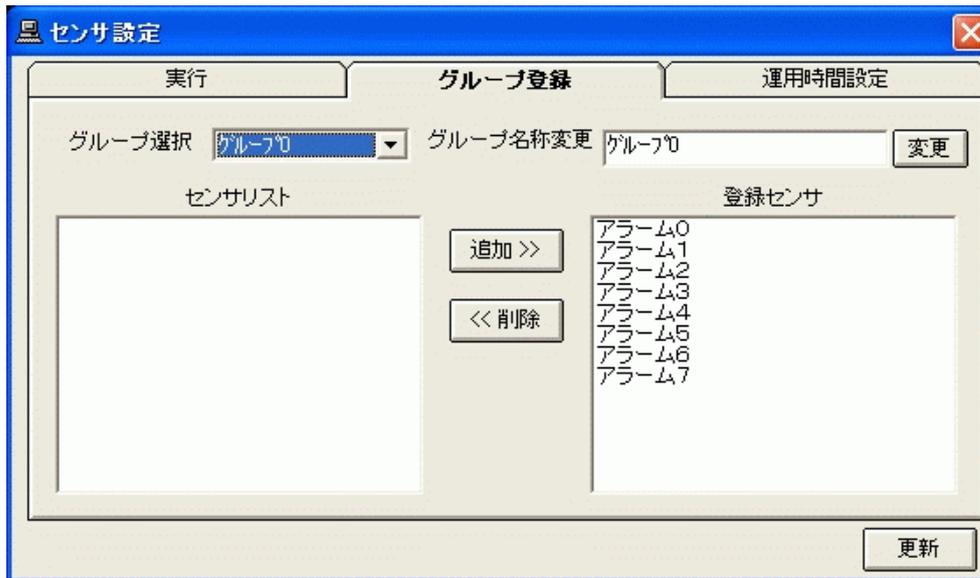
- (4) ここで表示されるセンサリストは、「13.2.21.外部アラーム接点登録」(132 ページ)で設定した内容です。

<sup>1</sup> 2008 年 9 月現在、対応している製品型名は、三菱製 X-1160 及びアイネットデバイス株式会社製 CommAssist-io です。

<sup>2</sup> 本設定に関わらず、メンテナンス中は、アラーム発生による画面切換えは行いません。

### 12.10.1.2. センサグループ登録

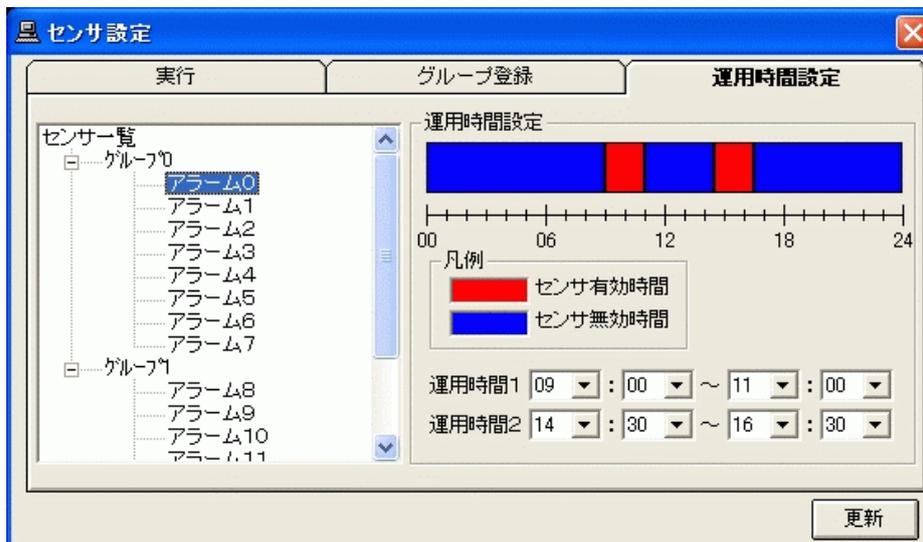
(1) 左側のセンサリストを複数まとめて、グループ登録することができます。



- (2) 変更ボタンを押すと、グループ名の名称が変更できます。
- (3) 最後に、「更新」ボタンを押して更新します。

### 12.10.1.3. センサ運用時間設定

(1) 「運用時間設定」タブを選択すると、下図のダイアログが表示されます。

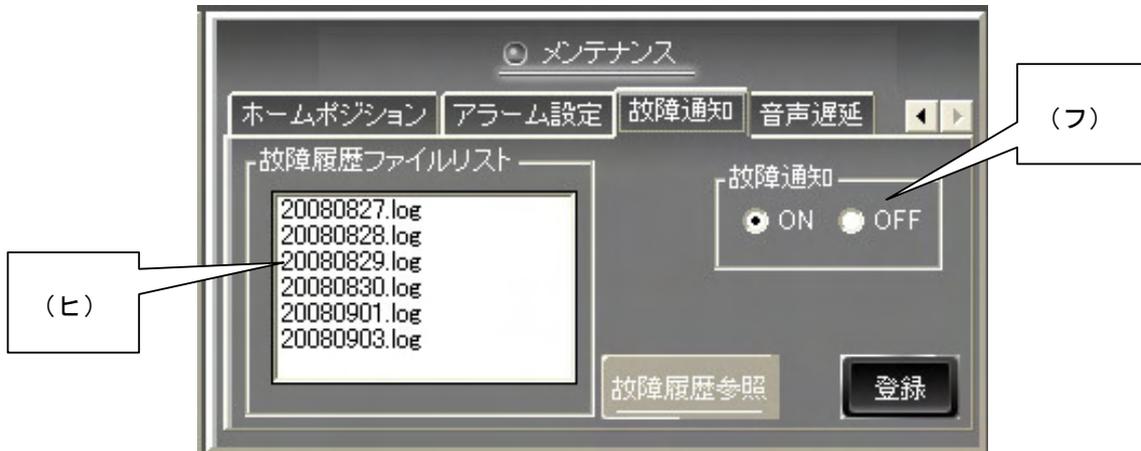


- (2) グループ名を選択して運用時間を設定すると、グループ内のセンサ有効/無効期間が一括で設定できます。
- (3) 個別センサを選択して運用時間を設定すると、センサ有効/無効期間が個別で設定できます。<sup>1</sup>
- (4) 運用時間の設定は、24時間内で最大2つ、30分単位で設定できます。

<sup>1</sup> この場合、グループ名を選択して表示される運用有効/無効期間は意味を持ちません。グループ名を選択して、設定するとグループに属するセンサの運用設定が一括で行えます。

## 12.11. 故障通知

- (1) ネットワークに接続された制御対象機器<sup>1</sup>の故障通知を受信するかどうか設定することができます<sup>2</sup>。また、発生した故障の履歴を参照することができます。
- (2) 本アプリケーション起動時、「故障通知」は、必ず ON に設定されます。故障通知の設定内容は、本アプリケーションが起動中のみ有効となり、アプリケーションの再起動を実施すると自動的に ON 設定になります。故障通知を行う場合は、下図中(フ)にて ON を選択した後、登録ボタンを押してください。



- (3) 下図中(ヒ)には、故障履歴ファイル<sup>3</sup>の一覧が表示されます。故障履歴ファイルは、1日単位で作成され、30日分の履歴を保持しています<sup>4</sup>。下図中(ヒ)から参照したい日付のファイルを選択し故障履歴参照ボタンを押してください。故障履歴<sup>5</sup>が表示されます。<sup>7</sup>

発生日時	エントリ名称	エントリ番号 (Hex)	エラーコード (Hex)	状態	故障情報
2007/01/23 18:43:01	ネットワークレコーダ	01	0000	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ8(監視対象外)が...
2007/01/23 18:41:59	ネットワークレコーダ	01	0003	復旧	ネットワークレコーダ10のカメラ8(監視対象外)が...
2007/01/23 18:40:38	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ8(監視対象外)が...
2007/01/23 18:39:29	ネットワークレコーダ	01	0003	復旧	ネットワークレコーダ10のカメラ8(監視対象外)が...
2007/01/23 18:38:29	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ8(監視対象外)が...
2007/01/23 18:37:09	ネットワークレコーダ	01	0003	復旧	ネットワークレコーダ10のカメラ8(監視対象外)が...
2007/01/23 18:36:03	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ8(監視対象外)が...
2007/01/23 18:22:41	ネットワークレコーダ	01	0003	復旧	ネットワークレコーダ10のカメラ8(監視対象外)が...
2007/01/23 18:22:05	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ8(監視対象外)が...
2007/01/23 18:10:03	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ16(監視対象外)...
2007/01/23 18:10:03	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ15(監視対象外)...
2007/01/23 18:10:03	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ14(監視対象外)...
2007/01/23 18:10:03	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ13(監視対象外)...
2007/01/23 18:10:03	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ12(監視対象外)...
2007/01/23 18:10:03	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ11(監視対象外)...
2007/01/23 18:10:03	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ10(監視対象外)...
2007/01/23 18:07:22	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ18(監視対象外)...
2007/01/23 18:07:22	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ15(監視対象外)...
2007/01/23 18:07:22	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ14(監視対象外)...
2007/01/23 18:07:22	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ13(監視対象外)...
2007/01/23 18:07:22	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ12(監視対象外)...
2007/01/23 18:07:22	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ11(監視対象外)...
2007/01/23 18:07:22	ネットワークレコーダ	01	0003	発生	ネットワークレコーダ10のカメラ10(監視対象外)...

<sup>1</sup> 故障検出対象機器は、カメラ、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116、ネットワークマルチビューワ NV-4400、外部接点入力装置及び入室管理装置(MELSFETY-P)です。また、ネットワークレコーダに関しては、回線切断、記録停止、映像未受信及び RAID エラーを検出します。その他に関しては、回線切断のみ検出します。

<sup>2</sup> 故障通知を ON に設定した場合、故障検出機器をポップアップメッセージで通知します。

<sup>3</sup> ファイル名は、日付になっています。

<sup>4</sup> 故障が発生しない場合は、履歴ファイルは作成されません。また、1ファイルで1万件の故障履歴を保存することができますが、同一日に1万件以上の故障が発生した場合は、同一日付内で最新の1万件を保持し、最過去の履歴から削除されます。

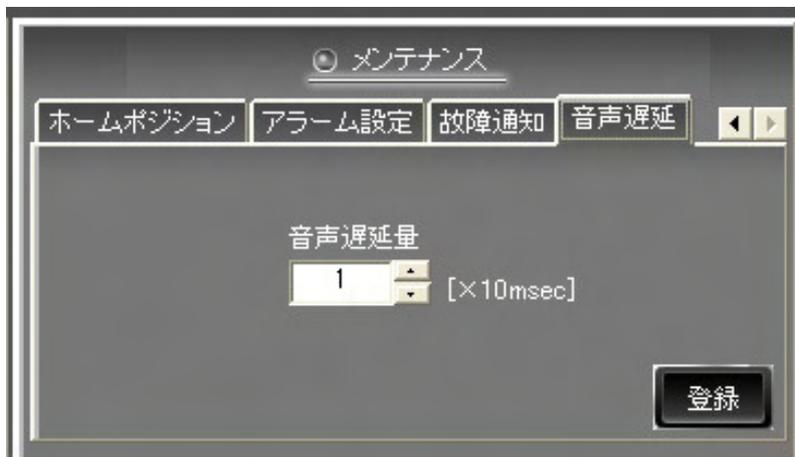
<sup>5</sup> 故障履歴リストは、先頭カラムをクリックすることでデータのソートが行えます。また、表記が欠けて表示される場合は、先頭カラムのサイズを変更し、見やすくしてください。

<sup>6</sup> 故障履歴上に「監視対象外」の装置が記録されることがありますが、これは、ネットワークビューワには登録されていませんが、ネットワークレコーダには、登録されているカメラが故障した場合に記録されます。

<sup>7</sup> 文字が欠けて全体が見えないような場合は、(ヘ)をマウスで移動させ表示領域を広げてください。

## 12. 12. 音声遅延<sup>1</sup>

- (1) ネットワークカメラからの配信音声を映像表示に簡易的に合わせる為に音声を遅延させることができます。
- (2) 通常はデフォルト設定の 10ms で支障はありませんが、ネットワーク環境によっては、さらに遅延量を増やす必要があります。
- (3) 音声遅延量は、10ms～2s まで 10ms 単位で設定できます<sup>2</sup>。但し、本設定を変更した直後、最大 2 秒程度、音声無音状態になりますが、異常ではありません。
- (4) 設定変更後、「登録」ボタンを押してください。



<sup>1</sup> 映像と音声の同期再生は行っておりません。

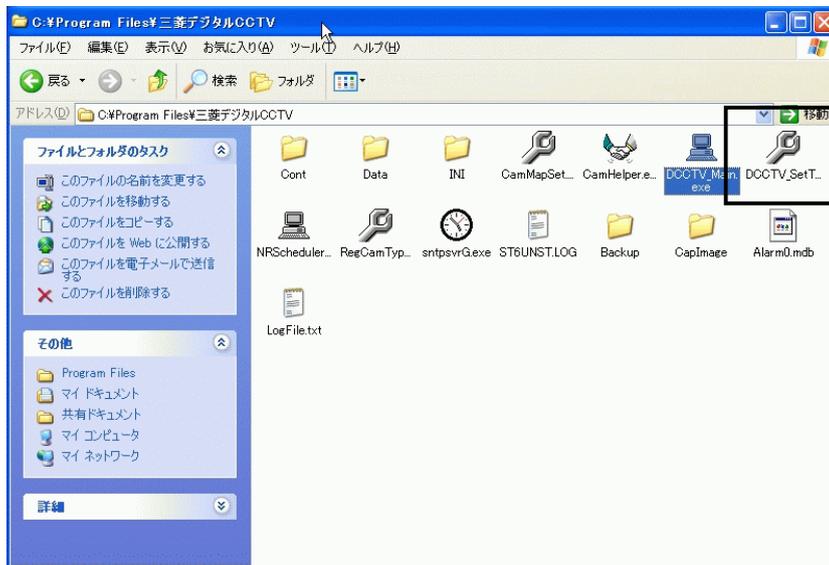
<sup>2</sup> 音声遅延量は、目安であり、ご使用の PC によっては、期待通りの遅延にならないことがあります。



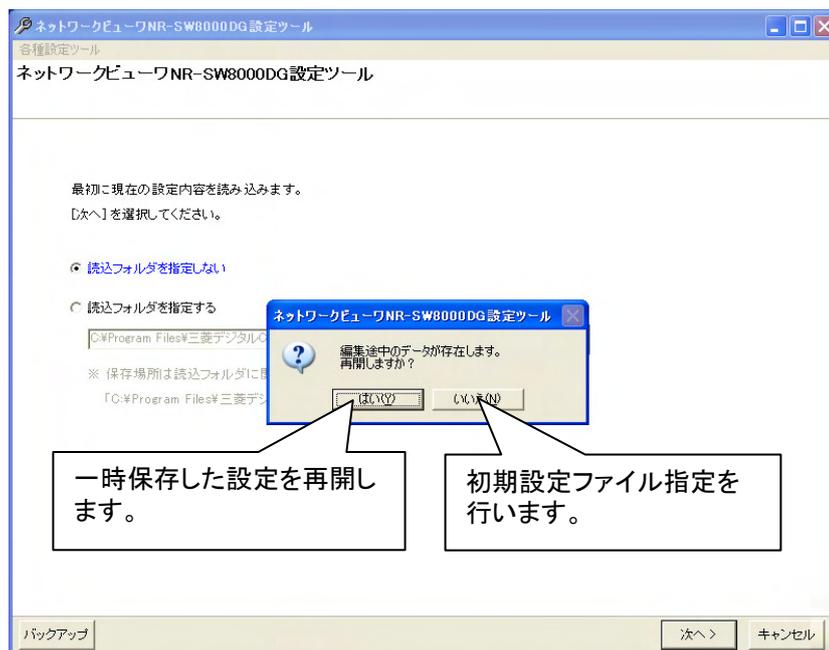
## 13.2. 設定

### 13.2.1. 設定ツール<sup>1)</sup>の起動

- (1) エクスプローラで「C:\Program Files\三菱デジタルCCTV」に存在する「DCCTV\_SetTool.exe」をダブルクリックし、設定ツールを起動してください。



- (2) 設定途中のデータ(一時保存ファイル<sup>2)</sup>)がある場合は、再開するかどうかを確認します。



- (2-1) 「はい」を選択すると、一時保存ファイルを読み込み、設定を再開します。「13.2.4 ネットワークレコーダ追加登録(117 ページ)」に進んでください。

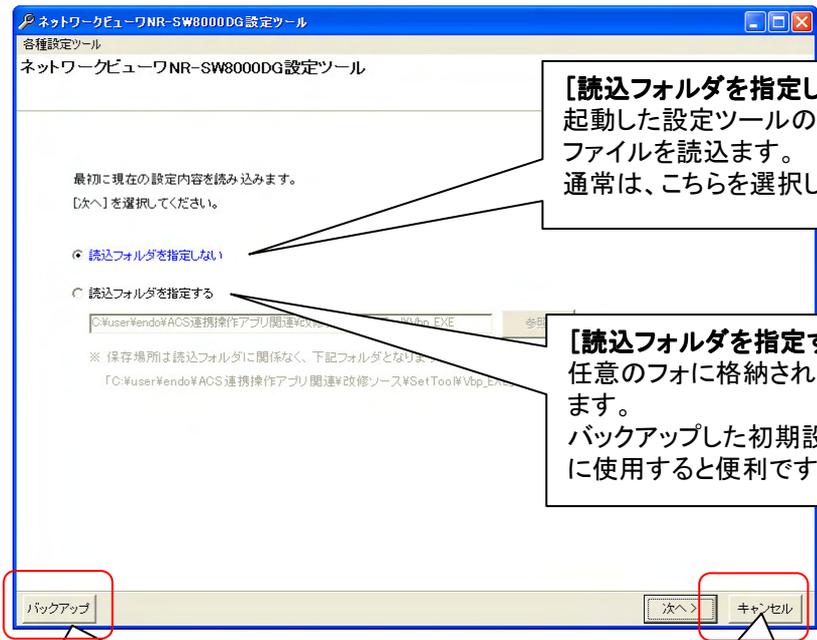
- (2-2) 「いいえ」を選択すると、初期設定ファイル指定を行います。次章に進んでください。

<sup>1</sup> 設定ツール以外でも IP アドレスの変更を行うことができます。詳細は「14.3 自分の IP アドレスを登録する(ネットワークカードを2枚使用する場合)(187 ページ)」を参照してください。

<sup>2</sup> 「13.2.42 設定の一時保存(174 ページ)」を参照してください。

### 13. 2. 2. 初期設定ファイル指定

(1) 設定する初期設定ファイルが格納してあるフォルダを指定してください。



**【読み込みフォルダを指定しない】(デフォルト)**  
起動した設定ツールの配下に存在する初期設定ファイルを読み込みます。  
通常は、こちらを選択してください。

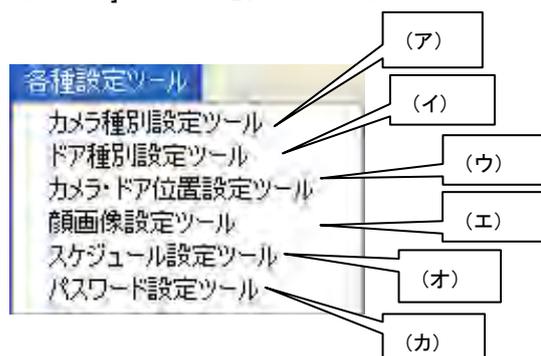
**【読み込みフォルダを指定する】**  
任意のフォルダに格納された初期設定ファイルを読み込みます。  
バックアップした初期設定ファイルを利用する場合に使用すると便利です。

起動した設定ツールの配下に存在する初期設定ファイルを指定のフォルダにバックアップ保存します。

設定ツールを終了します。

**!** 設定した初期設定ファイルの保存場所は、読み込みフォルダに関係なく、起動した設定ツールの配下になります。

(2) [読込フォルダを指定しない]を選択した場合の動作を以下に説明します。  
 (2-1) 必要に応じて[各種設定ツール]メニューを開いてください。



記号	機能	備考
(ア)	カメラの種別(オートパン有/無・・・等)を登録する為のツールを起動します。	新規設定の場合は、設定開始前に必ず選択してください。 ツールに関しては、13.3.1章(175ページ)を参照ください。
(イ)	ドアの種別を登録する為のツールを起動します。 在室管理情報アイコンの変更も可能です。	新規設定の場合は、設定開始前に必ず選択してください。 ツールに関しては、13.3.2章(177ページ)を参照ください。
(ウ)	平面図上にカメラのアイコンとドアのアイコンを配置する為のツールを起動します。通常は、設定完了後に選択します。アイコンの配置のみ変更したい場合に選択してください。	新規設定の場合は、設定完了後に選択してください。 ツールに関しては、13.3.3章(178ページ)を参照ください。
(エ)	入退室管理システムの個人情報に顔画像を登録する為のツールを起動します。	新規設定の場合は、設定完了後に選択してください。 ツールに関しては、13.3.4章(180ページ)
(オ)	ネットワークレコーダのスケジュール記録設定を行う為のツールを起動します。 通常は、設定完了後に選択します。スケジュール設定のみ変更したい場合に選択してください。	新規設定の場合は、設定完了後に選択してください。 ツールに関しては、13.3.5章(182ページ)を参照ください。
(カ)	メンテナンス画面に入る為のパスワードの変更を行う為のツールを起動します。	ツールに関しては、13.3.6章(183ページ)を参照ください。

**!** 新規設定の場合は、必ず、「カメラ種別設定ツール」を選択し、使用するカメラ種別を登録してください。

(2-2) 次章に進んでください。

(3) [読込フォルダを指定する]を選択した場合の動作を以下に説明します。

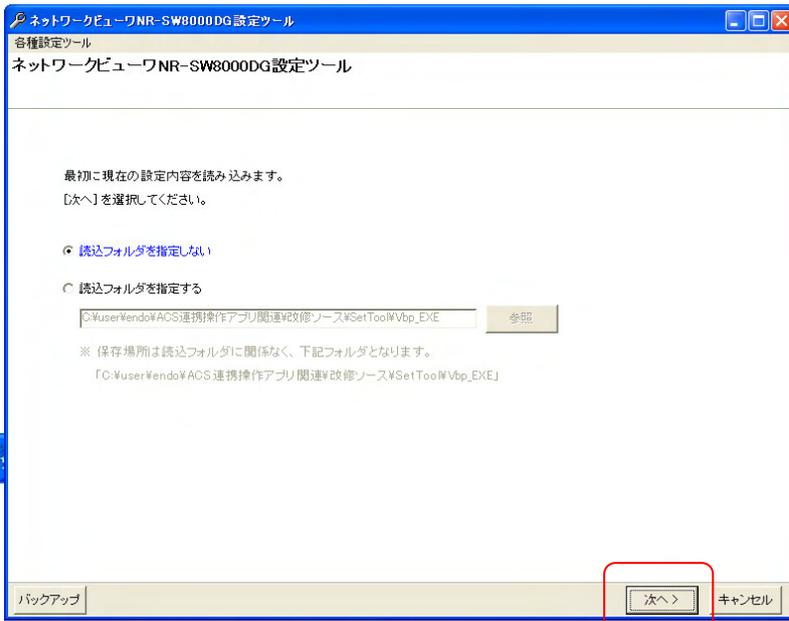
(3-1) 「参照」ボタンを押してください。



(3-2) 「OK」ボタンを押してください。

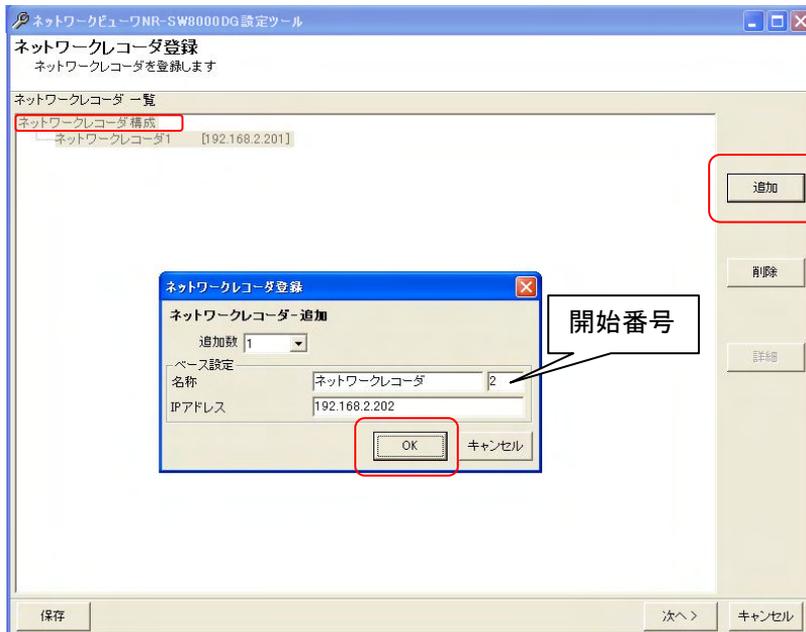
### 13. 2. 3. 初期設定ファイルの読み込み

(1) 起動画面右下の「次へ」を押して初期設定の読み込みを行います。



### 13.2.4. ネットワークレコーダ追加登録

- (1) ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 を追加登録する場合、「ネットワークレコーダ構成」をマウスで選択してから「追加」ボタンを押します。
- (2) 接続するネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の名称、IP アドレス<sup>1</sup>及び開始番号をベース設定欄に入力して、「OK」ボタンを押して登録します。<sup>2</sup>



- (3) ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 複数台を一括で登録する場合は、「追加数」をリストから選択した後、ベース設定欄<sup>3</sup>に入力します。
- (4) 追加される名称は、ネットワークレコーダ 1、ネットワークレコーダ 2、...となっています(名称+開始番号)<sup>4</sup>。名称及び IP アドレスを変更する場合は、「13.2.6.ネットワークレコーダの設定の修正」(118 ページ)を参照して行ってください。

<sup>1</sup> NR-7000/7110/7116 の工場出荷初期値は IP アドレス=192.168.2.201、サブネットマスク=255.255.255.0、デフォルトゲートウェイ=192.168.2.1 です。

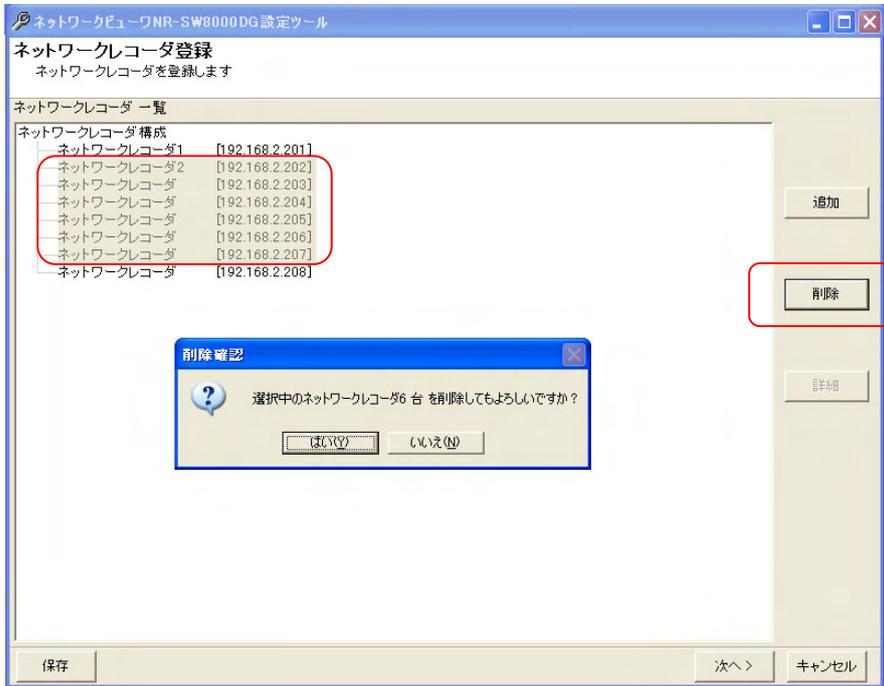
<sup>2</sup> デフォルトは追加数が1になっていますので、1台の登録が行えます。

<sup>3</sup> 複数台のネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 を登録する場合の基準となる設定のことです。ベース IP を 192.168.2.201 とした場合、2、3 台目のネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の IP アドレスは、192.168.2.202、192.168.2.203 になります。

<sup>4</sup> 開始番号を指定しない場合は、同一名称のネットワークレコーダが登録されます。

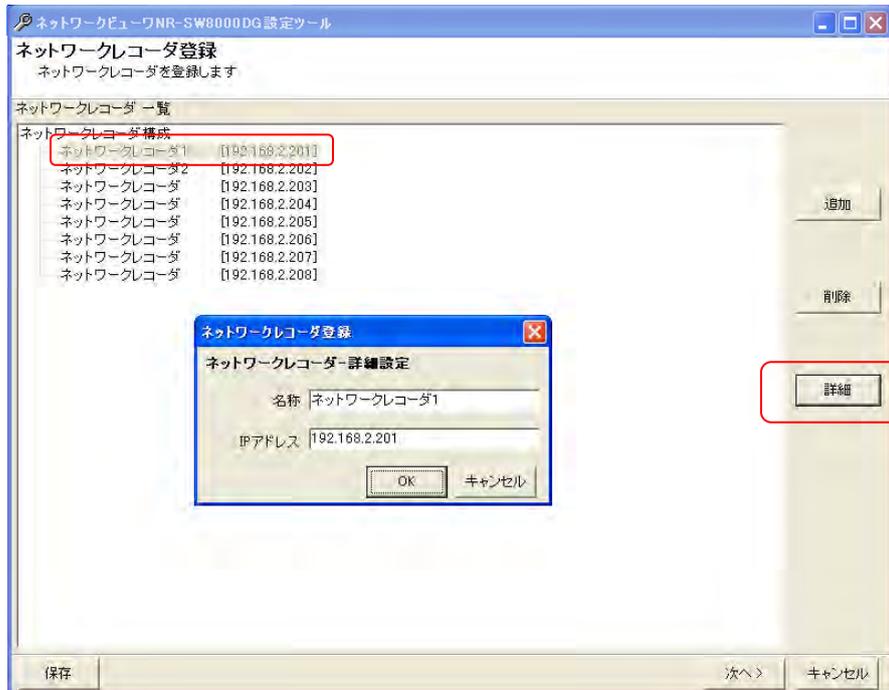
### 13.2.5. ネットワークレコーダの削除

- (1) 登録済みのネットワークレコーダを削除する場合、対象のネットワークレコーダ名称をマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。<sup>1</sup>  
[ネットワークレコーダ構成]を選択した場合、全ての登録済みネットワークレコーダが削除対象になります。
- (2) 確認用のダイアログが表示されますので、削除するネットワークレコーダが正しい場合は「はい」ボタンを押して削除します。<sup>2</sup>



### 13.2.6. ネットワークレコーダの設定の修正

- (1) ネットワークレコーダの名称、IPアドレスを修正する場合、対象のネットワークレコーダをマウスで選択して、「詳細」ボタンを押します。
- (2) 名称及び IP アドレスを修正して内容が正しい場合は「OK」ボタンを押します。

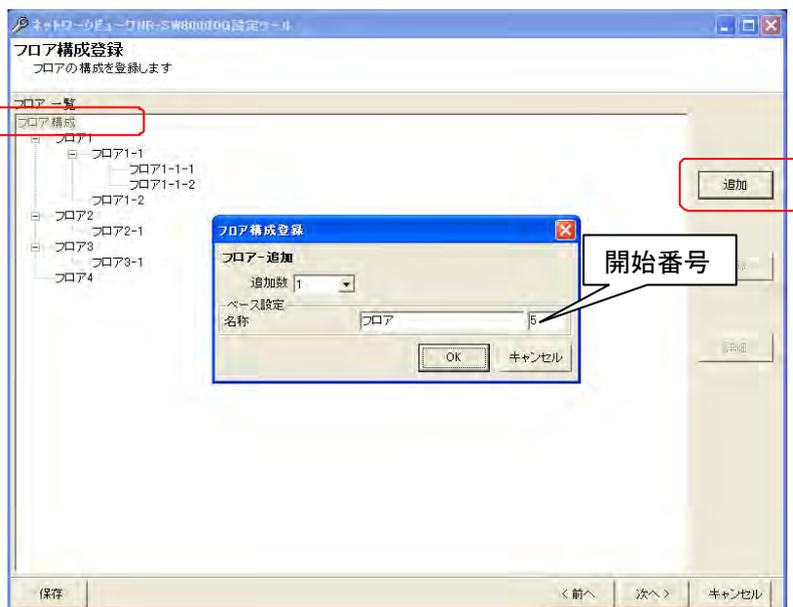


<sup>1</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲のネットワークレコーダ全てが対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数のネットワークレコーダが対象になります。

<sup>2</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

### 13.2.7. フロア構成の追加登録

- (1) フロア構成を追加登録する場合、フロアー一覧から「フロア構成」をマウスで選択して、「追加」ボタンを押します。
- (2) 追加するフロアの名称及び開始番号をベース設定欄<sup>1</sup>に入力して、「OK」ボタンを押して登録します。<sup>2</sup>

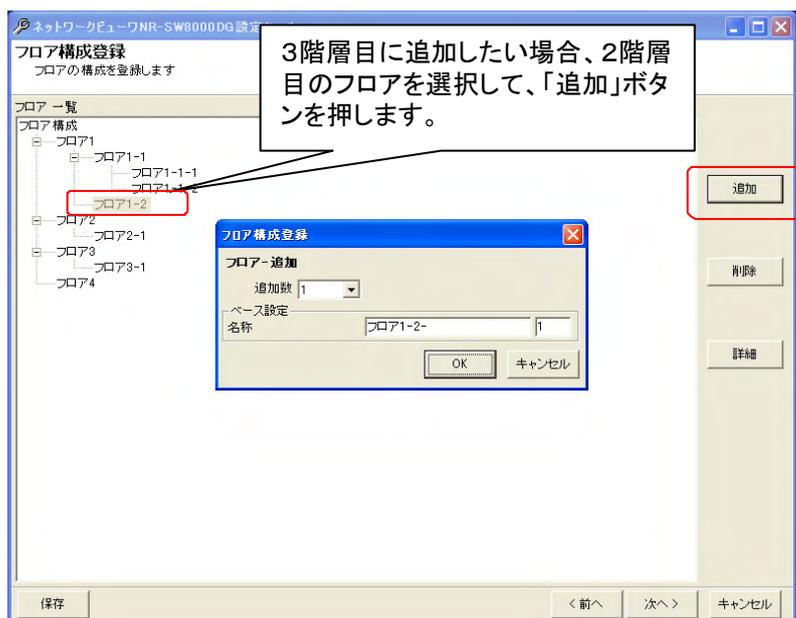


- (3) フロアを複数一括で登録する場合は、「追加数」をリストから選択した後、ベース設定欄に入力します。<sup>3</sup>
- (4) 追加される名称は、フロア 1、フロア 2、...となっています(名称+開始番号)<sup>4</sup> <sup>5</sup>。名称を変更する場合は、「13.2.9 フロア構成の設定・修正」(121 ページ)を参照して行ってください。



フロア名称は、重複しないように設定してください。同一名称のフロアが存在した場合、正常に動作しません。

- (5) フロアは3階層まで設定できます。2階層目以降に追加したい場合は、追加したい階層のフロアを選択して、「追加」ボタンを押します。



<sup>1</sup> 複数のフロアを登録する場合の基準となる設定のことです。

<sup>2</sup> デフォルトは追加数が1になっていますので、1つのフロアの登録が行えます。

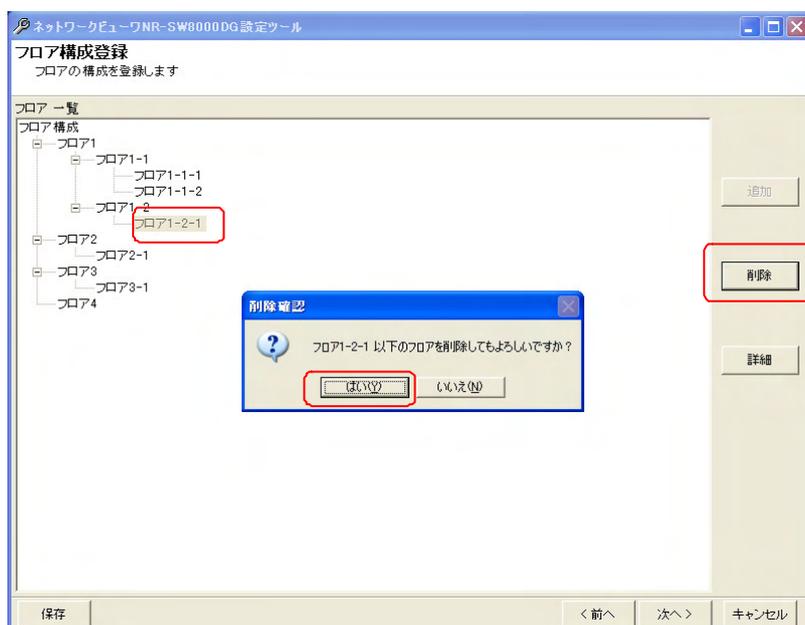
<sup>3</sup> 登録可能なフロア数は、254フロアになります。

<sup>4</sup> フロア名称は、重複しないように設定してください。同一名称のフロアが存在した場合、正常に動作しません。

<sup>5</sup> 2階層以降のデフォルトフロア名は、上位階層フロア名-(開始番号)になります。

### 13. 2. 8. フロア構成の削除

- (1) フロア構成の設定を削除する場合、対象のフロアをマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。<sup>1</sup>
- (2) 確認用ダイアログが表示されますので、削除するフロアが正しい場合は「はい」ボタンを押します。<sup>2</sup>



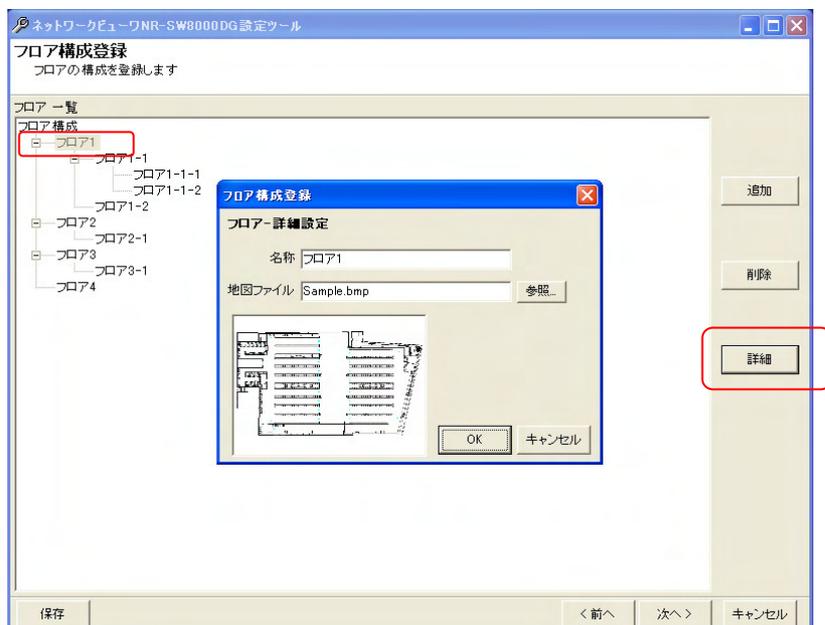
<sup>1</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲のフロア全てが対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数のフロアが対象になります。また、指定したフロア配下のフロアは全て削除対象になります。例では、A 棟1階以下及びB 棟以下が全て削除されます。

<sup>2</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

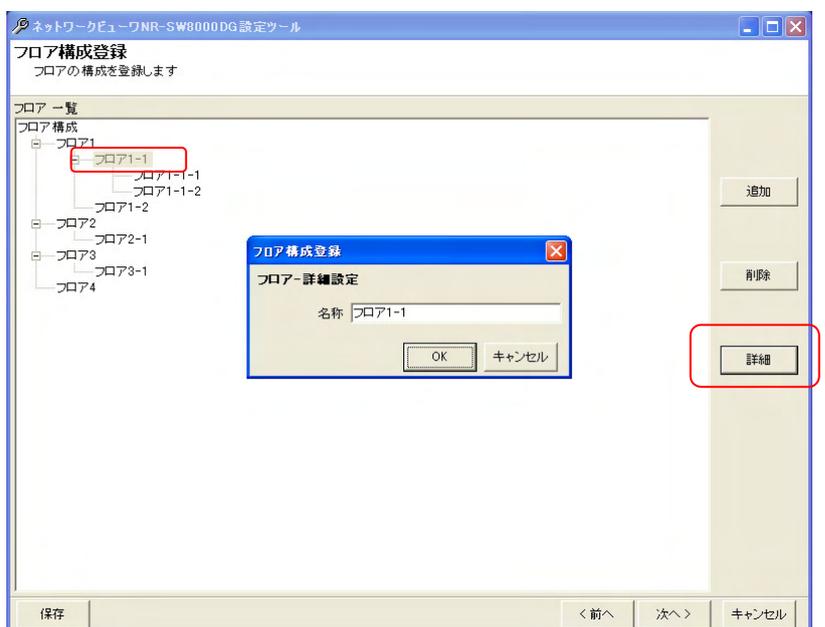
### 13.2.9. フロア構成の設定・修正

- (1) フロア名称の変更および登録したフロアに地図をマッピングすることができます。<sup>1</sup>
- (2) 設定を修正する場合、対象のフロア名をマウスで選択して、「詳細」ボタンを押します。
- (3) 設定用のダイアログが表示されますので、「参照」ボタンを押してマッピングしたい地図を選択します。<sup>2</sup>

【第1階層のフロアを選択している場合】



【第2階層のフロアを選択している場合】



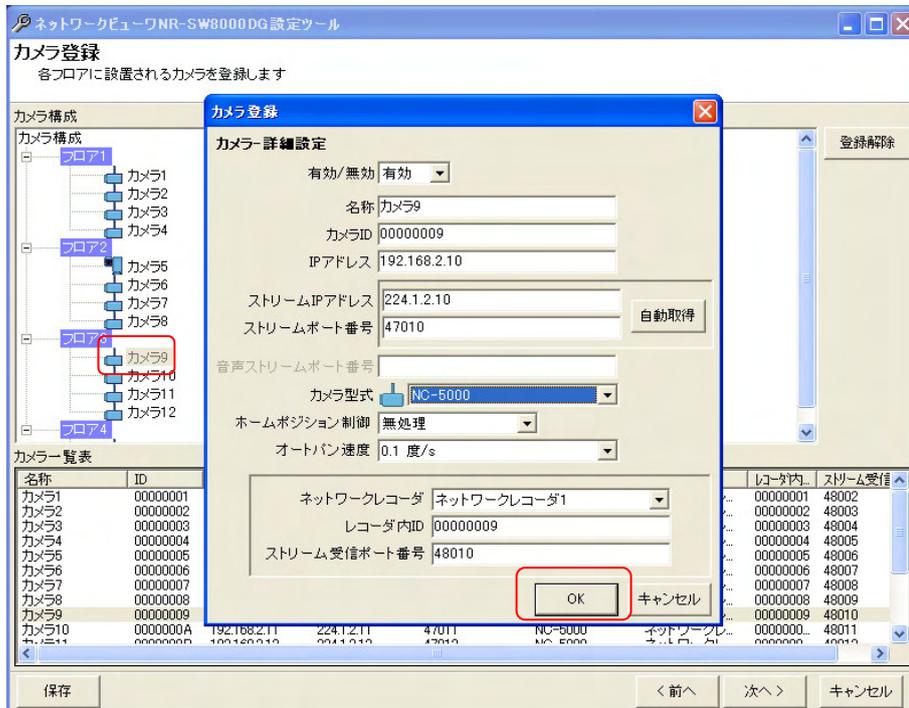
地図画像のマッピングは、第1階層のフロアに対してのみ有効となります。

<sup>1</sup> 地図フォーマットは Windows ビットマップ形式でサイズ 1024x738dot です。第1階層のフロア(例では、A棟)を選択している場合のみ地図をマッピングすることが出来ます。第2階層以下のフロア(例では、2階)を選択している場合は、フロア名称のみ変更できます。

<sup>2</sup> 地図は Windows 付属のペイントソフトなどであらかじめ作成しておきます。地図を作成していない場合は、地図作成後に登録作業を行ってください。地図は、C:\Program Files\三菱デジタル CCTV\Data\Map フォルダの下に保存してください。

### 13.2.10. カメラの登録

- (1) カメラを追加登録する場合、カメラ構成から追加したい階層部分をマウスで選択して<sup>1</sup>、「追加」ボタンを押します。
- (2) ベース設定欄にカメラの名称、開始番号、IP アドレス、ストリーム IP アドレス、ストリームポート番号、ストリーム受信ポート番号<sup>2</sup>、カメラ型式及びオートパン速度<sup>3</sup>を設定して「OK」ボタンを押して登録します。<sup>4</sup>



- (3) 複数台のカメラを一括登録する場合、「追加数」をリストから選択した後、ベース設定欄<sup>5</sup>を入力します。
- (4) 追加される名称は、カメラ 1、カメラ 2、...となっています(名称+開始番号)<sup>6</sup>。名称等カメラの設定を変更する場合は、「13.2.14.カメラ設定の修正」(126 ページ)を参照して行ってください。



カメラを登録していないフロアは登録されませんので注意願います。



扉のみのフロアは登録されませんので注意願います。カメラの存在しないフロアに扉を配置する場合は、ダミーのカメラ(上図カメラ詳細設定で無効を選択)を登録してください<sup>7</sup>。

<sup>1</sup> フロアが階層構造となっている場合は、Ctrl キーを併用し、追加したいフロアのみを選択状態にしてください。

<sup>2</sup> ストリーム受信ポート番号には、ネットワークレコーダからの再生画像を受信する為のポート番号を指定します。

<sup>3</sup> オートパン機能を保有するカメラ以外は、設定する必要はありません。

<sup>4</sup> デフォルトは追加数が1になっていますので、1台の登録が行えます。

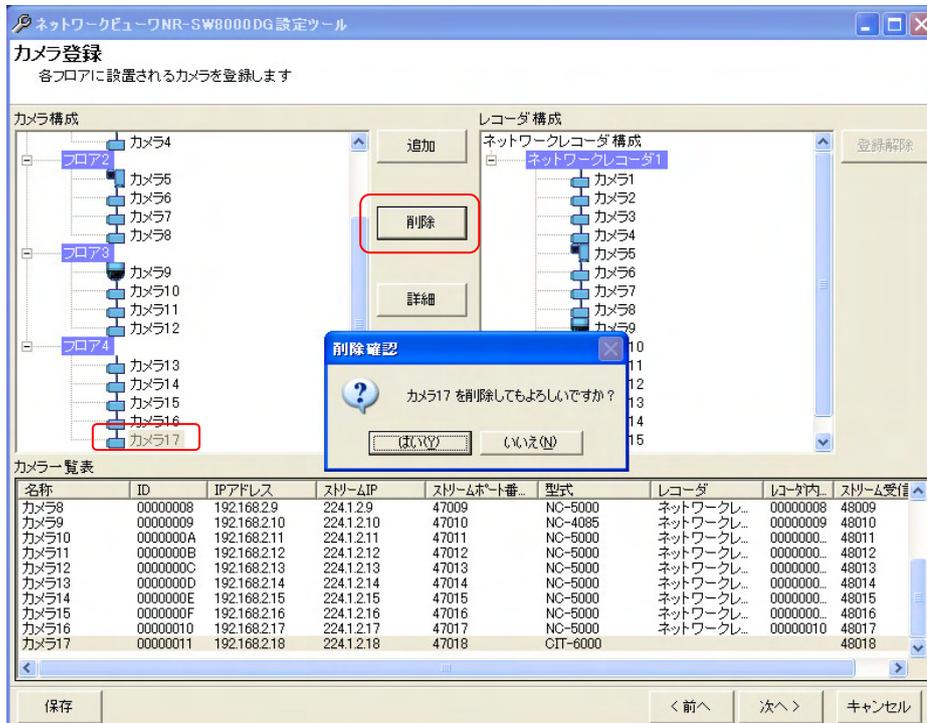
<sup>5</sup> 複数台のカメラを登録する場合の基準となる IP アドレスのことです。ベース IP を 192.168.2.2 とした場合、2、3台目のカメラの IP アドレスは、192.168.2.3、192.168.2.4 になります。

<sup>6</sup> 開始番号を指定しない場合は、同一名称のカメラが登録されます。

<sup>7</sup> 無効としたカメラでも 512 台のカメラの内数となります。

### 13. 2. 11. カメラの削除

- (1) 登録済みのカメラの設定を削除する場合、対象のカメラ名称をマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。<sup>1</sup>  
[カメラ構成]を選択した場合、全ての登録済みカメラが削除対象になります。  
各フロアを選択した場合は、選択されたフロアに属する全てのカメラが削除対象になります。
- (2) 確認用のダイアログが表示されますので、削除するカメラが正しい場合は「はい」ボタンを押して削除します。<sup>2</sup>



<sup>1</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲のカメラ全てが対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数のカメラが対象になります。

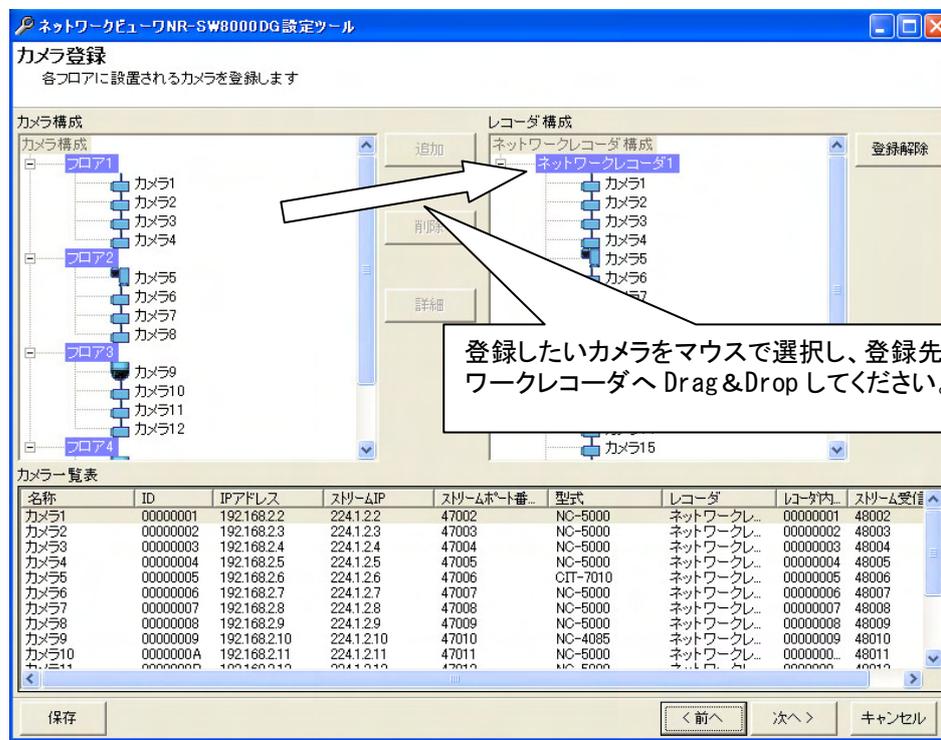
<sup>2</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

### 13.2.12. カメラのネットワークレコーダへの割付

- (1) 登録済みのカメラをネットワークレコーダに割り付ける場合、対象のカメラ名称をマウスで選択して、登録先ネットワークレコーダへ Drag&Drop(カメラ構成リスト(左側リスト)からレコーダ構成リスト(右側リスト)へ移動します)します。<sup>1 2 3</sup>

[カメラ構成]を選択した場合、全ての登録済みカメラが登録対象になります。

各フロアを選択した場合は、選択されたフロアに属する全てのカメラが登録対象になります。



- (2) カメラの設定を変更する場合は、「13.2.14.カメラ設定の修正」(126 ページ)を参照して行ってください。



レコーダ内のカメラの順番を変更した場合、自動的にレコーダ内 ID を更新しますので注意願います。



同一レコーダに対して同一カメラの割付は出来ません(重複割付禁止)。



レコーダ内 ID とネットワークレコーダ本体の設定(カメラ ID 及びストア ID)は必ず合わせてください。<sup>4</sup>

<sup>1</sup> ネットワークレコーダに Drop した場合は、Drop 先ネットワークレコーダの最後のチャンネルに追加されます。カメラに Drop した場合は、Drop 先カメラの前のチャンネルに挿入されます。

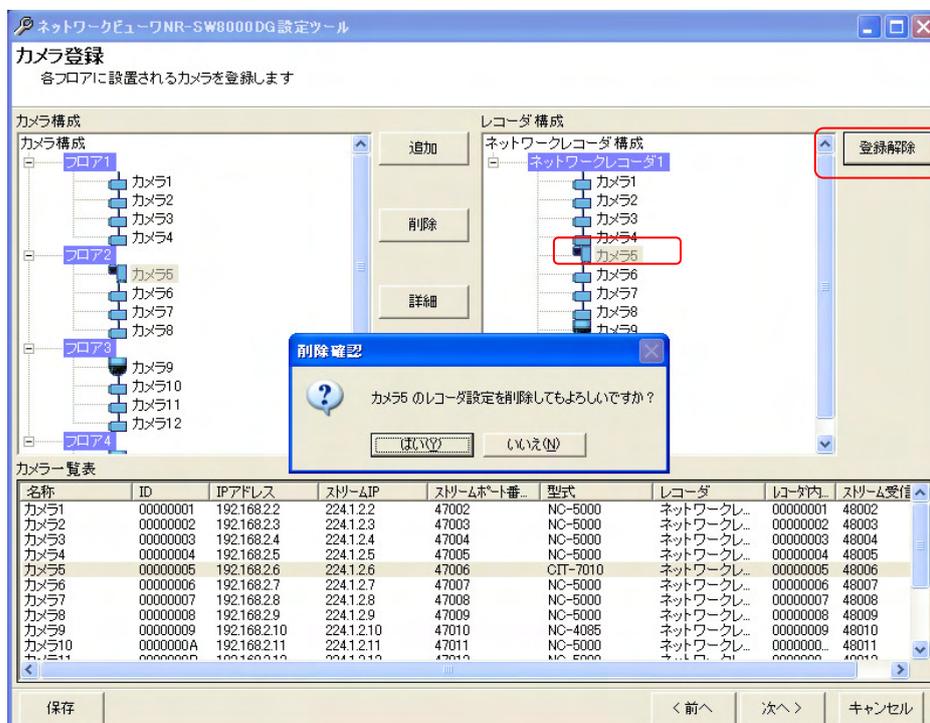
<sup>2</sup> カメラ構成、フロアを選択した場合、右ボタンによる Drag&Drop のみ有効になります。

<sup>3</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲のカメラ全てが対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数のカメラが対象になります。

<sup>4</sup> ネットワークレコーダの設定に関しては、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の取扱説明書を参照してください。

### 13. 2. 13. カメラのネットワークレコーダへの割付解除

- (1) 割り付けられたカメラの割り付けを解除する場合は対象のカメラ名称をマウスで選択して、「登録解除」ボタンを押します。<sup>1</sup>  
[ネットワークレコーダ構成]を選択した場合、全ての登録済みカメラが登録解除対象になります。  
各ネットワークレコーダを選択した場合は、選択されたネットワークレコーダに属する全てのカメラが登録解除対象になります。
- (2) 確認用のダイアログが表示されますので、登録解除するカメラが正しい場合は「はい」ボタンを押して登録解除します。<sup>2</sup>



レコーダ内のカメラを削除した場合、自動的にレコーダ内 ID を更新しますので注意願います。



レコーダ内 ID とネットワークレコーダ本体の設定 (カメラ ID 及びストア ID) は必ず合わせてください。<sup>3</sup>

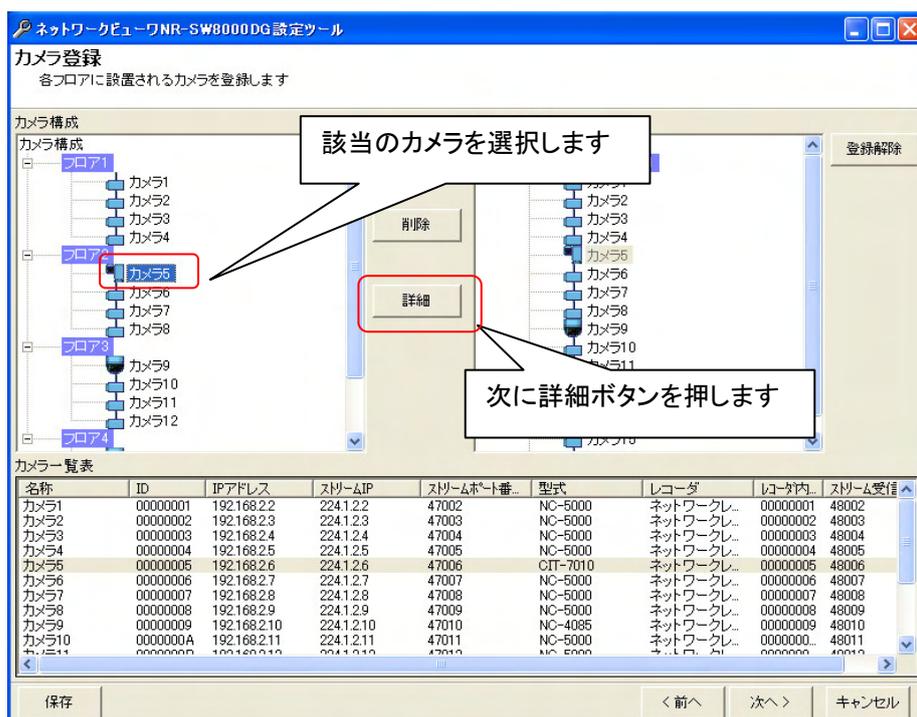
<sup>1</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲のカメラ全てが対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数のカメラが対象になります。

<sup>2</sup> 削除をした場合、構成 (ツリービュー) が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

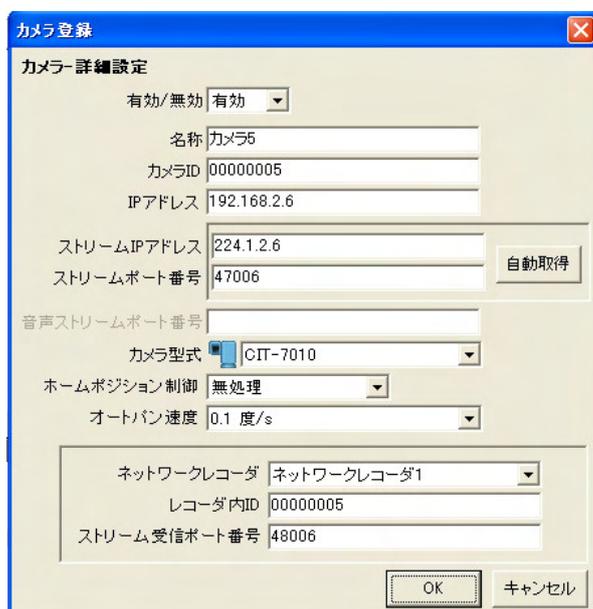
<sup>3</sup> ネットワークレコーダの設定に関しては、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の取扱説明書を参照してください。

### 13. 2. 14. カメラ設定の修正

(1) カメラの詳細設定を修正する場合、対象のカメラ名をマウスで選択して、「詳細」ボタンを押します。



(2) 下図のカメラの詳細ダイアログが表示されます。<sup>1</sup>



- (3) カメラの IP アドレスを入力して「自動取得」ボタンを押すと、現在カメラに設定されている「ストリーム IP アドレス」「ストリームポート番号」を取得できます。<sup>2</sup> 自動取得を行わず、手動で入力することもできます。
- (4) ホームポジション制御はあとで設定することもできます。ここで設定する場合は、「12.9.ホームポジション」(106 ページ)を参照ください。
- (5) カメラ ID は自動で付与されています。手動で変更する場合は重複しないように設定してください。<sup>3</sup>
- (6) カメラ型式リストボックスから接続されているカメラの型式を正しく設定します。<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 有効/無効で登録したカメラの有効/無効が設定されます。運用する場合、有効にします。

<sup>2</sup> カメラの IP アドレスが正しく設定されていないと、ネットワーク通信が行えませんが、「ストリーム IP アドレス」「ストリームポート番号」を取得することができません。

<sup>3</sup> カメラ ID の下 2 桁に FF (予約コード)を設定した場合、カメラを正常に制御することができません。FF は設定しないでください。(例: 000000FF)

- (7) 音声ストリームポート番号は、カメラ型式で音声配信機能を保有するカメラを選択した場合に有効になります。カメラからの音声を受信するためのポート番号を指定してください。<sup>2 3</sup>
- (8) オートパン速度設定は、オートパン機能を保有するカメラ以外は、設定する必要はありません。
- (9) 下図中枠線で囲まれた部分は、該当カメラを記録するネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の設定を行う部分です。<sup>4</sup>

- (10) それぞれの項目の詳細は以下の通りです。

項目	詳細
ネットワークレコーダ	どのネットワークレコーダで記録するかを設定します。
レコーダ内 ID	ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 内部で管理している ID 番号です。 <sup>5</sup>
ストリーム受信ポート番号	ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 から、本ソフトウェアで再生する場合に使用するコンピュータ側の受信ポート番号です。 <sup>6</sup>



レコーダ設定を変更した場合、自動的に該当レコーダのレコーダ内 ID を更新しますので注意願います。



レコーダ内 ID とネットワークレコーダ本体の設定(カメラ ID 及びストア ID)は必ず合わせてください。<sup>7</sup>

<sup>1</sup> カメラの型式が正しく設定されていないと、回転台制御などが正常に行われなことがあります。

<sup>2</sup> カメラ側の設定と合わせておく必要があります。カメラ側の設定方法に関しては、カメラの取扱説明書を参照してください。

<sup>3</sup> 音声ストリームの IP アドレスは、映像のストリーム IP アドレスと同一になります。

<sup>4</sup> 正しく設定されていないと、記録画像が正しく再生されません。

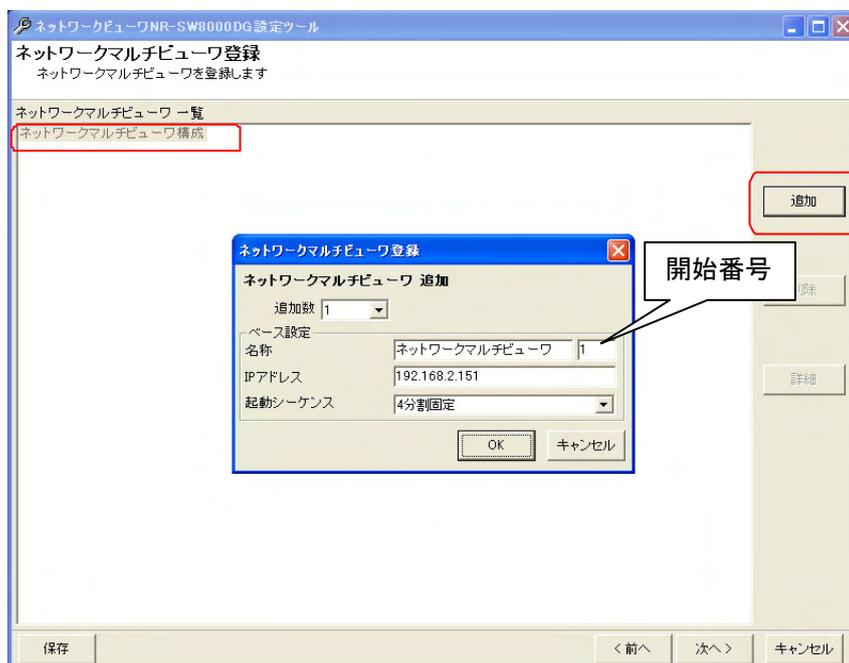
<sup>5</sup> ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 側で設定されているカメラ ID 及びストア ID と合わせておく必要があります。詳細は、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の取扱説明書を参照してください。

<sup>6</sup> ストリーム受信ポート番号が重複していると正常に再生することができません。

<sup>7</sup> ネットワークレコーダの設定に関しては、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の取扱説明書を参照してください。

### 13. 2. 15. ネットワークマルチビューワ(NV-4400)の登録

- (1) ネットワークマルチビューワ NV-4400 を追加登録する場合、「ネットワークマルチビューワ構成」をマウスで選択して、「追加」ボタンを押します。
- (2) 接続するネットワークマルチビューワ NV-4400 の名称、IP アドレス<sup>1</sup>、起動シーケンス(4 分割固定/シングルシーケンス/マルチシーケンス)<sup>2</sup>及び開始番号をベース設定欄に入力して「OK」ボタンを押して登録します。<sup>3</sup>



- (3) ネットワークマルチビューワ NV-400 複数台を一括で登録する場合は、「追加数」をリストから選択した後、ベース設定欄<sup>4</sup>を入力します。
- (4) 追加される名称は、ネットワークマルチビューワ 1、ネットワークマルチビューワ 2、...となっています(名称+開始番号)<sup>5</sup>。名称等設定を変更する場合は、「13.2.17.ネットワークマルチビューワ(NV-4400)の設定」(129 ページ)を参照して行ってください。

<sup>1</sup> ネットワークマルチビューワ NV-4400 の工場出荷初期値は IP アドレス=192.168.1.101、サブネットマスク=255.255.255.0、デフォルトゲートウェイ=192.168.1.254 です。

<sup>2</sup> 起動シーケンスとは、操作アプリ起動時、操作アプリのモニタ制御機能の「初期設定」ボタン押下時(10.2.17 章(70 ページ)参照)、及びアラーム解除時の動作を設定します。

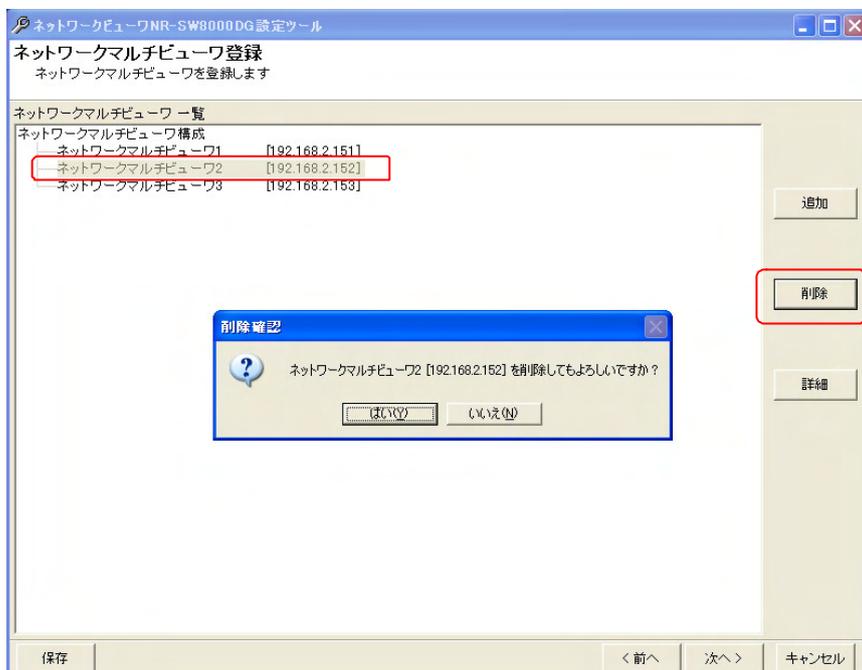
<sup>3</sup> デフォルトは追加数が1になっていますので、1台の登録が行えます。

<sup>4</sup> 複数台のネットワークマルチビューワ NV-4400 を登録する場合の基準となる設定のことです。ベース IP を 192.168.2.151 とした場合、2、3台目の NV-4400 の IP アドレスは、192.168.2.152、192.168.2.153 になります。

<sup>5</sup> 開始番号を指定しない場合は、同一名称のネットワークマルチビューワが登録されます。

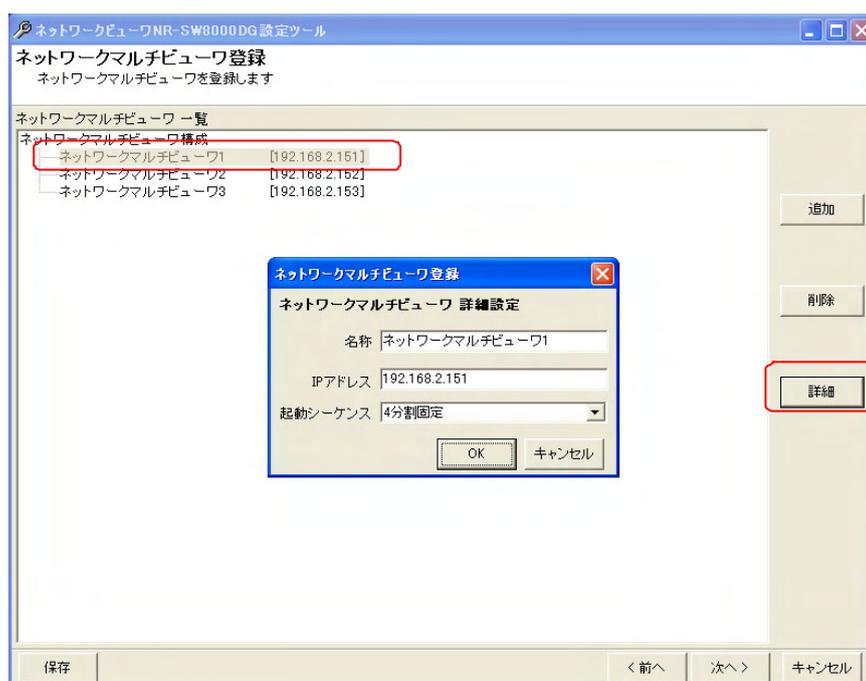
### 13. 2. 16. ネットワークマルチビューワ(NV-4400)の削除

- (1) 登録済みのネットワークマルチビューワを削除する場合、対象のネットワークマルチビューワ名称をマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。<sup>1</sup>  
[ネットワークマルチビューワ構成]を選択した場合、全ての登録済みネットワークマルチビューワが削除対象になります。
- (2) 確認用のダイアログが表示されますので、削除するネットワークマルチビューワが正しい場合は「はい」ボタンを押して削除します。<sup>2</sup>



### 13. 2. 17. ネットワークマルチビューワ(NV-4400)の設定の修正

- (1) ネットワークマルチビューワの名称、IP アドレス及び起動シーケンスを修正する場合、対象のネットワークマルチビューワをマウスで選択して、「詳細」ボタンを押します。
- (2) 名称、IP アドレス及び起動シーケンスを修正して内容が正しい場合は「OK」ボタンを押します。

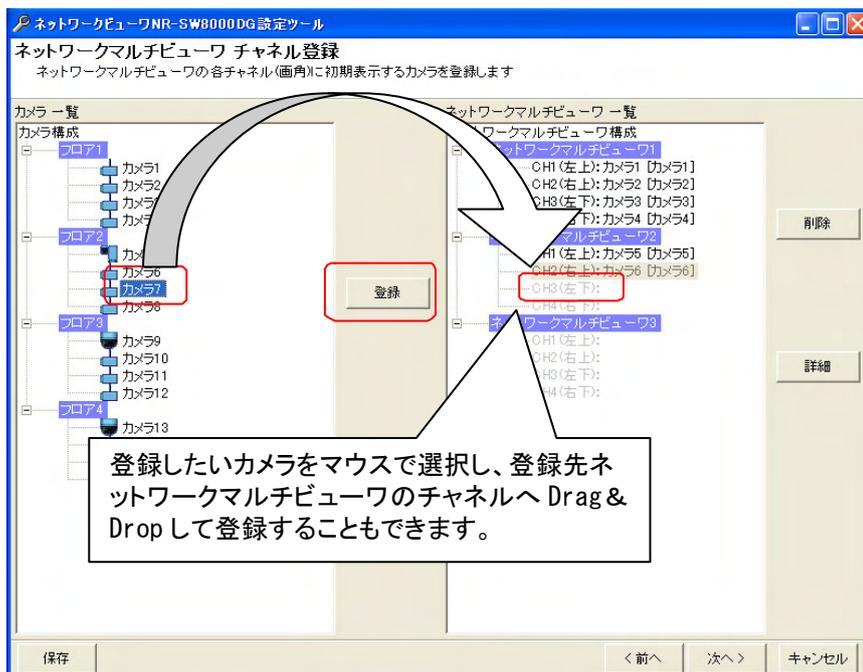


<sup>1</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲のネットワークマルチビューワ全てが対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数のネットワークマルチビューワが対象になります。

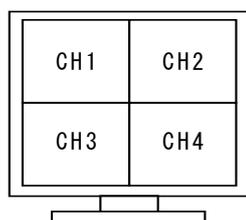
<sup>2</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

### 13. 2. 18. ネットワークマルチビューワ(NV-4400) チャンネル登録

- (1) ネットワークマルチビューワ(NV-4400)に表示するカメラを登録します。<sup>1</sup>
- (2) 下記ウィンドウの右側(ネットワークマルチビューワ一覧)で該当のチャンネルをマウスで選択します。
- (3) 続いて左側のカメラ一覧から、表示させたいカメラを選択した後、「登録」ボタンを押します。<sup>2</sup>



- (4) ネットワークマルチビューワ NV-4400 のチャンネル(CH1~CH4)概念は下図のようになっています。



- (5) NV-4400 に下記の登録を行っておいください。

項目	設定内容	備考
起動時カメラ表示設定	CH1=カメラ 1、CH2=カメラ 2 CH3=カメラ 3、CH4=カメラ 4	
起動時表示形態	4画面	
カメラ登録	マルチキャスト、HEALTH チェック= OFF	初期表示させるカメラの情報をカメラ 1~4 に登録します。 <sup>3</sup>
動作モード	スレーブ	
シングルシーケンス	シーケンス番号1に登録(任意)	シングルシーケンスを使用する場合のみ
マルチシーケンス	シーケンス番号1に登録(任意)	マルチシーケンスを使用する場合のみ



本ソフトウェアで使用する為、NV-4400 側のカメラ1~4には何も登録しないでください。



シーケンス登録は、予め NV-4400 側にて行っておいください。

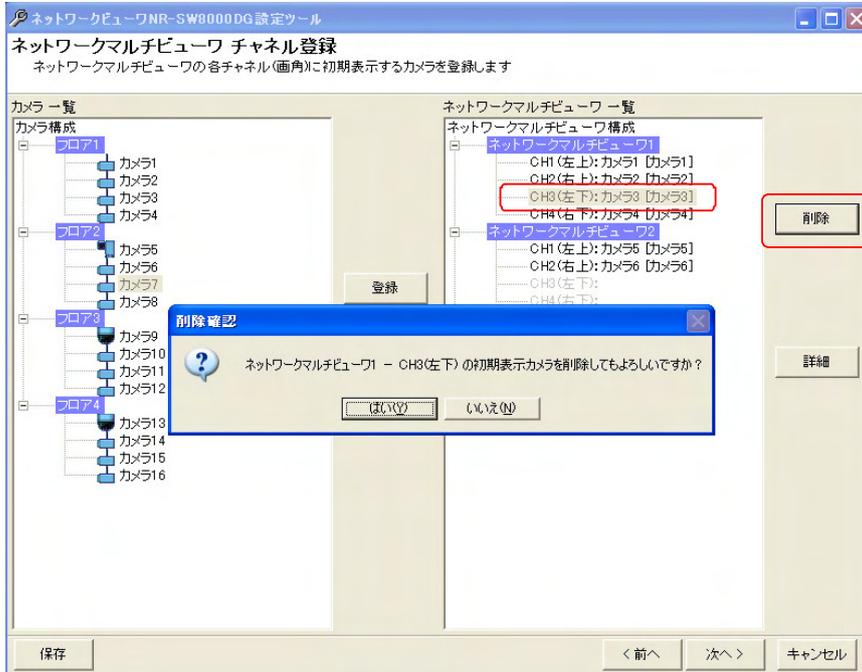
<sup>1</sup> 同一カメラの映像を複数のネットワークマルチビューワ NV-4400 に表示させることが可能です。

<sup>2</sup> カメラ一覧からネットワークマルチビューワ一覧へ Drag&Drop によって割り付けることも可能です。

<sup>3</sup> 初期表示しない場合も、カメラの IP アドレスを登録しておきます。NV-4400 にカメラの IP アドレスを登録しておかないと、マルチキャスト受信映像も表示されません。本ソフトウェアは、NV-4400 のカメラ1~4の内容を使用して表示切替を行いますので NV-4400 側のカメラ1~4 の設定には何も登録しないでください。詳細については、NV-4400 の取扱説明書を参照願います。

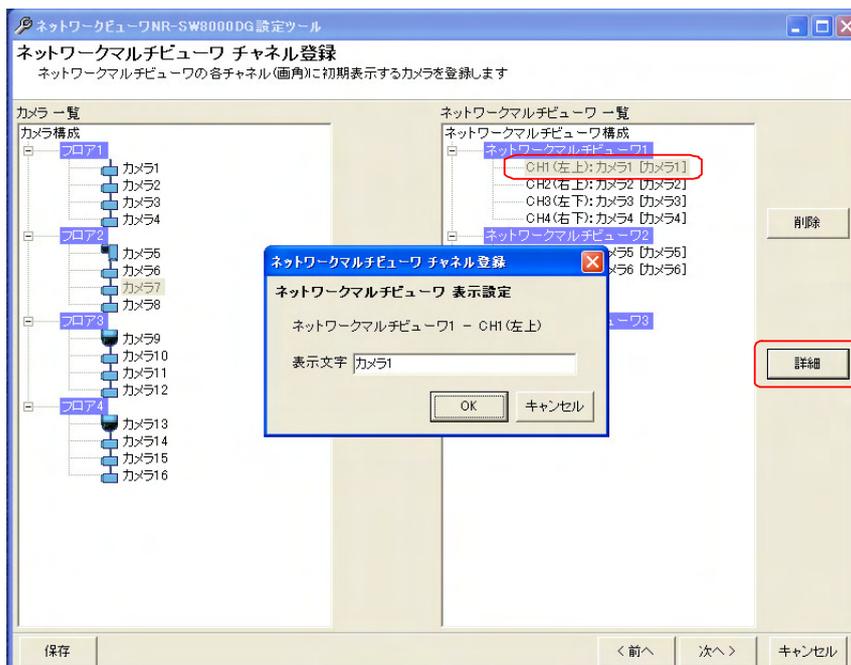
### 13. 2. 19. ネットワークマルチビューワ(NV-4400) チャネルの削除

- (1) 登録済みのネットワークマルチビューワのチャンネル設定を削除する場合、下図ウィンドウ右側(ネットワークマルチビューワ一覧)から削除したいチャンネルをマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。  
[ネットワークマルチビューワ構成]を選択した場合、全ての登録済みカメラが削除対象になります。  
各ネットワークマルチビューワを選択した場合は、選択されたネットワークマルチビューワに属する全てのカメラが削除対象になります。
- (2) 確認用ダイアログが表示されますので、削除するチャンネルが正しい場合は「はい」ボタンを押します。<sup>1</sup>



### 13. 2. 20. ネットワークマルチビューワ(NV-4400) チャネルの修正

- (1) ネットワークマルチビューワ チャンネルの表示文字を修正する場合、下図ウィンドウ右側(ネットワークマルチビューワ一覧)から対象カメラをマウスで選択して、「詳細」ボタンを押します。
- (2) 詳細設定用ダイアログが表示されますので、表示文字を修正して「OK」ボタンを押します。



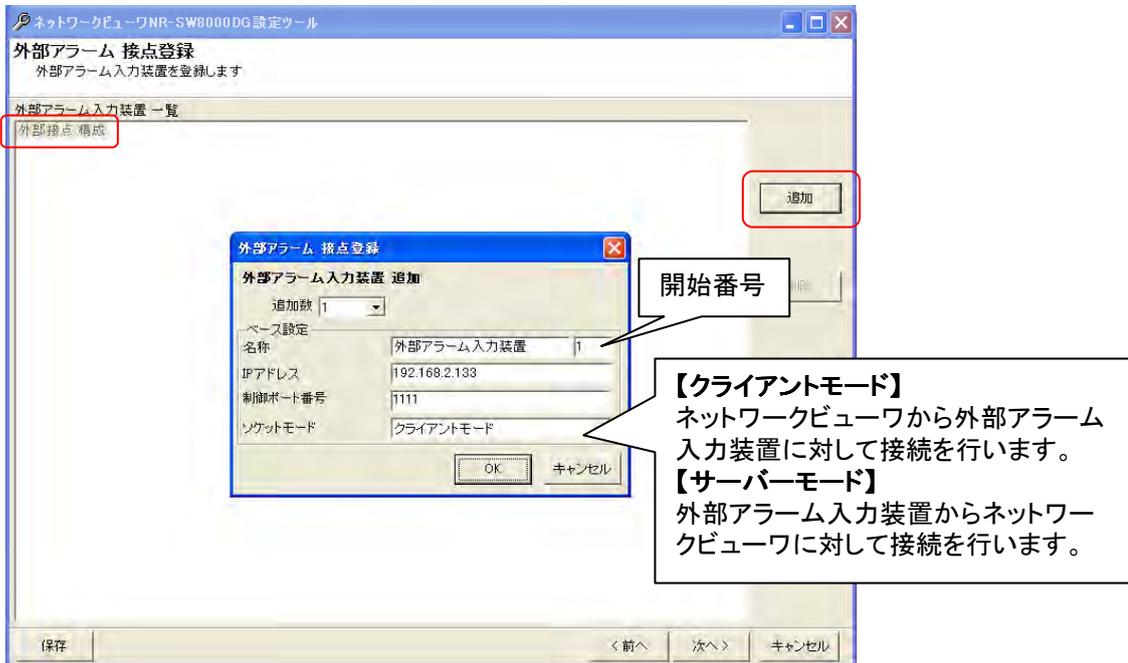
- (3) 設定できる表示文字は全角で、文字数は全角 8 文字までです。<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

<sup>2</sup> 表示名称を変更した場合、本ネットワークビューワ上のカメラ名称表示とネットワークマルチビューワ(NV-4400)上のカメラ名称表示が異なって

### 13. 2. 21. 外部アラーム接点登録

- (1) 外部アラーム入力装置<sup>1</sup>を接続する場合、「外部接点構成」をマウスで選択して、「追加」ボタンを押します。
- (2) 接続する外部アラーム入力装置の名称、IP アドレス、制御ポート番号、ソケットモード及び開始番号をベース設定欄に入力して「OK」ボタンを押して登録します。<sup>2</sup>



- (3) 外部アラーム入力装置を複数台登録する場合は、「追加数」をリストから選択した後、ベース設定欄<sup>3</sup>を入力します。
- (4) 追加される名称は、外部アラーム入力装置 1、外部アラーム入力装置 2、...となっています(名称+開始番号)<sup>4</sup>。名称等設定を変更する場合は、「13.2.23.外部アラーム入力装置の修正」(133 ページ)を参照して行ってください。

しますので、表示名称は変更しないことをお勧めします。

<sup>1</sup> 三菱電機製 X-1160 又は、アイネットデバイス株式会社製の CommAssist-io が接続できます。

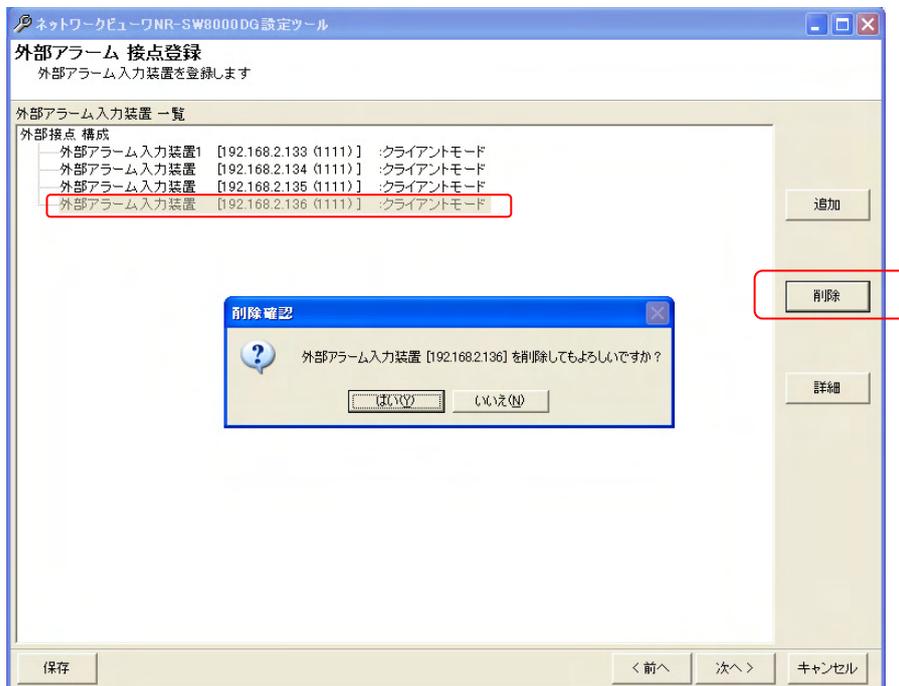
<sup>2</sup> デフォルトは追加数が1になっていますので、1台の登録が行えます。

<sup>3</sup> 複数台の外部アラーム入力装置を登録する場合の基準となる IP アドレスのことです。ベース IP を 192.168.2.131 とした場合、2、3 台目の外部アラーム入力装置の IP アドレスは、192.168.2.132、192.168.2.133 になります。

<sup>4</sup> 開始番号を指定しない場合は、同一名称の外部アラーム入力装置が登録されます。

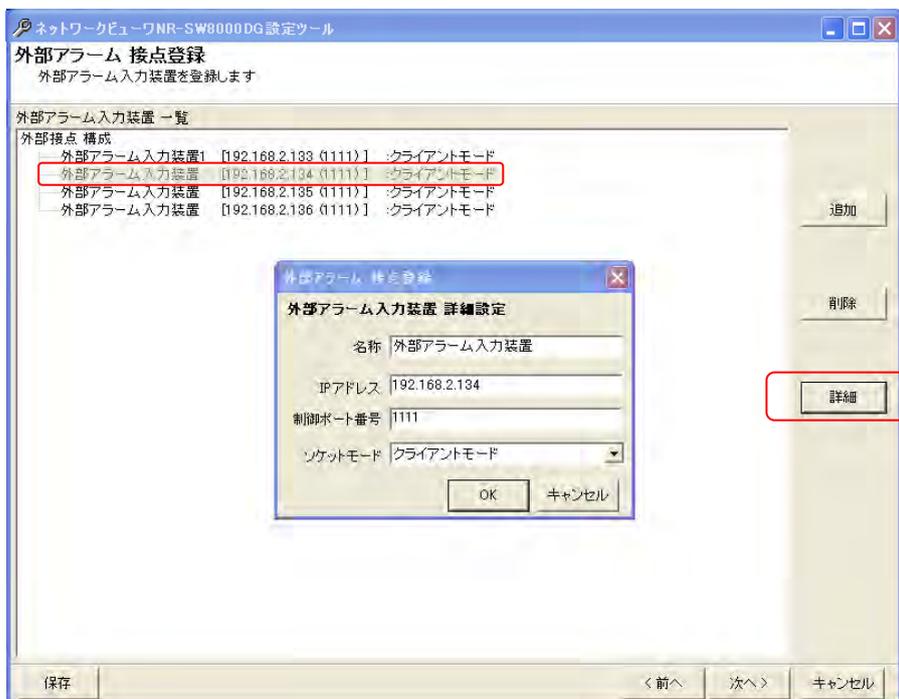
### 13. 2. 22. 外部アラーム入力装置の削除

- (1) 登録済み外部アラーム入力装置を削除する場合、対象の外部アラーム入力装置をマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。<sup>1</sup>  
[外部接点構成]を選択した場合、全ての登録済み外部アラーム入力装置が削除対象になります。
- (2) 確認用ダイアログが表示されますので、削除する外部アラーム入力装置が正しい場合は「はい」ボタンを押します。<sup>2</sup>



### 13. 2. 23. 外部アラーム入力装置の修正

- (1) 外部アラーム入力装置の名称等設定を修正する場合、対象の外部アラーム入力装置をマウスで選択して、「詳細」ボタンを押します。
- (2) 名称等設定を修正して内容が正しい場合は「OK」ボタンを押します。

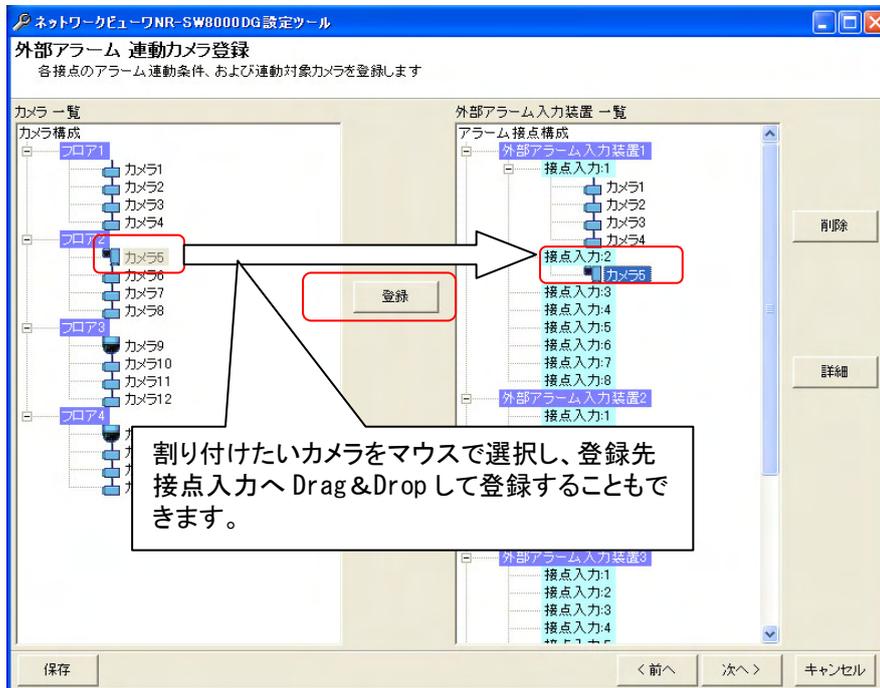


<sup>1</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲の外部アラーム入力装置全てが対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数の外部アラーム入力装置が対象になります。

<sup>2</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

### 13. 2. 24. 外部アラーム連動カメラ登録

- (1) 先に登録した外部アラーム入力装置にカメラを割り付けます。<sup>1</sup>
- (2) 下記ウィンドウの右側(外部アラーム入力装置一覧)で割り付けたい外部アラーム入力装置の接点入力をマウスで選択します。
- (3) 続いて左側のカメラ一覧から、割り付けたいカメラを選択した後、「登録」ボタンを押します。<sup>2 3</sup>



- (4) 接点入力にカメラを1台だけ割り付けた場合、映像表示は単画面で表示されます。
- (5) 同様に2台以上を割り付けた場合、映像表示は4画面で表示されます。
- (6) 4画面表示時、接点入力に登録されている順番に4画面表示(左上→右上→左下→右下)されます。

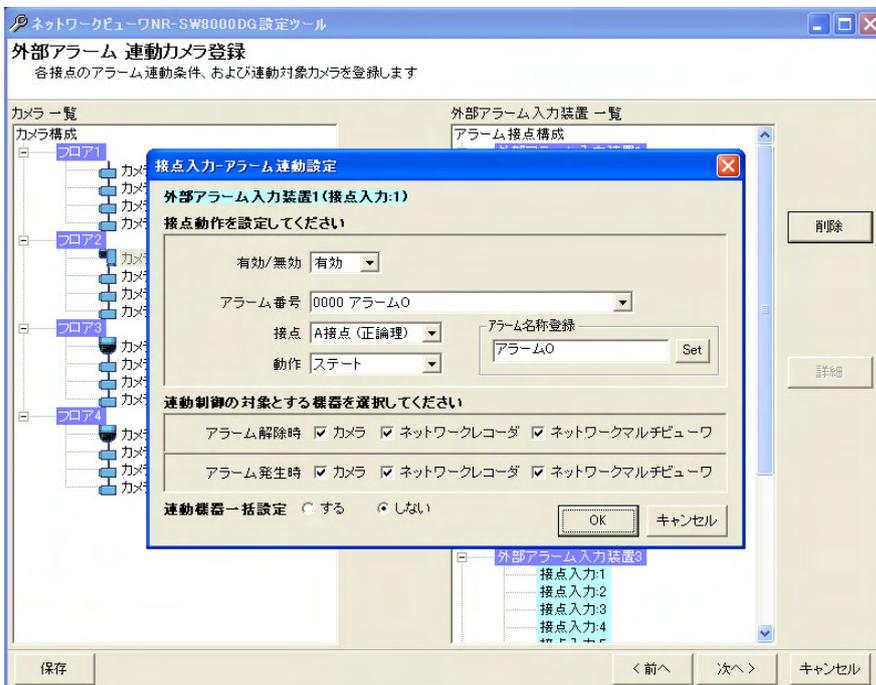
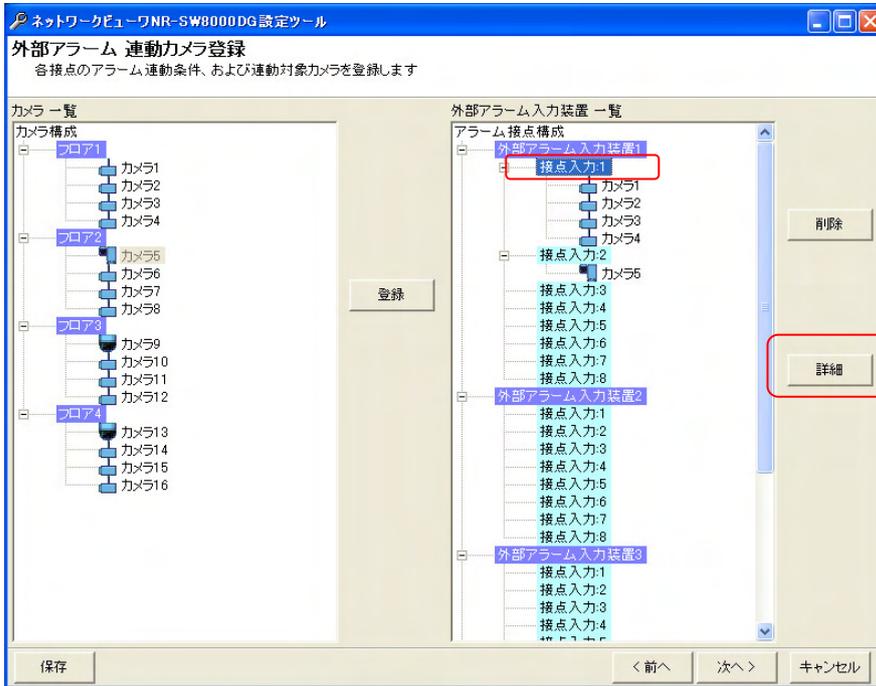
<sup>1</sup> 最大4台まで割付をすることができます。

<sup>2</sup> 1つの接点入力に同じカメラを割り付けることはできません。

<sup>3</sup> カメラ一覧から外部アラーム入力装置一覧へ Drag&Drop によって割り付けることも可能です。

### 13. 2. 25. 外部アラーム接点単位の修正

- (1) 接点単位で、アラーム動作を設定できます。  
 [アラーム接点構成]を選択した場合、全ての登録済み接点入力が設定、修正の対象になります。  
 各外部アラーム入力装置を選択した場合は、選択された外部アラーム入力装置に属する全ての接点入力が設定、修正の対象になります。
- (2) 接点入力を選択して「詳細」ボタンを押すと、接点入力-アラーム連動設定ダイアログが表示されます。



- (3) アラーム連動させるアラーム番号を選択し、各種登録を行います。「接点」「動作」は、接続している外部アラーム入力装置の設定に合わせて設定します。<sup>1</sup>

Set ボタンを押すと、アラーム番号に名称が反映されます。

アラーム解除時

アラーム発生時

連動機器一括設定

- (4) 上図ダイアログ下部で、「アラーム解除時」「アラーム発生時」に連動させる機器をチェックして選択します。(チェックされている場合、連動対象となります。)

表示	意味
アラーム解除時	アラーム解除(復帰)時に、チェックされている機器をデフォルト状態に復帰させます。チェックされていない機器は、アラーム発生時の設定の状態を継続します。
アラーム発生時	アラームが発生したときに、チェックされている機器を連動させます。



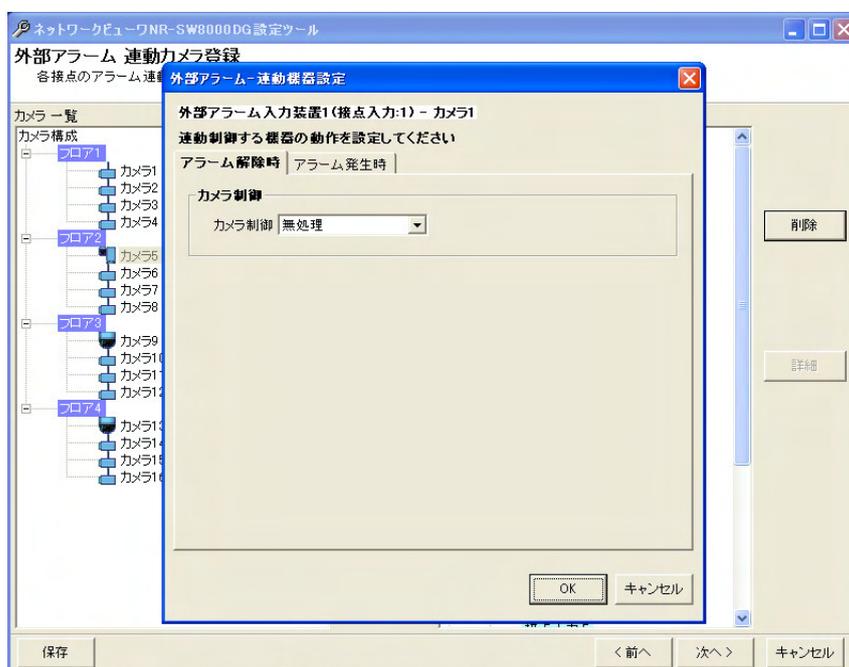
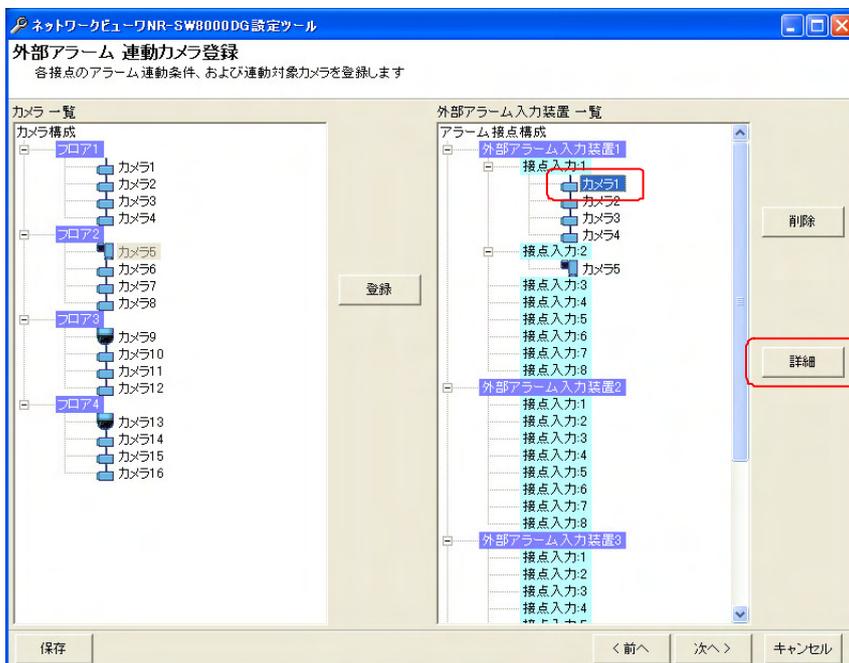
アラーム解除時、ネットワークレコーダの制御を実施しない設定の場合、スケジュール記録が出来なくなりますので注意願います。

- (5) 上図ダイアログ下部で、「連動機器一括設定」を「しない」に設定した場合、「OK」ボタンを押すことで登録を完了します。「する」に設定した場合は、「OK」ボタンを押すことで選択中接点入力に含まれる全カメラの連動設定を行うためのダイアログが表示されます。本設定に関しては、「13.2.26 外部アラーム連動カメラの設定、修正」(137 ページ)を参照してください。

<sup>1</sup> 対応している外部アラーム入力装置は、三菱製 X-1160 又は、アイネットデバイス社の CommAssist-io です。製品の取扱説明書を参照して設定してください。

### 13. 2. 26. 外部アラーム連動カメラの設定、修正

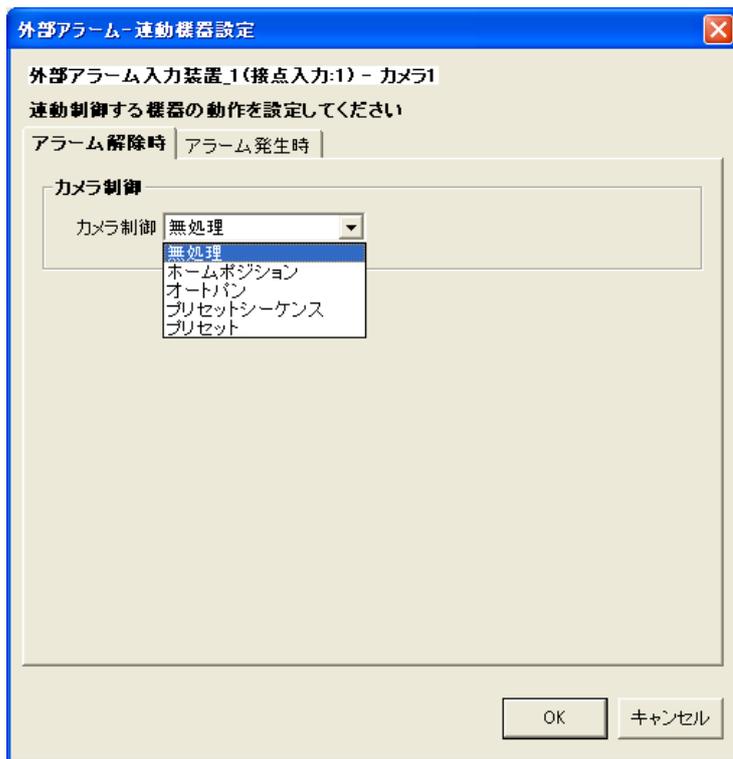
- (1) 外部アラーム連動時の運用をカメラ単位で設定します。  
[アラーム接点構成]を選択した場合、全ての登録済みカメラが設定、修正の対象になります。  
各外部アラーム入力装置を選択した場合は、選択された外部アラーム入力装置に属する全てのカメラが設定、修正の対象になります。  
各接点入力を選択した場合は、選択された接点入力に属する全てのカメラが設定、修正の対象になります。
- (2) 下図ウィンドウ右側でカメラアイコンを選択し、「詳細」ボタンを押すと、設定用ダイアログが表示されます。



- (3) 設定用ダイアログで「アラーム解除時」「アラーム発生時」の設定を行います。

### 13.2.26.1. アラーム解除時の設定

(1) アラームが解除された時の設定を行います。



(2) カメラ制御は、下記の設定が行えます。

選択項目	内容
無処理	何も動作させません。
ホームポジション	「12.9.ホームポジション」(106 ページ)で登録したホームポジション動作を開始します。
オートパン	オートパンの起動または停止を行います。
プリセット移動	プリセット移動(1～255)を行います。
プリセットシーケンス	プリセットシーケンス(1～5)の起動または停止を行います。

(3) 「13.2.25.外部アラーム接点単位の修正」(135 ページ)で「ネットワークマルチビュー」「ネットワークレコーダ」にチェックした場合、デフォルトの状態に戻します<sup>1</sup>。ここでの設定項目はありません。<sup>2</sup>

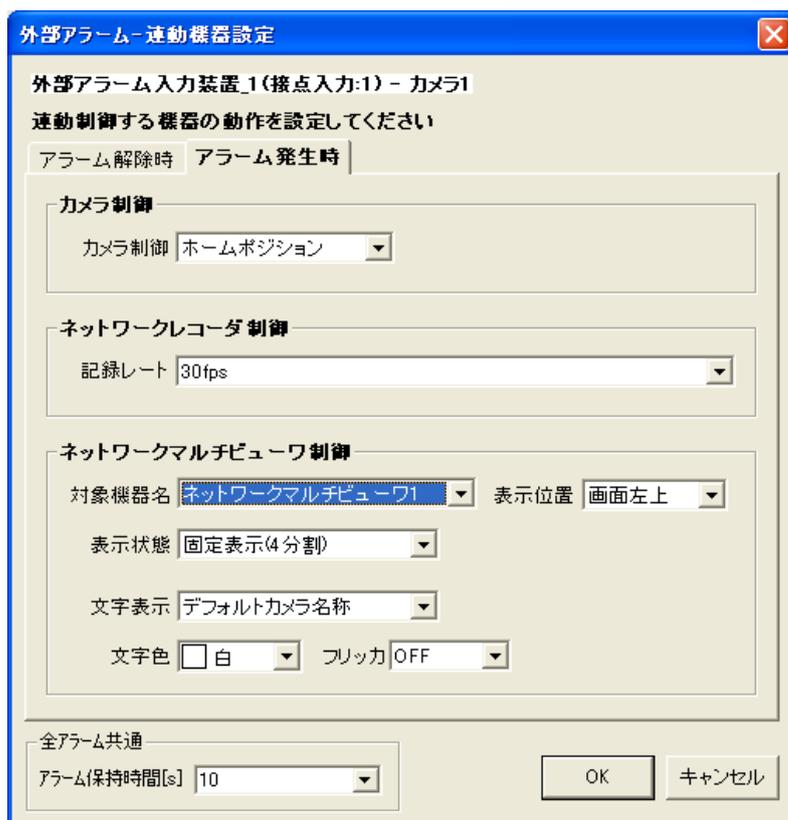
<sup>1</sup> ネットワークマルチビューのデフォルト状態は、起動時シーケンスで設定した動作になります。(「13.2.17 ネットワークマルチビュー(NV-4400)の設定の修正」(129 ページ)を参照ください)

ネットワークレコーダのデフォルト状態は、スケジュール設定で登録した記録状態になります。

<sup>2</sup> チェックしない場合、デフォルトの状態に戻りません。

### 13.2.26.2. アラーム発生時

(1) アラームが発生したときの設定を行います。



(2) カメラ制御は、下記の設定が行えます。

選択項目	内容
無処理	何も動作させません。
ホームポジション	「12.9.ホームポジション」(106 ページ)で登録したホームポジション動作を開始します。
オートパン	オートパンの起動または停止を行います。
プリセット移動	プリセット移動(1~255)を行います。
プリセットシーケンス	プリセットシーケンス(1~5)の起動または停止を行います。

(3) ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の制御は、記録レートの設定が行えます。

(4) 記録レートは、30fps,20fps,15fps,10fps,9fps,7.5fps,6fps,5fps,4fps,3fps,2fps,1fps,0.5fps,0.2fps,0.1fps,記録停止 から選択できます。

(5) ネットワークマルチビュー NV-4400 の制御は、下記の設定が行えます。

項目	内容
表示切り換え	4画面、全画面、シングルシーケンス、マルチシーケンス
文字表示変更	デフォルト文字表示、任意文字表示 <sup>1</sup> 、表示色変更 <sup>2</sup> 、フリッカ制御 <sup>3</sup>

(6) アラーム保持時間は、タイマ解除なし、1~600秒が選択できます。<sup>4 5</sup>

(7) 時間による自動アラーム解除を行いたくない場合は、「タイマ解除なし」を選択してください。

<sup>1</sup> 表示文字数は8文字までです。

<sup>2</sup> 表示色は、赤/青/水色/白/紫/黄色/緑/灰から選択できます。

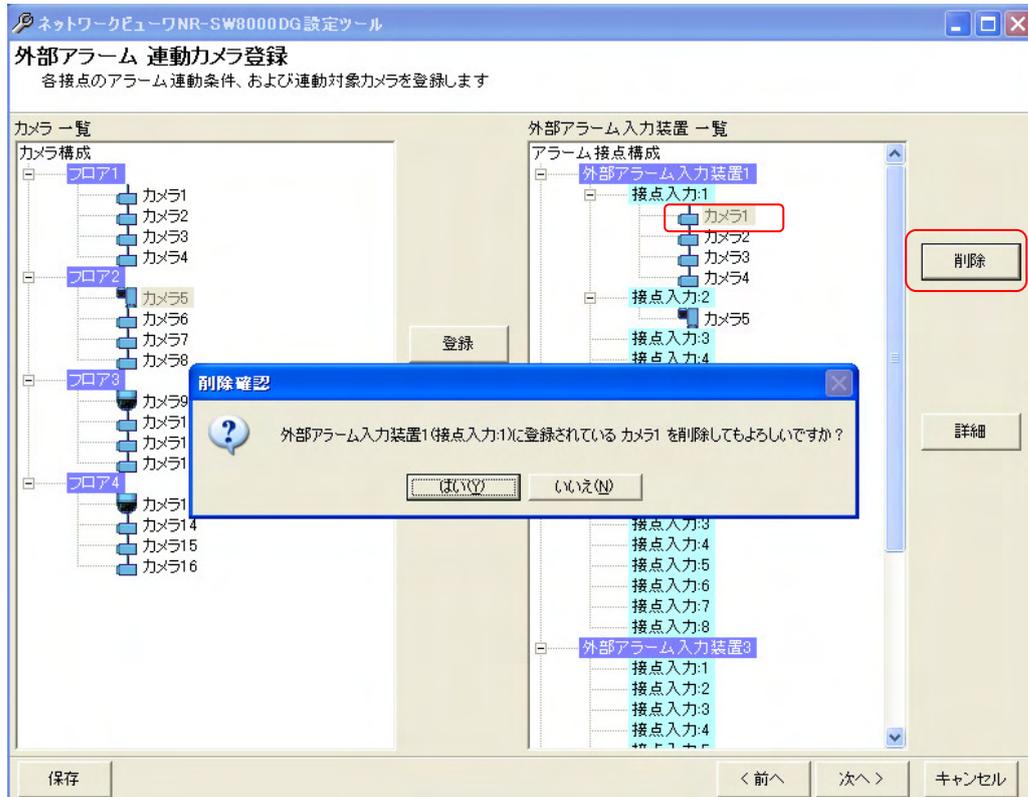
<sup>3</sup> フリッカ ON/OFF が制御できます。

<sup>4</sup> この時間はアラーム毎の個別変更はできません(全アラーム共通になります)。

<sup>5</sup> 「外部アラーム接点単位の修正」(135 ページ)で「動作」が「ステート」の場合は、アラーム入力 Off になるとアラーム動作から復帰します。このとき、アラーム保持時間は無効です。

### 13. 2. 27. 外部アラーム連動カメラ削除

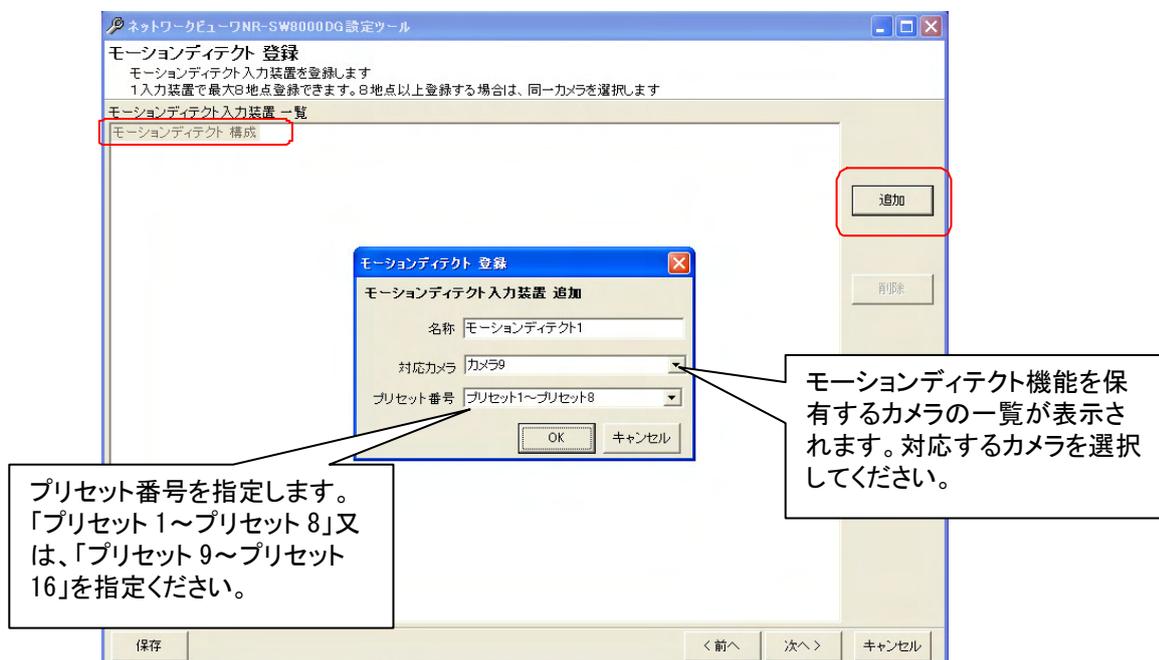
- (1) 登録済みの接点入力に割付登録したカメラを削除する場合。下図ウィンドウ右側(外部アラーム入力装置一覧)から削除したいカメラをマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。  
[アラーム接点構成]を選択した場合、全ての登録済みカメラが削除対象になります。  
各外部アラーム入力装置を選択した場合は、選択された外部アラーム入力装置に属する全てのカメラが削除対象になります。  
各接点入力を選択した場合は、選択された接点入力に属する全てのカメラが削除対象になります。
- (2) 確認用ダイアログが表示されますので、削除するカメラが正しい場合は「はい」ボタンを押します。<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

### 13. 2. 28. モーションディテクト登録

- (1) モーションディテクト入力装置<sup>1</sup>を接続する場合、「モーションディテクト構成」をマウスで選択して、「追加」ボタンを押します。<sup>2</sup>
- (2) 接続するモーションディテクト入力装置の名称、対応カメラ<sup>3</sup>及びプリセット番号を入力して「OK」ボタンを押して登録します。



- (3) モーションディテクト入力装置を複数台一括登録することはできません。



プリセット番号は、1~16 までのサポートになります。それ以外のプリセット番号は指定しないでください。



外部アラーム入力装置と合わせて 100 台まで登録可能です。

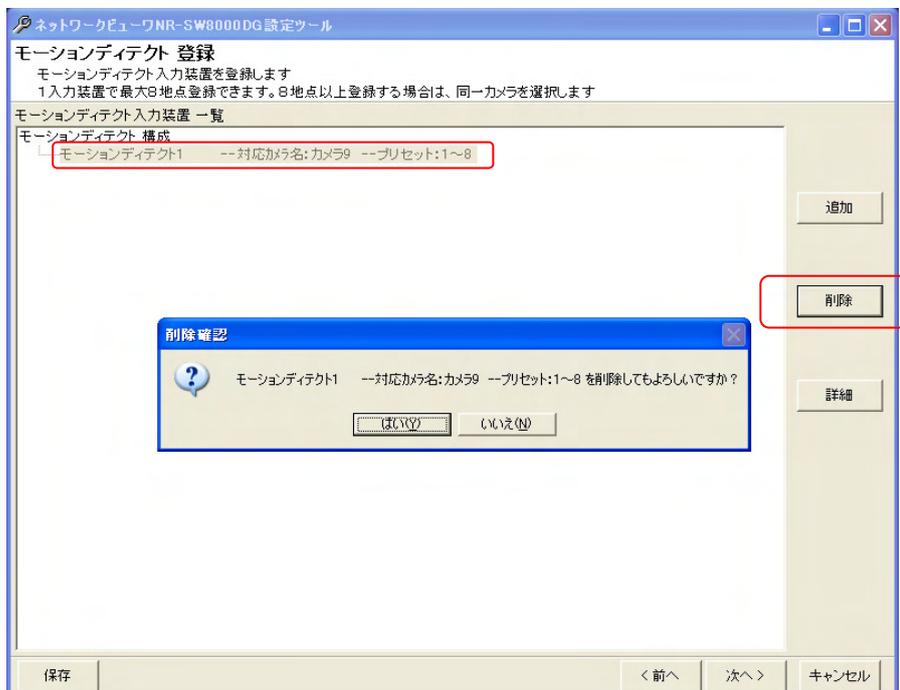
<sup>1</sup> モーションディテクト対応しているカメラは、2007/1/1 現在 NC-4085 及び NC-4510 になります。カメラからのモーションディテクト通知は、デフォルトの 29000 番ポートで運用します。

<sup>2</sup> 外部アラーム入力装置とモーションディテクト入力装置は、合計 100 台まで登録することができます。例えば、外部アラーム入力装置を 40 台登録した場合、モーションディテクト入力装置は、最大で 60 台まで登録可能になります。

<sup>3</sup> 1つのモーションディテクト入力装置で1カメラ最大 8 点のモーションディテクト信号を処理することができます。NC-4085/NC-4510 の場合、モーションディテクト数は、最大 16 点です。NC-4085/NC-4510 を使用する場合は、1 カメラにつき最大 2 台のモーションディテクト入力装置を割り当ててください。

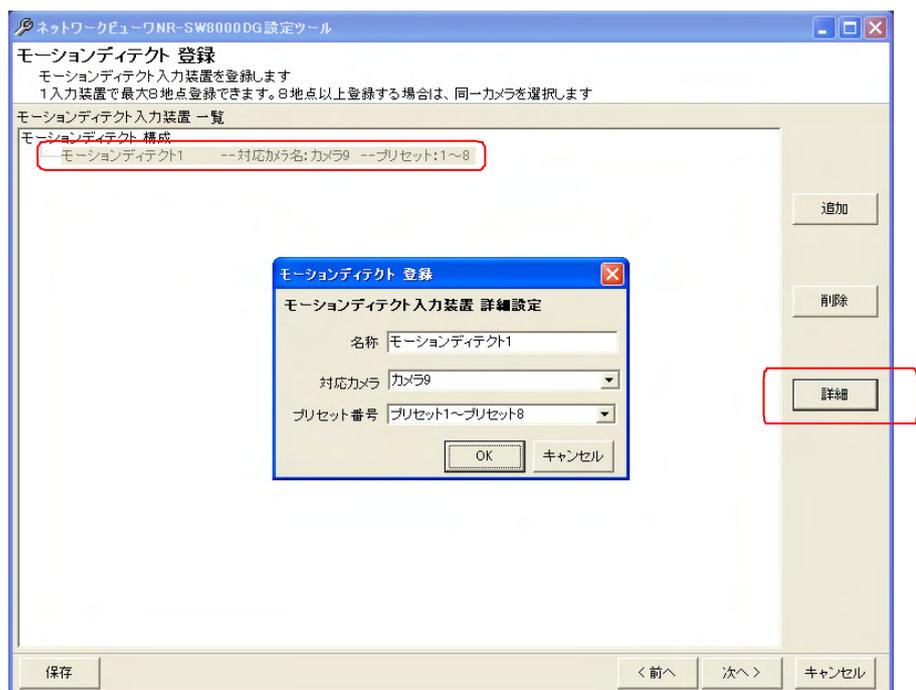
### 13. 2. 29. モーションディテクト入力装置の削除

- (1) 登録済みのモーションディテクト入力装置を削除する場合、対象のモーションディテクト入力装置をマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。<sup>1</sup>  
[モーションディテクト構成]を選択した場合、全ての登録済みモーションディテクト入力装置が削除対象になります。
- (2) 確認用ダイアログが表示されますので、削除するモーションディテクト入力装置が正しい場合は「はい」ボタンを押して削除します。<sup>2</sup>



### 13. 2. 30. モーションディテクト入力装置の修正

- (1) モーションディテクト入力装置の名称、対応カメラ及びプリセット番号を修正する場合、対象のモーションディテクト入力装置をマウスで選択して、「詳細」ボタンを押します。
- (2) 名称、対応カメラ及びプリセット番号を修正して内容が正しい場合は「OK」ボタンを押します。

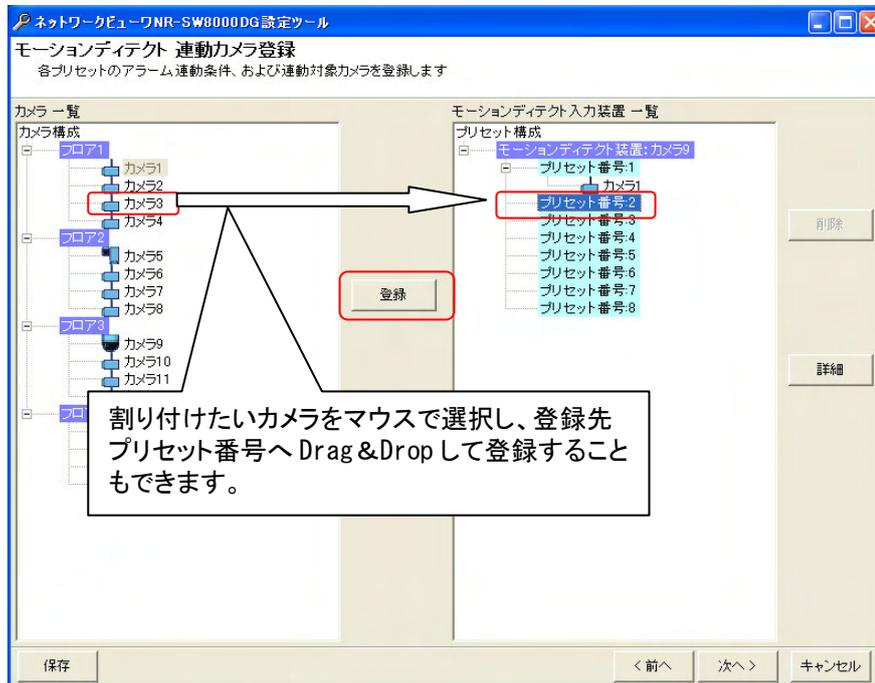


<sup>1</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲のモーションディテクト入力装置全てが対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数のモーションディテクト入力装置全てが対象になります。

<sup>2</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

### 13. 2. 31. モーションディテクト連動カメラ登録

- (1) 先に登録したモーションディテクト入力装置にカメラを割り付けます。<sup>1</sup>
- (2) 下記ウィンドウの右側(モーションディテクト入力装置一覧)で割り付けたいモーションディテクト入力装置のプリセット番号をマウスで選択します。
- (3) 続いて左側のカメラ一覧から、割り付けたいカメラを選択した後、「登録」ボタンを押します。<sup>2 3</sup>



- (4) プリセット番号にカメラを1台だけ割り付けた場合、映像表示は単画面で表示されます。
- (5) 同様に2台以上を割り付けた場合、映像表示は4画面で表示されます。
- (6) 4画面表示時、プリセット番号に登録されている順番に4画面表示(左上→右上→左下→右下)されます。

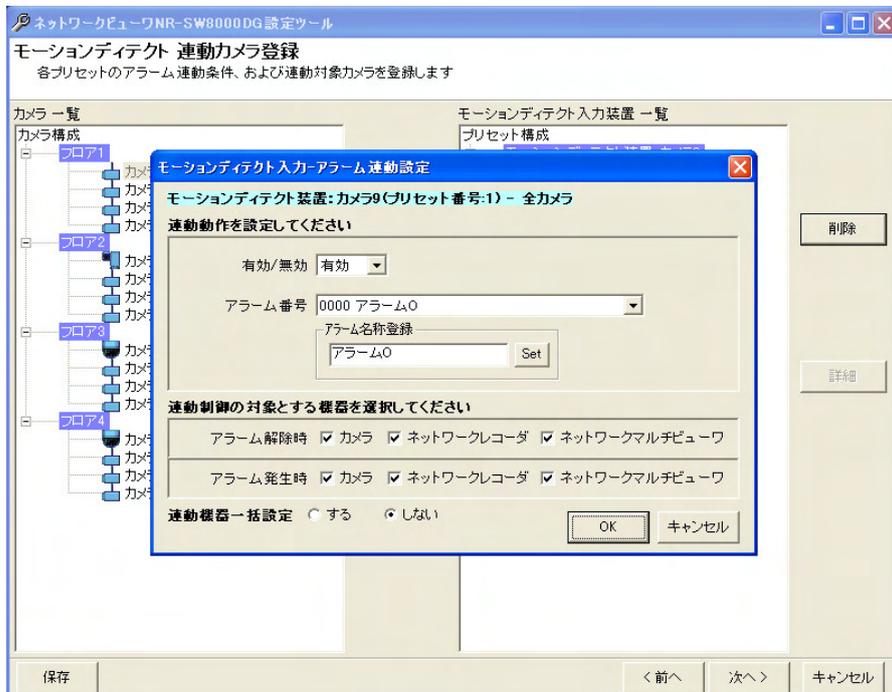
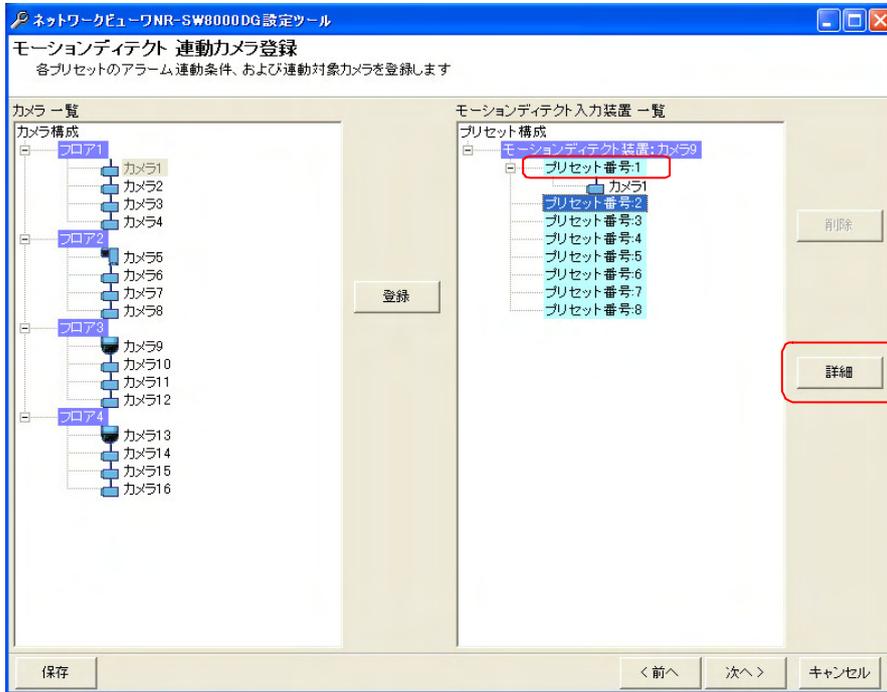
<sup>1</sup> 最大4台まで割付をすることができます。

<sup>2</sup> 1つのプリセット入力に同じカメラを割り付けることはできません。

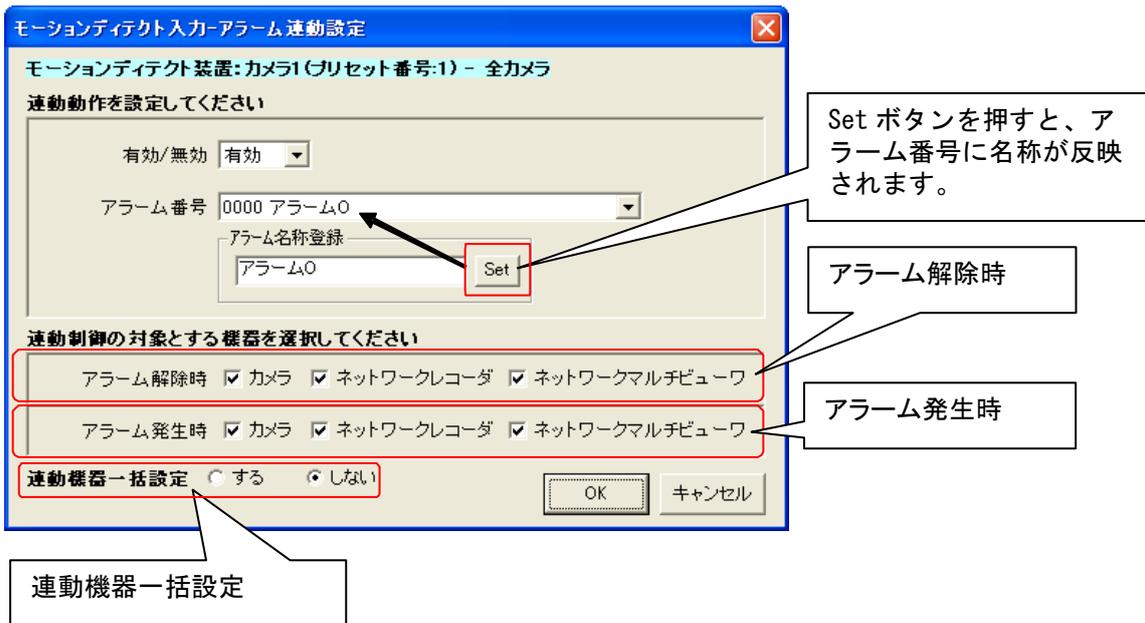
<sup>3</sup> カメラ一覧からモーションディテクト入力装置一覧へ Drag&Drop によって割り付けることも可能です。

### 13. 2. 32. モーションディテクトプリセット番号の修正

- (1) プリセット番号単位で、アラーム動作を設定できます。  
[プリセット構成]を選択した場合、全ての登録済みプリセット番号が設定、修正の対象になります。  
各モーションディテクト入力装置を選択した場合は、選択されたモーションディテクト入力装置に属する全てのプリセット番号が設定、修正の対象になります。
- (2) プリセット番号を選択して「詳細」ボタンを押すと、モーションディテクト入カ-アラーム連動設定ダイアログが表示されます。



- (3) アラーム連動させるアラーム番号を選択し、各種登録を行います。



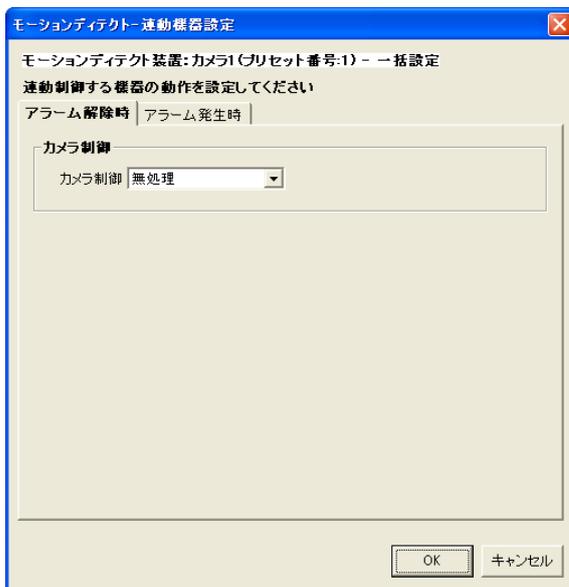
- (4) 上図ダイアログ下部で、「アラーム解除時」「アラーム発生時」に連動させる機器をチェックして選択します。(チェックされている場合、連動対象となります。)

表示	意味
アラーム解除時	アラーム解除(復帰)時に、チェックされている機器をデフォルト状態に復帰させます。チェックされていない機器は、アラーム発生時の設定の状態を継続します。
アラーム発生時	アラームが発生したときに、チェックされている機器を連動させます。



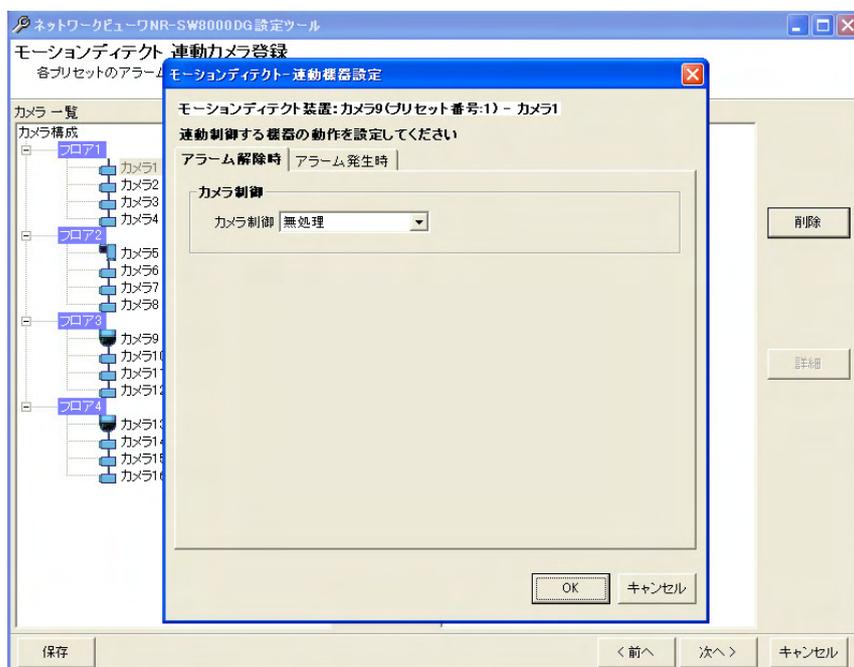
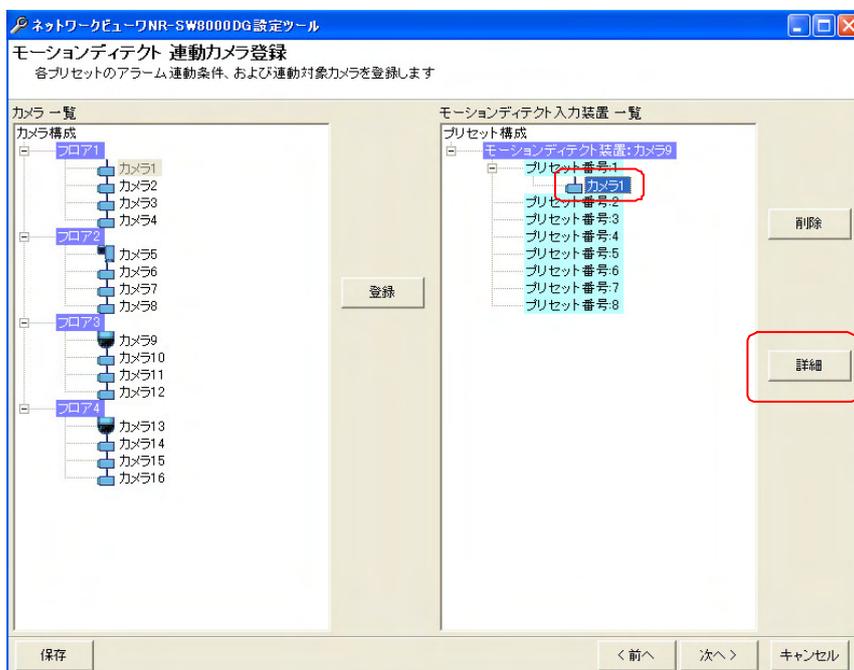
アラーム解除時、ネットワークレコーダの制御を実施しない設定の場合、スケジュール記録が出来なくなりますので注意願います。

- (5) 上図ダイアログ下部で、「連動機器一括設定」を「しない」に設定した場合、「OK」ボタンを押すことで登録を完了します。「する」に設定した場合は、「OK」ボタンを押すことで選択中プリセット番号に含まれる全カメラの連動設定を行うためのダイアログが表示されます。本設定に関しては、「13.2.33 モーションディテクト連動カメラの設定、修正」(146 ページ)を参照してください。



### 13. 2. 33. モーションディテクト連動カメラの設定、修正

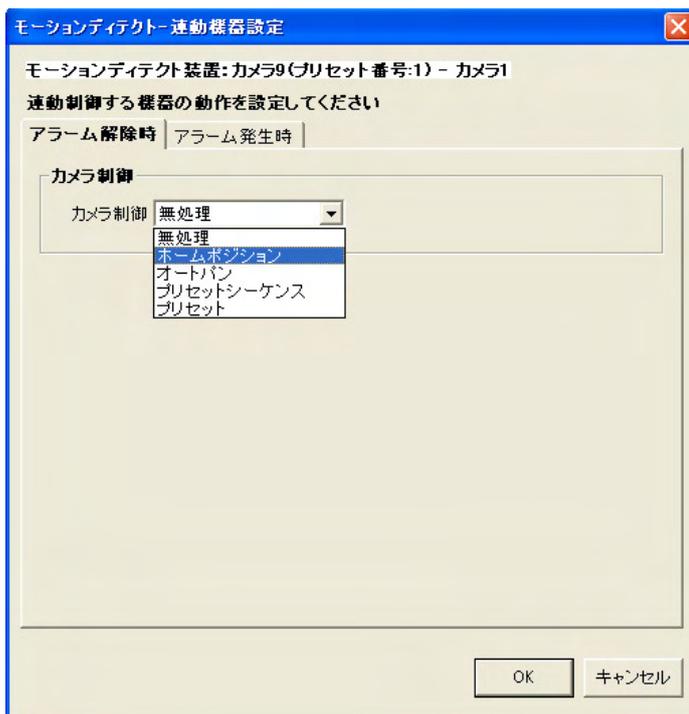
- (1) モーションディテクト連動時の運用をカメラ単位で設定します。  
[プリセット構成]を選択した場合、全ての登録済みカメラが設定、修正の対象になります。  
各モーションディテクト入力装置を選択した場合は、選択されたモーションディテクト入力装置に属する全てのカメラが設定、修正の対象になります。  
各プリセット番号を選択した場合は、選択されたプリセット番号に属する全てのカメラが設定、修正の対象になります。
- (2) 下図ウィンドウ右側でカメラアイコンを選択し、「詳細」ボタンを押すと、設定用ダイアログが表示されます。



- (3) 設定用ダイアログで「アラーム解除時」「アラーム発生時」の設定を行います。

### 13.2.33.1. アラーム解除時の設定

(1) アラームが解除された時の設定を行います。



(2) カメラ制御は、下記の設定が行えます。

選択項目	内容
無処理	何も動作させません。
ホームポジション	「12.9.ホームポジション」(106 ページ)で登録したホームポジション動作を開始します。
オートパン	オートパンの起動または停止を行います。
プリセットシーケンス	プリセットシーケンス(1～5)の起動または停止を行います。
プリセット	プリセット移動(1～255)を行います。

(3) 「13.2.32 モーションディテクトプリセット番号の修正」(144 ページ)で「ネットワークマルチビューワ」「ネットワークレコーダ」にチェックした場合、デフォルトの状態に戻します<sup>1</sup>。ここでの設定項目はありません。<sup>2</sup>

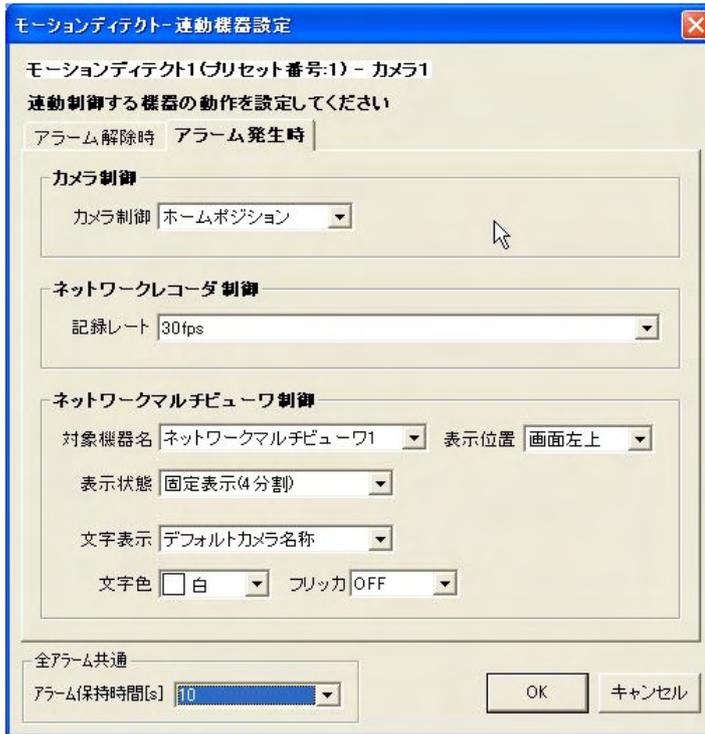
<sup>1</sup> ネットワークマルチビューワのデフォルト状態は、起動時シーケンスで設定した動作になります。(「13.2.17 ネットワークマルチビューワ(NV-4400)の設定の修正」(129 ページ)を参照ください)

ネットワークレコーダのデフォルト状態は、スケジュール設定で登録した記録状態になります。

<sup>2</sup> チェックしない場合、デフォルトの状態に戻りません。

### 13.2.33.2. アラーム発生時

(1) アラームが発生したときの設定を行います。



(2) カメラ制御は、下記の設定が行えます。

選択項目	内容
無処理	何も動作させません。
ホームポジション	「12.9.ホームポジション」(106 ページ)で登録したホームポジション動作を開始します。
オートパン	オートパンの起動または停止を行います。
プリセット移動	プリセット移動(1~255)を行います。
プリセットシーケンス	プリセットシーケンス(1~5)の起動または停止を行います。

(3) ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の制御は、記録レートの設定が行えます。

(4) 記録レートは、30fps,20fps,15fps,10fps,9fps,7.5fps,6fps,5fps,4fps,3fps,2fps,1fps,0.5fps,0.2fps,0.1fps,記録停止 から選択できます。

(5) ネットワークマルチビュー NV-4400 の制御は、下記の設定が行えます。

項目	内容
表示切り換え	4画面、全画面、シングルシーケンス、マルチシーケンス
文字表示変更	デフォルト文字表示、任意文字表示 <sup>1</sup> 、表示色変更 <sup>2</sup> 、フリッカ制御 <sup>3</sup>

(6) アラーム保持時間は、タイマ解除なし、1~600秒が選択できます。<sup>4</sup>

(7) 時間による自動アラーム解除を行いたくない場合は、「タイマ解除なし」を選択してください。

<sup>1</sup> 表示文字数は8文字までです。

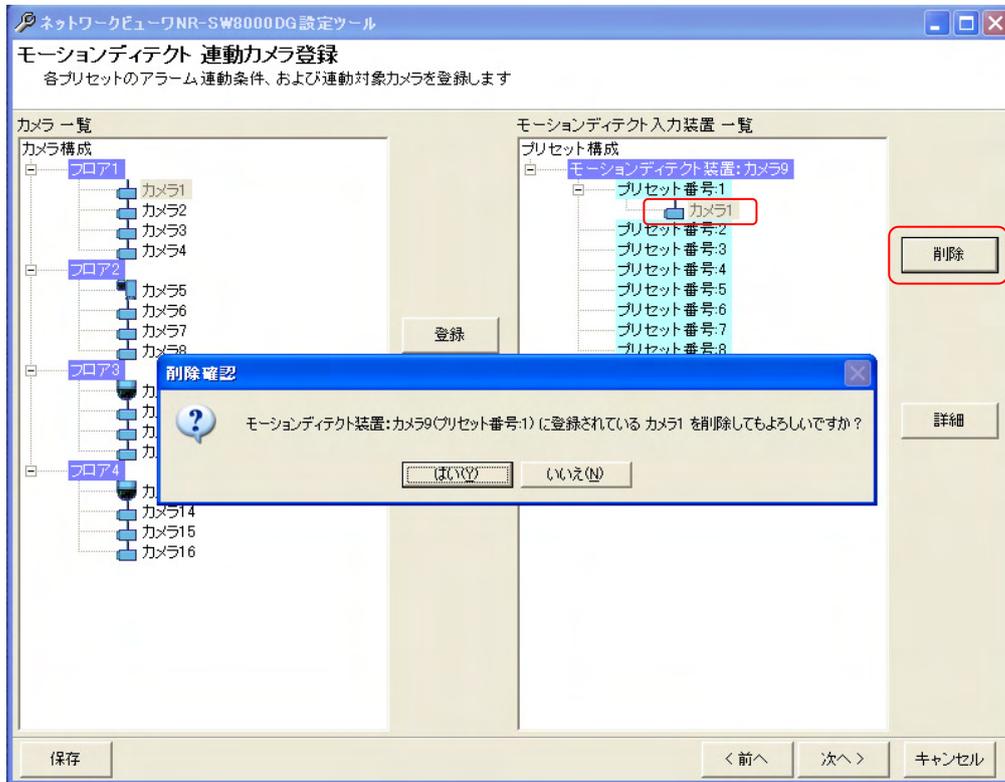
<sup>2</sup> 表示色は、赤/青/水色/白/紫/黄色/緑/灰から選択できます。

<sup>3</sup> フリッカ ON/OFF が制御できます。

<sup>4</sup> この時間はアラーム毎の個別変更はできません(全アラーム共通になります。モーションディテクト、接点入力に関わらず、共通になります)。

### 13. 2. 34. モーションディテクト連動カメラ削除

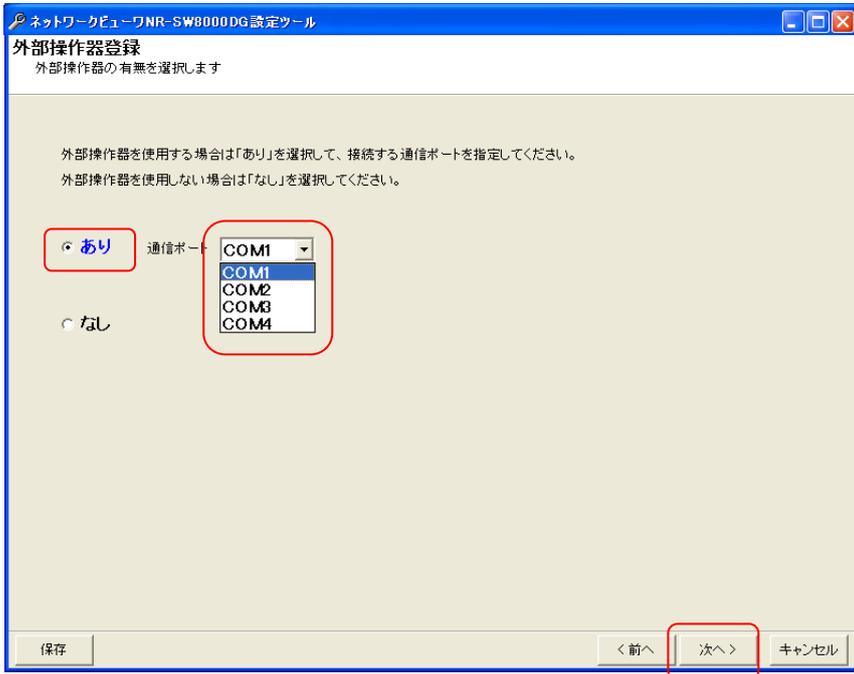
- (1) 登録済みのプリセット番号に割付登録したカメラを削除する場合。下図ウィンドウ右側(モーションディテクト入力装置一覧)から削除したいカメラをマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。  
[プリセット構成]を選択した場合、全ての登録済みカメラが削除対象になります。  
各モーションディテクト入力装置を選択した場合は、選択されたモーションディテクト入力装置に属する全てのカメラが削除対象になります。  
各プリセット番号を選択した場合は、選択された接点入力に属する全てのカメラが削除対象になります。
- (2) 確認用ダイアログが表示されますので、削除するカメラが正しい場合は「はい」ボタンを押します。<sup>1</sup>



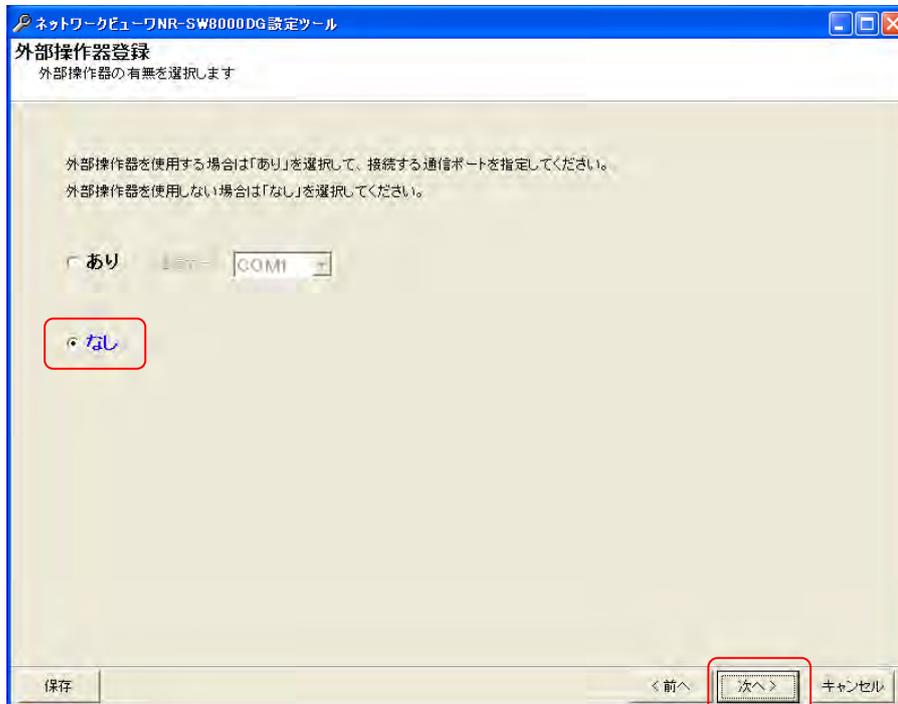
<sup>1</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

### 13. 2. 35. 外部操作器登録

- (1) 外部操作器(R-2450)を接続運用することができます。
- (2) 外部操作器(R-2450)を接続する場合は、「あり」ボタンを押して通信ポートのリストボックスから COM ポート<sup>1</sup>を選択して「次へ」ボタンを押します。

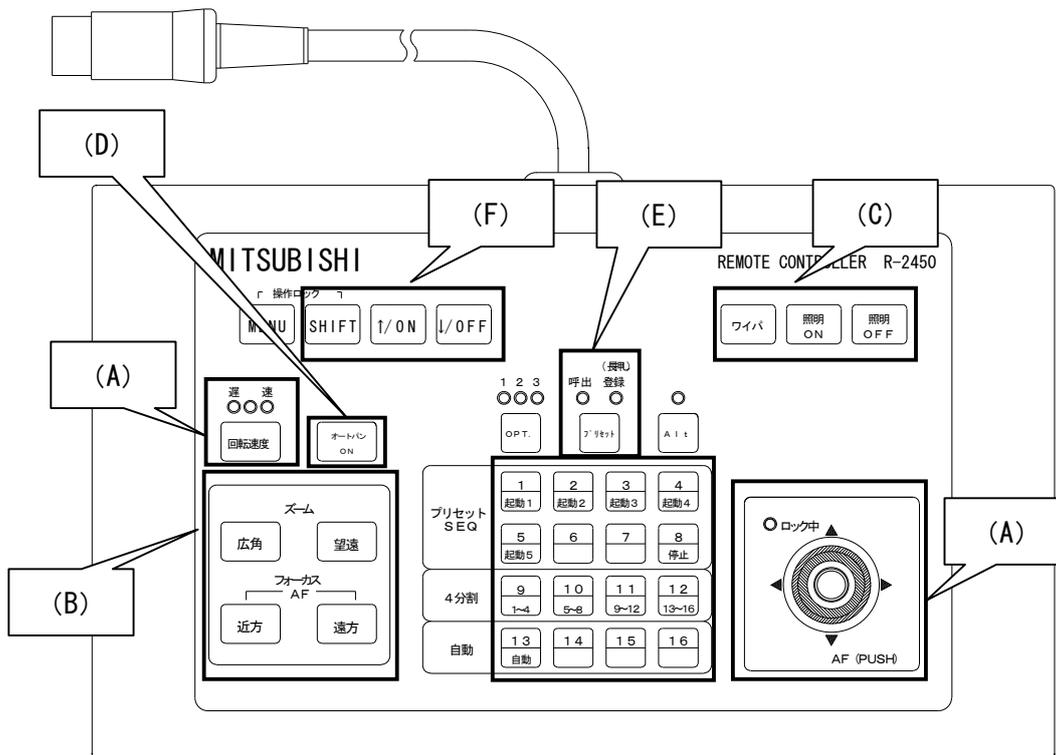


- (3) 外部操作器(R-2450)を接続しない場合は、「なし」のボタンを押して「次へ」ボタンを押します。



<sup>1</sup> COM ポートは、接続先を確認して正しく設定してください。

(3) 外部操作器(R-2450)のボタンと該当機能は下記のようになっています。



機能	記号	備考
回転台制御	(A)	
回転台速度制御	(A)	
オートフォーカス	(A)	
レンズ制御	(B)	
ワイパ	(C)	
照明 ON/OFF	(C)	
オートパン ON	(D)	
プリセット登録	(E)	
プリセット移動	(E)	
プリセットシーケンス	(E)	
MODE/UP/DOWN	(F)	SHIFT:MODE ↑/ON:UP ↓/OFF:DOWN

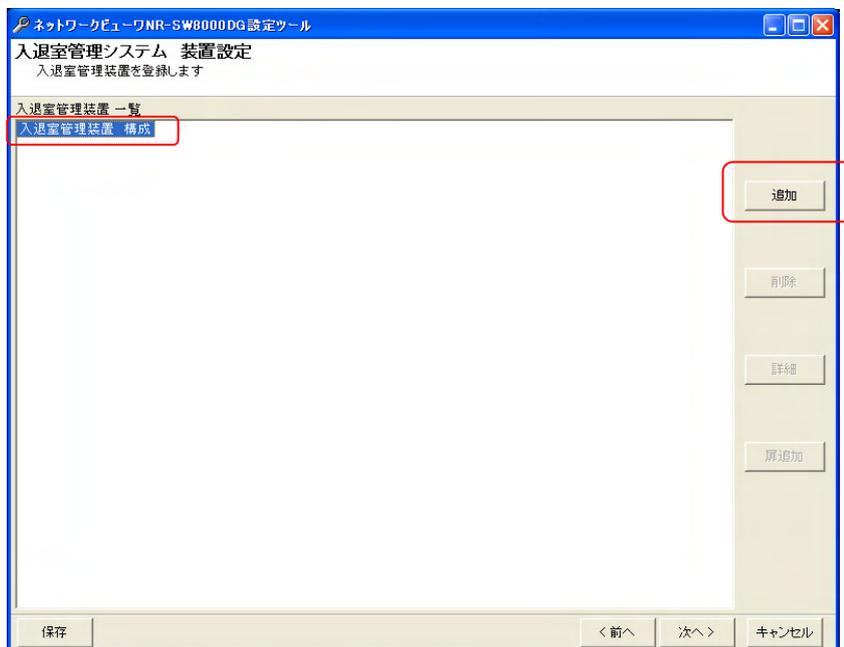
(4) 外部操作器(R-2450)の使い方の詳細は、R-2450 の取扱説明書を参照してください。

### 13.2.36. 入退室管理システム 装置設定

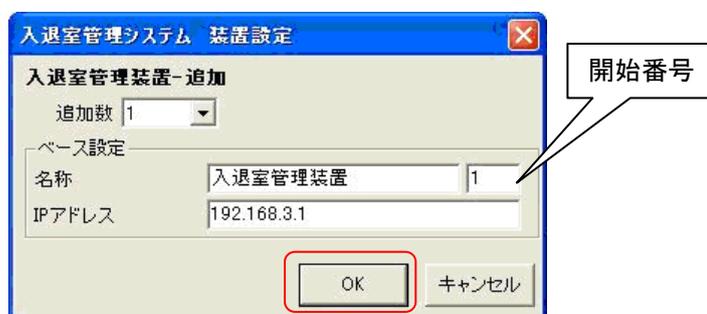
- (1) 入退室管理システム (MELSAFETY-P)と連携する場合の設定を行います。<sup>1</sup>

#### 13.2.36.1. 入退室管理システム 装置登録

- (1) 入退室管理装置を追加登録する場合、「入退室管理装置構成」をマウスで選択して、「追加」ボタンを押します。



- (2) 入退室管理装置追加ダイアログが表示されます。入退室管理装置の名称、IP アドレスをベース設定に入力して「OK」ボタンを押して登録します。



- (3) 入退室管理装置複数台を一括で登録する場合は、「追加数」をリストから選択した後、ベース設定欄<sup>2</sup>を入力します。
- (4) 追加される名称は、入退室管理装置 1、入退室管理装置 2、…となっています(名称+開始番号)<sup>3</sup>。名称等設定を変更する場合は、「入退室管理システム 装置の修正」(153 ページ)を参照して行ってください。



各種ポート番号は、入退室管理装置の設定と合わせてください。



ベース番号とは名称に付与される番号のことです。上図の場合、入退室管理システムの名称が「入退室管理装置 1」となります。番号が不要な場合は、ベース番号は未入力で「OK」ボタンを押してください。

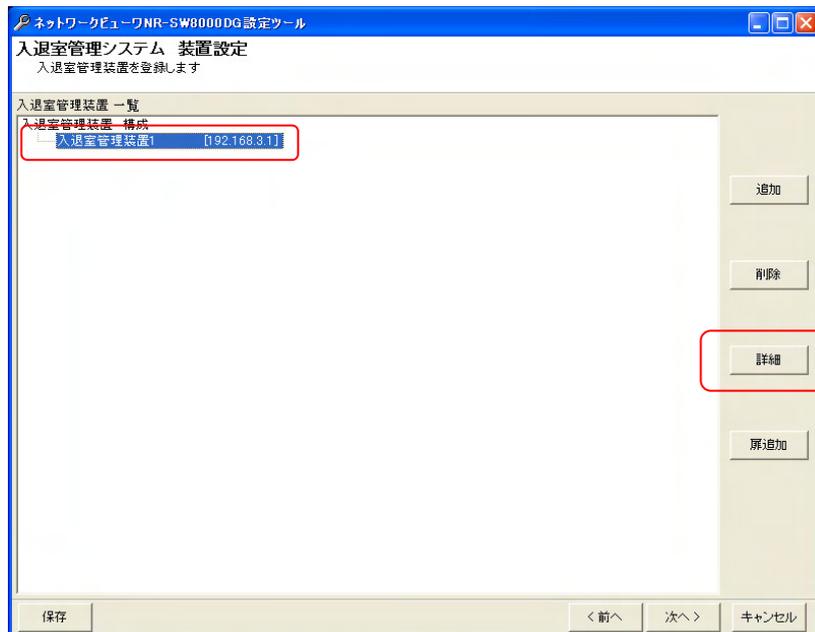
<sup>1</sup> 入退室管理装置の設定に関しては、入退室管理装置の取扱説明書を参照願います。

<sup>2</sup> 複数台の入退室管理装置を登録する場合の基準となる設定のことです。ベースIPを192.168.3.1とした場合、2、3台目の入退室管理装置のIPアドレスは、192.168.3.2、192.168.3.3になります。

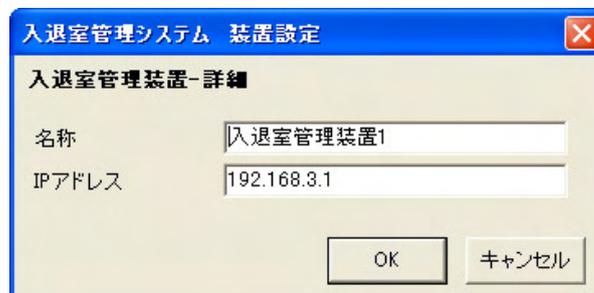
<sup>3</sup> 開始番号を指定しない場合は、同一名称の入退室管理装置が登録されます。

### 13.2.36.2. 入退室管理システム 装置の修正

- (1) 登録済みの入退室管理装置の設定内容を確認することができます。登録済みの入退室管理装置をマウスで選択して、「詳細」ボタンを押します。

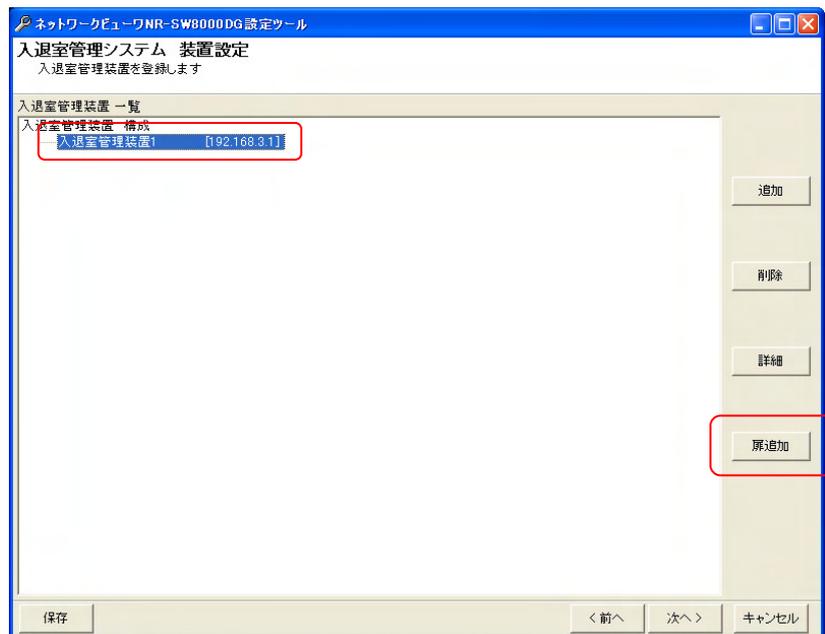


- (2) 入退室管理装置詳細ダイアログが表示されます。設定内容を変更したい場合は、名称、IP アドレスを変更して「OK」ボタンを押して登録します。

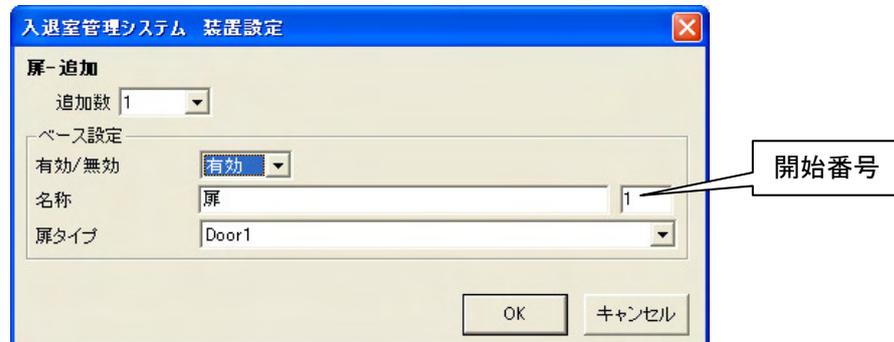


### 13.2.36.3. 入退室管理システム 扉登録

(1) 扉を追加登録する場合、登録済みの入退室管理装置をマウスで選択して、「扉追加」ボタンを押します<sup>1</sup>。



(2) 扉追加ダイアログが表示されます。扉の名称、扉タイプをベース設定に入力して「OK」ボタンを押して登録します。



(3) 扉複数を一括で登録する場合は、「追加数」をリストから選択した後、ベース設定欄<sup>2</sup>を入力します。

(4) 追加される名称は、扉 1、扉 2、…となっています(名称+開始番号)<sup>3</sup>。名称等設定を変更する場合は、「入退室管理システム 扉の修正」(155 ページ)を参照して行ってください。



有効/無効を「無効」とした場合、その扉は入退室管理の対象外となり、地図上にも表示されません。

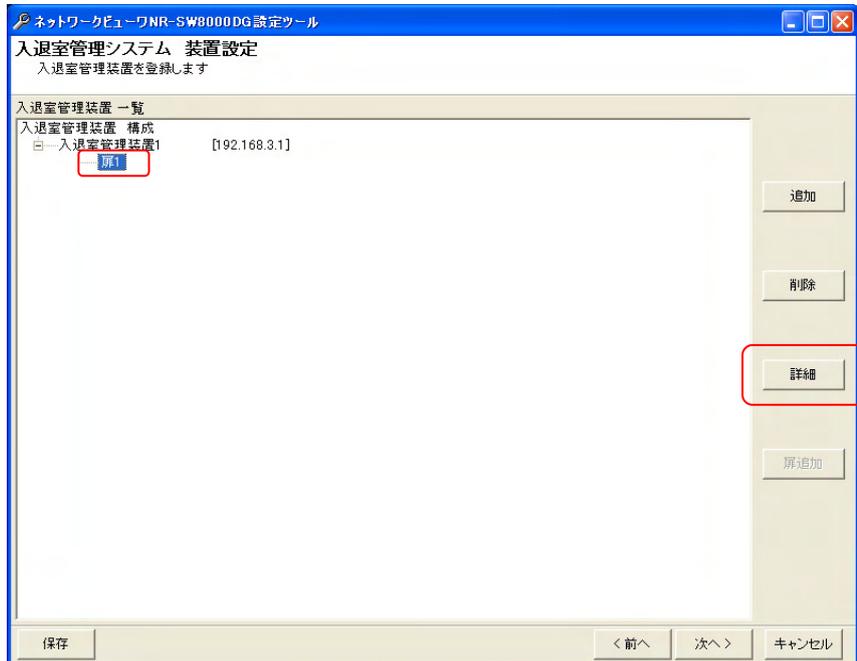
<sup>1</sup> 1つの入退室管理装置に登録できる扉は4つまでです。

<sup>2</sup> 複数の扉を登録する場合の基準となる設定のことです。

<sup>3</sup> 開始番号を指定しない場合は、同一名称の扉が登録されます。

#### 13.2.36.4. 入退室管理システム 扉の修正

- (1) 登録済みの扉の設定内容を確認することができます。登録済みの扉をマウスで選択して、「詳細」ボタンを押します。

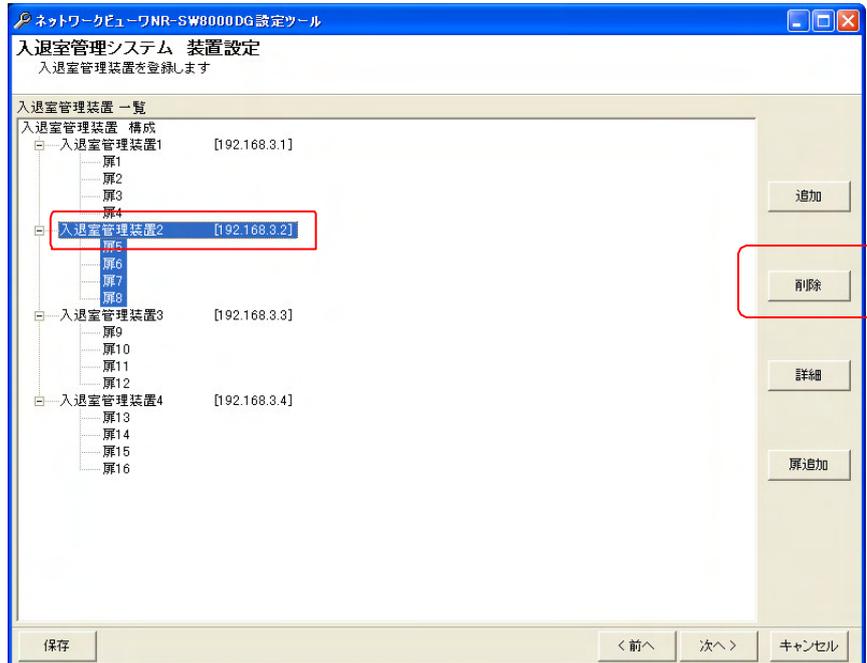


- (5) 扉詳細ダイアログが表示されます。設定内容を変更したい場合は、有効/無効、名称、IP アドレスを変更して「OK」ボタンを押して登録します。



### 13.2.36.5. 入退室管理装置と扉の削除

- (1) 登録済みの入退室管理装置を削除する場合、対象の入退室管理装置名称をマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。<sup>123</sup>



- (2) 登録済みの扉を削除する場合は、扉をマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。
- (3) 「削除」ボタンを押すと確認用のダイアログが表示されますので、削除する入退室管理装置が正しい場合は「はい」ボタンを押して削除します。<sup>4</sup>

<sup>1</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲の入退室管理装置全てが対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数の入退室管理装置が対象になります。

<sup>2</sup> [入退室管理装置構成]を選択した場合、全ての登録済み入退室管理装置が削除対象になります。

<sup>3</sup> 削除する入退室管理装置に扉が登録されている場合は、その扉も削除されます。

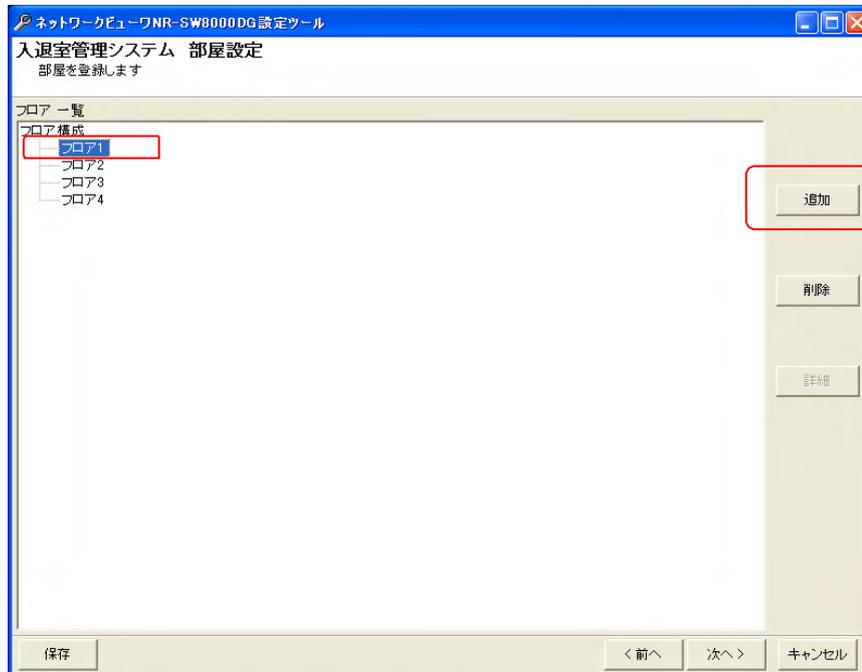
<sup>4</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

### 13. 2. 37. 入退室管理システム 部屋設定

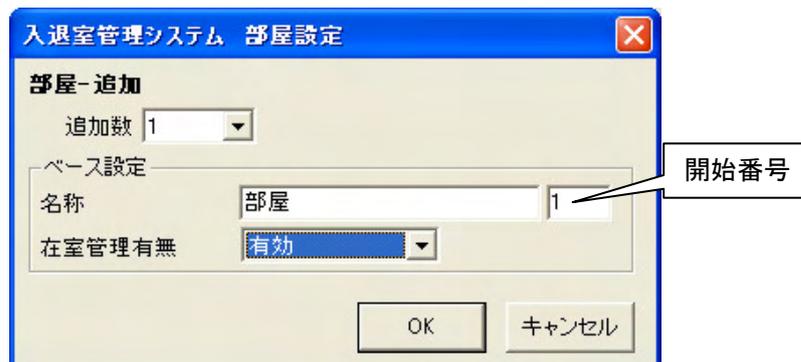
(1) 入退室管理システム(MELSAFETY-P)と連携する部屋を設定します。

#### 13. 2. 37. 1. 入退室管理システム 部屋登録

(1) 部屋を追加登録する場合、登録済みのフロアをマウスで選択して、「追加」ボタンを押します。



(2) 部屋追加ダイアログが表示されます。部屋の名称、在室管理の有無をベース設定に入力して「OK」ボタンを押して登録します。



(3) 部屋複数を一括で登録する場合は、「追加数」をリストから選択した後、ベース設定欄<sup>1</sup>を入力します。

(4) 追加される名称は、部屋 1、部屋 2、…となっています(名称+開始番号)<sup>2</sup>。名称等設定を変更する場合は、「入退室管理システム 部屋の修正」(158 ページ)を参照して行ってください。



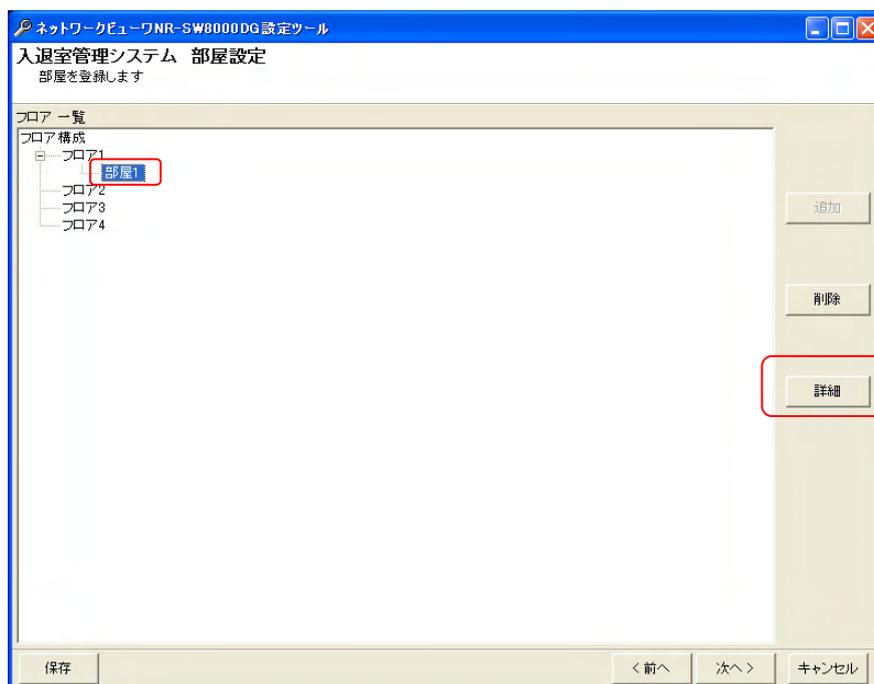
在室管理有無を「無効」とした場合、その部屋は在室管理(66 ページ)の対象外となります。

<sup>1</sup> 複数の部屋を登録する場合の基準となる設定のことです。

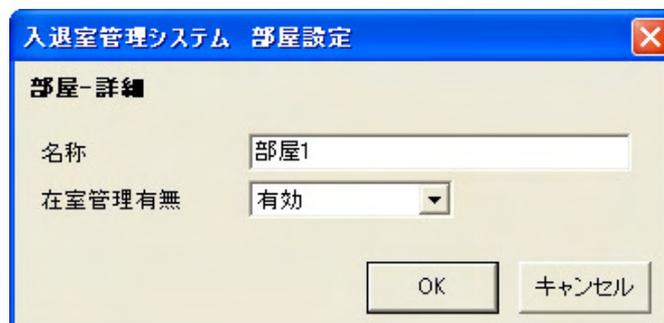
<sup>2</sup> 開始番号を指定しない場合は、同一名称の部屋が登録されます。

### 13.2.37.2. 入退室管理システム 部屋の修正

- (1) 登録済みの部屋の設定内容を確認することができます。登録済みの部屋をマウスで選択して、「詳細」ボタンを押します。

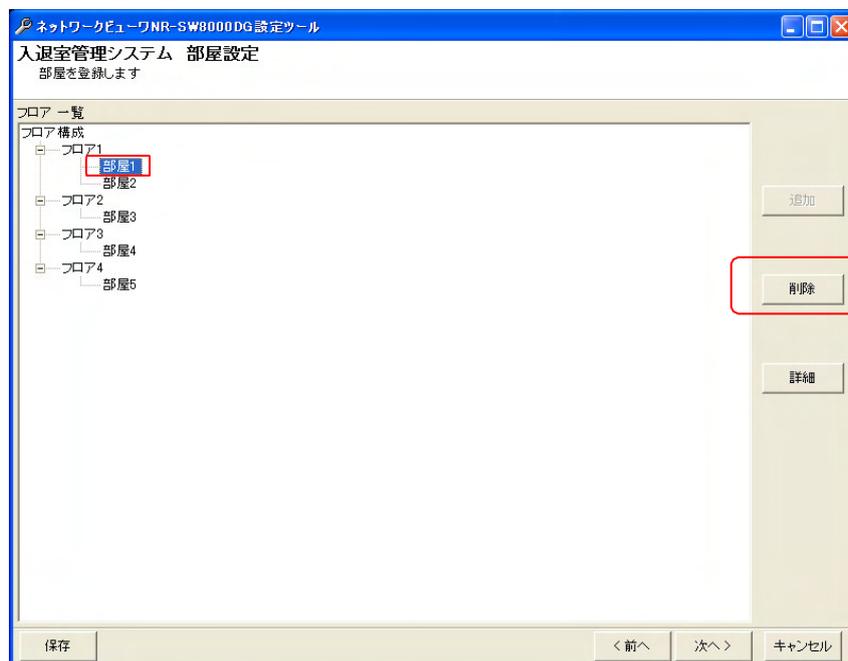


- (2) 部屋詳細ダイアログが表示されます。設定内容を変更したい場合は、名称、在室管理有無を変更して「OK」ボタンを押して登録します。

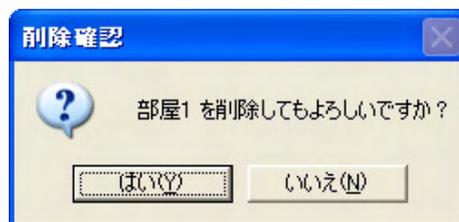


### 13.2.37.3. 入退室管理システム 部屋の削除

(1) 登録済みの部屋を削除する場合、対象の部屋名称をマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。<sup>123</sup>



(2) 「削除」ボタンを押すと確認用のダイアログが表示されますので、削除す部屋が正しい場合は「はい」ボタンを押して削除します。<sup>4</sup>



<sup>1</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲の部屋全てが対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数の部屋が対象になります。

<sup>2</sup> [フロア構成]を選択した場合、全ての登録済みの部屋が削除対象になります。

<sup>3</sup> フロアを選択した場合、そのフロアに登録済みの全ての部屋が削除対象になります。

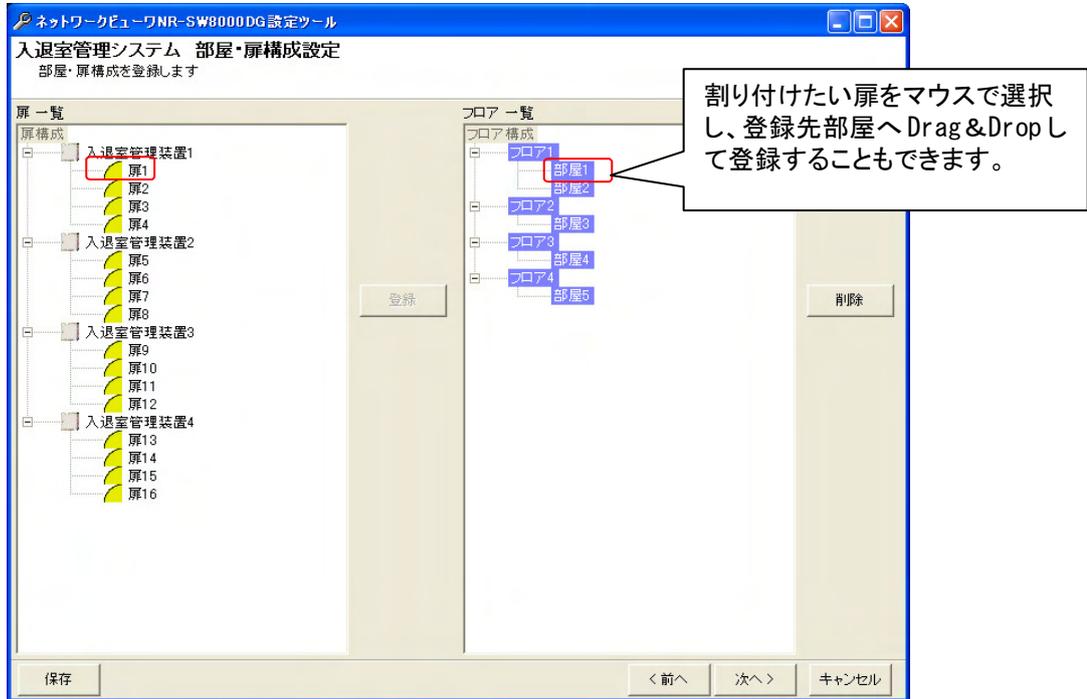
<sup>4</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

### 13. 2. 38. 入退室管理システム 部屋～扉設定

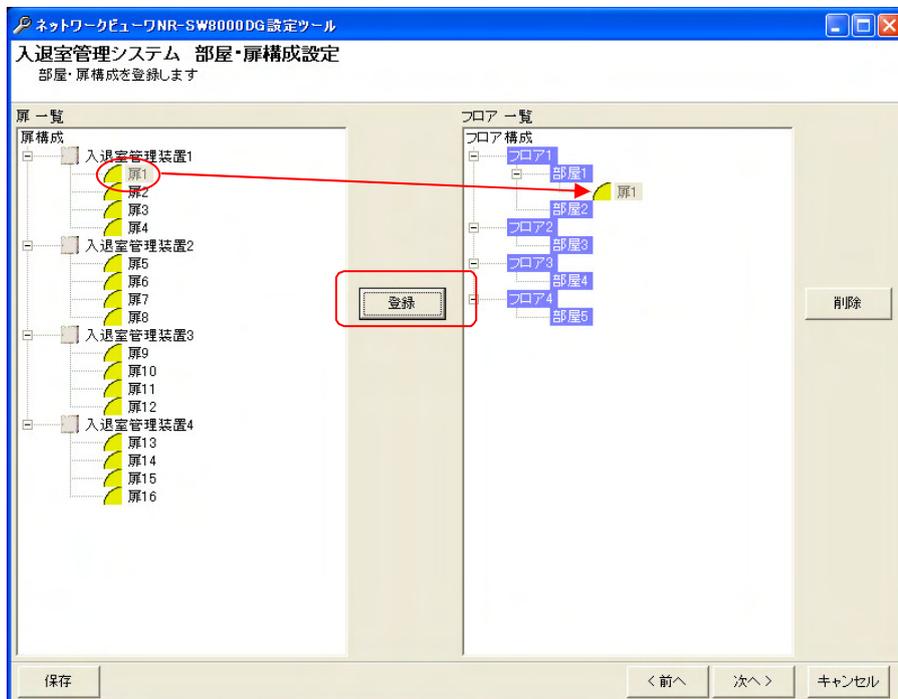
- (1) 「入退室管理システム 装置設定」(152 ページ)で設定した扉を、「入退室管理システム 部屋設定」(157 ページ)で設定した部屋に関連付けます<sup>1</sup>。

#### 13. 2. 38. 1. 扉の部屋設定

- (1) 扉一覧で登録したい扉を選択し、フロアー一覧で扉を登録したい部屋を選択します。



- (2) 「登録」ボタンを押すと、フロアー一覧の部屋に扉が登録されます<sup>2</sup>。



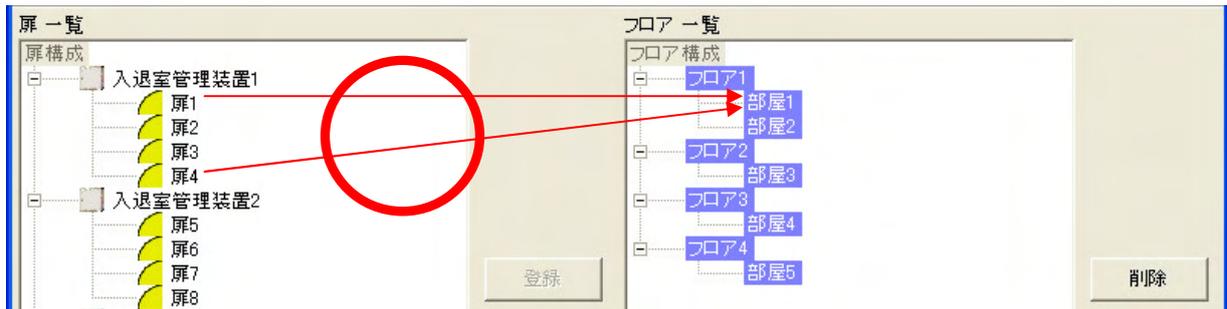
**!** 全ての扉を部屋に割り当てて下さい。

<sup>1</sup> 入退室管理装置～部屋～扉の関連付けを行うことで、入退室管理ができるようになります。

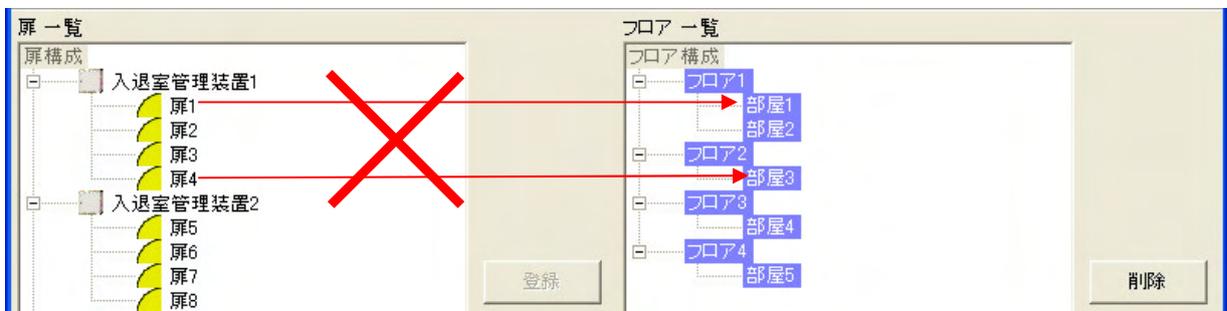
<sup>2</sup> 1つの扉を複数の部屋に登録することはできません。

(3) 入退室管理装置が管理できる部屋は1つ(重複不可)です。その為、同じ入退室管理装置内にある複数の扉を別々の部屋に登録することはできません。入退室管理装置と部屋は1対1の関係にしてください。

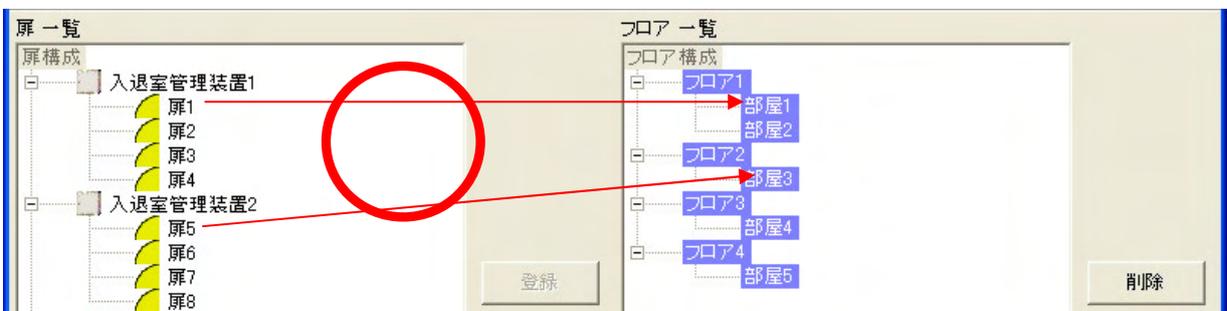
(例 1) 同じ入退室管理装置 1にある扉 1 と扉 4 は、同じ部屋に登録できます。



(例 2) 同じ入退室管理装置 1にある扉 1 と扉 4 は別々の部屋(部屋 1 と部屋 3)には登録できません。



(例 3) 違う入退室管理装置にある扉 1 と扉 5 は、別々の部屋に登録できます。

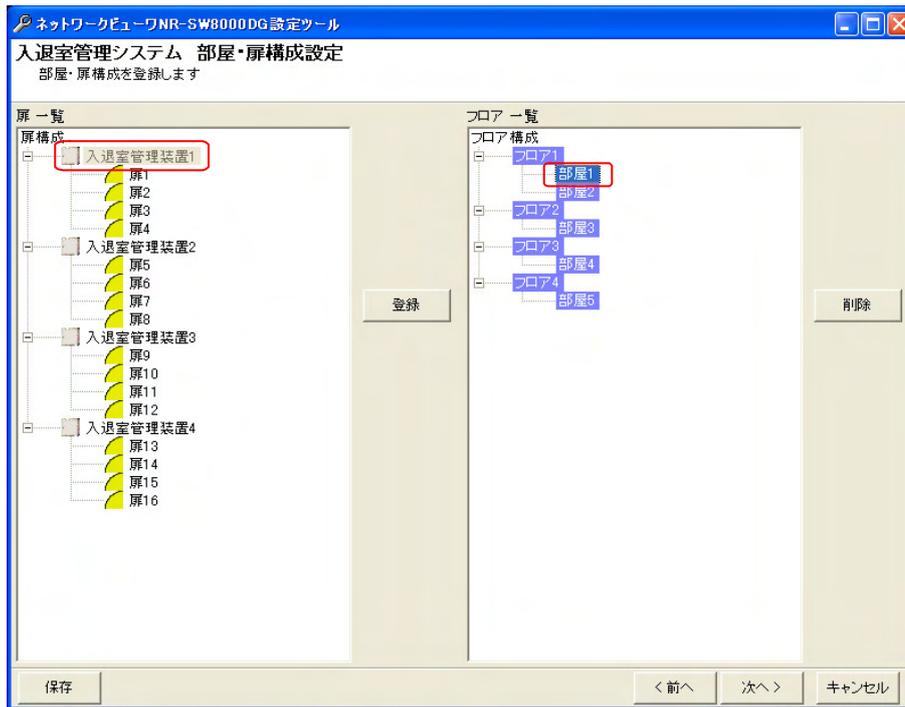


(例 4) 違う入退室管理装置にある扉 1 と扉 5 は、同じ部屋には登録できません。



### 13.2.38.2. 入退室管理装置の部屋設定

(1) 扉一覧で入退室管理装置を選択し、フロアー一覧で扉を登録したい部屋を選択します。



(2) 「登録」ボタンを押すと、入退室管理装置内の扉全てが部屋に登録されます<sup>1</sup>。



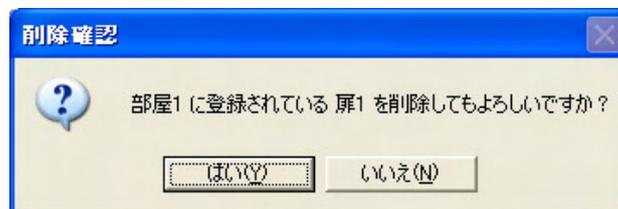
<sup>1</sup> 1つの入退室管理装置を複数の部屋に登録することはできません。

### 13.2.38.3. 扉の部屋設定削除

(1) フロア一覧へ登録した扉を選択し、「削除」ボタンを押します。<sup>1234</sup>



(2) 確認用のダイアログが表示されますので、削除する扉が正しい場合は「はい」ボタンを押して削除します。<sup>5</sup>



<sup>1</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲の部屋全てが対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数の扉が対象になります。

<sup>2</sup> [フロア構成]を選択した場合、全ての登録済みの扉が削除対象になります。

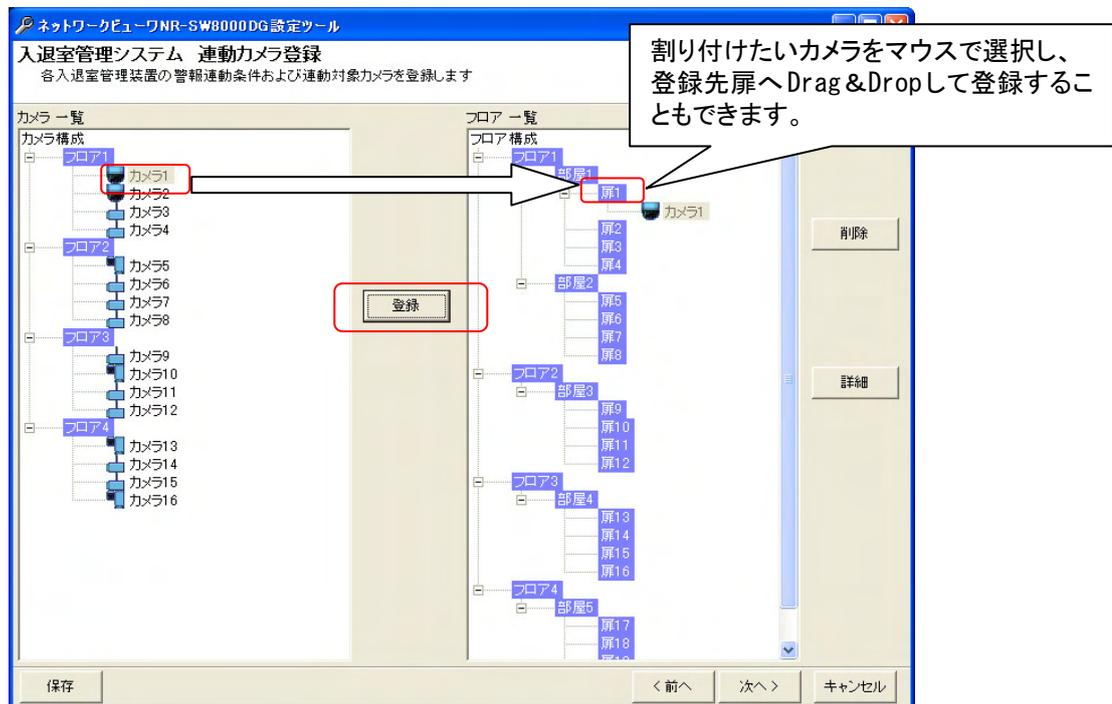
<sup>3</sup> フロアを選択した場合、そのフロアに登録済みの全ての扉が削除対象になります。

<sup>4</sup> 部屋を選択した場合、その部屋に登録済みの全ての扉が削除対象になります。

<sup>5</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

### 13.2.38.4. 入退室管理システム 連動カメラ登録

- (1) 先に登録した扉にカメラを割り付けます。<sup>1</sup>
- (2) 下記ウィンドウの右側(フロアー一覧)でカメラを割り付けたい扉をマウスで選択します。
- (3) 続いて左側のカメラ一覧から、割り付けたいカメラを選択した後、「登録」ボタンを押します。<sup>23</sup>



- (4) 扉にカメラを1台だけ割り付けた場合、映像表示は単画面で表示されます。
- (5) 同様に2台以上を割り付けた場合、映像表示は4画面で表示されます。
- (6) 4画面表示時、扉に登録されている順番に4画面表示(左上→右上→左下→右下)されます。

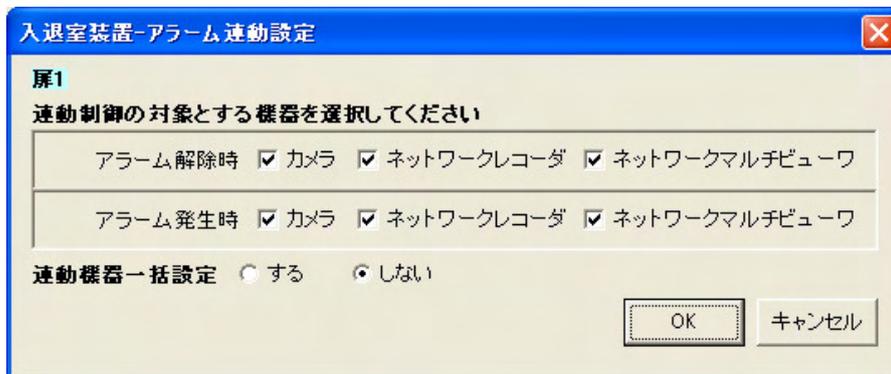
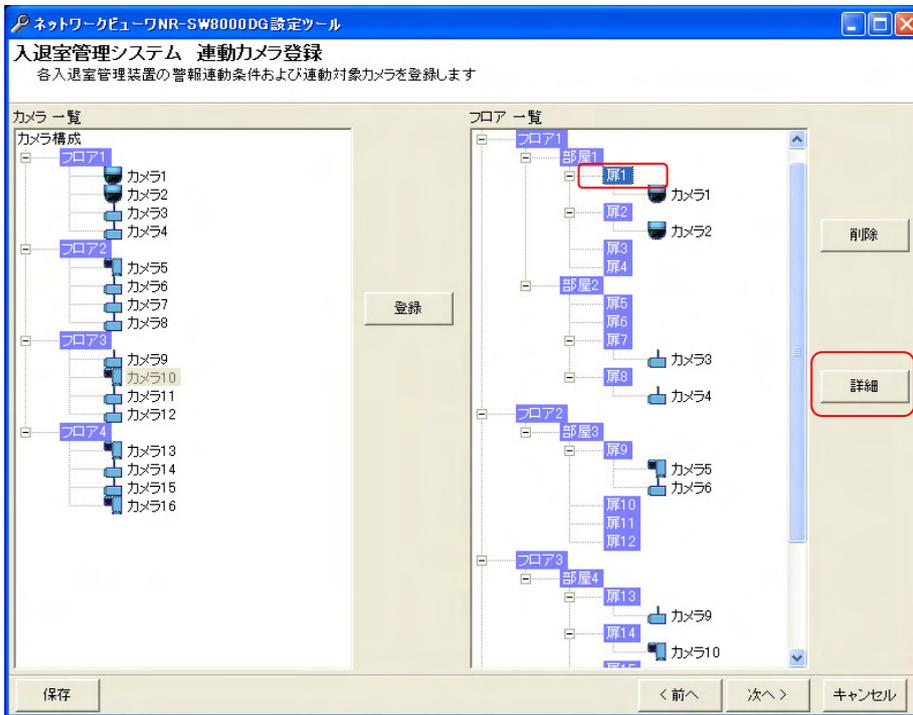
<sup>1</sup> 最大4台まで割付をすることができます。

<sup>2</sup> 1つの扉に同じカメラを割り付けることはできません。

<sup>3</sup> カメラ一覧から入退室管理装置一覧へ Drag&Drop によって割り付けることも可能です。

### 13.2.38.5. 入退室管理システム 扉単位の修正

- (1) 扉単位で、アラーム動作を設定できます。<sup>1234</sup>  
扉に属する全てのカメラの設定、修正の対象になります。カメラ単位での設定、修正は「入退室管理システム 連動カメラの設定、修正」(167 ページ)を参照してください。
- (2) 扉を選択して「詳細」ボタンを押すと、入退室装置 - アラーム連動設定ダイアログが表示されます。



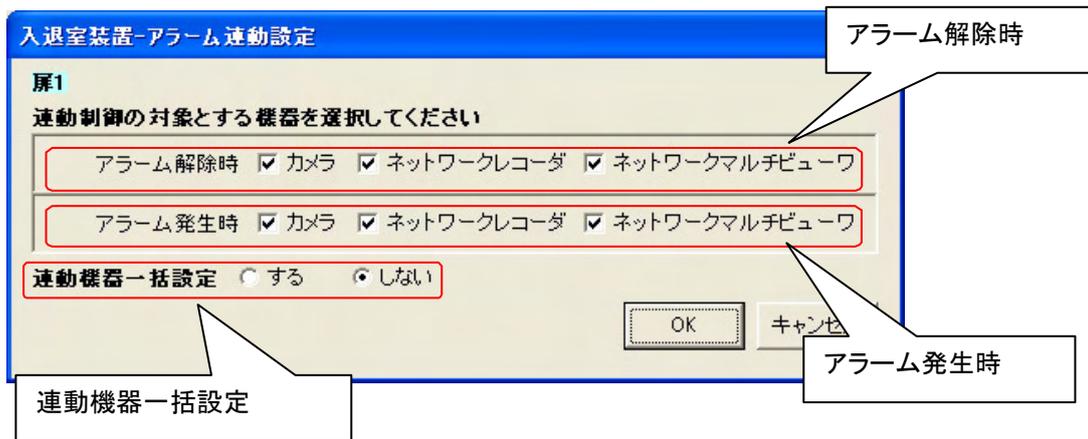
<sup>1</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲のカメラ全てが設定、修正の対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数の扉が対象になります。

<sup>2</sup> [フロア構成]を選択した場合、全ての登録済みのカメラが設定、修正の対象になります。

<sup>3</sup> フロアを選択した場合、そのフロアに登録済みの全てのカメラが設定、修正の対象になります。

<sup>4</sup> 部屋を選択した場合、その部屋に登録済みの全てのカメラが設定、修正の対象になります。

(3) 各種登録を行います。



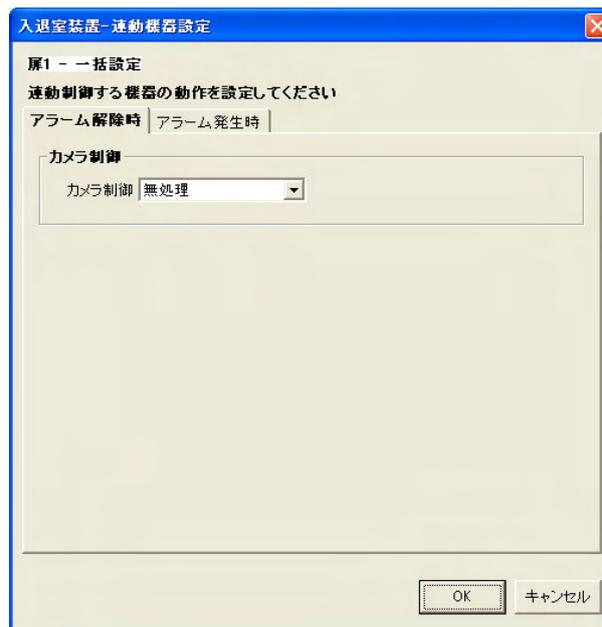
(4) 上図ダイアログ下部で、「アラーム解除時」「アラーム発生時」に連動させる機器をチェックして選択します。(チェックされている場合、連動対象となります。)

表示	意味
アラーム解除時	アラーム解除(復帰)時に、チェックされている機器をデフォルト状態に復帰させます。チェックされていない機器は、アラーム発生時の設定の状態を継続します。
アラーム発生時	アラームが発生したときに、チェックされている機器を連動させます。



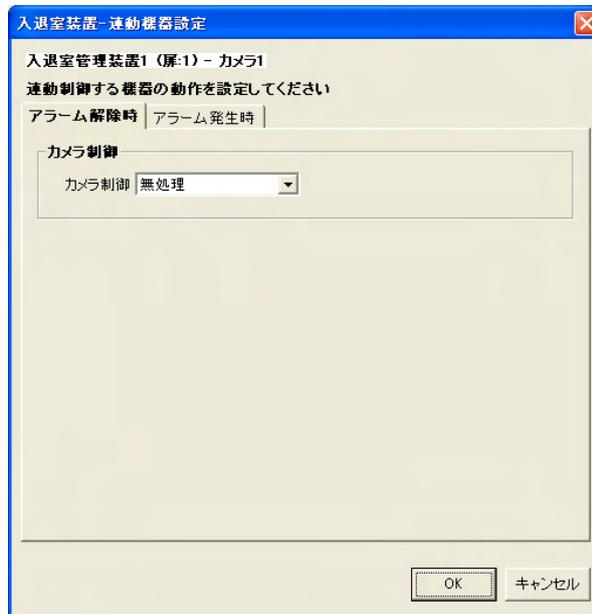
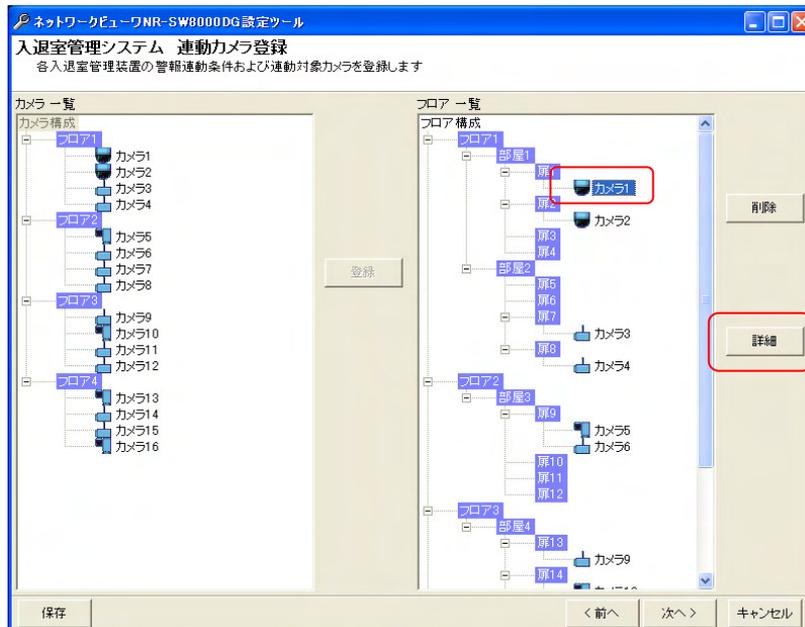
アラーム解除時、ネットワークレコーダの制御を実施しない設定の場合、スケジュール記録が出来なくなりますので注意願います。

(5) 上図ダイアログ下部で、「連動機器一括設定」を「しない」に設定した場合、「OK」ボタンを押すことで登録を完了します。「する」に設定した場合は、「OK」ボタンを押すことで選択中扉に含まれる全カメラの連動設定を行うためのダイアログが表示されます。本設定に関しては、「13.2.38.6 入室管理システム 連動カメラの設定、修正」(167 ページ)を参照してください。



### 13.2.38.6. 入退室管理システム 連動カメラの設定、修正

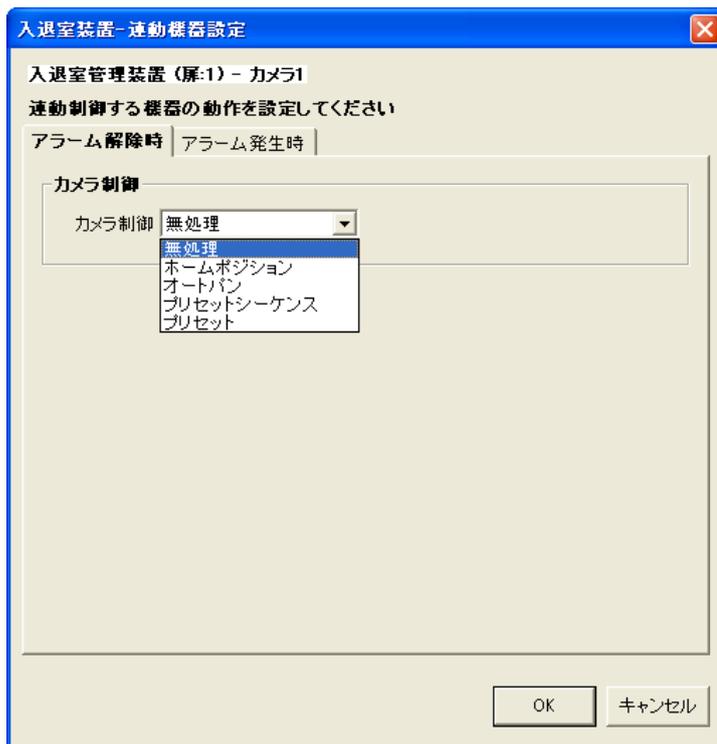
- (1) 扉連動時の運用をカメラ単位で設定します。
- (2) 下図ウィンドウ右側でカメラアイコンを選択し、「詳細」ボタンを押すと、設定用ダイアログが表示されます。



- (6) 設定用ダイアログで「アラーム解除時」「アラーム発生時」の設定を行います。

### 13.2.38.7. アラーム解除時の設定

(1) アラームが解除された時の設定を行います。



(2) カメラ制御は、下記の設定が行えます。

選択項目	内容
無処理	何も動作させません。
ホームポジション	「12.9.ホームポジション」(106 ページ)で登録したホームポジション動作を開始します。
オートパン	オートパンの起動または停止を行います。
プリセット移動	プリセット移動(1~255)を行います。
プリセットシーケンス	プリセットシーケンス(1~5)の起動または停止を行います。

「0

(3) 入退室管理システム 扉単位の修正」(165 ページ)で「ネットワークマルチビューワ」「ネットワークレコーダ」にチェックした場合、デフォルトの状態に戻します<sup>1</sup>。ここでの設定項目はありません。<sup>2</sup>

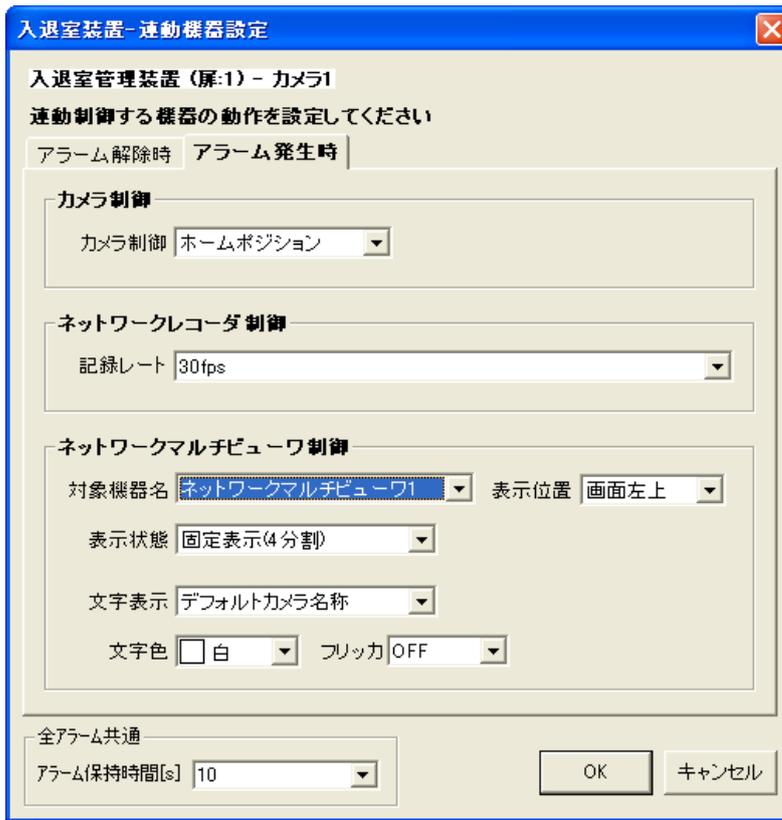
<sup>1</sup> ネットワークマルチビューワのデフォルト状態は、起動時シーケンスで設定した動作になります。(「13.2.17 ネットワークマルチビューワ(NV-4400) の設定の修正」(129 ページ)を参照ください)

ネットワークレコーダのデフォルト状態は、スケジュール設定で登録した記録状態になります。

<sup>2</sup> チェックしない場合、デフォルトの状態に戻りません。

### 13.2.38.8. アラーム発生時

(1) アラームが発生したときの設定を行います。



(2) カメラ制御は、下記の設定が行えます。

選択項目	内容
無処理	何も動作させません。
ホームポジション	「12.9.ホームポジション」(106 ページ)で登録したホームポジション動作を開始します。
オートパン	オートパンの起動または停止を行います。
プリセット移動	プリセット移動(1～255)を行います。
プリセットシーケンス	プリセットシーケンス(1～5)の起動または停止を行います。

(3) ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の制御は、記録レートの設定が行えます。

(4) 記録レートは、30fps,20fps,15fps,10fps,9fps,7.5fps,6fps,5fps,4fps,3fps,2fps,1fps,0.5fps,0.2fps,0.1fps,記録停止 から選択できます。

(5) ネットワークマルチビューワ NV-4400 の制御は、下記の設定が行えます。

項目	内容
表示切り換え	4画面、全画面、シングルシーケンス、マルチシーケンス
文字表示変更	デフォルト文字表示、任意文字表示 <sup>1</sup> 、表示色変更 <sup>2</sup> 、フリッカ制御 <sup>3</sup>

(6) アラーム保持時間は、タイマ解除なし、1～600秒が選択できます。<sup>4</sup>

(7) 時間による自動アラーム解除を行いたくない場合は、「タイマ解除なし」を選択してください。

<sup>1</sup> 表示文字数は8文字までです。

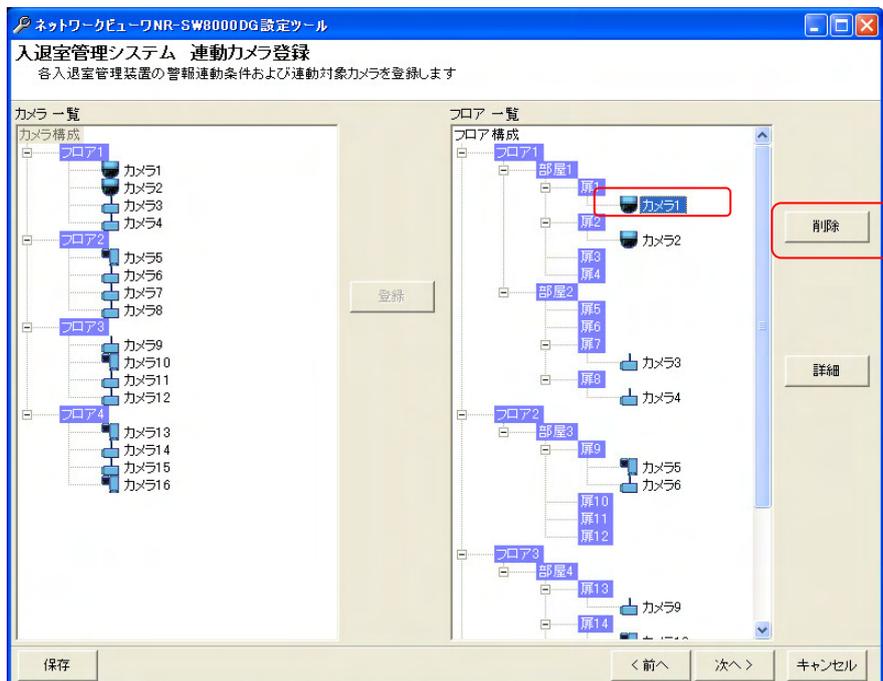
<sup>2</sup> 表示色は、赤/青/水色/白/紫/黄色/緑/灰から選択できます。

<sup>3</sup> フリッカ ON/OFF が制御できます。

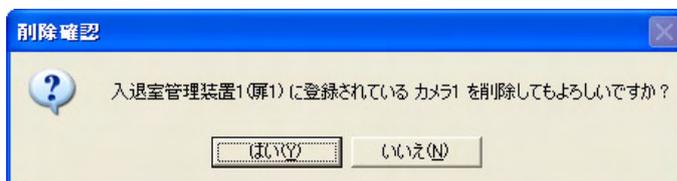
<sup>4</sup> この時間は入室アラーム毎の個別変更はできません(全入室アラーム共通になります)。

### 13.2.38.9. 入退室管理システム 連動カメラ削除

- (1) 登録済みの扉に割付登録したカメラを削除する場合。下図ウィンドウ右側(入退室管理装置一覧)から削除したいカメラをマウスで選択して、「削除」ボタンを押します。<sup>1234</sup>



- (2) 確認用ダイアログが表示されますので、削除するカメラが正しい場合は「はい」ボタンを押します。<sup>5</sup>



<sup>1</sup> Shift キーと併用した場合、指定範囲のカメラ全てが設定、削除の対象になります。Ctrl キーと併用した場合、指定された複数の扉が対象になります。

<sup>2</sup> [フロア構成]を選択した場合、全ての登録済みのカメラが設定、削除の対象になります。

<sup>3</sup> フロアを選択した場合、そのフロアに登録済みの全てのカメラが設定、削除の対象になります。

<sup>4</sup> 部屋を選択した場合、その部屋に登録済みの全てのカメラが設定、削除の対象になります。

<sup>5</sup> 削除をした場合、構成(ツリービュー)が見えなくなる場合があります。その際は、「次へ」ボタンを押して一旦画面を更新し、その後、「前へ」ボタンを押して本画面へ戻り、設定を継続してください。

### 13. 2. 39. 機器故障監視設定

- (1) ネットワーク上に接続されたカメラ、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116、ネットワークマルチビューワ NV-4400、外部アラーム入力装置<sup>1</sup>及び入退室管理装置<sup>2</sup>の故障監視を行うかどうかを設定します。
- (2) 機器故障監視を行う場合は、下図「監視する」を選択し、各種設定を行ってください。

ネットワークビューワNR-SW8000 DG 設定ツール  
ネットワーク機器故障監視設定  
ネットワーク機器の故障監視を行うかどうかを設定します

ネットワーク内の機器故障を監視する場合は、「監視する」を選択してください。

監視する  監視しない

**監視対象**

ネットワークカメラ  ネットワークレコーダ  ネットワークマルチビューワ  
 アラーム入力装置  入退室管理装置

**故障検知間隔**

接続状態取得間隔  [秒] (1~3600)  
レコーダ状態取得間隔  [秒] (1~3600)  
故障検出トライ回数  [回] (0~10)  
復旧検出トライ回数  [回] (0~10)  
定周期状態通知間隔  [秒] (0~300) ※通知しない場合は0を設定する  
定周期故障通知間隔  [秒] (0~3600) ※通知しない場合は0を設定する  
各装置故障通知間隔  [秒] (0~3600) ※連続通知する場合は0を設定する

**外部接点出力**

使用する  使用しない

IPアドレス  Port番号

保存 < 前へ 次へ > キャンセル

監視対象機器を選択してください。

必要に応じて故障検知処理に関する設定を行ってください

故障発生時に外部装置に接点出力するかどうかを設定します。  
※ネットワークビューワから外部接点装置へ接続します。

- (3) 監視対象機器を設定します。<sup>3</sup>
- (4) 必要に応じて故障検知間隔を設定します。通常は、デフォルトで使用ください。
- (5) 故障発生時に外部装置に接点出力するかどうかを設定します。接点出力は1点のみです。<sup>4</sup>  
故障継続中は常時 ON となり、全ての監視対象機器が正常に復旧した場合に限り、出力 OFFとなります。
- (6) 「次へ」を押してください。



同一システム内で複数のネットワークビューワを使用する場合は、機器故障監視は、その内の1台で行うようにしてください。

<sup>1</sup> 対応している外部アラーム入力装置は、三菱製 X-1160 又は、アイネットデバイス社の CommAssist-io です。

<sup>2</sup> 入退室管理システム MELSAFETY-P を連携する場合のみ有効となります。

<sup>3</sup> 監視対象機器が多い場合、故障検知までに時間がかかりますが、異常ではありません。

<sup>4</sup> 対応している接点出力装置は、アイネットデバイス社の CommAssist-io です。

### 13. 2. 40. ネットワークビューワシステム設定

- (1) ネットワークビューワの起動時動作状態を設定することができます。
- (2) 必要に応じて設定を行ってください。



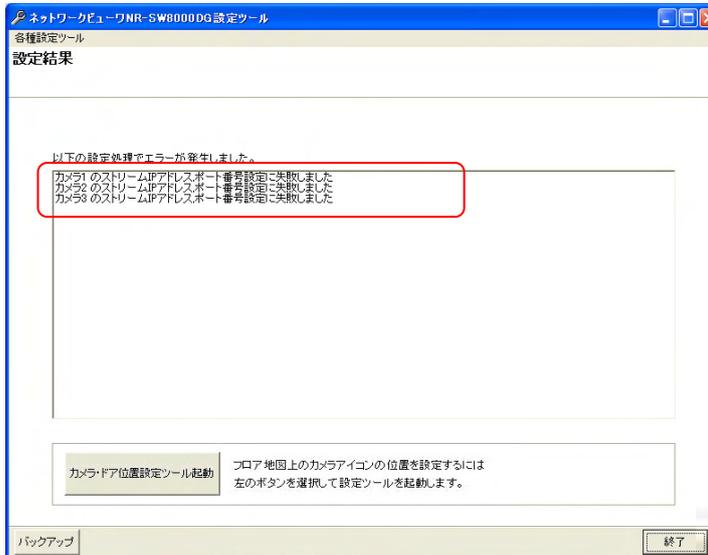
- (3) 「次へ」を押してください。

### 13.2.41. 書込確認

- (1) 以上で設定が終了しました。ここまでの設定を設定ファイルに書き込んで良い場合は「書き込み開始」ボタンを押してください。<sup>1</sup>



- (2) 「書き込み開始」ボタン右側の「各カメラに対して...」をチェックすると、「13.2.10.カメラの登録」(122 ページ)で設定した内容をカメラに書き込み、カメラを再起動します。<sup>2</sup>
- (3) 書き込みには数分かかる場合があります。そのまましばらくお待ちください。
- (4) 書き込みが終了すると設定結果のウィンドウが表示されます。
- (5) カメラの接続が適切ではない場合、以下のメッセージが表示されます。<sup>3</sup>



- (6) ウィンドウ下部の「カメラ・ドア位置設定ツール起動」ボタンを押すと、続いて地図設定ツール(「13.3.3.地図設定」(178 ページ))が表示されます。<sup>4</sup>
- (7) メニュー「各種設定ツール」を選択することで各種ツールを起動することが出来ます。必要に応じて使用ください。
- (8) 「終了」ボタンを押すと、設定ツールは終了します。

<sup>1</sup> 書き込みを行わないと、設定した内容は反映されません。

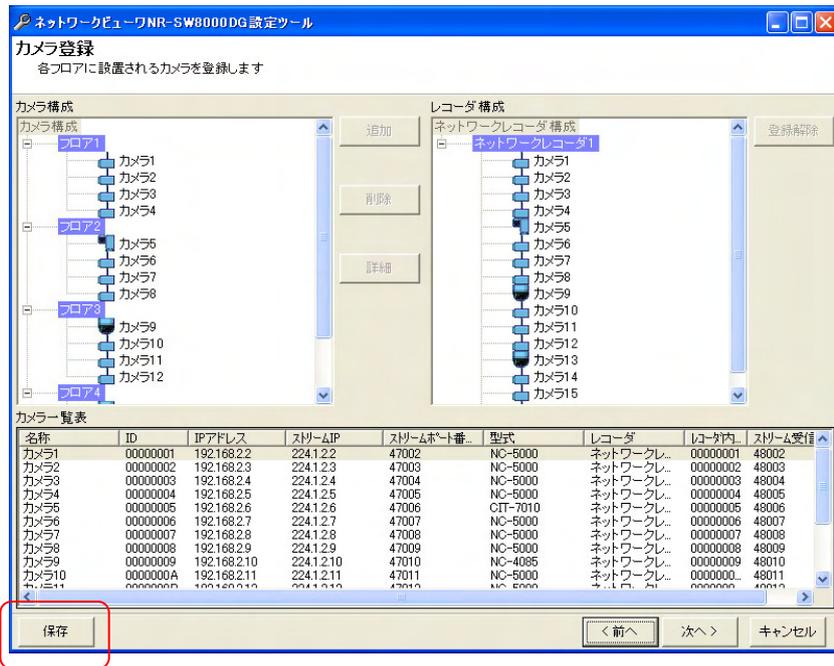
<sup>2</sup> 既にカメラに登録が完了している場合、チェックを外してカメラへの登録を行わないことを推奨します。

<sup>3</sup> カメラとのネットワーク通信が正常に行えなかった場合に表示されます。カメラの電源が切れている、カメラと本コンピュータのネットワークが接続されていない等が考えられます。このメッセージが表示された場合でも、設定内容は設定ファイルに保存されています。

<sup>4</sup> 「13.2.9.フロア構成の設定・修正」(121 ページ)で、フロア地図を1つも設定していない場合、「カメラ・ドア位置設定ツール起動ボタン」は表示されません。

### 13. 2. 42. 設定の一時保存

- (1) 「ネットワークレコーダ追加登録」から「書込確認」までの全ての画面で「保存」を押すと、設定した内容を一時的に保存します<sup>1</sup>。(画面例はカメラ登録画面。)



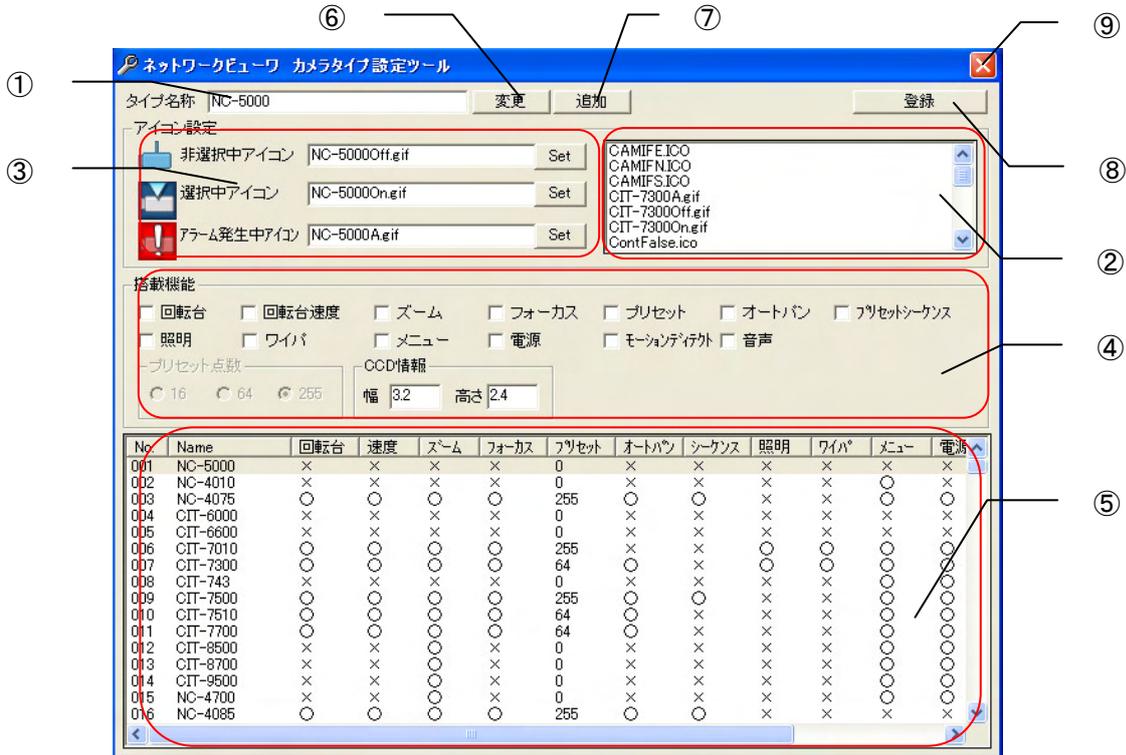
設定項目が多い場合は、定期的に一時保存を行ってください。

<sup>1</sup> 一時保存では設定した内容は反映されません。設定を反映させる場合は、「13.2.41 書込確認 (173 ページ)」で書き込みを行ってください。

## 13.3. 各種ツール

### 13.3.1. カメラタイプ作成(カメラ種別設定ツール)

(1) 新機種カメラやカメラアイコンを変更したカメラタイプを作成することができます。



#### 13.3.1.1. カメラタイプ設定ツール起動

(1) 設定ツールのメニュー項目「各種設定ツール」-「カメラ種別設定ツール」を選択することで起動します<sup>1</sup>。

#### 13.3.1.2. カメラタイプ変更

(1) ⑤のカメラタイプ一覧<sup>2</sup>から変更したいカメラタイプを選択します。

(2) 選択されたカメラタイプの設定情報が、①、③、④に表示されます。

(3) ①、③、④の内容を修正してください。

(3-1) 搭載機能を変更する場合<sup>3</sup>

④にて有効な機能はチェックを付加し、無効な機能からはチェックを外してください。

(3-2) カメラアイコンを変更する場合<sup>4</sup>

②より表示させたいカメラアイコンを選択し、③の「Set」ボタンを押してください。③の表示内容が更新されます。

(3-3) カメラタイプ名称を変更する場合

①のタイプ名称を変更してください。

(4) 変更内容を確認の上、⑥の「変更」ボタンを押してください。

(5) 次に⑧の「登録」ボタンを押して登録してください。

<sup>1</sup> 設定ツールの初期画面にてメニューを選択できます。

<sup>2</sup> ○: 機能あり(数値は、地点数を示します) / ×: 機能なし

<sup>3</sup> カメラの取扱説明書(仕様書)を参照ください。

<sup>4</sup> カメラアイコンは予め¥Data¥CamIconに格納しておいてください。また、指定可能なファイル種は、アイコン、Jpeg、ビットマップ、GIFファイルです。アイコンサイズは、32dopx32dotを推奨します。

### 13.3.1.3. カメラタイプ追加

---

- (1) ⑤のカメラタイプ一覧から追加したいカメラタイプに類似のカメラタイプが「未登録」を選択します。
- (2) 選択されたカメラタイプの設定情報が、①、③、④に表示されます。「未登録」を選択した場合は、未設定状態が表示されます。
- (3) 追加するカメラタイプ名称を①に入力してください。
- (4) ①、③、④の内容を修正してください。「未登録」を選択した場合は、新たに設定してください。
  - (4-1)搭載機能を変更する場合  
④にて有効な機能はチェックを付加し、無効な機能からはチェックを外してください。
  - (4-2)カメラアイコンを変更する場合  
②より表示させたいカメラアイコンを選択し、③の「Set」ボタンを押してください。③の表示内容が更新されます。
- (5) 変更内容を確認の上、⑦の「追加」ボタンを押してください。
- (6) ⑤のカメラタイプ一覧にカメラタイプが追加されたことを確認してください。
- (7) 次に⑧の「登録」ボタンを押して登録してください。

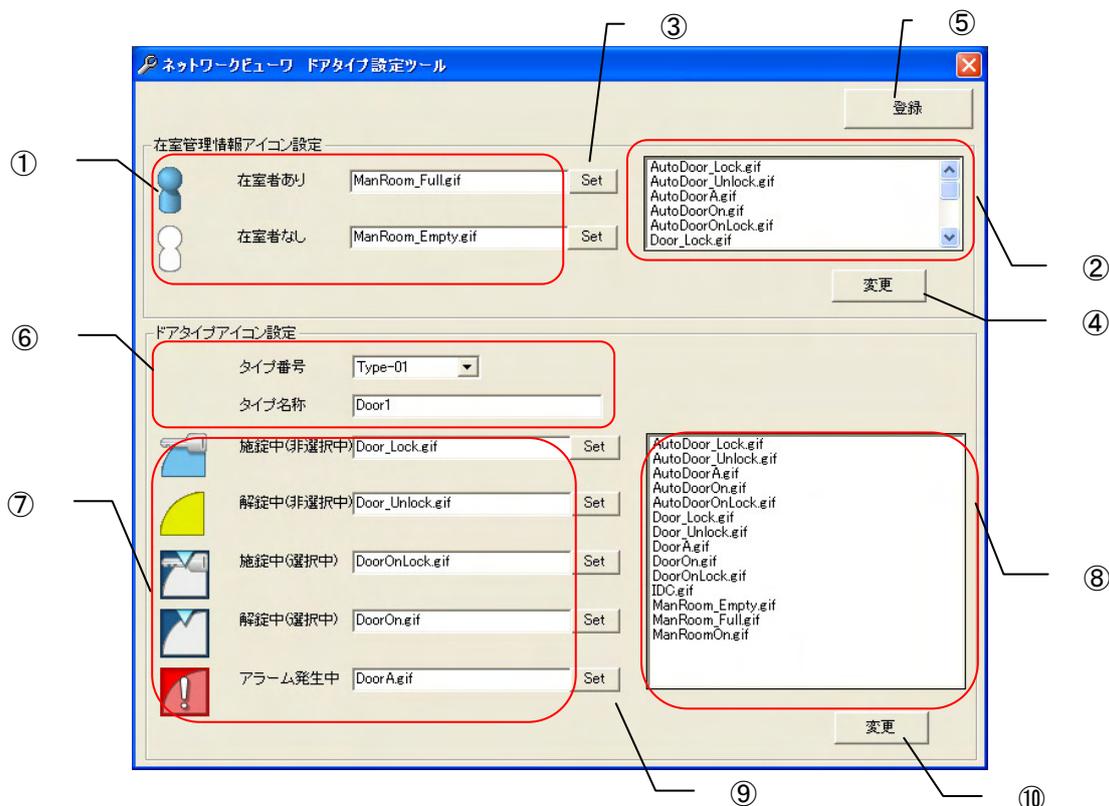
### 13.3.1.4. カメラタイプ設定ツール終了

---

- (1) ⑨の「x」ボタンを押して終了します。

### 13.3.2. ドアタイプ作成(ドア種別設定ツール)

- (1) 在室者管理情報アイコンを変更できます。
- (2) ドアタイプアイコンを変更したドアタイプを作成することができます。



#### 13.3.2.1. ドアタイプ設定ツール起動

- (1) 設定ツールのメニュー項目「各種設定ツール」-「ドア種別設定ツール」を選択することで起動します<sup>1</sup>。

#### 13.3.2.2. 在室者管理情報アイコン設定変更

- (1) ①に現在登録されている在室者管理情報アイコンとファイル名が表示されます。
- (2) ②から変更したいアイコンを選択し、③「Set」ボタンを押下してください。
- (3) ①に変更後のアイコンが表示されますので、それによろしければ④「変更」ボタンを押下し、その後⑤「登録」ボタンを押下してください。

#### 13.3.2.3. ドアタイプ変更

- (1) ⑥のタイプ番号から変更したいドアタイプを選択し、タイプ名称を変更した場合は変更します。
- (2) ⑦に現在登録されているドアタイプアイコンとファイル名が表示されます。未登録の場合は表示されません。
- (3) ⑧から変更したアイコンを選択し、⑨「Set」ボタンを押下してください。
- (4) ⑦に変更後のアイコンが表示されますので、それによろしければ⑩「変更」ボタンを押下し、その後⑤「登録」ボタンを押下してください。



「変更」ボタンを押下せずに「登録」ボタンを押しても変更内容が反映されません。

<sup>1</sup> 設定ツールの初期画面にてメニューを選択できます。

### 13.3.3. 地図設定 (カメラ・ドア位置設定ツール)

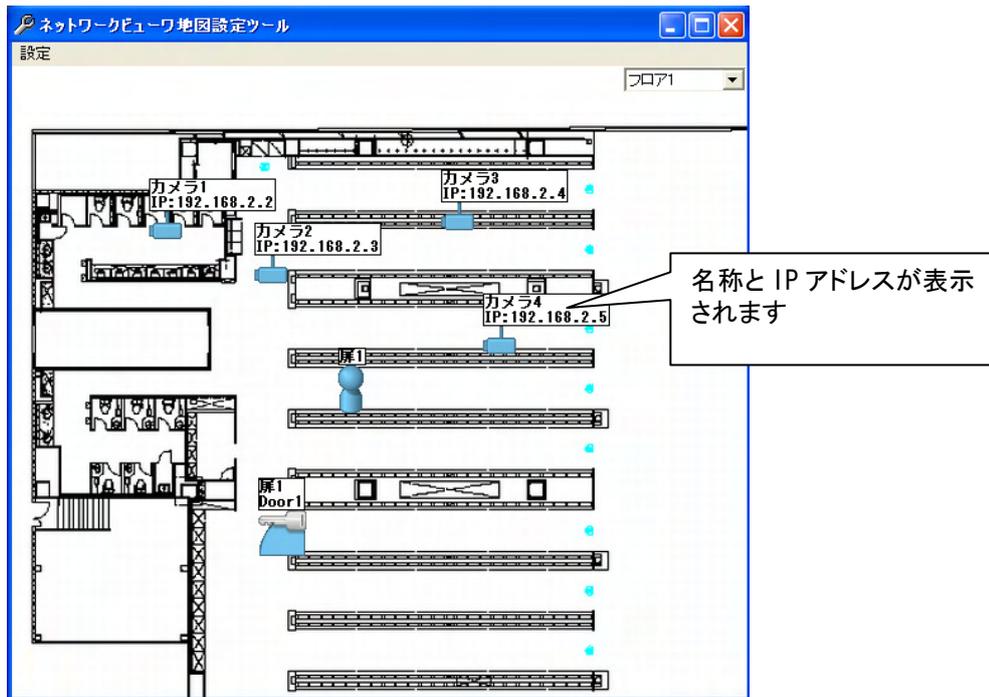
- (1) 地図に登録済みの台番アイコン、カメラアイコンの位置を修正します。

#### 13.3.3.1. 地図設定ツール起動

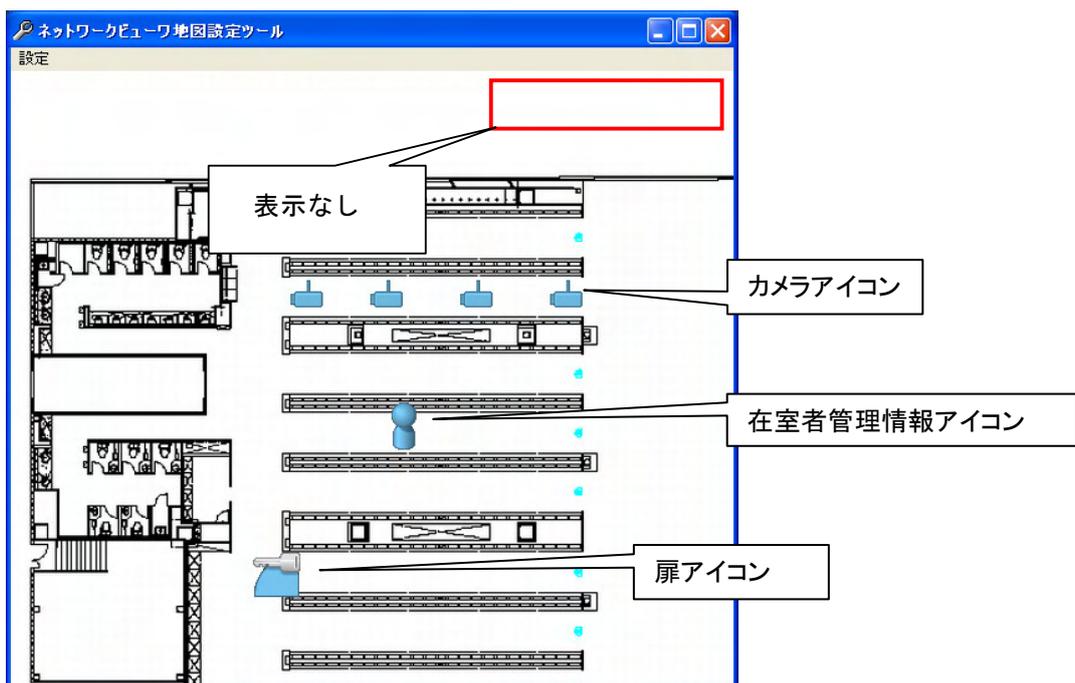
- (1) 設定ツールのメニュー項目「各種設定ツール」-「カメラ・ドア位置設定ツール」を選択するか、設定結果表示画面(最終画面)で「カメラ・ドア位置設定ツール起動」ボタンを押すことで起動します<sup>1</sup>。

#### 13.3.3.2. カメラアイコン、扉アイコン、在室アイコン位置の調整

- (1) 各アイコンをマウスでクリック、ドラッグして所望の位置へ移動します。
- (2) 「設定」-「名称表示」で、名称の表示/非表示を設定することができます。



- (3) 「設定」-「フロア選択コントロール表示」で、ウィンドウ右上の「フロア選択コントロール」の表示/非表示を設定することができます。



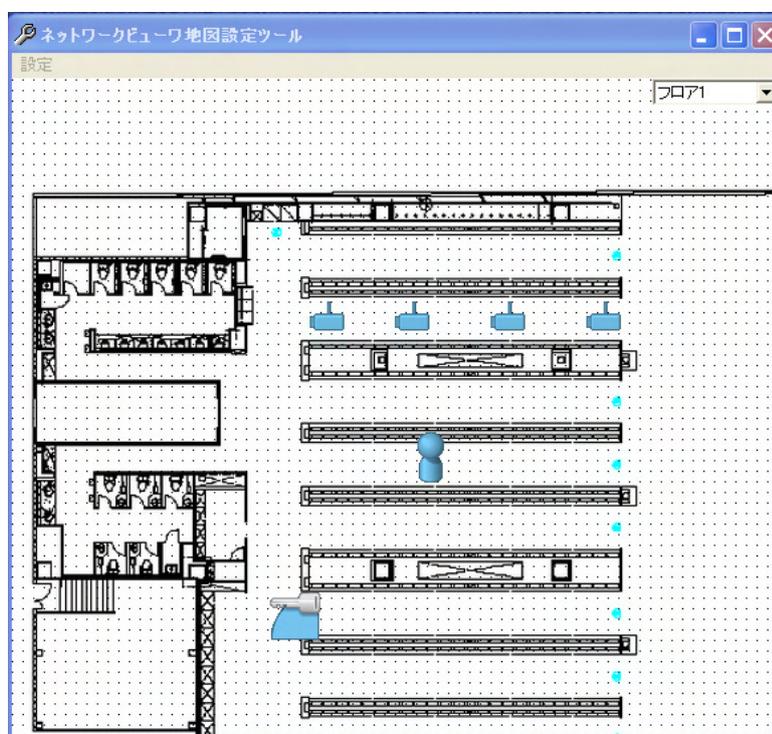
<sup>1</sup> 設定ツールの初期画面及び設定結果表示画面(最終画面)にてメニューを選択できます。

### 13.3.3.3. グリッド、スナップの設定

(1) 「設定」-「グリッド/スナップ」を選択すると、「グリッド設定」メニューが表示されます。



(2) グリッドの間隔を設定して表示をチェックして、OKボタンを押すと、グリッドが表示されます。



(3) メニューで「スナップ」をチェックすると、台番アイコン、カメラアイコンの配置位置がグリッド単位になります。

### 13.3.3.4. 保存

(1) フロアごとに「設定」-「保存」を選択して、保存します。

### 13.3.3.5. 地図設定ツール終了

(1) 画面右上の「x」ボタンを押して終了します。

### 13.3.4. 顔画像設定(画像画像設定ツール)

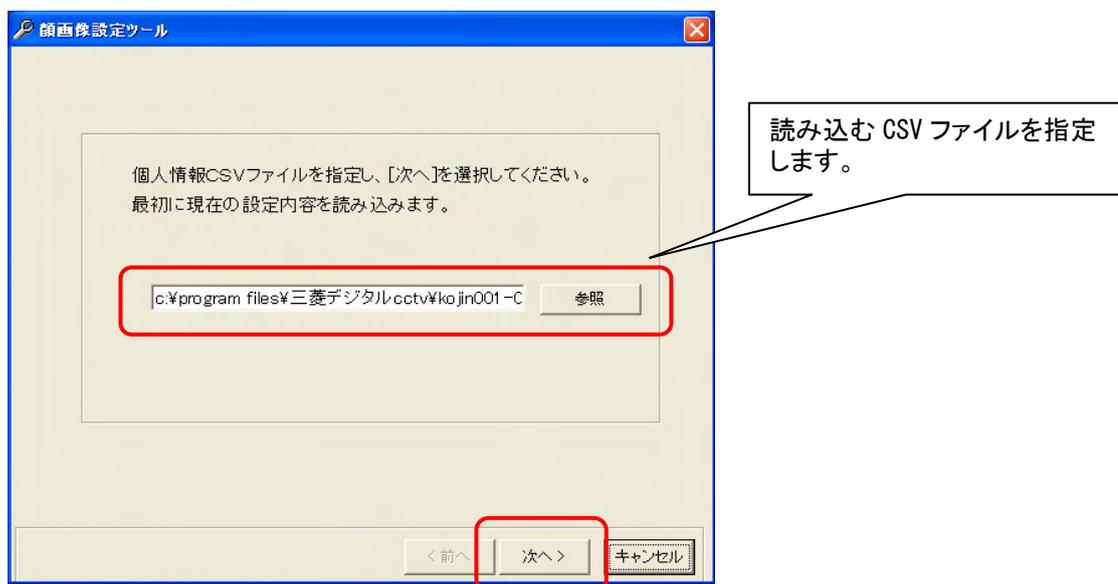
(1) 入退室管理システムで管理している個人情報の顔画像設定を行います。

#### 13.3.4.1. 顔画像スケジュール設定ツール起動

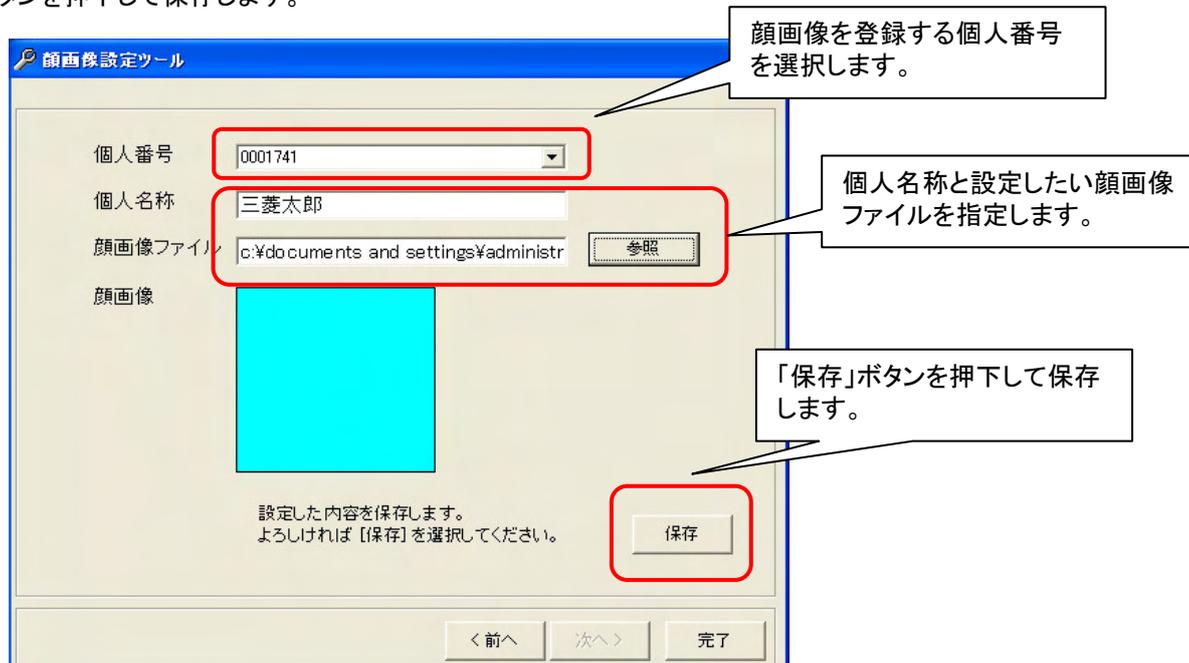
(1) 設定ツールのメニュー項目「各種設定ツール」-「顔画像設定ツール」を選択することで起動します<sup>1</sup>。

#### 13.3.4.2. 顔画像スケジュール設定ツール設定

(1) 入退室管理システム側で作成した個人情報 CSV ファイル<sup>2</sup>を読み込みます(TXT ファイルでも可)。CSV ファイルの保存場所を指定し、「次へ」を押下してください。



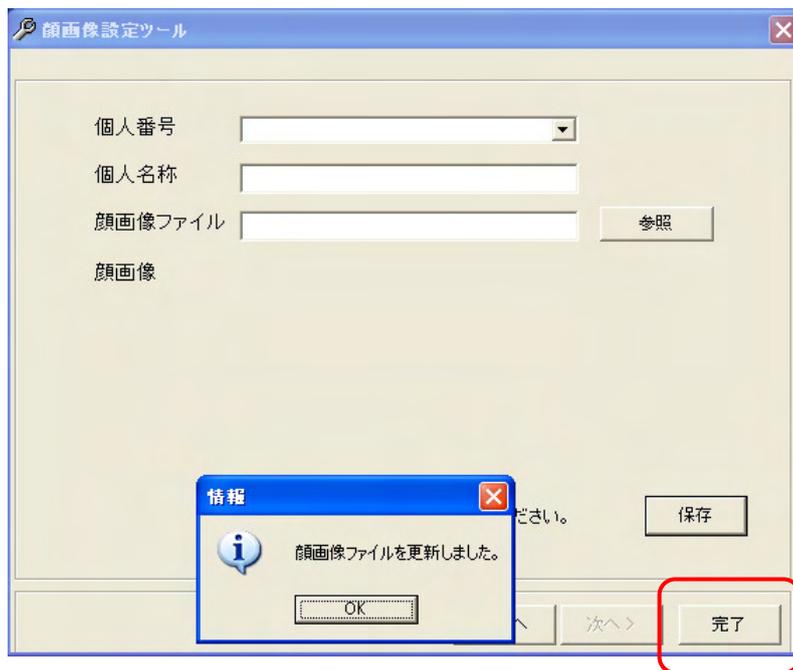
- (2) 顔画像設定画面が表示されます。顔画像を設定する個人番号を選択します。
- (3) 選択した個人番号に登録したい、個人名称と顔画像ファイルを選択します。
- (4) 顔画像ファイルを選択した場合、下図水色の部分に顔画像が登録されます。
- (5) 「保存」ボタンを押下して保存します。



<sup>1</sup> 設定ツールの初期画面及び設定結果表示画面(最終画面)にてメニューを選択できます。

<sup>2</sup> 個人情報 CSV ファイルは入退室管理システム MELSAFETY-P で作成できます。詳細は MELSAFETY-P の取扱説明書を参照してください。

- (6) 顔画像が保存完了すると「顔画像ファイルを更新しました」ダイアログが表示されます。「OK」を押下し、「完了」ボタンを押下して顔画像設定ツールを終了します。



### 13.3.5. スケジュール設定(スケジュール設定ツール)

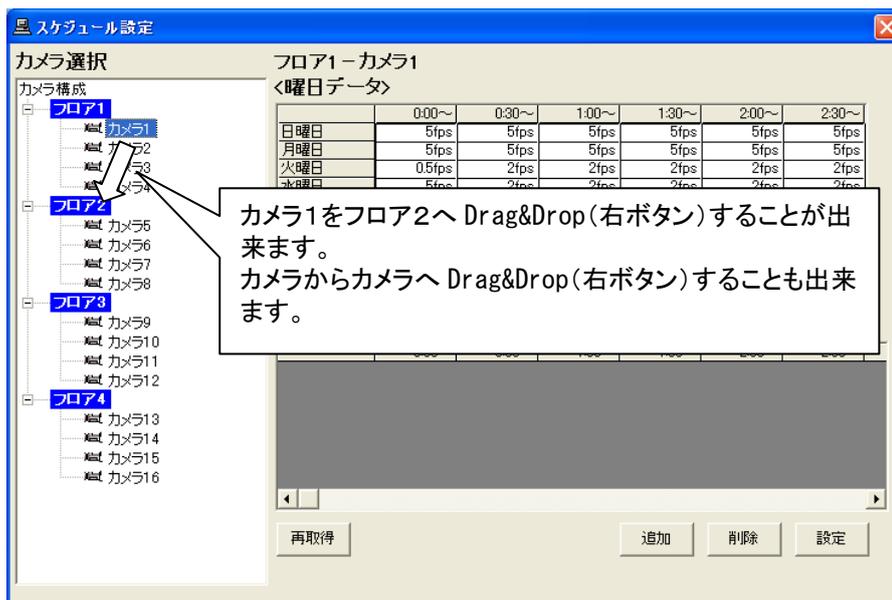
- (1) ネットワークレコーダのスケジュール記録設定を行います。

#### 13.3.5.1. スケジュール設定ツール起動

- (1) 設定ツールのメニュー項目「各種設定ツール」-「スケジュール設定ツール」を選択することで起動します<sup>1</sup>。

#### 13.3.5.2. スケジュール設定 (一括設定)

- (1) スケジュール内容を別のカメラにコピーすることができます。
- (2) 基準となるスケジュールを設定してください。スケジュールの設定方法は、「12.8 スケジュール」(103 ページ)を参照ください。
- (3) 基準となるカメラをマウスの右ボタン<sup>2</sup>でドラッグし、コピー先のカメラ又はフロアにドロップしてください<sup>3</sup>。



一括設定は、システム運用中には、絶対に実施しないでください。ネットワークレコーダの記録レートが低下することがあります。

#### 13.3.5.3. スケジュール設定ツール終了

- (1) 画面右上の「x」ボタンを押して終了します。

<sup>1</sup> 設定ツールの初期画面及び設定結果表示画面(最終画面)にてメニューを選択できます。

<sup>2</sup> 左ボタンでのドラッグ&ドロップは出来ません。

<sup>3</sup> カメラからフロア又はカメラからカメラへ全データを一括でコピーします。本機能は、設定ツールから起動した場合のみ有効となります。

### 13.3.6. パスワードの変更(パスワード変更ツール)

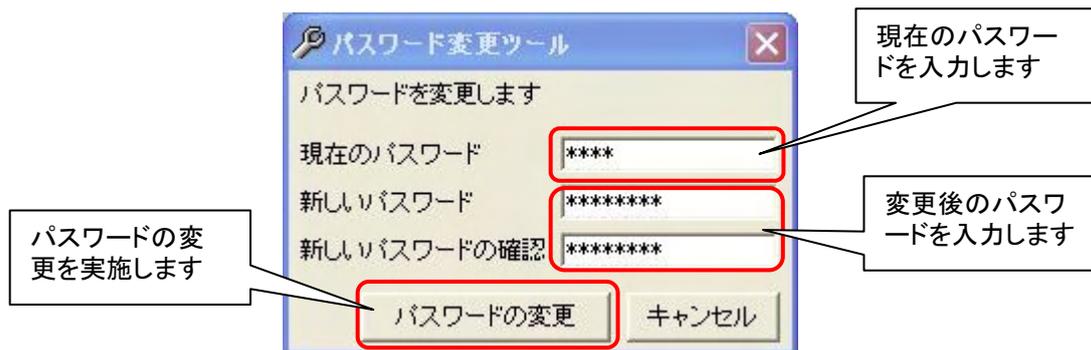
- (1) パスワードの変更方法について記述します。パスワードの変更は、専用のアプリケーションを使用して行います。本アプリケーションを使用して変更したパスワードは、即座に有効になります。

#### 13.3.6.1. パスワード変更ツール起動

- (1) 設定ツールのメニュー項目「各種設定ツール」-「パスワード設定ツール」を選択することで起動します<sup>1</sup>。

#### 13.3.6.2. パスワード変更<sup>2</sup>

- (1) 現在のパスワード及び変更後のパスワードを入力します<sup>3</sup>。  
(2) パスワードの入力が完了したら「パスワード変更」ボタンをクリックします<sup>4</sup>。



- (3) パスワードの変更に成功した場合は、下記のメッセージが表示されます。  
(4) 「OK」ボタンを押してください。



#### 13.3.6.3. パスワード変更ツール終了

- (1) 「キャンセル」ボタン又は画面右上「x」ボタンを押して終了します。

<sup>1</sup> 設定ツールの初期画面及び設定結果表示画面(最終画面)にてメニューを選択できます。

<sup>2</sup> 出荷時設定では、CCTVとMKDIGITALの2つのパスワードが登録されています。パスワードが変更された場合もパスワード種別による権限は継承されます。

<sup>3</sup> パスワードに登録できる文字数は最大で16文字までです。また、登録可能な文字種は半角英数字記号になります。登録できない文字を入力しようとしても入力できません。

<sup>4</sup> パスワード変更を行わない場合は、「キャンセル」ボタン又は、「x」ボタンをクリックしてください。

## 14. 高度な設定

---

- (1) 以下、高度な設定について記述します。
- (2) 十分理解の上、慎重に行ってください。

### 14.1. ネットワークマルチビューワ NV-4400 の自動ボタンを表示する

---

- (1) 「10.2.17. モニタ制御パネル」(70 ページ)のモニタ制御切換え部に、「自動」ボタンを追加することができます。
- (2) SystemInfo.ini<sup>1</sup>ファイル内の[NV44]セクション部にある SeqEnable=0 を SeqEnable=1 に変更することで、「自動」ボタンが表示されるようになります。

```
;  
[Font]  
FontSizeNormal1=9  
FontSizeNormal2=9  
FontSizeNormal3=9  
FontSizeNormal4=8  
FontSizeFull1=14  
FontSizeFull2=10  
FontSizeFull3=10  
FontSizeFull4=10  
  
[NV44]  
SeqEnable=0  
;
```

- (3) 「自動」ボタンの動作については、「10.2.17.2. 自動切換」(71 ページ)を参照してください。

---

<sup>1</sup> C:\Program Files\三菱デジタルCCTV\INI フォルダ内にあります。(デフォルトのままインストールした場合)

## 14.2. 最大記録レートを変更する

- (1) ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 で、カメラ1台あたりの記録(再生)最大記録レートを変更することができます<sup>1</sup>。
- (2) SystemInfo.ini<sup>2</sup>ファイル内の[MaxRate]セクション部にある Type=1 を 1~4、または 0<sup>3</sup>(ネットワークレコーダ NR-7110/7116 を使用する場合は、14.2.1 最大記録レートを変更する(NR-7110/7116)[186 ページ]を参照ください)にすることで、所望の最大記録レートに変更することができます。<sup>4</sup>

<b>MaxRate]</b> <b>Type=1</b> MaxRate=5 Split4=1 Split9=1 Split16=1 Split1MaxRate=1 Split4MaxRate=1 Split9MaxRate=1 Split16MaxRate=1 Split1Scaler=1 Split4Scaler=1 Split9Scaler=1 Split16Scaler=1 Split1FF=1 Split4FF=1 Split9FF=1 Split16FF=1
---

- (3) 最大記録レートの設定により、その他の運用条件が変更になります。(デフォルトは、Type=1 です。)

Type	最大記録レート	再生表示形態	最大早送り/早戻し	分割ボタン	スライドバー	早送り/早戻しボタン
1	5fps	単画	x100	○	○	○
		4画	x4	○	○	○
		9画	x4	○	○	○
		16画	x4	○	○	○
2	10fps	単画	x100	○	○	○
		4画	x4	○	○	○
		9画	x4	○	○	○
		16画	x2	○	—	○
3	15fps	単画	x100	○	○	○
		4画	x4	○	○	○
		9画	x2	○	—	○
		16画	x1	○	—	—
4	30fps	単画	x100	○	○	○
		4画	x2	○	—	○
		9画	x1	○	—	—
		16画	-	—	—	—

- (4) 上表中、「—」は「対応不可」および「表示されないボタン、スライドバー」を示します。<sup>5</sup>

<sup>1</sup> システム全体として一意に設定するする必要がありますので、システム構成内の最大負荷値を元に設定してください。

<sup>2</sup> C:\Program Files\三菱デジタルCCTV\INI フォルダ内にあります。(デフォルトのままインストールした場合)

<sup>3</sup> 0での運用はさらに高度な知識を要します。詳細については、販売店または工場までお問い合わせください。

<sup>4</sup> 設定を変更したら、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 を再フォーマットしてください。再フォーマットの詳細については、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 の取扱説明書を参照してください。

<sup>5</sup> たとえば、Type=3 時は、9、16画面再生時はスライドバーが表示されません。また、16画面再生時は早送り/早戻しボタンが表示されません。

#### 14. 2. 1. 最大記録レートを変更する(NR-7110/7116)

ネットワークレコーダ(NR-7110/7116)を使用したシステムでは、カメラの配信レートや使用するネットワークレコーダの RAID 構成等により下表の設定を実施する必要があります。本設定に従わない場合、ネットワークレコーダ NR-7110/7116 が正常に動作しない可能性がありますので注意願います<sup>1</sup>。

##### [RAID0/1 の場合]

カメラの最大送信レート(fps)	10			15				30						
同時記録本数(本)	33-64			17-32				1-16						
最大記録レート(fps)	1	2	5	1	3	5	15	1	2	3	5	10	15	30
Type	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MaxRate	1	2	5	1	3	5	15	1	2	3	5	10	15	30
Split4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
Split9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
Split16	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0
Split1MaxRate	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
Split4MaxRate	4	4	4	4	4	4	2	4	4	4	4	4	4	2
Split9MaxRate	4	4	2	4	4	4	1	4	4	4	4	4	2	1
Split16MaxRate	4	2	1	4	4	2	1	4	4	4	4	2	1	1
Split1Scaler	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
Split4Scaler	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
Split9Scaler	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0
Split16Scaler	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0
Split1FF	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
Split4FF	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
Split9FF	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0
Split16FF	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0

##### [RAID5 の場合]

カメラの最大送信レート(fps)	10		15			30			
同時記録本数(本)	33-64		17-32			1-16			
最大記録レート(fps)	1	1	3	5	1	2	3	5	
Type	0	0	0	0	0	0	0	0	
MaxRate	1	1	3	5	1	2	3	5	
Split4	1	1	1	0	1	1	1	1	
Split9	1	1	1	0	1	1	1	1	
Split16	0	1	1	0	1	1	1	1	
Split1MaxRate	100	100	100	4	100	100	100	100	
Split4MaxRate	4	4	4	1	4	4	4	4	
Split9MaxRate	4	4	2	1	4	4	4	2	
Split16MaxRate	1	4	1	1	4	4	2	1	
Split1Scaler	1	1	1	1	1	1	1	1	
Split4Scaler	1	1	1	0	1	1	1	1	
Split9Scaler	1	1	1	0	1	1	1	1	
Split16Scaler	0	1	0	0	1	1	1	0	
Split1FF	1	1	1	1	1	1	1	1	
Split4FF	1	1	1	0	1	1	1	1	
Split9FF	1	1	1	0	1	1	1	1	
Split16FF	0	1	0	0	1	1	1	0	

<sup>1</sup> 詳しくは、ネットワークレコーダ NR-7110/7116 の取扱説明書を参照するか、販売店または工場までお問い合わせください。

### 14.3. 自分の IP アドレスを登録する(ネットワークカードを2枚使用する場合)

---

- (1) ネットワークカードを2枚使用するシステムでは、カメラからのストリームをどのネットワークカードから受信するかを指定する必要があります。以下の手順に従い、ストリームを受信するネットワークカードの IP アドレスを登録してください<sup>1</sup>。
- (2) SystemInfo.ini<sup>2</sup>ファイル内の[SYSTEM]セクション部にある"PC\_IP="キーにカメラからのストリームを受信する IP アドレスを追記してください。以下に例を示します。

例) 192.168.1.1 でカメラのストリームを受信する場合、  
PC\_IP=192.168.1.1

- (3) 本アプリケーションを再起動してください。

---

<sup>1</sup> ネットワークカードを1枚しか使用しない場合は、本設定は実施する必要はありません。

<sup>2</sup> c:\Program Files\三菱デジタルCCTV\INI フォルダ内にあります。(デフォルトのままインストールした場合)

#### 14. 4. WAV ファイル

- (1) WAV フォルダに"Alarm.wav" のファイル名で保存しておく、アラーム発生時に音を鳴らすことができます。<sup>1</sup>
- (2) WAV フォルダに"Breakdown.WAV" のファイル名で保存しておく、機器故障発生時に音を鳴らすことができます。
- (3) WAV ファイルは、C:\Program Files\三菱デジタルCCTV\Data\WAV フォルダ下に格納します。

#### 14. 5. アプリケーションタイトルの変更

- (1) Title フォルダに"Title.jpg" のファイル名で保存しておく、本ソフトウェアのタイトル表示が変更できます。
- (2) Title フォルダに"mapTitle.jpg" のファイル名で保存しておく、本ソフトウェアの平面図表示画面<sup>2</sup>のタイトル表示が変更できます。
- (3) ファイルは、C:\Program Files\三菱デジタルCCTV\Data\Title フォルダ下に格納します。

#### 14. 6. 設定ファイルのバックアップ

- (1) 設定ファイルは、C:\Program Files\三菱デジタルCCTV フォルダ下の「INI フォルダ」、「Data フォルダ」、「Cont フォルダ」内に保存されています。
- (2) それぞれのフォルダごと<sup>3</sup>、バックアップ、コピーを行うことで、同設定内容を他のコンピュータに反映させることができます。

### 15. 初期値

- (1) ソフトウェアをインストールすると、下記値が初期値として設定されます。
- (2) 必要に応じて、設定内容を修正してください。

項目	初期値	備考
カメラ台数	16台	
カメラ名称	カメラ1～16	
カメラ型式	NC-5000	カメラ1～16共に、NC-5000。
カメラ IP アドレス	192.168.2.2～192.168.2.17	
ストリーム IP アドレス	224.1.2.2～224.1.2.17	
ストリームポート番号	47002～47017	
フロア構成	フロア1～フロア4	階層:1 フロア1:カメラ1～4 フロア2:カメラ5～8 フロア3:カメラ9～12 フロア4:カメラ13～16
ネットワークレコーダ	1台	IP アドレス:192.168.2.201
NV-4400	なし	
外部接点入力装置	なし	

<sup>1</sup> インストールを行うと、1つの wav ファイルが入っています。音はコンピュータのサウンドデバイスから出力されます。

<sup>2</sup> デュアルモニタ使用時に有効となります。

<sup>3</sup> フォルダ配下のファイルすべて。

## 16. おかしいな?と思ったら

症状	ここをお調べください	参照ページ
カメラ制御が行えない。	コンピュータのネットワークは設定されていますか？	—
	カメラのゲートウェイアドレスは正しく設定されていますか？	—
キャプチャボタンが表示されない	最大記録レートと、記録画像再生の表示形態(4、9、16分割表示)によっては表示されない場合があります。	185
カメラ設定メニュー (Mode,Up,Down)が表示されない	メンテナンス時のパスワードによっては、表示されません。	93
NV-4400 に映像が表示されない。	NV-4400 側の設定を確認してください。	130
モニタ制御に自動ボタンが無い	デフォルトでは自動ボタンは表示されません。 「14.1.ネットワークマルチビューワ NV-4400 の自動ボタンを表示する」を参照してください。	184
バックアップ画像の再生が円滑でない	バックアップ画像は、記録フレームレートによらず、10 フレーム/秒で再生されます。	89
記録映像の再生が円滑でない	最大記録レートの設定を変更した場合、ネットワークレコーダ NR-7000/7110/7116 を再フォーマットして運用する必要があります。	185
アラーム時に音が鳴らない	スピーカの電源、音量に問題はありませんか？ サウンドデバイスは正常に動作していますか？	188
設定ツールで登録したフロアが表示されない	登録したフロアにカメラは登録されていますか？	122
フロアに登録した扉が表示されない	扉が有効になっていますか？	154
フロアに在室管理アイコンが表示されない(部屋が在室管理されない)	部屋の在室管理有無は有効になっていますか？	157

## 17. エラーメッセージ

※斜字は、エラー毎に変わる詳細情報になります。

### (1) 起動関係

種別	表記	原因	対処
エラー	既に起動しています。	既にアプリケーションが起動している状態で再度、起動しようとした	特になし
エラー	設定が不正です。設定を見直してください。 初期設定ファイル名[セクション名]キー名	初期設定ファイルの内容に誤りがあった	再設定してください
エラー	地図ファイルが存在しません。 地図ファイル名	地図ファイルが見つからなかった	再設定してください
エラー	カメラアイコン設定が不正です。 カメラアイコンファイル名が存在しません。	カメラアイコンファイルが見つからなかった	再設定してください
エラー	初期設定ファイル名が存在しません。	必要な初期設定ファイルが見つからなかった	再設定してください
エラー	初期設定ファイル名がありません。再度設定し直して下さい。 入退室機能を無効として起動します。	入退室管理を行う為に必要な初期設定ファイルが見つからなかった	再設定してください
エラー	設定が不正です。設定を見直してください。 有効な扉が存在しません。 入退室機能を無効として起動します。	有効な扉が見つからなかった。	扉の再設定をしてください
エラー	設定が不正です。設定を見直してください。 初期設定ファイル名[セクション名]キー名 入退室機能を無効として起動します。	初期設定ファイルの内容に誤りがあった	再設定してください
確認	終了してもよろしいですか？	アプリケーションを終了しようとした	特になし

### (2) 再生制御関係

種別	表記	原因	対処
エラー	システムがビジーです:カメラ名	ネットワークレコーダがビジー状態に再生制御を実施した	しばらくしてから再度、再生制御してください
エラー	カメラが選択されていません	カメラ未選択状態で再生制御を実施した	再生したいカメラを選択してから再生制御してください
エラー	時刻指定が不正です	再生開始時刻指定で不正な時刻(未来時刻等)を指定した	再生開始時刻を再設定してください
エラー	時刻指定が不正です:カメラ名	範囲外の時刻を指定してネットワークレコーダに再生制御を実施した	再生開始時刻を再設定してください
エラー	以下のレコーダとの通信ができません。 ネットワークレコーダIPアドレス	表示されたIPアドレスのネットワークレコーダとの通信に失敗した(緊急録画時)	接続を確認してください
エラー	再生する映像がありません:カメラ名	表示されたカメラの映像が指定された時刻、記録されていなかった	再生開始時刻を再設定し、再度、再生制御してください
エラー	レコーダとの通信が切断されました:カメラ名	再生中にネットワークレコーダとの通信が切断された	再生開始時刻を再設定し、再度、再生制御してください

## (3) キャプチャ制御関係

種別	表記	原因	対処
エラー	データが存在しません	キャプチャ画像表示又は削除時に選択したファイルが存在しなかった	画像一覧で再読み込みを実施してください
エラー	キャプチャ用ディスクの容量が足りません キャプチャ画像を削除してください	キャプチャ画像保存ドライブの空き容量が 100MB 以下になった	キャプチャ画像等の削除を行い、保存ドライブの空き容量を増やしてください
エラー	最大蓄積枚数を超えています。最古フォルダを削除してください。	キャプチャ画像が保存可能枚数を超えた	保存可能枚数は、最大で10000枚です。不要な画像を削除してください
エラー	保存先ディスクの容量が足りません	保存先のディスク容量が足りず、ファイルコピーが出来ない	保存先ディスクの空き容量を確認後、再度、実行してください
エラー	保存先ディスクに書き込み出来ません	保存先ディスクにデータが書き込めなかった	保存先ディスクの属性を確認後、再度、実行してください
エラー	保存先ドライブが存在しません	保存先ドライブが存在しない為にファイルの保存が出来なかった	保存先ドライブの存在を確認後、再度、実行してください
確認	ファイルの読み込みをキャンセルしました	画像一覧表示中に表示をキャンセルした	特になし
確認	このフォルダには既にファイル名ファイルが存在します。上書きしますか？	静止画コピー時にコピー先フォルダに同一ファイル名のファイルが存在した	特になし
確認	削除してもよろしいですか？	静止画が削除しようとした	特になし

## (4) 登録関係

種別	表記	原因	対処
エラー	最大文字数(全角 15 文字)を超えています。もう一度入力してください。	プリセット名称又はカメラ名称登録で最大登録可能文字数を超えて登録しようとした	全角 15 文字以内で登録しなおしてください
エラー	自動スキャン登録数が最大です 登録内容を一部削除してから再登録してください 最大登録可能数=255	自動スキャン登録で最大登録可能数以上の登録をしようとした	最大 255 画面以内で登録しなおして下さい
エラー	最大蓄積枚数を超えています。最古フォルダを削除してください。	メンテナンス用のパスワード入力不正であった	正しいパスワードを再入力してください

## (5) バックアップ再生関係

種別	表記	原因	対処
エラー	バックアップデータが存在しません	バックアップ再生で指定したデータが見つからなかった	データの削除を実施した場合は、元に戻してください
エラー	指定のフォルダにはデータが存在しません 保存元フォルダを再確認してください	バックアップ再生時、保存元フォルダにデータが見つからなかった	保存元フォルダを確認後、再度、実行してください

## (6) スケジュール設定

種別	表記	原因	対処
エラー	登録可能最大数は30件です 新規追加はできません	特定日追加で登録可能最大数を 超えて追加しようとした	特定日の最大登録可能数は30で す。最大登録可能数以内で登録し てください
エラー	削除する特定日データを選択してください	特定日を選択しないで削除を実行 した	削除する特定日を選択した後、削 除を実行してください
エラー	設定する特定日データを選択してください	特定日を選択しないで設定を実行 した	設定する特定日を選択した後、設 定を実行してください
エラー	取得するカメラを選択してください	カメラを選択しないで登録内容の取 得を実行した	カメラを選択後、再度、実行してく ださい
エラー	設定する曜日データを選択してください	曜日を選択しないで設定しようとし た	曜日を選択後、再度、実行してく ださい
エラー	サーバから応答がありません[ネットワークレ コーダIPアドレス] 接続等を再確認してください	ネットワークレコーダからの登録内 容取得・更新処理に失敗した	ネットワークレコーダへの接続等を 確認後、再度、実行してください
エラー	データの取得に失敗しました[ネットワークレ コーダIPアドレス]	ネットワークレコーダからの登録内 容取得処理で特定のカメラのデー タ取得に失敗した	ネットワークレコーダへの接続等を 確認後、再度、実行してください
エラー	データの登録に失敗しました[ネットワークレ コーダIPアドレス]	ネットワークレコーダへのデータ登 録処理で特定のカメラのデータ更 新に失敗した	ネットワークレコーダへの接続等を 確認後、再度、実行してください
エラー	有効なカメラがありません	スケジュール設定する有効なカメラ が設定されていない	設定内容を確認後、再度、実行して ください
エラー	有効なネットワークレコーダがありません	有効なネットワークレコーダが設定 されていない	設定内容を確認後、再度、実行して ください
エラー	ネットワークレコーダにカメラが登録されてい ません	ネットワークレコーダにカメラが割り 付けられていない	設定内容を確認後、再度、実行して ください
エラー	設定年データが不正です。再度設定を行っ てください。	不正な年月日でスケジュールを登 録しようとした	2004～2255年以内のスケジュ ール登録をしてください
エラー	すでに同一日付のデータが登録されていま す。	既に同一日付でスケジュール登録 されている	設定内容を確認後、再度、実行して ください
エラー	変更する蓄積レートを選択してください	記録レート未設定の状態で登録し ようとした	記録レートを設定後、再度、実行し てください
エラー	データの登録に失敗しました[ネットワークレ コーダIPアドレス] 設定を確認してください	ネットワークレコーダへのデータ登 録要求に対してコマンド異常が発生 した	設定しなおして、再度、実行してく ださい
確認	登録内容を削除しますがよろしいですか？	登録内容を削除した	特になし
確認	カメラ名のデータを再取得します よろしいですか？	選択されたカメラの登録内容を再取 得した	特になし
確認	登録内容を変更しますがよろしいですか？	設定内容の変更処理を実行した	特になし
エラー	初期設定ファイルが見つかりませんファイル 名	初期設定ファイルが見つからなかつ た	ファイルを確認してください

## (7) 機器監視関係

エラー	カメラ名が通信異常	カメラとの通信に失敗した	接続の設定、ケーブルを見直してください。
通知	カメラ名eが通信復旧	カメラとの通信が復旧した	特になし
エラー	ネットワークレコーダ名が通信異常	ネットワークレコーダとの通信に失敗した	接続の設定、ケーブルを見直してください
通知	ネットワークレコーダ名が通信復旧	ネットワークレコーダとの通信が復旧した	特になし
エラー	ネットワークレコーダ名のカメラ名が蓄積停止	ネットワークレコーダでの蓄積が停止した	ネットワークレコーダの設定及び接続を見直してください。
通知	ネットワークレコーダ名のカメラ名が蓄積復旧	ネットワークレコーダでの蓄積が復旧した	特になし
エラー	ネットワークレコーダ名のカメラ名が受信停止	ネットワークレコーダでの受信が停止した	ネットワークレコーダの設定及び接続を見直してください
通知	ネットワークレコーダ名のカメラ名が受信復旧	ネットワークレコーダでの受信が復旧した	特になし
エラー	ネットワークレコーダ名がRAIDエラー	ネットワークレコーダでRAIDエラーが発生した	販売店にご確認ください
通知	ネットワークレコーダ名がRAIDエラー復旧	ネットワークレコーダでRAIDエラーが復旧した	特になし
エラー	ネットワークマルチビューワ名が通信異常	ネットワークマルチビューワとの通信に失敗した	接続の設定、ケーブルを見直してください
通知	ネットワークマルチビューワ名が通信復旧	ネットワークマルチビューワとの通信が復旧した	特になし
エラー	外部アラーム入力装置名が通信異常	外部アラーム入力装置との通信に失敗した	接続の設定、ケーブルを見直してください
通知	外部アラーム入力装置名が通信復旧	外部アラーム入力装置との通信が復旧した	特になし
エラー	入退室管理装置名が通信異常	入退室管理装置との通信に失敗した	接続の設定、ケーブルを見直してください
通知	入退室管理装置装置名が通信復旧	入退室管理装置との通信が復旧した	特になし

## (8) バックグラウンドバックアップ関係

種別	表記	原因	対処
エラー	指定フォルダは既に存在します 保存先フォルダを変更してください	保存先フォルダが既に存在している	保存先フォルダを変更してください。
エラー	指定フォルダの作成に失敗しました 保存先フォルダを確認してください	保存先フォルダが作成できなかった	保存先ドライブが存在しているか、 または書き込み禁止になっていないか 確認してください。
エラー	バックアップ保存中にエラーが発生しました	バックアップ保存に失敗した	カメラ、ネットワークレコーダの接続 を確認してください。
エラー	ネットワークレコーダへの制御に失敗しました ネットワークレコーダの接続状態を確認してください	ネットワークレコーダの制御に失敗した	ネットワークレコーダの接続を確認 してください。
エラー	カメラ名はネットワークレコーダの設定がされて いません 選択カメラを変更してください	選択したカメラはネットワークレコー ダで保存する設定となっていない	保存設定がされてあるカメラを選択 してください。
エラー	デバイスが準備されていません	保存先のデバイスが準備されてい ない(メディアが挿入されていない)	保存先の状態を確認後、再度、実 行してください
エラー	バックアップデータがいっぱいです バックアップ画像を削除してください	バックアップ保存時、データが最大 数を超えた	不要なデータを削除し、再度、実行 してください
エラー	バックアップ用ディスクの容量が足りません バックアップ画像を削除してください	バックアップ保存時、保存ドライブ の空き容量が 100MB 以下になった	不要なデータを削除し、再度、実行 してください
エラー	バックアップ保存に失敗しました(DB 不一致)	バックアップデータ管理用データベ ース内にバックアップ保存するカメ ラが登録されていない	バックアップ管理用データベースを 削除し、再度、実行してください
エラー	バックアップ用ドライブが存在しません	バックアップ先のドライブが存在し ない	バックアップ先ドライブの存在を確 認後、再度、実行してください
確認	指定期間の全データが保存できない可能性 があります 指定期間 Wfps で記録された場合、所要容量 は X 必要です。 (最大保存容量: Y, 残容量 Z)  バックアップ保存を開始しますか？	指定された期間のデータが最大保 存容量または、残容量を超えてい る可能性がある	設定を再確認してください。
確認	バックアップ保存を中止します よろしいですか？	手動でバックアップ保存を停止した	特になし

## (9) センサ設定関係

種別	表記	原因	対処
エラー	センサ有効時間設定が不正です	センサ有効時間が不正であった	センサ有効時間を再度、設定しなお してください

## (10) アラーム履歴関係

種別	表記	原因	対処
エラー	ファイルの保存に失敗しました。	アラーム履歴ファイルの保存に失 敗した	保存先ドライブの空き容量等を確認 してください

## (11) 入退室管理関係

種別	表記	原因	対処
エラー	システムに異常が発生しました。	入退室管理システムに異常が発生 しました。	入退室管理システムの設定と状態 を確認してください。

# 索引

<b>1</b>	
16画面表示.....	46
16画面表示ボタン.....	51
<b>4</b>	
4画面.....	139, 148, 169
4画面～全画面切り換え.....	70
4画面表示.....	44
<b>9</b>	
9画面表示.....	45
9画面表示ボタン.....	51
<b>A</b>	
AF 機能.....	52
<b>N</b>	
NV-4400.....	70
<b>R</b>	
R-2450.....	150, 151
<b>S</b>	
SNTP サーバ.....	33
<b>W</b>	
WAV ファイル.....	188
Windows ビットマップ形式.....	121
<b>あ</b>	
アラーム解除時の設定.....	168
アラーム解除時.....	136, 145, 166
アラーム設定.....	107
アラーム(扉警報)リストサーチ.....	84
アラーム発生時.....	136, 145, 166, 169
アラームパネル.....	58
アラーム保持時間.....	139, 148, 169
アラームリスト.....	58
<b>い</b>	
一時停止.....	57
一時保存.....	174
一括操作パネル.....	36, 54
インストールに失敗した場合.....	32
<b>う</b>	
運用時間.....	108
<b>お</b>	
オートパン.....	138, 139, 147, 148, 168, 169
オートパン機能.....	96
音声遅延.....	110
音声遅延量.....	110
音量.....	79

<b>か</b>	
外部アラーム接点単位の修正.....	135
外部アラーム接点登録.....	132
外部アラーム入力装置の削除.....	133
外部アラーム入力装置の修正.....	133
外部アラーム連動カメラ削除.....	140
外部アラーム連動カメラ登録.....	134
外部アラーム連動カメラの設定、修正.....	137
外部操作器登録.....	150
外部保存.....	40
書込確認.....	173
拡張パネル.....	53
画像一覧.....	40
画像表示パネル.....	36, 42
カメラアイコン.....	43
カメラアイコン、扉アイコン選択.....	50
カメラ一覧.....	48
カメラ制御.....	40
カメラ制御パネル.....	36, 52
カメラ設定.....	96
カメラ設定の修正.....	126
カメラ選択パネル.....	36
カメラタイプ.....	175, 176, 177, 178, 179, 180, 182, 183
カメラタイプ作成.....	175, 177
カメラ/扉選択パネル.....	47
カメラの削除.....	123
カメラの登録.....	122
カメラのネットワークレコーダへの割付.....	124
カメラのネットワークレコーダへの割付解除.....	125
カメラへの登録.....	173
カメラ名称.....	96
カメラ名称表示ボタン.....	51
画面制御パネル.....	36, 51
画面表示ボタン.....	51
画面分割設定.....	99
<b>き</b>	
機器故障監視設定.....	171
起動時動作状態.....	172
機能一覧.....	37
基本パネル.....	53
逆再生.....	57
キャプチャ・ボタン.....	51
キャプチャ画像一覧ウインドウ.....	91
キャプチャ設定.....	98
記録画像.....	40
記録画像再生.....	55
記録画像再生パネル.....	56
記録画像を再生する.....	83
緊急録画ボタン.....	72
<b>く</b>	
グリッド.....	179
グループ.....	54, 106
グループ名.....	108
グループリスト.....	107

け	
警報情報詳細表示パネル	62
権限	11

こ

高速保存	87
高度な設定	184
故障通知	109
コマ送り	57
コマ戻し	57
コンピュータ要件	9

さ

最古日時情報	56
在室管理情報詳細表示パネル	69
在室管理情報リスト	66
再生	57
再生開始時刻	56
再生画像を拡大して表示する	85
再セットアップ	31
最大記録レート	72, 185
最大記録レートを変更する	185

し

自動切換	71, 72
自動スキャン設定	102
自動ボタン	184
使用許諾	10
シングルシーケンス	71, 139, 148, 169

す

ズーム	52
スキャンパターン	102
スケジュール	103
スケジュール設定ツール	180, 182
ステータスバー	72
ストリーム受信ポート番号	127
スナップ	179
スライドバー	57

せ

制御切換えパネル	36, 40
設定ツール	112
設定の流れ	111
設定ファイル	188
セットアップ	12
全画面	139, 148, 169
全画面ボタン	51
センサグループ登録	108
センサ設定	107
センサリスト	107, 108

た

タイムデートサーチ	83
ダイレクトポジション機能	78
単画面表示	43
単画面表示ボタン	51

ち

地図	121
地図設定	178, 179
地図設定ツール起動	178

つ

通行操作履歴リスト	63
通行操作履歴リストサーチ	85

て

停止	57
ディレクトリ構成	31

と

動作停止ボタン	54
特定日データ	104
扉一覧	49
扉警報リスト	60
扉状態リスト	65
扉の部屋設定	160
扉の部屋設定削除	163
ドラッグ&ドロップ	101

に

入退室管理システム装置設定	152
入退室管理システム装置登録	152
入退室管理システム扉単位の修正	165
入退室管理システム扉登録	154
入退室管理システム扉の修正	155
入退室管理システム部屋～扉設定	160
入退室管理システム部屋設定	157
入退室管理システム部屋登録	157
入退室管理システム部屋の削除	159
入退室管理システム部屋の修正	158
入退室管理システム連動カメラ削除	170
入退室管理システム連動カメラ登録	164
入退室管理システム連動カメラの設定、削除	167
入退室管理装置と扉の削除	156
入退室管理装置の部屋設定	162
入退室管理パネル	63
入退室管理システム装置の修正	153
入退室情報詳細表示パネル	67
任意文字表示	139, 148, 169

ね

ネットワーク	9
ネットワークビューワシステム設定	172
ネットワークマルチビューワ	70
ネットワークマルチビューワ(NV-4400) チャネル登録	130
ネットワークマルチビューワ(NV-4400) チャネルの削除	131
ネットワークマルチビューワ(NV-4400) チャネルの修正	131
ネットワークマルチビューワ(NV-4400)の削除	129
ネットワークマルチビューワ(NV-4400)の設定の修正	129
ネットワークマルチビューワ(NV-4400)の登録	128
ネットワークマルチビューワ NV-4400 の自動ボタンを表示する	184

ネットワークレコーダ追加登録.....	117
ネットワークレコーダの削除.....	118
ネットワークレコーダの設定の修正.....	118

## は

パスワード.....	93
パスワードの変更.....	183
バックアップ画像を再生.....	40, 89, 90
早送り.....	57
早戻し.....	57

## ひ

表示画像パネル.....	57
--------------	----

## ふ

フォーカス.....	52
プリアラーム再生時間.....	107
プリセット移動.....	138, 139, 147, 148, 168, 169
プリセットシーケンス.....	138, 139, 147, 148, 168, 169
プリセットパネル.....	36, 53
プリセット名称登録.....	95
フリッカ制御.....	139, 148, 169
フロア一覧.....	119
フロア構成の削除.....	120
フロア構成の設定・修正.....	121
フロア構成の追加登録.....	119
フロア選択コントロール表示.....	178
フロア名称の変更.....	121
プロダクト ID.....	28
分割表示.....	75

## へ

ページ進むボタン.....	75
ページ戻るボタン.....	75
部屋情報詳細表示パネル.....	68

## ほ

ホームポジション.....	54, 106, 138, 139, 147, 148, 168, 169
---------------	---------------------------------------

## ま

マッピング.....	121
マルチシーケンス.....	71, 139, 148, 169

## め

メンテナンス.....	40
メンテナンスパネル.....	93

## も

モーションディテクト登録.....	141
モーションディテクト入力装置の削除.....	142
モーションディテクト入力装置の修正.....	142
モーションディテクトプリセット番号の修正.....	144
モーションディテクト連動カメラ削除.....	149
モーションディテクト連動カメラ登録.....	143
モーションディテクト連動カメラの設定、修正.....	146
モニタ制御.....	40
モニタ制御パネル.....	70

## よ

曜日データ.....	104
------------	-----

## り

履歴データ整合.....	94
--------------	----

## れ

レコーダ内 ID.....	127
---------------	-----

## 保 証 書

形名	NR-SW8000DG	プロダクト ID	
お 客 様	様		
	ご住所	〒 -----	
	TEL		
保 証 期 間	年 月 日 から  1 年間 ※	※販売店住所・店名   印 または サイン	
		TEL ( )	

この製品は厳密な品質管理のもとで製品検査に合格したものです。お客様の正常な使用状態において万一破損した場合には、保証規定に基づきサービスセンターが修理いたしますので本書を提示してください。

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証書にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

 **三菱電機株式会社**  
コミュニケーション・ネットワーク製作所  
郡山工場 TEL (024) 932-1221 (大代表)  
〒963-8586 福島県郡山市栄町 2 番 25 号

お問い合わせは、保証書に記載の販売店へどうぞ

**[保証規定]**

- (1) 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において万一破損した場合には無料で修理いたします。
- (2) 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - ① ご使用上の誤りによる破損
  - ② 火災、地震、水害、塩害、異常気象およびその他の天災地変などによる破損
  - ③ 特殊環境(たとえば極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など)による破損
  - ④ 本書のご提示がない場合
  - ⑤ 本書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
  - ⑥ 本保証書は日本国内においてのみ有効です(This warranty is valid only in Japan)